# 土木工事の施工管理基準 及 規 格 値

\_新旧対照表

令和4年10月

大分県土木建築部大分県農林水産部

- (4) 受注者は、測定(試験)等の結果は、その都度遂次管理図表、出来形図、工程能力図 及び同付表等に記録しておかなければならない。
- (5) 受注者は、側定値及び試験値が著しく偏向する場合、バラツキが大きい場合又は規格値を外れる場合は、受注者の負担でその原因を追求し、監督員と協議のうえ、手直し、補強、やり直し等の処理を行わなければならない。
- (6) 受注者は、出来形確認、中間検査及び完成検査に際して管理図表、出来形図表並びに 工事用材等の品質証明書(正本)及び試験結果報告書(正本)等を監督員に**提出**しなけれ ばならない。
- (7) 施工箇所が点在する工事については、施工箇所毎に測定(試験)基準を設定するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。

#### 6. 管理項目及び方法

(1) 工程管理

工程管理は、監督員に提出した**計画工程表**により工事の進捗を管理するものとする。

(2) 出来形管理

出来形管理は、設計数値と実測値とを対比して記録した出来形管理図表又は出来形図を作成し、別に定める「出来形管理基準及び規格値」に基づき管理するものとする。なお、測定基準において測定箇所数「○○につき1箇所」となっている項目については、小数点以下を切り上げた箇所数を測定するものとする。

(3) 写真管理

写真管理は、工事着手前の状況、施工段階及び完成後明視できない箇所の施工状況、 出来形寸法、材料の寸法及び品質、並びに安全管理状況及び工事中の災害状況を別に定 める**「写真管理基準」**に基づき管理するものとする。

(4) 品質管理

品質管理は、別に定める「**品質管理基準及び規格値」**に基づき管理するものとする。

#### 7. その他

(1)情報化施工

10,000m3以上の土工の出来形管理については、「情報化施工技術の使用原則化について」(平成25年3月15日付け国官技第291号、国総公第133号)による。ただし、「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」は「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編」に読み替えるものとし、「TSを用いた出来形管理の監督・検査要領(河川土工編)」及び「TSを用いた出来形管理の監督・検査要領(道路土工編)」は「TS等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(土工編)(案)」に読み替えるものとする。

(2) 3次元データによる出来形管理

土工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、管理基準のほか、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編」多点計測技術(面管理の場合)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 計測技術(断面管理の場合)」の規定によるものとする。

#### 改訂【R4.10】

- (4) 受注者は、測定(試験)等の結果は、その都度遂次管理図表、出来形図、工程能力図 及び同付表等に記録しておかなければならない。
- (5) 受注者は、側定値及び試験値が著しく偏向する場合、バラツキが大きい場合又は規格 値を外れる場合は、受注者の負担でその原因を追求し、監督員と協議のうえ、手直し、 補強、やり直し等の処理を行わなければならない。
- (6) 受注者は、出来形確認、中間検査及び完成検査に際して管理図表、出来形図表並びに 工事用材等の品質証明書(正本)及び試験結果報告書(正本)等を監督員に**提出**しなけれ ばならない。
- (7) 施工箇所が点在する工事については、施工箇所毎に測定(試験)基準を設定するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。

#### 6. 管理項目及び方法

(1) 工程管理

工程管理は、監督員に提出した**計画工程表**により工事の進捗を管理するものとする。

(2) 出来形管理

出来形管理は、設計数値と実測値とを対比して記録した出来形管理図表又は出来形図を作成し、別に定める「出来形管理基準及び規格値」に基づき管理するものとする。 なお、測定基準において測定箇所数「○○につき1箇所」となっている項目については、小数点以下を切り上げた箇所数を測定するものとする。

(3) 写真管理

写真管理は、工事着手前の状況、施工段階及び完成後明視できない箇所の施工状況、 出来形寸法、材料の寸法及び品質、並びに安全管理状況及び工事中の災害状況を別に定 める**「写真管理基準」**に基づき管理するものとする。

(4) 品質管理

品質管理は、別に定める**「品質管理基準及び規格値」**に基づき管理するものとする。

#### 7. その他

(1)情報化施工

10,000m3以上の土工の出来形管理については、「情報化施工技術の使用原則化について」(平成25年3月15日付け国官技第291号、国総公第133号)による。ただし、「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」は「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編」に読み替えるものとし、「TSを用いた出来形管理の監督・検査要領(河川土工編)」及び「TSを用いた出来形管理の監督・検査要領(道路土工編)」は「TS等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(土工編)」は「TS等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領(土工編)(案)」に読み替えるものとする。

(2) 3次元データによる出来形管理

ICT施工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、「3次元計測 技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定によるものとする。

また、農業農村整備工事のほ場整備工事並びに管水路工事のICT施工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、「情報化施工技術の活用ガイドライン」の規

また、舗装工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、管理基準のほか、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編」多点計測技術(面管理の場合)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 計測技術(断面管理の場合)」の規定によるものとする。

河川浚渫工においては、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、基礎基準のほか、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)河川浚渫工事編」の規定によるものとする。

なお、ここでいう3次元データとは、工事目的物あるいは現地地形の形状を3次元空間 上に再現するために必要なデータである。

(3) 施工箇所が点在する工事

施工箇所が点在する工事については、施工箇所毎に測定(試験)基準を設定するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。

※「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」については、国土交通省のホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/content/001396085.pdf

#### 改訂【R4.10】

#### 定によるものとする。

なお、ここでいう3次元データとは、工事目的物あるいは現地地形の形状を3次元空間 上に再現するために必要なデータである。

(3) 施工箇所が点在する工事

施工箇所が点在する工事については、施工箇所毎に測定(試験)基準を設定するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。

※1 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」については、国土交通省のホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/content/001396085.pdf

※2 「情報化施工技術の活用ガイドライン」については、農林水産省のホームページをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/220812-2.pdf

# 2. 出来形管理

令和4年10月

【第3編 土木工事共通編】

| 章、節                                     | 条              | 枝番       | 工種  | 種別                          | 準用する出来形管理基準 | 頁            |
|---|----------------|----------|---|-----------------------------|-------------|--------------|
| 第3節 共通的工種                               | 2 - 3 - 28     | Ĺ        | プ レキャストカルハ ート工  | プレキャストポックス工                 |             | 2-16         |
|   |                |          | a contract of the contract of | プレキャストハ゜イプ。エ                |             | 2-16         |
|   | 2 - 3 - 29     | 1 2      | 側溝工   | 側溝工                         |             | 2-17         |
|   |                | 3        |   | 場所打水路工<br>暗渠工               |             | 2-17<br>2-17 |
|   | 2 - 3 - 30     | ,        | 集水桝工  | 阳未上                         |             | 2-18         |
|   | 2 - 3 - 31     |          | 現場塗装工   |                             |             | 2-18         |
| 第4節 基礎工                                 | 2 - 4 - 1      |          | 一般事項  | 切込砂利                        |             | 2-19         |
|   |                |          |   | 砕石基礎工                       |             | 2-19         |
|   |                |          |   | 割ぐり石基礎工                     |             | 2-19         |
|   | 2 - 4 - 3      | 1        | 基礎工 (護岸)  | 均しコンクリート<br>現場打             |             | 2-19<br>2-19 |
|   | 2-4-3          | 2        | 巫誕二 (政件)  | プレキャスト                      |             | 2-20         |
|   | 2 - 4 - 4      | 1        | 既製杭工  | 既製コンクリート杭                   |             | 2-20         |
|   |                | 1        |   | 鋼管杭                         |             | 2-20         |
|   |                | 1        |   | H鋼杭                         |             | 2-20         |
|   | 0 4 5          | 2        | IB TO be bloom  | 鋼管ソイルセメント杭                  |             | 2-20         |
|   | 2-4-5<br>2-4-6 |          | 場所打杭工   |                             |             | 2-20         |
|   | 2-4-6<br>2-4-7 |          | 深礎工<br>オープンケーソン基  |                             |             |              |
|   | 2 4 1          |          | 礎工  |                             |             | 2-2          |
|   | 2 - 4 - 8      |          | ニューマチックケー   |                             |             | 2-2          |
|   |                |          | ソン基礎工   |                             |             |              |
|   | 2 - 4 - 9      |          | 鋼管矢板基礎工   |                             |             | 2-22         |
| 第5節 石・ブロック積(張)エ                         | 2 - 5 - 3      | 1        | コンクリートブロッ   | コンクリートプロック積                 |             | 2-22         |
| *************************************** |                | 1        | クエ  | コンクリートブロック張                 |             | 2-22         |
|   |                | 2        |   | 連節プロック張り                    |             | 2-22         |
|   |                | 3        |   | 天端保護ブロック                    |             | 2-23         |
|   | 2 - 5 - 4      |          | 緑化ブロック工   |                             |             | 2-2          |
|   | 2 - 5 - 5      |          | 石積(張)工  |                             |             | 2-23         |
| 第6節 一般舗装工                               | 2 - 6 - 7      | 1        | アスファルト舗装工   | 下層路盤工                       |             | 2-24         |
|   |                | 2        |   | 下層路盤工                       |             | 2-24         |
|   |                |          | +   | (面管理の場合)<br>上層路盤工(粒度調整路     |             |              |
|   |                | 3        |   | 盤工)                         |             | 2-25         |
|   |                |          | -   | 上層路盤工(粒度調整路                 |             | 0.05         |
|   |                | 4        |   | 盤工) (面管理の場合)                |             | 2-25         |
|   |                | 5        |   | 上層路盤工(セメント                  |             | 2-26         |
|   |                |          |   | (石灰) 安定処理工)                 |             | 2 20         |
|   |                | G        |   | 上層路盤工(セメント                  |             | 2-26         |
|   |                | 6        |   | (石灰) 安定処理工)<br>(面管理の場合)     |             | 2-26         |
|   |                |          | 1   | 加熱アスファルト安定処                 |             |              |
|   |                | 7        |   | 理工                          |             | 2-27         |
|   |                | 8        |   | 加熱アスファルト安定処                 |             | 2-2          |
|   |                |          |   | 理工 (面管理の場合)                 |             |              |
|   |                | 9        | -   | 基層工                         |             | 2-2          |
|   |                | 10       |   | 基層工(面管理の場合)<br>表層工          |             | 2-29         |
|   |                | 12       | †   | 表層工(面管理の場合)                 |             | 2-2          |
|   | 2 - 6 - 8      | 1        | 半たわみ性舗装工  | 下層路盤工                       |             | 2-30         |
|   |                | 2        |   | 下層路盤工                       |             | 2-30         |
|   |                | 2        |   | (面管理の場合)                    |             | 2 0          |
|   |                | 3        |   | 上層路盤工(粒度調整路                 |             | 2-3          |
|   |                |          | 1   | 盤工)<br>上層路般工 (粒度調整路         |             |              |
|   |                | 4        |   | 上層路盤工(粒度調整路<br>盤工) (面管理の場合) |             | 2-3          |
|   |                | 5        | 1   | 上層路盤工(セメント                  |             | 2-32         |
|   |                | Э        |   | (石灰) 安定処理工)                 |             | 2-3.         |
|   |                | _        |   | 上層路盤工(セメント                  |             |              |
|   |                | 6        |   | (石灰) 安定処理工)                 |             | 2-3          |
|   |                | $\vdash$ | -   | (面管理の場合)<br>加熱アスファルト安定処     |             | +-           |
|   |                | 7        |   | 理工                          |             | 2-3          |
|   |                |          | 1   | 加熱アスファルト安定処                 |             | 0.0          |
|   |                | 8        |   | 理工 (面管理の場合)                 |             | 2-3          |
|   |                | 9        |   | 基層工                         |             | 2-3          |
|   |                | 10       | 1   | 基層工(面管理の場合)                 |             | 2-3          |
|   |                | 11       | 1   | 表層工                         |             | 2-3          |
|   | 2 - 6 - 0      | 12       | 世 水 州 4 龍 壮 丁   | 表層工(面管理の場合)                 |             | 2-3          |
|   | 2 - 6 - 9      | 1        | 排水性舗装工  | 下層路盤工                       |             | 2-30         |
|   |                | 2        |   | (面管理の場合)                    |             | 2-36         |
|   |                |          |   | 上層路盤工(粒度調整路                 |             |              |
|   |                | 3        | 1   | 盤工)                         |             | 2-3          |

#### 改訂【R4.10】

【第3編 土木工事共通編】

| 章、節                 | 条                       | 枝番                 | 工種   | 種別  | 準用する出来形管理基準 | 頁  |
|---------------------|-------------------------|--------------------|--|---|-------------|--|
| 第3節 共通的工種           | 2 - 3 - 28              |                    | プレキャストカルバート工   | プ゚レキャストボックス工  |             | 2-16   |
|                     |                         |                    | e velle  | プレキャストハ゜イプ。エ  |             | 2-16   |
|                     | 2 - 3 - 29              |                    | 側溝工  | 側溝工   |             | 2-17   |
|                     |                         | 2                  |  | 場所打水路工<br>暗渠工   |             | 2-17   |
|                     | 2 - 3 - 30              | 3                  | 集水桝工   | 阳宋上   |             | 2-17   |
|                     | $\frac{2-3-30}{2-3-31}$ |                    | 現場塗装工  |   |             | 2-18   |
| 第4節 基礎工             | $\frac{2}{2} - 4 - 1$   |                    | 一般事項   | 切込砂利  |             | 2-19   |
|                     |                         |                    | ,  | 砕石基礎工   |             | 2-19   |
|                     |                         |                    |  | 割ぐり石基礎工   |             | 2-19   |
|                     |                         |                    | The state of the s | 均しコンクリート  |             | 2-19   |
|                     | 2 - 4 - 3               | 1                  | 基礎工 (護岸)   | 現場打   |             | 2-19   |
|                     | 2 - 4 - 4               | 1                  | 既製杭工   | プレキャスト<br>既製コンクリート杭                                       |             | 2-20<br>2-20                                 |
|                     | 2-4-4                   | 1                  | <b>从表刊工</b>  | 鋼管杭   |             | 2-20   |
|                     |                         | 1                  |  | H鋼杭   |             | 2-20   |
|                     |                         | 2                  |  | 鋼管ソイルセメント杭  |             | 2-20   |
|                     | 2 - 4 - 5               |                    | 場所打杭工  |   |             | 2-20   |
|                     | 2 - 4 - 6               |                    | 深礎工  |   |             | 2-21   |
|                     | 2 - 4 - 7               |                    | オープンケーソン基  |   |             | 2-21   |
|                     | 2 - 4 - 8               |                    | 礎工<br>ニューマチックケー  |   |             |  |
|                     | 2-4-0                   |                    | ソン基礎工  |   |             | 2-21   |
|                     | 2 - 4 - 9               |                    | 鋼管矢板基礎工  |   |             | 2-22   |
| *-# T = - +# (1E) = | 2 - 5 - 3               |                    | コンクリートブロッ  |   |             |  |
| 第5節 石・ブロック積(張)エ     | 1                       | 1                  | クエ   | コンクリートブロック積   |             | 2-22   |
|                     | 1                       | 1                  |  | コンクリートブロック張   |             | 2-22   |
|                     |                         | 2                  |  | 連節ブロック張り  |             | 2-22   |
|                     | 0 5 4                   | 3                  | 43 /12   | 天端保護ブロック  |             | 2-23   |
|                     | 2-5-4<br>2-5-5          |                    | 緑化ブロックエ<br>石積(張)エ  |   |             | 2-23   |
|                     | 2-6-6                   | 4                  | 右傾 (宏) 上<br>橋面防水工  | シート系 新規設定床版   |             |  |
| 第6節 一般舗装工           | 2 0 0                   | -4                 | 同田的バエ  | 防水層   |             | 2-24   |
|                     | 2 - 6 - 7               | 1                  | アスファルト舗装工  | 下層路盤工   |             | 2-25   |
|                     |                         | 2                  | , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,  | 下層路盤工   |             | 2-25   |
|                     |                         | 2                  |  | (面管理の場合)  |             | 2-28   |
|                     |                         | 3                  |  | 上層路盤工(粒度調整路   |             | 2-26   |
|                     |                         |                    |  | 盤工)   |             | 2 20   |
|                     |                         | 4                  |  | 上層路盤工(粒度調整路   |             | 2-26   |
|                     |                         |                    |  | 盤工) (面管理の場合)<br>上層路盤工 (セメント                               |             |  |
|                     |                         | 5                  |  | (石灰) 安定処理工)   |             | 2-27   |
|                     |                         |                    |  | 上層路盤工(セメント  |             |  |
|                     |                         | 6                  |  | (石灰) 安定処理工)   |             | 2-27   |
|                     |                         |                    |  | (面管理の場合)  |             |  |
|                     |                         | 7                  |  | 加熱アスファルト安定処   |             | 2-28   |
|                     |                         | •                  |  | 理工  |             | 2 20   |
|                     |                         | 8                  |  | 加熱アスファルト安定処   |             | 2-28   |
|                     |                         | 9                  |  | 理工(面管理の場合)<br>基層工   |             | 2-2  |
|                     |                         | 10                 | -  | 基層工(面管理の場合)   |             | 2-2  |
|                     |                         | 11                 |  | 表層工(固音性の場合)   |             | 2-30   |
|                     |                         | 12                 |  | 表層工(面管理の場合)   |             | 2-30   |
|                     | 2 - 6 - 8               | 1                  | 半たわみ性舗装工   | 下層路盤工   |             | 2-3  |
|                     |                         | 2                  |  | 下層路盤工   |             | 2-3  |
|                     |                         |                    |  | (面管理の場合)  |             | 2 0.   |
|                     |                         | 3                  |  | 上層路盤工(粒度調整路   |             | 2-32   |
|                     |                         |                    |  | 盤工)<br>上層路盤工(粒度調整路  |             |  |
|                     |                         | 4                  |  | 盤工)(面管理の場合)   |             | 2-3  |
|                     |                         |                    |  | 上層路盤工(セメント  |             |  |
|                     |                         | 5                  |  | (石灰) 安定処理工)   |             | 2-33   |
|                     |                         |                    |  | 上層路盤工(セメント  |             |  |
|                     |                         | 6                  |  | (石灰) 安定処理工)   |             | 2-3  |
|                     |                         |                    | 4  | (面管理の場合)  |             | +  |
|                     |                         | 7                  |  | 加熱アスファルト安定処   |             | 2-3  |
|                     |                         |                    |  | 理工  |             |  |
|                     |                         |                    |  |   |             |  |
|                     |                         | 8                  | -  | 加熱アスファルト安定処理工 (面管理の場合)                                    |             | 2-3  |
|                     |                         | 8                  | -  | 理工(面管理の場合)  |             |  |
|                     |                         | 8                  |  | 理工 (面管理の場合)<br>基層工  |             | 2-3  |
|                     |                         | 8                  |  | 理工(面管理の場合)  |             | 2-3<br>2-3                                   |
|                     |                         | 8<br>9<br>10       |  | 理工 (面管理の場合)<br>基層工<br>基層工 (面管理の場合)<br>表層工<br>表層工 (面管理の場合) |             | 2-3<br>2-3<br>2-3<br>2-3                     |
|                     | 2-6-9                   | 8<br>9<br>10<br>11 | 排水性舗装工   | 理工 (面管理の場合)<br>基層工<br>基層工 (面管理の場合)<br>表層工                 |             | 2-3-<br>2-3-<br>2-3-<br>2-3-<br>2-3-<br>2-3- |

|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      |   |   | 毕业: mm |
|--------|--------|--------|---|----|-----------------|--------|-------|-----|------|---|---|--------|
| 編      | 章      | 節      | 条 | 枝番 | 工種              | 測 定    | 項目    | 規   | 各値   | 測 定 基 準                                       | 測 定 箇 所                                 | 摘要     |
| 1<br>共 | 2<br>土 | 3<br>河 | 2 | 1  | 掘削工             | 基準     | 高▽    | ±   | 50   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき1箇所、延長 40m |   |        |
| 通      | エ      | JII    |   |    |                 | 幅      | Ĭ.    | -1  | 00   | (又は 50m) 以下のものは1施工箇所                          | N. S.                                   |        |
| 編      |        | 海      |   |    |                 | 法長     | < 5 m | -:  | 200  | につき2箇所。<br>ただし、「3次元計測技術を用いた出                  |   |        |
|        |        | 岸      |   |    |                 | 0      | ≧ 5 m | 法長  | -4%  | 来形管理要領 (案) 土工編 計測技術                           |   |        |
|        |        | 砂      |   |    |                 |        |       |     |      | (断面管理の場合)」の既定により測<br>点による管理を行う場合は、設計図書        | , \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\ |        |
|        |        | 防土     |   |    |                 | 延      | 長 L   | _:  | 200  | の測点毎。基準高は、掘削部の両端で<br>測定。                      |   |        |
|        |        | エ      |   |    |                 | ~      | ~ ~   |     | 200  | 箇所単位のものについては適宜構造図                             |   |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | の寸法標示箇所を測定する。                                 |   |        |
| 1<br>共 | 2<br>土 | 3<br>河 | 2 | 2  | 掘削工<br>(面管理の場合) |        |       | 平均値 | 個々の  | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来       | CONTRACTOR NAMED AND DESCRIPTION        |        |
| 通      | 主      | Л      |   |    | (田日之土。) (四日)    |        |       |     | 計測恒  | 形管理要領(案)土工編 多点計測技                             | man Singapor                            |        |
| 編      |        | •      |   |    |                 | 平場     | 標高較差  | ±50 | ±150 | 術(面管理の場合)」に基づき出来形                             | 19. Carpeng f                           |        |
|        |        | 海岸     |   |    |                 | 法面     | 水平または | ±70 | ±160 | 管理を面管理で実施する場合、その他<br>本基準に規定する計測精度・計測密度        | power 1 CHALL                           |        |
|        |        |        |   |    |                 | (小段含む) | 標高較差  |     |      | を満たす計測方法により出来形管理を                             | Transport                               |        |
|        |        | 砂防     |   |    |                 |        |       |     |      | 実施する場合に適用する。                                  | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1   |        |
|        |        | 土      |   |    |                 |        |       |     |      | 2. 個々の計測値の規格値には計測精                            | Tim-                                    |        |
|        |        | 工      |   |    |                 |        |       |     |      | 度として±50mmが含まれている。                             | 127                                     |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 3. 計測は平場面と法面(小段を含                             |   |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | む)の全面とし、全ての点で設計面と                             | DUND (V)                                |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | の標高較差または水平較差を算出す<br>る。計測密度は1点/m2(平面投影面        | Variation.                              |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 積当たり) 以上とする。                                  | 194                                     |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm                           |   |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 以内に存在する計測点は、標高較差の                             |   |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 評価から除く。同様に、標高方向に生<br>5 cm以内にある計測点は水平較差の評      |   |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 価から除く。  |   |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 5. 評価する範囲は、連続する一つの                            |   |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 面とすることを基本とする。規格値が                             |   |        |
| 1      |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | 変わる場合は、評価区間を分割する                              |   |        |
|        |        |        |   |    |                 |        |       |     |      | か、あるいは規格値の条件の最も厳し<br>い値を採用する。                 |   |        |
|        |        |        |   |    | 1               | 1      | 1     | l   | l    | * "胆で环用りる。                                    |   | 1      |

#### 改訂【R4.10】

| 4           | nder.       | 644    |     | Liver |                 | \mu          | -T -               | 10 1 | fo. 1-4a | I   | · ma          |       | fals  |     | 単位: mm |
|-------------|-------------|--------|-----|-------|-----------------|--------------|--------------------|------|----------|---|---------------|-------|-------|-----|--------|
| 編 1         | 章           | 節 3    | 条 2 | 枝番    | 工 種 掘削工         | 測定           |                    | 規格   |          | 測 定 基 準<br>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合  | 測             | 定     | 箇     | 所   | 摘要     |
| 共           | 土           | 河      | 2   | 1     | 3/II H II       | 基準           |                    | ±    |          | は 50m) につき 1 ヶ所、延長 40m  |               |       |       |     |        |
| 通編          | 工           | 土      |     |       |                 | Ň            |                    |      | 00       | ( <b>また</b> は 50m) 以下のものは 1 施工箇<br>所につき 2 ヶ所。   |               |       |       |     |        |
| 47810       |             | 工      |     |       |                 | <b></b> 法長   | < 5 m              | -2   | 200      | ただし、「3次元計測技術を用いた出   | ** .          |       |       |     |        |
|             |             | 海      |     |       |                 | e e          | $\geq 5 \text{ m}$ | 法長-  | -4%      | 来形管理要領(案)」の既定により測点による管理を行う場合は、設計図書  | 7             | TO TO | do.   |     |        |
|             |             | 岸      |     |       |                 |              |                    |      |          | の測点毎。基準高は、掘削部の両端で   |               |       | *     |     |        |
|             |             | 土工・砂防土 |     |       |                 | 延            | 長 L                | -2   | 200      | 測定。<br>箇所単位のものについては適宜構造図<br>の寸法標示箇所を測定する。   |               |       |       |     |        |
| 1<br>共<br>通 | 2<br>土<br>工 | 3 河川   | 2   | 2     | 掘削工<br>(面管理の場合) |              |                    | 平均値  |          | おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」に基づき出来形管  | Total control | en 42 | 100   | ./  |        |
| 編           |             | 土工     |     |       |                 | 平場           | 標高較差               | ±50  | ±150     | 理を面管理で実施する場合、その他本<br>基準に規定する計測精度・計測密度を  | 100000        | 25.2  | 17    |     |        |
|             |             | 海岸     |     |       |                 | 法面<br>(小段含む) | 水平または<br>標高較差      | ±70  | ±160     | 満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。  | TAR IS        | TY    |       | 1   |        |
|             |             | 土工     |     |       |                 |              |                    |      |          | 2. 個々の計測値の規格値には計測精<br>度として±50mmが含まれている。   | Towns.        |       | 20    |     |        |
|             |             | 砂防土工   |     |       |                 |              |                    |      |          | 3. 計測は平場面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。                |               |       | kini. | HA. |        |
|             |             |        |     |       |                 |              |                    |      |          | 4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm<br>以内に存在する計測点は、標高較差の<br>評価から除く。同様に、標高方向に±<br>5cm以内にある計測点は水平較差の評<br>価から除く。 |               |       |       |     |        |
|             |             |        |     |       |                 |              |                    |      |          | 5. 評価する範囲は、連続する一つの<br>面とすることを基本とする。規格値が<br>変わる場合は、評価区間を分割する<br>か、あるいは規格値の条件の最も厳し<br>い値を採用する。  |               |       |       |     |        |

単位: mm

| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工 種                      | 測定           | 項目            | 規札  |            | 測                                    | 定             | 基     | 準                 |        | 測         | 定     | 箇                                     | 所             | 摘 | 要 |
|-------------|-------------|-------------|---|----|--------------------------|--------------|---------------|-----|------------|--------------------------------------|---------------|-------|-------------------|--------|-----------|-------|---------------------------------------|---------------|---|---|
| 1<br>共<br>通 | 2<br>土<br>工 | 3<br>河<br>川 | 2 | 3  | 掘削工<br>(水中部)<br>(面管理の場合) |              |               | 平均値 | 個々の<br>計測値 | 1. 3次元デ<br>おいて「3次<br>形管理要領(          | 元計測           | 技術を   | :用いた出来            |        |           |       |                                       |               |   |   |
| 編           |             | 油           |   |    | (国旨建の場合)                 | 平場           | 標高較差          | ±50 | +300<br>以下 | が自任安原<br>づき出来形管<br>合、そのほか            | 理を面           | 管理で   | 実施する場             |        |           |       |                                       |               |   |   |
|             |             | 岸           |   |    |                          | 法面<br>(小段含む) | 水平または<br>標高較差 | ±70 | +300<br>以下 | 度・計測密度<br>出来形管理を                     | を満た           | す計測   | 方法により             |        |           |       |                                       |               |   |   |
|             |             | 砂防          |   |    |                          |              |               |     |            | る。                                   |               |       |                   |        |           |       |                                       |               |   |   |
|             |             | 土工          |   |    |                          |              |               |     |            | <ol> <li>個々の計<br/>度として±10</li> </ol> |               |       |                   |        |           |       |                                       |               |   |   |
|             |             |             |   |    |                          |              |               |     |            | <ol> <li>計測は平<br/>すべての点で</li> </ol>  |               |       |                   |        |           |       |                                       |               |   |   |
|             |             |             |   |    |                          |              |               |     |            | 出する。計測<br>影面積当たり                     |               |       |                   |        |           |       |                                       |               |   |   |
| 1           | 2           | 3           | 3 | 1  | 盛土工                      | 基準           | 高▽            |     | 50         | 施工延長 401                             | m (測)         | 点間隔   | 25mの場合            |        |           |       |                                       |               |   |   |
| 共通          | 土工          | 河川          |   |    |                          | 法長           | ℓ <5m         | -1  | .00        |                                      | 以下の           |       | 、延長 40m<br>は1施工箇所 |        |           |       |                                       |               |   |   |
| 編           |             | 海           |   |    |                          | IAA          | 0 ≧5m         | 法長  | -2%        | につき 2 箇所<br><b>箇所単位の</b> を           |               | いてに   | <b>:</b> 適官構造図    |        |           | İ     | $\stackrel{W_1}{\longleftrightarrow}$ |               |   |   |
|             |             | 岸           |   |    |                          | 幅 v          | V1, W2        | -1  | .00        | の寸法標示簡                               |               |       |                   | >      | W2        | 7/    | <u></u>                               |               |   |   |
|             |             | 砂防.         |   |    |                          | 延            | 長 L           | -:  | 200        |                                      | 頁 (案)<br>)場合) | 土工」の規 | 編 計測技術<br>見定により測  | $\leq$ | <u>//</u> | 18111 | 81                                    | <u> </u>    > |   |   |
|             |             | 土工          |   |    |                          |              |               |     |            | 点による管理<br>の測点毎。基                     |               |       |                   |        |           |       |                                       |               |   |   |

#### 改訂【R4.10】

| 編           | 啦           | 節           | 条 | 枝番 | 工種                       | 測定           | 項目            | 規材  |            | 測定基準測定   | 色 箇 所 摘 5 | 要 |
|-------------|-------------|-------------|---|----|--------------------------|--------------|---------------|-----|------------|--|-----------|---|
| 1<br>共<br>通 | 2<br>土<br>工 | 3<br>河<br>川 | 2 | 3  | 掘削工<br>(水中部)<br>(面管理の場合) |              |               | 平均値 | 個々の<br>計測値 | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」に基づき出来形管                     |           |   |
| 編           | т.          | 土工          |   |    | (国自240%日)                | 平場           | 標高較差          | ±50 | +300<br>以下 | 理を面管理で実施する場合、そのほか<br>本基準に規定する計測精度・計測密度   |           |   |
|             |             | 海           |   |    |                          | 法面<br>(小段含む) | 水平または<br>標高較差 | ±70 | +300<br>以下 | を満たす計測方法により出来形管理を<br>実施する場合に適用する。  |           |   |
|             |             | 岸土工         |   |    |                          |              |               |     |            | 2. 個々の計測値の規格値には計測精<br>度として±100mmが含まれている。   |           |   |
|             |             | 砂防土工        |   |    |                          |              |               |     |            | 3. 計測は平場面と法面の全面とし、<br>すべての点で設計面との標高較差を算<br>出する。計測密度は1点/m2 (平面投<br>影面積当たり) 以上とする。 |           |   |
| 1           | 2           | 3           | 3 | 1  | 盛土工                      | 甘油           | 高▽            | _   | 50         | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合  |           |   |
| 共通          | 土工          | 河川          |   | 1  | m 1 1                    | 法長           | ℓ <5m         |     | 00         | は 50m)につき1箇所、延長 40m<br>(または 50m) 以下のものは1施工箇                                      |           |   |
| 編           |             | 土工          |   |    |                          | IAK          | 0 ≧5m         | 法長  | -2%        | 所につき2ヶ所。<br><b>箇所単位のものについては適宜構造図</b>   |           |   |
|             |             |             |   |    |                          | 幅 w          | 71, W2        | -1  | 00         | の寸法標示箇所を測定する。  | V V       |   |
|             |             | 海岸土         |   |    |                          | 延            | 長 L           | -:  | 200        | ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書                              |           |   |
|             |             | 土・砂防土工      |   |    |                          |              |               |     |            | の測点毎。基準高は各法肩で測定。   | JBIIISI   |   |

単位: mm

| _           |             |             |   |    |                 |   |   |    |     |     |      |     |  |  |                                       |  |                            |      |                |     |     |  |
|-------------|-------------|-------------|---|----|-----------------|---|---|----|-----|-----|------|-----|--|--|---------------------------------------|--|----------------------------|------|----------------|-----|-----|--|
| 編           | 牵           | 節           | 条 | 枝番 | I 1             | 種 | 測定  | 項  | 目   | 規   | 格 値  | 直   | 測  | 定  | 基                                     | 準  | 測                          | 定    | 笛              | 所   | 摘 要 |  |
| 1<br>共<br>通 | 2<br>土<br>工 | 3<br>河<br>川 | 3 | 2  | 盛土工<br>(面管理の場合) |   |   |    |     | 平均値 | 個々計測 | 訓値  | おいて「3)   | 火元計  | 測技術                                   | 出来形管理に<br>を用いた出来<br>多点計測技  | * 200400000<br>* 200400000 |      | 47             | 10/ |     |  |
| 編           |             |             |   |    |                 |   | 天端  | 標高 | 高較差 | -50 | -15  | 50  | 術(面管理の   | の場合  | ) j kt                                | 基づき出来形   |                            | 16.5 | 17             | 1   |     |  |
|             |             | 海岸          |   |    |                 |   | 法面<br>4割<勾配   | 標高 | 高較差 | -50 | -17  | 70  | 本基準に規定   | 定する  | 計測精度                                  | 場合、その他<br>度・計測密度   | CONTRACTOR                 | T    | I              |     |     |  |
|             |             | 岸 · 砂防土工    |   |    |                 |   | 4割と対配 相対の対応 は 間が 関います は 間が 関います は 関います は 別の は い か に か の が 長 割 も の を し た こ は い の が 長 割 も の を し た と 表 し た し か に か 長 割 も の を し た し た し か に か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら |    | 高較差 | -60 | -17  | 770 | を演施する場合では、<br>を実施している。<br>2. と 3. かの標準である。<br>は、 1 の高の点が、 2. と 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 | 則合 計20 天とを面 法すく るとはは方に 測加 端し算投 尻る。 範を、規格の 間上評解 か計 囲基評格 | に用 の含 と全す面 ら測 は本価というの 格れ 面の。当 平は、連す間、 | 出来形管理を<br>直にいい。<br>信にいい。<br>自にいいのでは計測精<br>でいいのでは、<br>会計では、<br>会計では、<br>会と計画では、<br>を含します。<br>を含します。<br>をのでは、<br>を含します。<br>をでいる。<br>でいる。<br>でいる。<br>でいる。<br>でいる。<br>でいる。<br>でいる。<br>でいる。 |                            |      | Daller<br>Mont |     |     |  |
|             |             |             |   |    |                 |   |   |    |     |     |      |     |  |  |                                       |  |                            |      |                |     |     |  |

#### 改訂【R4.10】

| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | I.              | 種 | 測定   | 項目   | 規   | 各値         |   | 新 要 |
|-------------|-------------|-------------|---|----|-----------------|---|--|------|-----|------------|---|-----|
| 1<br>共<br>通 | 2<br>土<br>工 | 3<br>河<br>川 | 3 | 2  | 盛土工<br>(面管理の場合) |   |  |      | 平均値 | 個々の<br>計測値 | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領 (案)」に基づき出来形管   |     |
| 編           | т.          | 土           |   |    |                 |   | 天端   | 標高較差 | -50 | -150       | 理を面管理で実施する場合、その他本   |     |
|             |             | 工・海         |   |    |                 |   | 法面<br>4割<勾配  | 標高較差 | -50 | -170       | 基準に規定する計測特度・計測密度を<br>満た寸計測方法により出来形管理を実<br>施する場合に適用する。   |     |
|             |             | 岸土工         |   |    |                 |   | 法面<br>4割≧勾配<br>(小段含む)  | 標高較差 | -60 | -170       | 2. 個々の計測値の規格値には計測精  |     |
|             |             | 工・砂防土工      |   |    |                 |   | (小校さな)<br>(小校さな)<br>(小校さな)<br>(小校さな)<br>(小校での鉛度とする)<br>(小校での鉛度を)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校で)<br>(小校)<br>(小校)<br>(小校)<br>(小校)<br>(小校)<br>(小校)<br>(小校)<br>(小校 |      |     |            | 度として±50mmが含まれている。 3. 計測は天端面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m*(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。 |     |

| _      |        |         |   |    |                      |        |    |      | 1                     | - 中世   |   |
|--------|--------|---------|---|----|----------------------|--------|----|------|-----------------------|--|---|
| 編      | 章      | 節       | 条 | 枝番 | ·                    | 測      | 定工 | 頁 目  | 規 格 値                 | 測定基準 測定箇所 摘                                      | 要 |
| 1<br>共 | 2<br>土 | 3<br>河  | 4 |    | 盛土補強工<br>(補強土 (テールアル | 基      | 準  | ¥ △  | -50                   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき 1 箇所、延長 40m  |   |
| 通編     | エ      | ЛI<br>• |   |    | メ)壁工法)<br>(多数アンカー式補強 | 厚      | ē  | § t  | -50                   | (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所<br>につき 2 箇所。              |   |
|        |        | 海岸      |   |    | 土工法)<br>(ジオテキスタイルを   | 控      | え! | きき   | 設計値以上                 |  |   |
|        |        | 产 砂     |   |    | 用いた補強土工法)            | 鉛      | 直息 | ŧΔ   | ±0.03 h かつ<br>±300 以内 |  |   |
|        |        | 防土工     |   |    |                      |        |    |      |                       | · · ·  |   |
| 1      | 2      | 3       | 5 |    | 法面整形工 (盛土部)          | 厚      | -  | ₹ t  | <b>※</b> −30          | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合                            |   |
| 共通     | 土工     | 河川      |   |    |                      | /      |    |      | A 50                  | は 50m) につき 1 箇所、延長 40m<br>(又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所 |   |
| 編      |        | 海       |   |    |                      |        |    |      |                       | につき2箇所、法の中央で測定。<br>※土羽打ちのある場合に適用。                |   |
|        |        | 岸・砂防土工  |   |    |                      |        |    |      |                       | t t t t t t t t t t t t t t t t t t t            |   |
| 1      | 2      | 3       | 6 |    | 堤防天端工                |        |    |      |                       | 幅は、施工延長 40m(測点間隔 25m                             |   |
| 共      | 土      | 河       | Ü |    | SEIST J CAME AL      | 厚<br>さ |    | 15cm | -25                   | の場合は 50m) につき 1 箇所、延長                            |   |
| 通編     | I      | лı<br>• |   |    |                      | t      | t≧ | 15cm | -50                   | 40m (又は 50m) 以下のものは1 施工<br>箇所につき2箇所。             |   |
|        |        | 海岸      |   |    |                      | 幅      |    | W    | -100                  | 厚さは、施工延長 200mにつき1箇 w<br>所、200m以下は2箇所、中央で測        |   |
|        |        | 砂防土工    |   |    |                      |        |    |      |                       | 定。   |   |
|        |        |         |   |    |                      |        |    |      |                       |  |   |

| 編      | 章      | 節      | 条 | 枝番 | 工種                  | 測  | 定 | 項     | 目        | 規格値                   | 測 定 基 準 測 定 箇 所 摘  | 要 |
|--------|--------|--------|---|----|---------------------|----|---|-------|----------|-----------------------|--|---|
| 1<br>共 | 2<br>土 | 3      | 4 |    | 盛土補強工<br>(補強土(テールアル | 基  | 準 | 高     | $\nabla$ | -50                   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき 1 ヶ所、延長 40m                      |   |
| 通編     | I      | 土      |   |    | メ)壁工法) (多数アンカー式補強   | 厚  |   | ż     | t        | -50                   | (または 50m) 以下のものは 1 施工箇<br>所につき 2 ヶ所。                                 |   |
| ,,     |        | I.     |   |    | 土工法)<br>(ジオテキスタイルを  | 控  | え | 長     | t        | 設計値以上                 | ただし、「3次元計測技術を用いた出 🔻 🗸  |   |
|        |        | 海岸     |   |    | 用いた補強土工法)           | 鉛  | 直 | 度。    | Δ        | ±0.03 h かつ<br>±300 以内 | 東京鉄田田河 (中)」に甘べも山東京   |   |
|        |        | 土工・砂防土 |   |    |                     |    |   |       |          |                       | 日生を実施する場合は、同安原に免促<br>する計測精度・計測密度を満たす計測<br>方法により出来形管理を実施すること<br>ができる。 |   |
| 1      | 2      | 3      | 5 |    | 法面整形工 (盛土部)         | 厚  |   | t     | t        | <b>※</b> −30          | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合  |   |
| 共通     | 土工     | 河川     |   |    |                     |    |   |       |          |                       | は 50m) につき 1 ヶ所、延長 40m<br>(または 50m) 以下のものは 1 施工箇                     |   |
| 編      |        | ±<br>± |   |    |                     |    |   |       |          |                       | 所につき2ヶ所、法の中央で測定。<br>※土羽打ちのある場合に適用。                                   |   |
|        |        | 海岸     |   |    |                     |    |   |       |          |                       | ただし、「3次元計測技術を用いた出 t t  |   |
|        |        | 土工     |   |    |                     |    |   |       |          |                       | 来形管理要領(案)」に基づき出来形<br>管理を実施する場合は、同要領に規定                               |   |
|        |        | 砂      |   |    |                     |    |   |       |          |                       | する計測精度・計測密度を満たす計測<br>方法により出来形管理を実施すること                               |   |
|        |        | 防土     |   |    |                     |    |   |       |          |                       | ができる。  |   |
|        |        | エ      |   |    |                     |    |   |       |          |                       |  |   |
| 1<br>共 | 2<br>土 | 河区     | 6 |    | 堤防天端工               | 厚さ | t | <15cm | n        | -25                   | 幅は、施工延長 40m (測点間隔 25m<br>の場合は 50m) につき 1 箇所、延長                       |   |
| 通編     | I      | 川 土    |   |    |                     | t  | t | ≧15cm | n        | -50                   | 40m ( <mark>また</mark> は 50m) 以下のものは 1 施<br>工箇所につき 2 箇所。              |   |
| 7,112  |        | 上      |   |    |                     | 幅  |   | ,     | w        | -100                  | 厚さは、施工延長 200mにつき1箇<br>所、200m以下は2ヶ所、中央で測                              |   |
|        |        | 岸土     |   |    |                     |    |   |       |          |                       | 定。   |   |
|        |        | 主      |   |    |                     |    |   |       |          |                       |  |   |
|        |        | 砂防     |   |    |                     |    |   |       |          |                       |  |   |
|        |        | 土工     |   |    |                     |    |   |       |          |                       |  |   |
|        |        |        |   |    |                     |    |   |       |          |                       |  |   |

単位: mm

| 編      | 章      | 節      | 条 | 枝番 | 工種              | 測定                     | 項目                 | 規格  | 各 値  | 測 定 基 準 測 定 箇 所   | 摘 要 |
|--------|--------|--------|---|----|-----------------|------------------------|--------------------|-----|------|---|-----|
| 1<br>共 | 2<br>土 | 4<br>道 | 2 | 1  | 掘削工             | 基準                     | 高▽                 | ±   | 50   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき 1 箇所、延長 40m                                 |     |
| 通編     | 工      | 路十     |   |    |                 | 法長し                    | $\ell < 5 \ m$     | -2  | 200  | (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所<br>につき 2 箇所。   |     |
| 种      | 1      | I      |   |    |                 | 佐女 1                   | $\ell \geq 5 \; m$ | 法長・ | -4%  | 箇所単位のものについては適宜構造図   |     |
|        | 1      |        |   |    |                 | 幅                      | w                  | -1  | 100  | の寸法標示箇所を測定する。<br>ただし、「3次元計測技術を用いた出 w  |     |
|        | 1      |        |   |    |                 | 延                      | 長 L                | -2  | 200  | 来形管理要領(案) 土工編 計測技術<br>(断面管理の場合)」の規定により測   |     |
|        | 1      |        |   |    |                 |                        |                    |     |      | 点による管理を行う場合は、設計図書<br>の測点毎。  |     |
|        | 1      |        |   |    |                 |                        |                    |     |      | 基準高は、道路中心線及び端部で測定。  |     |
| Ш      |        |        |   |    | I mark to       |                        |                    |     | ı    |   |     |
| 1<br>共 | 2<br>土 | 4<br>道 | 2 | 2  | 掘削工<br>(面管理の場合) |                        |                    | 平均値 |      | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来   |     |
| 通編     | I      | 路土     |   |    |                 | 平場                     | 標高較差               | ±50 | ±150 | 形管理要領(案) 土工編 多点計測技<br>術(面管理の場合)」に基づき出来形   |     |
|        |        | 工      |   |    |                 | 法面<br>(小段含む)           | 水平または<br>標高較差      | ±70 | ±160 | 管理を面管理で実施する場合、その他<br>本基準に規定する計測精度・計測密度<br>を満たす計測方法により出来形管理を                     |     |
|        |        |        |   |    |                 | 法面<br>(軟岩 I)<br>(小段含む) | 水平または<br>標高較差      | ±70 | ±330 | 実施する場合に適用する。  |     |
| ]      |        |        |   |    |                 | (7(权百亿)                |                    |     |      | 2. 個々の計測値の規格値には計測精<br>度として±50mmが含まれている。   |     |
|        |        |        |   |    |                 |                        |                    |     |      | 3. 計測は天端面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面と  |     |
|        |        |        |   |    |                 |                        |                    |     |      | の標高較差を算出する。計測密度は1<br>点/m2 (平面投影面積当たり)以上と<br>する。                                 |     |
|        |        |        |   |    |                 |                        |                    |     |      | 4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm<br>以内に存在する計測点は、標高較差の  |     |
|        |        |        |   |    |                 |                        |                    |     |      | 評価から除く。   |     |
|        |        |        |   |    |                 |                        |                    |     |      | 5. 評価する範囲は、連続する一つの<br>面とすることを基本とする。規格値が<br>変わる場合は、評価区間を分割する<br>ままいませなどのを使いる場。終し |     |
| ı      |        |        |   |    |                 |                        |                    |     |      | か、あるいは規格値の条件の最も厳し<br>い値を採用する。   |     |

#### 改訂【R4.10】

| 編           | 章           | 節      | 条 | 枝番 | 工種              | 測定                      | 項目                   | 規札  | 各値         | 測定基準   | 測                  | 定        | 簡          | 所        | 摘 要 |
|-------------|-------------|--------|---|----|-----------------|-------------------------|----------------------|-----|------------|--|--------------------|----------|------------|----------|-----|
| 1 共         | 2           | 4<br>道 | 2 | 1  | 掘削工             | 基 準                     | 高▽                   | ±   | 50         | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m                               |                    |          |            |          |     |
| 通           | I           | 路      |   |    |                 | N. F.                   | $\ell < 5 \text{ m}$ | -:  | 200        | ( <b>また</b> は 50m) 以下のものは1施工箇  |                    |          |            |          |     |
| 編           |             | ±<br>I |   |    |                 | 法長 ℓ                    | $\ell \geq 5 \; m$   | 法長  | -4%        | 所につき2ヶ所。<br><b>箇所単位のものについては適宜構造図</b>   |                    |          |            | <b>T</b> |     |
|             |             |        |   |    |                 | 幅                       | w                    | -   | 100        | の寸法標示箇所を測定する。<br>ただし、「3次元計測技術を用いた出   | ~                  | w        |            | //       |     |
|             |             |        |   |    |                 | 延                       | 長 L                  | -:  | 200        | 来形管理要領(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書   |                    | <u> </u> | <b>—</b> ₹ | \n/\     |     |
|             |             |        |   |    |                 |                         |                      |     |            | の測点毎。<br>基準高は、道路中心線及び端部で測<br>定。  | x 9                |          |            | `        |     |
| 1<br>共<br>通 | 2<br>土<br>エ | 4<br>道 | 2 | 2  | 掘削工<br>(面管理の場合) |                         |                      | 平均値 | 個々の<br>計測値 | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来  | No.                | 44 12    | 2          |          | 8   |
| 組編          | I.          | 路土     |   |    |                 | 平場                      | 標高較差                 | ±50 | ±150       | 形管理要領(案)」に基づき出来形管<br>理を面管理で実施する場合、その他本                                       | -344               | がな       | 煡          | 1        |     |
|             |             | 工      |   |    |                 | 法面<br>(小段含む)            | 水平または<br>標高較差        | ±70 | ±160       | 基準に規定する計測精度・計測密度を<br>満たす計測方法により出来形管理を実<br>施する場合に適用する。                        | Palls<br>Salt plan | K        | Œ          | X        |     |
|             |             |        |   |    |                 | 法面<br>(軟岩 I )<br>(小段含む) | 水平または<br>標高較差        | ±70 | ±330       | 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。  | Ton.               | -        | 27         |          |     |
|             |             |        |   |    |                 |                         |                      |     |            | 3. 計測は天端面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面と<br>の標高較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。 |                    |          | Sker       | 4111     |     |
|             |             |        |   |    |                 |                         |                      |     |            | 4. 法肩、法尻から水平方向に±5 cm<br>以内に存在する計測点は、標高較差の<br>評価から除く。                         |                    |          |            |          |     |
|             |             |        |   |    |                 |                         |                      |     |            | 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。 |                    |          |            |          |     |

単位: mm

| 編      | 章           | 節                | 条   | 枝番 | 工種                         | 測定           | 項目                                      | 規格  | 各 値        | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所         | 摘 要 |
|--------|-------------|------------------|-----|----|----------------------------|--------------|---|-----|------------|--|-----------------|-----|
| 1<br>共 | 2<br>+:     | 4<br>道           | 3 4 | 1  | 路体盛土工路床盛土工                 | 基 準          | 高▽                                      | ±   | 50         | 施工延長40m (測点間隔25mの場合は<br>50m) につき1箇所、延長40m (又は  | ₩ <sub>1</sub>  |     |
| 通編     | エ           | 路土               | _   |    |                            | 法長           | < 5 m                                   | -1  | .00        | 50m) 以下のものは1施工箇所につき<br>2箇所。  | W <sub>2</sub>  |     |
| 10/888 |             | 主                |     |    |                            | e e          | ≧ 5 m                                   | 法長- | -2%        | 0  |                 |     |
|        |             |                  |     |    |                            | 幅            | $\mathbf{W}_{1\text{, }}\mathbf{W}_{2}$ | -1  | .00        | 箇所単位のものについては適宜構造図<br>の寸法標示箇所を測定する。   |                 |     |
|        |             |                  |     |    |                            | 延            | 長 L                                     | -2  | 800        | ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 計測技術<br>(断面管理の場合)」の規定により測<br>点による管理を行う場合は、設計図書<br>の測点毎。<br>基準高は、道路中心線及び端部で測定 |                 |     |
| 1 共通編  | 2<br>土<br>工 | 4<br>道<br>路<br>土 | 3 4 | 2  | 路体盛土工<br>路床盛土工<br>(面管理の場合) |              |   | 平均値 | 個々の<br>計測値 | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)土工編 多点計測技<br>術(面管理の場合)」に基づき出来形                          | man 25          |     |
| 1099   |             | 工                |     |    |                            | 天端           | 標高較差                                    | ±50 | $\pm 150$  | 管理を面管理で実施する場合、その他  | 1 AN 1          |     |
|        |             |                  |     |    |                            | 法面<br>(小段含む) | 標高較差                                    | ±80 | ±190       | 本基準に規定する計測精度・計測密度<br>を満たす計測方法により出来形管理を<br>実施する場合に適用する。   | Command April 2 |     |
|        |             |                  |     |    |                            |              |   |     |            | 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。  |                 |     |
|        |             |                  |     |    |                            |              |   |     |            | 3. 計測は天端面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面と<br>の標高較差を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。                               | Many            |     |
|        |             |                  |     |    |                            |              |   |     |            | 4. 法肩、法尻から水平方向に±5 cm<br>以内に存在する計測点は、標高較差の<br>評価から除く。   |                 |     |
|        |             |                  |     |    |                            |              |   |     |            | 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。                               |                 |     |

## 改訂【R4.10】

| 編     | 章           | 節                | 条   | 枝番 | 工種                         | 測定           | 項目                           | 規格  | 各値         | 測定基準測定箇所   | 摘要 |
|-------|-------------|------------------|-----|----|----------------------------|--------------|------------------------------|-----|------------|--|----|
| 1 共   | 2<br>土      | 4<br>道           | 3   | 1  | 路体盛土工路床盛土工                 | 基 準          | 高▽                           | ±   | 50         | 施工延長40m (測点間隔25mの場合は<br>50m) につき1ヶ所、延長40m (また  |    |
| 通     | エ           | 路                | 4   |    | 时外盤工工                      | 法長           | < 5 m                        | -1  | 100        | は50m) 以下のものは1施工箇所につ w2 マ マ   |    |
| 編     |             | 土工               |     |    |                            | ů e          | ≧ 5 m                        | 法長- | -2%        | き2ヶ所。  |    |
|       |             |                  |     |    |                            | 幅            | $\mathbf{w}_1, \mathbf{w}_2$ | -1  | 100        | 箇所単位のものについては適宜構造図<br>の寸法標示箇所を測定する。   |    |
|       |             |                  |     |    |                            | 延            | 長 L                          | -2  | 200        | ただし、「3次元計測技術を用いた出<br>来形管理要領(案)」の規定により測<br>点による管理を行う場合は、設計図書<br>の測点毎。<br>基準高は、道路中心線及び端部で測定    |    |
| 1 共通編 | 2<br>土<br>工 | 4<br>道<br>路<br>土 | 3 4 | 2  | 路体盛土工<br>(面管理の場合)<br>路床盛土工 |              |                              | 平均値 | 個々の<br>計測値 | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要額(案)」に基づき出来形管<br>理を面管理で実施する場合、その他本            |    |
| 形相    |             | エ                |     |    | (面管理の場合)                   | 天端           | 標高較差                         | ±50 | ±150       | 基準に規定する計測精度・計測密度を  |    |
|       |             |                  |     |    |                            | 法面<br>(小段含む) | 標高較差                         | ±80 | ±190       | 満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。   |    |
|       |             |                  |     |    |                            |              |                              |     |            | 2. 個々の計測値の規格値には計測特<br>度として±50mmが含まれている。  |    |
|       |             |                  |     |    |                            |              |                              |     |            | 3. 計測は天端面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。                     |    |
|       |             |                  |     |    |                            |              |                              |     |            | 4. 法肩、法尻から水平方向に±5 cm<br>以内に存在する計測点は、標高較差の<br>評価から除く。   |    |
|       |             |                  |     |    |                            |              |                              |     |            | 5. 評価する範囲は、連続する一つの<br>面とすることを基本とする。規格値が<br>変わる場合は、評価区間を分割する<br>か、あるいは現格値の条件の最も厳し<br>い値を採用する。 |    |

単位: mm

|       | -1-          |        | - |    |       |       |   |   |   | _ |                           | , , , , , , , , , , , , , , , , , ,                                  |  |
|-------|--------------|--------|---|----|-------|-------|---|---|---|---|---------------------------|--|--|
| 編     | 章            | 節      |   | 枝番 |       | 種     | 測 | 定   | 項 | 目 | 規格値                       | 測定基準測定箇所   | 摘要   |
| 1 共通編 | 2<br>土<br>工  | 4 道路土工 | 5 |    | 法面整形工 | (盛土部) | 厚 | <u> </u>  | đ | t | <b>※</b> −30              | 施工延長 40mにつき1 箇所、延長 40m以下のものは1 施工箇所につき2 箇所。法の中央で測定。<br>※土羽打ちのある場合に適用。 |  |
| 1 共通編 | 3無筋、鉄筋コンクリート | 7 鉄筋工  | 4 |    | 組立て   |       |   | <ul><li>2 均 情</li><li>3 方 情</li><li>4 方 情</li><li>5 方 情</li><li>6 方 情</li><li>7 方 情&lt;</li></ul> | - |   | 生も<br>生もかつ<br>最小かぶり<br>以上 | カーコ  | ・<br>(かぶり)<br>当たり 4 箇<br>行程度。同一<br>k筋上での測<br>ご は 行 わ な |

# 改訂【R4.10】

| 編     | 弹            | 節      | 条 | 枝番 |       | 種     | 測 | 定习     | Į E | 1 | 規格値          | 測 定 基 準 測 定 箇 所 摘  | 要  |
|-------|--------------|--------|---|----|-------|-------|---|--------|-----|---|--------------|--|--|
| 1 共通編 | 2<br>±<br>I  | 4 道路土工 | 5 |    | 法面整形工 | (盛土部) | 厚 | ć      | ş t | t | <b>※</b> −30 | 施工延長 40mにつき1ヶ所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。   |  |
| 1 共通編 | 3無筋、鉄筋コンクリート | 7 鉄筋工  | 4 |    | 組立て   |       |   | 物間 。 。 |     |   |              | d = D<br>D: n 本間の延長<br>n: 10 本程度とする<br>6: 鉄筋径<br>工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示力書(設計編:標準7編2章21)参照ただし、道路橋示力書の適用を受ける橋については、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書の13年22 体験コンクリート様については、第3編3年218-2 床版工を適用する。注 3) 新設のコンクリート 株成桁(PC 橋舎む)の鉄筋については、第3編3年2-18-2 床版工を適用する。注 3) 新設のコンクリート 構造物 である内空断面積 25 ㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊対験によるコンクリート構造物中の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊対験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。 | とのす所司ら則 りり、でり間るはじな定 )4同のの「個人」の「個人」では、「一人」では、「一人」では、「一人」では、「一人」では、「一人」では、「一人」では、「一人」では、「一人」では、「一人」では、 |

| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工 種                            |    | 測 : | 定項  | 目        | ŧ    | 見格          | 値 | 測定基準   | 測定箇所 | 摘 要 |
|-------------|-------------|-------------|---|----|--------------------------------|----|-----|-----|----------|------|-------------|---|--|------|-----|
| 3 土 木       | 2 一般        | 3 共通        | 4 |    | 矢板工 [指定仮設・<br>任意仮設は除く]         |    | 基   | 準 高 | $\nabla$ |      | ±50         |   | 基準高は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは1 施工箇 |      |     |
| 工事共         | 施工          | 的工種         |   |    | (鋼矢板)<br>(軽量鋼矢板)<br>(コンクリート矢板) |    | 根   | 入   | 長        | THE. | <b>殳計値以</b> | 上 | 所につき 2 箇所。<br>変位は、施工延長 20m(測点間隔 25m<br>の場合は 25m)につき 1 箇所、延長 20       | 7777 |     |
| 通編          |             |             |   |    | (広幅鋼矢板)<br>(可とう鋼矢板)            |    | 変   | 位   | . Q      |      | 100         |   | m (又は 25m) 以下のものは1施工箇<br>所につき2箇所。                                    |      |     |
|             |             |             |   |    |                                |    | 延   | 長   | L        |      | -200        |   |  |      |     |
|             |             |             |   |    |                                |    |     |     |          |      |             |   |  |      |     |
|             |             |             |   |    |                                |    |     |     |          |      |             |   |  |      |     |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般        | 3 共通:       | 5 |    | 縁石工 (縁石・アスカーブ)                 |    | 延   | 長   | L        |      | -200        |   | 1箇所/1施工箇所<br>ただし、3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)舗装工編 計測技術                  |      |     |
| 工事共通編       | 施工          | 的工種         |   |    |                                |    |     |     |          |      |             |   | (断面管理の場合)」の規定により測点による管理を行う場合は、延長の変化点で測定。                             |      |     |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 3<br>共<br>通 | 6 |    | 小型標識工                          |    | 設置  | 高台  | Н        | nii. | 设計値以        | 上 | 1箇所/1基   |      |     |
| 工事          | 施工          | 的工          |   |    |                                |    | 幅   | w   | (D)      |      | -30         |   | 基礎 1 基毎  | w(D) |     |
| 共通編         |             | 種           |   |    |                                | 基礎 | 高さ  | :   | h        |      | -30         |   |  |      |     |
|             |             |             |   |    |                                |    | 根   | 入   | れ長       | ii.  | 设計値以        | 上 |  | H h  |     |
|             |             |             |   |    |                                |    |     |     |          |      |             |   |  |      |     |
|             |             |             |   |    |                                |    |     |     |          |      |             |   |  |      |     |
|             |             |             |   |    |                                |    |     |     |          |      |             |   |  |      |     |

# 改訂【R4.10】

| 編      | 章    | 節      | 条   | 枝番 | 工工種                            |    | VBri 4 | 定項  | В        | 規格値   | 測定基準測定箇所摘   | 105 |
|--------|------|--------|-----|----|--------------------------------|----|--------|-----|----------|-------|---|-----|
| 編 3    | 早 2  | 即 3    | 采 4 |    | 大 性                            |    | 側,     | 正 埧 | H        | 規 恰 旭 | 例 定 基 學 例 定 固 所 摘 多<br>基準高は施工延長 40m(測点間隔 25m                    |     |
| 土木     | 般    | 共通     | 4   |    | 任意仮設は除く)                       |    | 基      | 準 高 | $\nabla$ | ±50   | の場合は 50m) につき 1 ヶ所、延長 40<br>m (または 50m) 以下のものは 1 施工             |     |
| 工事共    | 施工   | 的工種    |     |    | (鋼矢板)<br>(軽量鋼矢板)<br>(コンクリート矢板) |    | 根      | 入   | 長        | 設計値以上 | 箇所につき 2 箇所。<br>変位は、施工延長 20m(測点間隔 25m<br>の場合は 25m)につき 1 箇所、延長 20 |     |
| 通編     |      |        |     |    | (広幅鋼矢板)<br>(可とう鋼矢板)            |    | 変      | 位   | . Q      | 100   | m (または 25m) 以下のものは1 施工<br>箇所につき2ヶ所。                             |     |
|        |      |        |     |    |                                |    | 延      | 長   | L        | -200  | 「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要額(案)」に基づき出来形管理を実<br>施する場合は、同要額に規定する計測     |     |
|        |      |        |     |    |                                |    |        |     |          |       | 精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。                             |     |
|        |      |        |     |    |                                |    |        |     |          |       | 77  |     |
| 3<br>土 | 2    | 3 共    | 5   |    | 縁石工                            |    | 延      | 長   | L        | -200  | 1ヶ所/1施工箇所<br>ただし、3次元計測技術を用いた出来                                  |     |
| 木工     | 般施   | 通的     |     |    | (縁石・アスカーブ)                     |    |        |     |          |       | 形管理要領(案)」の規定により測点<br>による管理を行う場合は、延長の変化                          |     |
| 事共     | I    | 工種     |     |    |                                |    |        |     |          |       | 点で測定。   |     |
| 通編     |      |        |     |    |                                |    |        |     |          |       |   |     |
| 3 土 木  | 2 一般 | 3 共通   | 6   |    | 小型標識工                          |    | 設置     | 高さ  | Н        | 設計値以上 | 1ヶ所/1基  |     |
| 工事     | 施工   | 的<br>工 |     |    |                                |    | 幅      | w   | (D)      | -30   | 基礎 1 基毎 w(D)  |     |
| 共通編    |      | 種      |     |    |                                | 基礎 | 高さ     |     | h        | -30   |   |     |
| 17110  |      |        |     |    |                                |    | 根      | 入:  | れ 長      | 設計値以上 | H   h   |     |
|        |      |        |     |    |                                |    |        |     |          |       | 5/JS/J/S  |     |
|        |      |        |     |    |                                |    |        |     |          |       |   |     |
|        |      |        |     |    |                                |    |        |     |          |       |   |     |
|        | l ,  |        |     |    |                                |    |        |     |          |       |   |     |

| 編         | 章      | 節       | 条  | 枝番 | T. 種   | 測定項目   | 規 格 値                    | 測定基準   | 測定箇所           | 摘 要  |
|-----------|--------|---------|----|----|--|--|--------------------------|--|----------------|------|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 3 共通的工種 | 29 | 1  | 上 復<br>側溝工<br>(プレキャストU型側<br>溝)<br>(上型側溝工)<br>(自由 勾配側<br>溝)<br>(管渠) | 基準高▽<br>延長L  | ±30                      | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、施工延長 40m (双は 50m) 以下のものは 1施工箇所につき 2ヶ所。「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 計測技術(断面管理の場合)」の規定による別点の管理方法を用いることができる。 1箇所/1施工箇所ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定により管理を行う場合は、延長の変化点で測定。  | 045 AE ISI 771 | IN X |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 3 共通的工種 | 29 | 2  | 側溝工 (現場打水路工)   | 基準高▽<br>厚さt <sub>1</sub> , t <sub>2</sub><br>幅 w<br>高さh <sub>1</sub> , h <sub>2</sub><br>延長L | ±30  -20  -30  -30  -200 | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、施工延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。  | h <sub>1</sub> |      |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 3 共通的工種 | 29 | 3  | 側溝工<br>(暗渠工)   | 基準高▽<br>幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub><br>深 さ h   | ±30<br>-50<br>-30        | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1施工につき 2ヶ所。<br>延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1施工につき 2ヶ所。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 舗装工編 計測技術<br>(断面管理の場合)」の規定による<br>測点の管理方法を用いることができる。<br>(なお、製品使用の場合は、製品寸<br>法は、規格証明書等による。)<br>1施工箇所毎<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」の規定に<br>より管理を行う場合は、延長の変<br>化点で測定。 | W1   W2   h    |      |

## 改訂【R4.10】

| 編           | 章      | 節   | 条  | 枝番 | 工種  | 測定項                | 目                | 規 格 値 | 測 定 基 準   | 測 定 箇 所                         | 摘 要 |
|-------------|--------|-----|----|----|---|--------------------|------------------|-------|---|---------------------------------|-----|
| 3 土木工事共通編   | 2 一般施工 | 共通  | 29 | 1  | 側溝工<br>(プレキャストU型側<br>溝)<br>(L型側溝工)<br>(自由 勾配側<br>溝)<br>(管渠) | 基準高                |                  | ±30   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、施工延長 40m (または 50m) 以下のものは 1施工箇所につき 2ヶ所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。 |                                 |     |
|             |        |     |    |    |   | 延長                 | L                | -200  | 1箇所/1施工箇所<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」の規定に<br>より管理を行う場合は、延長の変<br>化点で測定。   | 9890 9898<br>                   |     |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般   | 共   | 29 | 2  | 側溝工 (現場打水路  | 基 準 高              | $\nabla$         | ±30   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき1ヶ所、 施工延長 40m (または 50m) 以下のもの  | t <sub>1</sub> W t <sub>2</sub> |     |
| 小工 事 共      | 施工     |     |    |    | 工)  | 厚さ t <sub>1</sub>  | . t <sub>2</sub> | -20   | は1施工箇所につき 2 ヶ所。   |                                 |     |
| 通編          |        | 悝   |    |    |   | 幅                  | w                | -30   |   |                                 |     |
|             |        |     |    |    |   | 高 さ h <sub>1</sub> | h 2              | -30   |   |                                 |     |
|             |        |     |    |    |   | 延長                 | L                | -200  | 1 施工箇所毎   |                                 |     |
| 3 土 木       | 2 一般;  | 共通  | 29 | 3  | 側溝工 (暗渠工)   | 基準高                | $\nabla$         | ±30   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は50m) につき1ヶ所。<br>延長 40m (または 50m) 以下のも   | W1                              |     |
| 工事共通        | 施工     | 的工種 |    |    |   | 幅 w <sub>1</sub> , | $\mathbf{w}_2$   | -50   | のは1施工につき2ヶ所。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)舗装工編 計測技術<br>(断面管理の場合)」の規定による   | /////////h                      |     |
| 編           |        |     |    |    |   | 深さ                 | h                | -30   | 測点の管理方法を用いることができる。<br>(なお、製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による。)  | W2                              |     |
|             |        |     |    |    |   | 延長                 | L                | -200  | 1施工箇所毎<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」の規定に<br>より管理を行う場合は、延長の変<br>化点で測定。  |                                 |     |

|                  |       |                  |   |    |  |                     |          |                 |  |                | 単位∶mm |
|------------------|-------|------------------|---|----|--|---------------------|----------|-----------------|--|----------------|-------|
| 編                | 章     | 節                | 条 | 枝番 | 工種   | 測定項                 | 目        | 規格値             | 測定基準   | 測定箇所           | 摘要    |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 4<br>基<br>礎<br>工 | 1 |    | 一般事項<br>(切込砂利)<br>(砕石基礎工)                      | 幅                   | w        | 設計値以上           | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき1ヶ所, 延長 40m (又は50m) 以下のものは1施工<br>箇所につき 2ヶ所。 | t <sub>2</sub> |       |
| 事共通編             | I     |                  |   |    | <ul><li>(割ぐり石基礎工)</li><li>(均しコンクリート)</li></ul> | 厚さ t <sub>1</sub> , | t 2      | -30             | 箇所単位の物については適宜構造図<br>の寸法標示箇所を測定する。  | W W            |       |
|                  |       |                  |   |    |  | 延長                  | L        | 各構造物の規<br>格値による |  |                |       |
|                  |       |                  |   |    |  |                     |          |                 |  |                |       |
|                  |       |                  |   |    |  |                     |          |                 |  |                |       |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 4 基礎工            | 3 | 1  | 基礎工 (護岸)<br>(現場打)                              | 基準高                 | $\nabla$ | ±30             | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所 延長 40m (又は50m) 以下のものは1施工<br>箇所につき 2ヶ所。 | w d            |       |
| 事共通編             | I     |                  |   |    |  | 幅                   | w        | -30             | 「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)護岸工編」の規定によ<br>る測点の管理方法を用いることがで<br>きる。            | h              |       |
|                  |       |                  |   |    |  | 高き                  | h        | -30             |  | ::             |       |
|                  |       |                  |   |    |  | 延長                  | L        | -200            |  |                |       |
|                  |       |                  |   |    |  |                     |          |                 |  |                |       |
|                  |       |                  |   |    |  |                     |          |                 |  |                |       |

## 改訂【R4.10】

|                  |                  |     |   |    |  |                                    |                 |   |                | 平位  |
|------------------|------------------|-----|---|----|--|------------------------------------|-----------------|---|----------------|-----|
| 編                | 章                | 節   | 条 | 枝番 | 工種   | 測定項目                               | 規格値             | 測定基準  | 測 定 箇 所        | 摘 要 |
| 3 土木工            | 2<br>一般<br>施     | 基礎工 | 1 |    | 一般事項<br>(切込砂利)<br>(砕石基礎工)                      | 幅 w                                | 設計値以上           | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長40m (または50m) 以下のものは1<br>施工箇所につき2ヶ所。 | t <sub>2</sub> |     |
| 事共通編             | I                |     |   |    | <ul><li>(割ぐり石基礎工)</li><li>(均しコンクリート)</li></ul> | 厚さ t <sub>1</sub> , t <sub>2</sub> | -30             | 箇所単位の物については適宜構造図<br>の寸法標示箇所を測定する。   | W W            |     |
|                  |                  |     |   |    |  | 延 長 L                              | 各構造物の規<br>格値による |   |                |     |
|                  |                  |     |   |    |  |                                    |                 |   |                |     |
|                  |                  |     |   |    |  |                                    |                 |   |                |     |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2<br>一<br>般<br>施 | 基礎  | 3 | 1  | 基礎工 (護岸)<br>(現場打)                              | 基準高 ▽                              | ±30             | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき1ヶ所 延長 40 m (または50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。    | W T            |     |
| 事共通編             | I                |     |   |    |  | 幅 w                                | -30             | 「3次元計測技術を用いた出来形要<br>領(案)」に基づき出来形管理を実<br>施する場合は、同要領に規定する計                  | h              |     |
|                  |                  |     |   |    |  | 高 さ h                              | -30             | 測精度・計測密度を満たす計測方法<br>により出来形管理を実施することが<br>できる。                              | : :            |     |
|                  |                  |     |   |    |  | 延 長 L                              | -200            |   |                |     |
|                  |                  |     |   |    |  |                                    |                 |   |                |     |
|                  |                  |     |   |    |  |                                    |                 |   |                |     |

| 編                | 章     | 節 | 条 | 枝番 | 工種                   | 測定項目    | 規格値                     | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所                | 摘要 |
|------------------|-------|---|---|----|----------------------|---------|-------------------------|--|------------------------|----|
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 |   | 3 | 2  | 基礎工 (護岸)<br>(プレキャスト) | 基 準 高 ▽ | ±30                     | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき1箇所、延長 40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所。 |                        |    |
| 事共通編             | 工     |   |   |    |                      | 延 長 L   | -200                    | 「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)護岸工編」の規定によ<br>る測点の管理方法を用いることがで<br>きる。      |                        |    |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般  | 基 | 4 | 1  | 既製杭工<br>(既製コンクリート    | 基 準 高 ▽ | ±50                     | 全数について杭中心で測定。  | $d = \sqrt{x^2 + y^2}$ |    |
| 工事               | 施工    |   |   |    | 杭)<br>(鋼管杭)          | 根入長     | 設計値以上                   |  | d × × ×                |    |
| 共通編              |       |   |   |    | (H鋼杭)                | 偏心量d    | D/4以内か<br>つ100以内        |  | D T y                  |    |
| 7710             |       |   |   |    |                      | 傾 斜     | 1/100 以内                |  | x                      |    |
| 3<br>土<br>木      | 2     | 基 | 4 | 2  | 既製杭工                 | 基 準 高 ▽ | ±50                     | 全数について杭中心で測定。  | $d = \sqrt{x^2 + y^2}$ |    |
| 木工事              | 般施工   |   |   |    | (鋼管ソイルセメ<br>ント杭)     | 根 入 長   | 設計値以上                   |  |                        |    |
| 共通               | 1     |   |   |    |                      | 偏心量 d   | 100 以内                  |  |                        |    |
| 編                |       |   |   |    |                      | 傾 斜     | 1/100 以内                |  | H x                    |    |
|                  |       |   |   |    |                      | 杭 径 D   | 設計値以上                   |  |                        |    |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般  | 基 | 5 |    | 場所打杭工                | 基 準 高 ▽ | ±50                     | 全数について杭中心で測定。  | $d = \sqrt{x^2 + y^2}$ |    |
| 工事               | 施工    |   |   |    |                      | 根 入 長   | 設計値以上                   |  | d R R R                |    |
| 共通編              |       |   |   |    |                      | 偏心量d    | 100 以内                  |  |                        |    |
|                  |       |   |   |    |                      | 傾 斜     | 1/100 以内                |  | x UUUU                 |    |
|                  |       |   |   |    |                      | 杭 径 D   | {設計径(公<br>称径)-30}<br>以上 |  |                        |    |

| 編                | 章           | 節   | 条 | 枝番 | 工種                | 測定項目    | 規格値                     | 測 定 基 準   | 測 定 箇 所                | 摘 要 |
|------------------|-------------|-----|---|----|-------------------|---------|-------------------------|---|------------------------|-----|
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施       | 基礎  | 3 | 2  | 基礎工 (護岸) (プレキャスト) | 基 準 高 ▽ | ±30                     | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき1箇所、延長 40m (または50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 | <b>▼</b>               |     |
| 事共通編             | I           |     |   |    |                   | 延 長 L   | -200                    | 「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領 (案)」の規定による測点の<br>管理方法を用いることができる。              |                        |     |
| 3 土 木            | 2<br>一<br>般 | 基   | 4 | 1  | 既製杭工<br>(既製コンクリート | 基 準 高 ▽ | ±50                     | 全数について杭中心で測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形要                                     | $d = \sqrt{x^2 + y^2}$ |     |
| 工事               | 施工          |     |   |    | 杭)<br>(鋼管杭)       | 根入長     | 設計値以上                   | 領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計                                      | d X n n n              |     |
| 共通編              |             |     |   |    | (H鋼杭)             | 偏心量d    | D/4以内か<br>つ100以内        | 測精度・計測密度を満たす計測方法<br>により出来形管理を実施することが<br>できる。                          | D T y                  |     |
| 7,710            |             |     |   |    |                   | 傾 斜     | 1/100 以内                |   | x                      |     |
| 3<br>土           | 2           | 4 基 | 4 | 2  | 既製杭工              | 基 準 高 ▽ | ±50                     | 全数について杭中心で測定。   | $d = \sqrt{x^2 + y^2}$ |     |
| 木工事              | 般施工         | T.  |   |    | (鋼管ソイルセメ<br>ント杭)  | 根入長     | 設計値以上                   |   |                        |     |
| 井 通 編            |             |     |   |    |                   | 偏心量d    | D/4以内<br>かつ<br>100 以内   |   |                        |     |
| 17110            |             |     |   |    |                   | 傾 斜     | 1/100 以内                |   | x IIIIII               |     |
|                  |             |     |   |    |                   | 杭 径 D   | 設計値以上                   |   |                        |     |
| 3 土              | 2 一般        | 基   | 5 |    | 場所打杭工             | 基 準 高 ▽ | ±50                     | 全数について杭中心で測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形要                                     | $d = \sqrt{x^2 + y^2}$ |     |
| 工事               | 施工          | I   |   |    |                   | 根入長     | 設計値以上                   | 領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計                                      | d X n n n              |     |
| 共通編              |             |     |   |    |                   | 偏心量d    | 100 以内                  | 測精度・計測密度を満たす計測方法<br>により出来形管理を実施することが<br>できる。                          |                        |     |
|                  |             |     |   |    |                   | 傾 斜     | 1/100 以内                |   | x UUUU                 |     |
|                  |             |     |   |    |                   | 杭 径 D   | {設計径(公<br>称径)-30}<br>以上 |   |                        |     |

| 編                | 章                | 節                | 条 | 枝番 | 工 種                        | 測定項目                               | 規 格 値  | 測定基準測定箇所摘要   |
|------------------|------------------|------------------|---|----|----------------------------|------------------------------------|--------|--|
| 3 土木工事           | 2 一般施工           | 4 基礎工            | 9 |    | 鋼管矢板基礎工                    | 基 準 高 ▽                            | ±100   | 基準高は、全数を測定。<br>偏心量は、1基ごとに測定。 $\mathbf{d} = \sqrt{\mathbf{x}^2 + \mathbf{y}^2}$ |
| 事<br>共<br>通<br>編 | I                |                  |   |    |                            | 根入長                                | 設計値以上  |  |
|                  |                  |                  |   |    |                            | 偏心量d                               | 300 以内 | $\bigcup_{x} j \to y$  |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般             | 5<br>石           | 3 | 1  | コンクリートブロックエ<br>(コンクリートブロック | 基 準 高 ▽                            | ±50    | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき 1 箇所、延長 40m<br>(又は50m) 以下のものは 1 施工箇所       |
| 工事共              | 施工               | ブロッ              |   |    | 積)<br>(コンクリートブロック<br>張り)   | 法<br>長                             | -50    | につき2箇所。厚さは上端部及び下端<br>部の2箇所を測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理                            |
| 通編               |                  | ク積(ご             |   |    |                            | ℓ ℓ ≥ 3 m                          | -100   | 要領 (案) 護岸工編」の規定による測点の管理方法を用いることができる。   |
|                  |                  | 張) 工             |   |    |                            | 厚さ (ブロック積張)<br>t <sub>1</sub>      | -50    | ※舗装に接する場合の規準高は±30  |
|                  |                  |                  |   |    |                            | 厚さ(裏込) t 2                         | -50    |  |
|                  |                  |                  |   |    |                            | 延 長 L                              | -200   | t <sub>2</sub>   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2<br>一<br>般<br>施 | 5<br>石<br>・<br>ブ | 3 | 2  | コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)     | 基 準 高 ▽                            | ±50    | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (以は50m) 以下のものは 1 施工箇所 につき 2 箇所。    |
| 事共通編             | 工                | ロック積             |   |    |                            | 法 長 ℓ                              | -100   | 「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要領 (案) 護岸工編」の規定による測<br>点の管理方法を用いることができる。                  |
|                  |                  | 傾 (張)            |   |    |                            | 延長 L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub> | -200   | L2   |

| 編                | 章     | 節                 | 条 | 枝番 | 工 種                        | 測定項目                               | 規 格 値  | 測 定 基 準  | 測定箇所                                       | 摘 要 |
|------------------|-------|-------------------|---|----|----------------------------|------------------------------------|--------|--|--|-----|
| 3 土木工            | 2 一般施 | 4 基礎工             | 9 |    | 鋼管矢板基礎工                    | 基準高 ▽                              | ±100   | 基準高は、全数を測定。<br>偏心量は、1基ごとに測定。   | $d = \sqrt{x^2 + y^2}$                     |     |
| 事共通編             | I     |                   |   |    |                            | 根入長                                | 設計値以上  |  |  |     |
|                  |       |                   |   |    |                            | 偏心量 d                              | 300 以内 |  | $\bigcup_{x \to d} y$                      |     |
| 3 土              | 2 一般: | 5 石               | 3 | 1  | コンクリートプロックエ<br>(コンクリートプロック | 基 準 高 ▽                            | ±50    | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m<br>(または50m) 以下のものは1施工箇            | t <sub>1</sub> t <sub>2</sub>              |     |
| 工事共              | 施工    | ブロッ               |   |    | 積)<br>(コンクリートブロック<br>張り)   | と < 3 m                            | -50    | 所につき2ヶ所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理                                 | □ 0   B                                    |     |
| 通編               |       | ク積(               |   |    |                            | £ ℓ ℓ ≥ 3 m                        | -100   | 要領 (案)」の規定による測点の管理<br>方法を用いることができる。  | t <sub>1</sub>                             |     |
|                  |       | 張) 工              |   |    |                            | 厚さ (ブロック積張)<br>t <sub>1</sub>      | -50    | ※舗装に接する場合の規準高は±30<br> とする。   | t <sub>1</sub> t <sub>2</sub>              |     |
|                  |       |                   |   |    |                            | 厚さ(裏込) t 2                         | -50    |  |  |     |
|                  |       |                   |   |    |                            | 延 長 L                              | -200   |  | t <sub>1</sub> $\checkmark$ t <sub>2</sub> |     |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 15<br>石<br>・<br>ブ | 3 | 2  | コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)     | 基 準 高 ▽                            | ±50    | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき1ヶ所、延長 40m<br>(または50m) 以下のものは1施工箇<br>所につき2ヶ所。 | L 1  |     |
| 事共通編             | 工     | ロック               |   |    |                            | 法 長 &                              | -100   | 「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要領(案)」の規定による測点の管理<br>方法を用いることができる。                          |  |     |
| ,,110            |       | 積 (張)             |   |    |                            | 延長 L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub> | -200   |  | <u>++++}++++</u> i±-\$7<br>                |     |

| 編           | 章                | 節                |   | 枝番 | 工種                     | 測定項目                     | 規格値  | 測 定 基 準   | 測 定 箇 所                       | 摘要 |
|-------------|------------------|------------------|---|----|------------------------|--------------------------|------|---|-------------------------------|----|
| 3 土木工       | 2<br>一<br>般<br>施 | 5<br>石<br>・<br>ブ | 3 | 3  | コンクリートブロック工 (天端保護プロック) | 基 準 高 ▽                  | ±50  | 施工延長40m (測点間隔25mの場合<br>は50m) につき1箇所、延長40m<br>(又は50m) 以下のものは1施工箇<br>所につき2箇所。 | W TRIII                       |    |
| 事共通編        | I                | ロック積             |   |    |                        | 幅 w                      | -100 | 「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)護岸工編」の規定によ<br>る測点の管理方法を用いることがで<br>きる。             | 間詰かご                          |    |
|             |                  | (張) 工            |   |    |                        | 延 長 L                    | -200 |   | 連結ブロック                        |    |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般             | 5<br>石           | 4 |    | 緑化ブロックエ                | 基 準 高 ▽                  | ±50  | 施工延長40m (測点間隔25mの場合<br>は50m) につき1箇所、延長40m<br>(又は50m) 以下のものは1施工箇             | t <sub>1</sub> t <sub>2</sub> |    |
| 不工事         | 施工               | プロ               |   |    |                        | 法 & < 3 m                | -50  | 所につき2箇所。厚さは上端部及び<br>下端部の2箇所を測定。   |                               |    |
| 共通編         |                  | ック積              |   |    |                        | 長<br>ℓ ℓ ≥ 3 m           | -100 | 「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)護岸工編」の規定によ<br>る測点の管理方法を用いることがで                    | t <sub>1</sub>                |    |
| 利用          |                  | 張 (張)            |   |    |                        | 厚さ (ブロック) t <sub>1</sub> | -50  | る例点の管理方法を用いることができる。   | t <sub>1</sub> t <sub>2</sub> |    |
|             |                  | I                |   |    |                        | 厚さ(裏込) t <sub>2</sub>    | -50  | ※舗装に接する場合の規準高は±30<br>とする。   |                               |    |
|             |                  |                  |   |    |                        | 延長L                      | -200 |   | $t_1$ $t_2$                   |    |
| 3 土木        | 2 一般             | 5 石・             | 5 |    | 石積(張)工                 | 基 準 高 ▽                  | ±50  | 施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1箇所、延長40m<br>(又は50m) 以下のものは1施工箇                | t <sub>1</sub> t <sub>2</sub> |    |
| 工事共         | 施工               | プロッ              |   |    |                        | 法 & < 3 m                | -50  | 所につき2箇所。厚さは上端部及び<br>下端部の2箇所を測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管                         | e/                            |    |
| 通編          |                  | ク積(張             |   |    |                        | £ ℓ ≥ 3 m                | -100 | 理要領(案)護岸工編」の規定による測点の管理方法を用いることができる。   | t <sub>1</sub>                |    |
|             |                  | 版) 工             |   |    |                        | 厚さ(石積・張)tュ               | -50  | ※舗装に接する場合の規準高は±30<br>とする。   |                               |    |
|             |                  |                  |   |    |                        | 厚さ(裏込) t <sub>2</sub>    | -50  |   | t <sub>2</sub>                |    |
|             |                  |                  |   |    |                        | 延 長 L                    | -200 |   |                               |    |

## 改訂【R4.10】

| 編           | 章     | 節                | 条 | 技番 | 工 種                    | 測定項目                     | 規格値  | 測定基準   | 測 定 箇 所                       | 摘要 |
|-------------|-------|------------------|---|----|------------------------|--------------------------|------|--|-------------------------------|----|
| 3 土木工       | 2 一般施 | 5<br>石<br>・<br>ブ | 3 | 3  | コンクリートプロック工 (天端保護プロック) | 基 準 高 ▽                  | ±50  | 施工延長40m (測点間隔25mの場合<br>は50m) につき1ヶ所、延長40m<br>(または50m) 以下のものは1施工<br>箇所につき2ヶ所。 | W TRIII                       |    |
| 事共通編        | エ     | ロック積             |   |    |                        | 幅 w                      | -100 | 「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領 (案)」の規定による測点の<br>管理方法を用いることができる。                     | 間詰かご<br>w<br>w                |    |
|             |       | (張)工             |   |    |                        | 延 長 L                    | -200 |  | 連結ブロック                        |    |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般  | 5<br>石           | 4 |    | 緑化ブロックエ                | 基準高 ▽                    | ±50  | 施工延長40m (測点間隔25mの場合<br>は50m) につき1ヶ所、延長40m<br>(または50m) 以下のものは1施工              | t <sub>1</sub> t <sub>2</sub> |    |
| 工事          | 施工    | プロ               |   |    |                        | 法 & < 3 m                | -50  | 箇所につき2ヶ所。厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。   |                               |    |
| 共通編         |       | ック積              |   |    |                        | ₽                        | -100 | 「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領 (案)」の規定による測点の<br>管理方法を用いることができる。                     | t <sub>1</sub>                |    |
|             |       | (張)              |   |    |                        | 厚さ (ブロック) t <sub>1</sub> | -50  | ※舗装に接する場合の規準高は±30  | t <sub>1</sub> t <sub>2</sub> |    |
|             |       | エ                |   |    |                        | 厚さ(裏込) t <sub>2</sub>    | -50  | とする。   |                               |    |
|             |       |                  |   |    |                        | 延 長 L                    | -200 |  | tı X                          |    |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般: | 5 石・.            | 5 |    | 石積(張)工                 | 基 準 高 ▽                  | ±50  | 施工延長40m (測点間隔25mの場合<br>は 50m) につき1ヶ所、延長 40m<br>(または50m) 以下のものは1施工            | t <sub>1</sub> t <sub>2</sub> |    |
| 工事共         | 施工    | ブロック             |   |    |                        | 2 < 3 m<br>法             | -50  | 箇所につき2ヶ所。厚さは上端部及<br>び下端部の2箇所を測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管                         | 2                             |    |
| 通編          |       | 積(               |   |    |                        | ℓ ≥ 3 m                  | -100 | 理要領 (案)」の規定による測点の<br>管理方法を用いることができる。   | t <sub>1</sub>                |    |
|             |       | 張) 工             |   |    |                        | 厚さ(石積・張) t 1             | -50  | ※舗装に接する場合の規準高は±30<br>とする。  |                               |    |
|             |       |                  |   |    |                        | 厚さ(裏込) t <sub>2</sub>    | -50  |  | t <sub>2</sub>                |    |
|             |       |                  |   |    |                        | 延 長 L                    | -200 |  |                               |    |

| 編         | 章     | 節      | 条 | 枝番 | 工 種                  | 測定項目    | 規格値 | 測 定 基 準                               | 測 | 定 箇 | 所 | 摘要 |
|-----------|-------|--------|---|----|----------------------|---------|-----|---------------------------------------|---|-----|---|----|
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工 | 6一般舗装工 | 6 |    | 橋面防水工(シート系<br>床版防水層) | シートの重ね幅 |     | 標準重ね幅 100 mmに対し、1 施工箇所毎に目視と測定により全面を確認 |   |     |   |    |

| 編         | 章     | 節      | 条 | 枝番 | 工種                               | 測定項目                        | 個々の<br>(2<br>中規模<br>以上 | 測定値()      | の平<br>※面管                | D測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均<br>小規模<br>以下 | 測定基準測定箇所摘   | 要 |
|-----------|-------|--------|---|----|----------------------------------|-----------------------------|------------------------|------------|--------------------------|--|---|---|
| 3 土木工事共   | 2一般施工 | 6一般舗装工 | 7 | 1  | アスファルト舗装工(下層路盤工)                 | 基準高▽                        | ±40<br>-45             | ±50<br>-45 | —<br>—15                 | -15  | 基準高は延長 40m毎に1 箇所の割と<br>し、道路中心線および端部で測定。<br>厚さは、各車線 (40m毎に右、中、<br>左、を交互に) 1 箇所を掘り起こし<br>測定。<br>幅、中心線偏心量(幅管理において  |   |
| 通編        |       |        |   |    |                                  | 中心線 偏心量                     | -50                    |            | 100                      |  | <b>遠路中心験から左、右を測定する場</b> 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個<br><b>合は不要</b> ) は、延長 <b>40</b> m毎に 1 箇所<br>の割に測定。<br>(X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個<br>末満の場合は測定値の平均値は適用しない。 |   |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工 | 6一般舗装工 | 7 | 2  | アスファルト舗装工<br>(下層路盤工)<br>(面管理の場合) | <b>延長L</b> 基準高▽ 厚さあるい は標高較差 | ±90<br>±90             | ±90<br>±90 | +40<br>-15<br>+40<br>-15 | +50  | 1. 3 次元データによる出来形管理において「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 舗装工編 タ  |   |

|             |             |             |   |    |                      |                |       |           |            |   | 里位:  | 111111 |
|-------------|-------------|-------------|---|----|----------------------|----------------|-------|-----------|------------|---|--|--------|
|             |             |             |   |    |                      |                |       | 規         | 格値         |   |  |        |
| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工種                   | 測定項目           |       | 測定値<br>X) | の平         | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測 定 基 準 測 定 箇 所 摘  | 要      |
|             |             |             |   |    |                      |                | 中規模以上 | 小規模<br>以下 |            | 小規模<br>以下                                   |  |        |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 7 | 1  | アスファルト舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽           | ±40   | ±50       | _          | _   | 基準高は、延長 40m毎に1箇所の割<br>とし、道路中心線及び端部で測定。<br>早さは、各車線( <b>40m</b> 毎に <b>右、中、</b><br>施工面積が <b>1,000 m</b> 以上とする。                            |        |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |   |    |                      | 厚き             | -45   | -45       | -15        | -15   | <b>左、を交互に</b> ) 1 ヶ所を掘り起こし 小規模工事とは、 <b>施工面積が 1,000 ㎡</b> 測定。   |        |
| 通編          |             |             |   |    |                      | 幅              | -50   | -50       | _          | _   | 道路中心線から左、右を測定する場 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個合は不要)は、延長 40m毎に 1ヶ所<br>の割に測定。  |        |
|             |             |             |   |    |                      | 中心線<br>偏心量     |       | ±         | : 100      |   | 「3次元計測技術を用いた出来形管ない。ただし、厚さのデータ数が 10 個理要領(案)」の規定による測点の未満の場合は測定値の平均値は適用しな管理方法を用いることができる。  |        |
|             |             |             |   |    |                      | 延長L            |       | -         | 200        |   | BELINE IN CONCORD  |        |
| 3 土 木 -     | 2 一般        | 6一般は        | 7 | 2  | アスファルト舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽           | ±90   | ±90       | +40<br>-15 | +50<br>-15                                  | 1. 3次元データによる出来形管理<br>において「3次元計測技術を用いた<br>出来形管理要領(業)」に基づき出<br>施工面積が 1,000 m以上とする。   |        |
| 工事共通        | 施工          | 舗装工         |   |    | (面管理の場合)             | 厚さあるい<br>は標高較差 | ±90   | ±90       | +40<br>-15 | +50<br>-15                                  | 来形管理を実施する場合、その他本<br>基準に規定する計測特度・計測密度<br>表満たす計測方法により出来形管理<br>を実施する場合に適用する。  |        |
| 編           |             |             |   |    |                      |                |       |           |            |   | 2. 個々の計測値の規格値には計測<br>精度として±10mmが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面と<br>し、全ての点で標高値を算出する。<br>計測密度は1点/m2(平面投影面積<br>当の)以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該 |        |
|             |             |             |   |    |                      |                |       |           |            |   | 層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する 場合は、直下層の目標高さ+直下層 の標高較差平均値+設計厚さから求 まる高さとの差とする。この場合、 基準高の評価は省略する。                                       |        |
|             |             |             |   |    |                      |                |       |           |            |   |  |        |

| 編      | 章           | 節           | 条 | 枝番                                    | 工種                   | 測定項目           |       | 測定値 | 格値 10個 の平               | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合 | 測定基準測定箇所権   | 要 |
|--------|-------------|-------------|---|---------------------------------------|----------------------|----------------|-------|-----|-------------------------|-------------------------------------|---|---|
| 79.002 | ·           | 24.         |   | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , |                      | 00.00          | 中規模以上 | -/  | ※面管<br>は測定<br>中規模<br>以上 | [値の平均                               |   |   |
| 3 土 木  | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 7 | 3                                     | アスファルト舗装工<br>(上層路盤工) | 厚き             | -25   | -30 | -8                      | -10                                 | 層、中心線偏心量 (幅管理において 工事規模の考え方<br>道路中心線から左、右を測定する場 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>合は不要)は、延長 40m毎に1箇所 施工面積が 1,000 m以上とする。               |   |
| 工事共    | 施工          | 舗装工         |   |                                       | 粒度調整路盤工              | 幅              | -50   | -50 | _                       | _                                   | か割とし、厚さは、各車線( <b>40加</b> 毎 小規模工事とは、 <b>施工面積が 1,000 ㎡</b> に右、中、左、を交互に)に 1 箇所 <b>未満</b> とする。<br>を掘り起こして測定。                  |   |
| 通編     |             |             |   |                                       |                      | 中心線<br>偏心量     |       | ±   | : 100                   |                                     | 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個<br>以上の割合で規格値を満足しなければな<br>らないとともに、10 個の測定値の平均  |   |
|        |             |             |   |                                       |                      | 延長L            |       | _   | 200                     |                                     | 値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個<br>未満の場合は測定値の平均値は適用しな   |   |
| 3      | 2           | 6           | 7 | 4                                     | アスファルト舗装工            |                |       |     |                         |                                     | い。  1. 3 次元データによる出来形管理 工事規模の考え方   |   |
| 土木工    | 一般施         | 一般舗         | · | •                                     | (上層路盤工) 粒度調整路盤工      | 厚さあるい<br>は標高較差 | -54   | -63 | -8                      | -10                                 | において「3次元計測技術を用いた<br>中規模以上の工事とは、管理図等を描<br>いた上での管理が可能な工事をいい、舗<br>を計測技術(面管理の場合)」に基<br>装施工面積が10,000m2以上あるいは使用                 |   |
| 一事共通   | I           | 装工          |   |                                       | (面管理の場合)             |                |       |     |                         | I                                   | 7き出来形管理を実施する場合、そ する基層および表層用混合物の総使用量<br>の他本基準に規定する計測精度・計<br>削密度を満たす計測方法により出来<br>・ 小規模工事とは、中規模以上の工事よ                        |   |
| 編      |             |             |   |                                       |                      |                |       |     |                         |                                     | 財団役と同じ、引のの人法により加木<br>が発性主要と描える場合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測 管理に反映できる規模の工事をいい、同<br>情度として土10mが含まれている。<br>一工種の施工が数日連続する場合で、次 |   |
|        |             |             |   |                                       |                      |                |       |     |                         |                                     | 3. 計測は設計幅員の内側全面と<br>し、全ての点で標高値を算出する。<br>①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満   |   |
|        |             |             |   |                                       |                      |                |       |     |                         |                                     | 計測密度は1点/m2 (平面投影面積 ②使用する基層及び表層用混合<br>当たり)以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該  |   |
|        |             |             |   |                                       |                      |                |       |     |                         |                                     | 圏の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高軟差として評価する<br>場合は、直下層の目標高さ+直下層   |   |
|        |             |             |   |                                       |                      |                |       |     |                         |                                     | D標高軟差平均値+設計厚さから求<br>まる高さとの差とする。   |   |
|        |             |             |   |                                       |                      |                |       |     |                         |                                     |   |   |

| 編         | 章      | 節       | 条 | 枝番 | 工種                              | 測定項目                  | (2                      | 測定値<br>(X)       | の平<br>※面管<br>は測定                         | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>で値の平均 | 測定基準測定箇所摘   | 要 |
|-----------|--------|---------|---|----|---------------------------------|-----------------------|-------------------------|------------------|--|--|---|---|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 3  | アスファルト舗装工<br>(上層路盤工)<br>粒度調整路盤工 | 厚 さ 幅 中心線<br>偏心量      | 中規模<br>以上<br>-25<br>-50 | 以下<br>-30<br>-50 | 中規模<br>以上<br>- 8<br>-<br>-<br>-<br>- 100 | 以下   | 幅、中心線偏心量(幅管理において<br>道路中心線から左、右を測定する場<br>合は不要)は、延長 40m毎に1ヶ所施工面積が1,000 ㎡以上とする。<br>の割とし、厚さは、各車線(40m毎<br>に右、中、左、を交互に)に1ヶ所<br>を掘り起こして測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管<br>以上の割合で規格値を満足しなければな   |   |
| 3<br>土    | 2      | 6       | 7 | 4  | アスファルト舗装工                       | <b>延 長 L</b><br>厚さあるい |                         |                  | 200                                      | -10  | 理要領 (条)」の規定による測点の らないとともに、10 個の測定値の平均 管理方法を用いることができる。 値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個 未満の場合は測定値の平均値は適用しない。    1. 3次元データによる出来形管理   において「3次元計測技術を用いた   中規模以上の工事とは、1 層当たりの   |   |
| 木工事共通編    | 般施工    | 般舗装工    |   |    | (上層路盤工)<br>粒度調整路盤工<br>(面管理の場合)  | <b>は標高較差</b>          | -54                     | -63              | -8                                       | -10  | 出来形管理要領(案)」に基づき出 株形管理を実施する場合、その他本 法運に規定する計測精度・計測密度を き満たす計測方法により出来形管理 を実施する場合に適用する。 2. 個本の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を第出する。計測密度は1点/m2 (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高を発として評価する場合は、直下層の標高を発起する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高を必要が過程である。 6. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高を発起する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高を必要が過程で表現である。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高を必要が過程である。 |   |

| 類  | _     |     |       |   |    |               | 1     |     |     | Lity 1-t- |              |  |     |
|--|-------|-----|-------|---|----|---------------|-------|-----|-----|-----------|--------------|--|-----|
| 編   京   節   条   枚番   工   種   測定項目  |       |     |       |   |    |               |       |     | 規   |           | )測定値         |  |     |
| 日瀬彦値の平均   日瀬彦値の平均   日瀬彦   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日 |       |     |       |   |    |               |       | 個々の | 測定値 | の平均       | 匀(X10)       |  |     |
| 3 2 6 7 5 アスファルト確実工  | 編     | 章   | 節     | 条 | 枝番 | 工種            | 測定項目  | (2  | ()  | ※面管       | 理の場合<br>値の巫妬 | 測定基準 測定箇所 打  | 筒 要 |
| 3 2 6 6 7 5  |       |     |       |   |    |               |       | 中規模 | 小規模 |           |              |  |     |
| 上  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 本 検 検 検  |       | 2   | 6     | 7 | 5  | アスファルト舗装工     | -     |     |     |           |              |  |     |
| エ   上   東   東   東   東   東   東   東   東   東  |       | -   |       |   |    |               | 厚き    | -25 | -30 | - 8       | -10          |  |     |
| # 上  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 東通   |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 通  |       |     |       |   |    | 女疋処埋丄         | 幅     | -50 | -50 | _         | _            |  |     |
| 編  |       |     | т.    |   |    |               |       |     |     | l         |              |  |     |
| (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測産値の平均値は適用しない。コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により pk版等 に損傷を与える恐れのある場合は、他の 方法によることが出来る。   |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 1. 3次元データによる出来形管理に   | 17110 |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 3   2   6   7   6   アスファルト舗装工  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 3   2   6   7   7   7   7   7   7   7   7   7  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | の場合は測定値の平均値は適用しない。   |     |
| 1  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | コアー採取について  |     |
| 3   2   6   7   6   アスファルト舗装工   月さあるい   1   1   3 次元データによる出来形管理に   1   2   3 次元計測技術を用いた出来   7   2   2   2   2   2   2   2   2   2  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | 橋面舗装等でコアー採取により床版等  |     |
| 3   2  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 上  |       |     |       |   |    |               |       |     | -   |           | 1            |  |     |
| 末 般 船 舗  |       | 2   | 6     | 7 | 6  | アスファルト舗装工     | 厚さあるい |     |     |           |              | 1. 00000 / test o m/k// B-E-te   |     |
| 工 施 舗 装  |       | én. | én.   |   |    | / ( 屋 吹 m 工 ) | は標高較差 | -54 | -63 | - 8       | -10          | The state of the s |     |
| 事工 表 工   |       |     |       |   |    | (             |       |     |     |           | 1            | 70日往女员 (未) 師故工師 多州川切   |     |
| 工 ( 面管理の場合 ) ( 面を直上の上では、面を直上の上では、面を直上の上では、面を直上の上では、面を上では、面を上できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次の施工面積工が数日連続する場合で、次の施工面積工が数日連続する場合で、次の施工面積工のの配と上は、000元を開度は1点/m2 ( 平面投影面積当たり) 以上とする。 ( 面を直面積で2.00m2以上10.000元未満度は1点/m2 ( 平面投影面積当たり) 以上をする。 ( 一種が多のは以上3,0001未満 ) ( 重下層の標高値との差で算出する。 ) ( 厚さを標高較差として評価する場合は、面下層の標高さり直接高さり直接高さり直接高さり直接高さり直接高さり直接高さり直接高さり直接   |       |     | 24112 |   |    |               |       |     |     |           |              | Kill (markets wall) (ear complete see a se |     |
| (面管理の場合) (面管理の場合) (面管理の場合) (面管理の場合) (面管理の場合) (面管理の場合) (場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として主10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を第出する。計測密度は1点/m2 (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との整で算出する。計画をの標高値との整で算出する。計画をので標高値との整定算出する。計画を対します。 (別定して手が表して表して表して表して表して表して表して表して表して表して表して表して表して表  |       |     |       |   |    | XXXX          |       |     |     |           |              | 70 B C C 7 (20 ) 0 00 C C 7 (20 ) 12 P   |     |
| 編  |       |     |       |   |    | (面管理の場合)      |       |     |     |           |              | CACA TOTAL TOTAL CONTROL OF THE CONT |     |
| 度として土10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、 全ての点で標高値を算出する。計測密 度は1点/m2 (平面投影面積当たり) 以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層 の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高軟差として評価する場合は、直下層の標高値と当該層 の標高値との差で算出する。 6. 厚さを標高軟差として評価する場合は、直下層の標高値との差を変を発力である場合は、直下層の標高されている。 6. 厚さを標高軟差として評価する場合は、直下層の標高され直下層の標高値との差で算出する。  | 編     |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密のがずれかに該当するものをいう。全での点で標高値を算出する。計測密の施工面積で2,000m2以上10,000m2未満度は1点/m2 (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ十直下層の標高をは、直下層の目標高さ十直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | 2. 個々の計測値の規格値には計測精 管理に反映できる規模の工事をいい、同  |     |
| 全ての点で標高値を算出する。計測密<br>度は1点/m2 (平面投影面積当たり)<br>以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層<br>の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高を当直下層の標高値と前を過して評価する場合は、直下層の目標高さ十直下層の標高で表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | ZC 0 C = 10mm  |     |
| 度は1点/m2 (平面投影面積当たり) 以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層 の標高値との差で第出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高・高較差平均値+設計厚をから求まる高   |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | O. BINIORERITED CO.  |     |
| 以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層<br>の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ十直下層の標<br>高較差平均値+設計厚さから求まる高  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | T COM CIVING E STEET / DO IT IN III  |     |
| 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層<br>の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場<br>合は、直下層の目標高さ十直下層の標<br>高較差平均値+設計厚さから求まる高  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | /文(& 1 //// 川道(  田)大泉/田川貝コ/こ))   |     |
| の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場<br>合は、直下層の目標高さ+直下層の標<br>高較差平均値+設計厚をから求まる高  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | 3.2.2 / 30   |     |
| 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高   |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 合は、直下層の目標高さ+直下層の標<br>高較差平均値+設計厚さから求まる高   |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| 高較差平均値+設計厚さから求まる高  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
|  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              |  |     |
| しさくい方とする。  |       |     |       |   |    |               |       |     |     |           |              | さとの差とする。   |     |

|           |       |         |   |    |   |            |           |           |                  |   | 単位  | ī.: mm |
|-----------|-------|---------|---|----|---|------------|-----------|-----------|------------------|---|---|--------|
| 編         | 章     | 節       | 条 | 枝番 | 工種  | 測定項目       | (2        | 測定値(      | の平<br>※面管<br>は測定 | D測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準 測定箇所 拍   | 簡 要    |
| 3         | 2     | 6       | 7 | 5  | アスファルト舗装工                                 |            | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模以上            | 小規模<br>以下                                   | 嘱は、延長 <b>40m</b> 毎に1ヶ所の割とし、工事規模の考え方   |        |
| 土木        | 一般    | 一般      | • |    | (上層路盤工)                                   | 厚き         | -25       | -30       | - 8              | -10   | 厚さは、1,000 ㎡に1個の割でコアー<br>を採取もしくは掘り起こして測定。 中規模以上の工事とは、1 層当たりの施<br>工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。  |        |
| 工事共       | 施工    | 舗装工     |   |    | セメント(石灰)<br>安定処理工                         | 幅          | -50       | -50       | _                | _   | 「3 次元計測技術を用いた出来形管理<br>療とする。<br>要領(案)」の規定による測点の管理 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以   |        |
| · 通編      | 2     | 4       | 7 | 6  | アスファルト舗装工                                 |            |           |           |                  |   | 方法を用いることができる。 上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。コアー採取について 横面舗整等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。  1、3次元データによる出来形管旭に 工事規範の考え方   |        |
| 5 土木工事共通編 | 2一般施工 | 5 一般舗装工 | , |    | (上層路盤工)<br>セメント (石灰)<br>安定処理工<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -54       | -63       | -8               | -10   | おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」に基づき出来形管<br>理を実施する場合、その他本基準に規<br>定する計測精度・計測密度を満たす計<br>測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測精<br>度として±10mmが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、<br>全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2(罕面投影面積当たり)<br>以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層<br>の標高値との差で第出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場<br>高較差平均値・設計序といる求る高<br>6. 適下層の目標高さ+直下層の標<br>高較差平均値+設計序さから求まる高<br>きとの差とする。 |        |

|             |      |             |   |    |                     |                | m             |           | 格 値 10 個の | 測定値          |   |   |
|-------------|------|-------------|---|----|---------------------|----------------|---------------|-----------|-----------|--------------|---|---|
| 編           | 章    | 節           | 条 | 枝番 | 工   種               | 測定項目           | (:            | 測定値<br>X) | は測定       | 理の場合<br>直の平均 | 測定基準測定箇所摘   | 要 |
|             |      |             |   |    |                     |                | 中規<br>模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下    |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 6<br>一<br>般 | 7 | 7  | アスファルト舗装工 (加熱アスファルト | 厚き             | -15           | -20       | - 5       | - 7          | [は、延長 40m年に1箇所の割と<br>、厚さは、1,000 ㎡に1 個の割でコ<br>一を採取して測定。<br>一を採取して測定。<br>1 事規模の考え方<br>中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>加工面積が 1,000 ㎡以上とする。 |   |
| 工事共         | 施工   | 舗装工         |   |    | 安定処理工)              | 幅              | -50           | -50       | -         | -            | 小規模工事とは、施工面積が <b>1,000 ㎡</b><br>未満とする。<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以  |   |
| 通編          |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | 上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値   |   |
|             |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満   |   |
|             |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | の場合は測定値の平均値は適用しない。<br>コアー採取について<br>権面舗装等でコアー採取により床版等に   |   |
|             |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | 描画曲画表等にコノ TKARにより体展等に<br>損傷を与える恐れのある場合は、他の方<br>法によることが出来る。  |   |
| 3<br>土      | 2    | 6<br>—      | 7 | 8  | アスファルト舗装工           | 厚さあるい<br>は標高較差 | -36           | -45       | - 5       | - 7          | . 3次元データによる出来形管理 工事規模の考え方<br>:おいて「3次元計測技術を用いた 中規模以上の工事とは、管理図等を描   |   |
| 木工          | 般施   | 般舗          |   |    | (加熱アスファルト<br>安定処理工) | 141K[H] #X/E   |               |           |           |              | 出来形管理要領(案)舗装工編 多 いた上での管理が可能な工事をいい、舗<br>計測技術(面管理の場合)」に基づ<br>装施工面積が10,000m2以上あるいは使用   |   |
| 事共          | I    | 装工          |   |    | (面管理の場合)            |                |               |           |           |              | 出来形管理を実施する場合、その する基層および表層用混合物の総使用量 b本基準に規定する計測精度・計測 が、3,000 t 以上の場合が該当する。   |   |
| 通編          |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | 度を満たす計測方法により出来形<br>序理を実施する場合に適用する。<br>切規模は小さいものの、管理結果を施工<br>・個々の計測値の規格値には計測<br>管理に反映できる規模の工事をいい。同                             |   |
|             |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | . 適々の計例値の現合値には計例<br>静度として±10mmが含まれている。<br>計測は設計幅員の内側全面と のいずれかに該当するものをいう。  |   |
|             |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | 、全ての点で標高値を算出する。<br>- ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満<br>- ②使用する基層及び表層用混合物の総使  |   |
|             |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | (たり) 以上とする。<br>. 厚さは、直下層の標高値と当該   |   |
|             |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | の標高値との差で算出する。<br>. 厚さを標高較差として評価する   |   |
|             |      |             |   |    |                     |                |               |           |           |              | 会は、直下層の目標高さ+直下層<br>機高敏差平均値+設計厚さから求 る高さとの夢とする。   |   |

単位: mn

|           |        |         |   |    |  |       |            |                              |                     |              | 単位:  | mm |
|-----------|--------|---------|---|----|--|-------|------------|------------------------------|---------------------|--------------|--|----|
| 編         | 章      | 節       | 条 | 枝番 | 工 看  | 測定項目  |            | 規<br>)測定値<br>X)<br>小規模<br>以下 | の平均<br>※面管理<br>は測定値 | 理の場合<br>直の平均 | 測定基準測定箇所摘  | 要  |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 7  | アスファルト舗装<br>(加熱アスファ/<br>安定処理工)             | 厚き    | -15<br>-50 | -20<br>-50                   | - 5                 | - 7<br>-     | 幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割と<br>し、厚さは、1,000㎡に1個の割でコ<br>アーを採取して測定。<br>「3 次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。<br>(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個に対していただし、原本のデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡の平均値)(第100㎡) |    |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工  | 7 | 8  | アスファルト舗装<br>(加熱アスファ/<br>安定処理工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるい |            | -45                          | - 5                 | - 7          | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基形管理を実施する場合は、適比が表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表  |    |

|            |       |         |   |    |                                |            |      | 規          | 格値                 |   |   |   |
|------------|-------|---------|---|----|--------------------------------|------------|------|------------|--------------------|---|---|---|
| 編          | 章     | 節       | 条 | 枝番 | 工種                             | 測定項目       | (    | )測定値<br>X) | 10個の<br>の平<br>※面管: | つ測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準 測定箇所 摘   | 要 |
|            |       |         |   |    |                                |            | 中規以上 | 小規模<br>以下  | 中規模<br>以上          | 小規模<br>以下                                   |   |   |
| 3 土 木      | 2 一般  | 6 一般    | 7 | 9  | アスファルト舗装工 (基層工)                | 厚き         | - 9  | -12        | - 3                | - 4   | 幅は、延長 <b>40m</b> 毎に1箇所の割とし、   工事規模の考え方<br>厚さは、1,000 ㎡に1個の割でコアーを 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>採取して測定。   施工而緒が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。   |   |
| 工事共        | 施工    | 舗装工     |   |    | (番/日上)                         | 幅          | -25  | -25        | _                  | _   | ・   |   |
| <b>光通編</b> |       | Т       |   |    |                                |            |      |            |                    |   | 以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 延長が 100m未満の舗装、または維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。  |   |
| 3 土木工事共通編  | 2一般施工 | 6 一般舗装工 | 7 | 10 | アスファルト舗装工<br>(基層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -20  | -25        | -3                 | -4  | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理と関係の考え方中規模以上の工事とは、管理図等を描いた「3次元計測技術を用いた出来形管理を頻倫装工庫 多点計測技術 に加速では、1000m2以上あるいは使用する基間があるいは使用する基間が表現で表現に規定すった。 場外のは以上の場合が該当する。 1 別種位いたいものの、管理結果を施工でより出来形管理を実施する場合に適当する。 1 別種位いたいものの、管理結果を施工では、中規模以上の工事より、力規模工事とは、中規模以上の工事よが、3、000 t以上の場合が該当する。 1 規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工権の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 2 個本の計測値の規格値には計測特度として土10mmが含まれている。 3 計測は設計幅員の内側全面とし、全での点で標高値を算出する。計測密度は 1 点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高位との差で算出する。 5 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差をする場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差とする場合は、直下層の目標高さきならませいます。 2 受力によりでは、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1 |   |

| 編         | 章      | 節      | 条 | 枝番 | 工種                             | 測定項目       |            | 規<br>沙測定値<br>X)<br>小規模<br>以下 | の平均<br>※面管<br>は測定 | )測定値<br>匀(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>直の平均<br>小規模<br>以下 | 测定基準测定箇所指  | 窗 要 |
|-----------|--------|--------|---|----|--------------------------------|------------|------------|------------------------------|-------------------|--|--|-----|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 7 | 9  | アスファルト舗装工<br>(基層工)             | 厚さ         | - 9<br>-25 | -12<br>-25                   | -3                | -4   | 幅は、延長 40加年に1ヶ所の割とし、<br>厚さは、1,000 ㎡に1個の割でコアーを<br>採取して測定。<br>第一、2 次元計測技術を用いた出来形管理要<br>領(案)」の規定による測点の管理方法<br>を用いることができる。<br>第一、2 を用いることができる。<br>第一、2 を用いることができる。<br>第一、2 を用いることができる。<br>第一、3 を用いることができる。<br>第一、3 を用いることができる。<br>第一、3 を用いることができる。<br>第一、4 を用いることができる。<br>第一、5 を用いることができる。<br>第一、5 を用いることができる。<br>第一、6 を引きる。<br>第一、7 を引きる。<br>第一、6 を引きる。<br>第一、7 を引きる。<br>第一、7 を引きる。<br>第一、8 を引きる。<br>8 を引を引きる。<br>8 を引きる。<br>8 を引きる。<br>8 を引きる。<br>8 を引きる。<br>8 を引きる。<br>8 を引きる。<br>8 を引きる。 |     |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工  | 6一般舗装工 | 7 | 10 | アスファルト舗装工<br>(基層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -20        | -25                          | -3                | - 4  | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理を実施で「3次元計測技術を用いた出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測特度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として土10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 電子のは、直下層の標高値と当該層の標高が変として評価する場合は、直下層の目標高さ土直下層の標高較差として評価する場合は、重下層の目標高さ土直下層の影響で開まる。  ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※  |     |

| 編                | 章                | 節     | 条 | 枝番 | 工種                 | 測定項目           | (2         |           | の平均<br>※面管理<br>は測定f                               | )測定値<br>匀(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>直の平均 |   | 摘要 |
|------------------|------------------|-------|---|----|--------------------|----------------|------------|-----------|---|---|---|----|
|                  |                  |       |   |    |                    |                | 中規模<br>以上  | 小規模<br>以下 | 中規模以上   | 小規模以<br>下                                   |   |    |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2<br>一<br>般<br>施 | 6 一般舗 | 7 | 11 | アスファルト舗装工<br>(表層工) | 厚き             | <b>-</b> 7 | - 9       | - 2   | - 3   | 幅、中心線偏心量(幅管理において道) 工事規模の考え方<br>路中心線から左、右を測定する場合は 中規模以上の工事とは、1 層当たりの施<br>不要)は、延長 40m毎に1 箇所の割と<br>し、厚さは、1,000 ㎡に1 個の割でコ 小規模工事とは、施工面積が 1,000 ㎡未                                      |    |
| 上事共通             | 工                | 装工    |   |    |                    | 幅              | -25        | -25       | _   | _   | し、序さは、1,000 m に 1 画の割さ 3  |    |
| 通編通編             |                  |       |   |    |                    | 平坦性            | -          | -         | 3mプロス<br>(σ)2.4m<br>直読式<br>(足付き)<br>(σ)1.75<br>以下 | m以下   | エの割合で現代値を適定しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。コアー採取について 権面舗装等でコアー採取により床版等  |    |
|                  |                  |       |   |    |                    | 中心線<br>偏心量     |            | ±         | = 100   |   | に損傷を与える恐れのある場合は、他の<br>方法によることが出来る。  |    |
|                  |                  |       |   |    |                    | 延長L            |            | _         | - 200   |   | <b>延長が100m未満の舗装、または</b> 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。  |    |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施            | 6一般舗  | 7 | 12 | アスファルト舗装工<br>(表層工) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -17        | -20       | - 2   | - 3   | 1. 3次元データによる出来形管理に 工事規模の考え方<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来 中規模以上の工事とは、管理図等を描<br>形管理要領(案)舗装工編 多点計測<br>技術(面管理の場合)」に基づき出来 装施工面積が10,000m2以上あるいは使用   |    |
| 事共通編通編           | I                | 装工    |   |    | (面管理の場合)           | 平坦性            | _          | _         | 3 m 7° μ7,<br>(σ)2. 4m<br>直読式(ξ<br>(σ)1. 75       | m以下<br>2付き)                                 | 形管理を実施する場合、その他本基準<br>に規定する計測精度・計測密度を満た<br>が、3,000 t 以上の場合が該当する。<br>力計測方法により出来形管理を実施す<br>る場合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測精<br>管理に反映できる規模の工事をい、同                                      |    |
| 林樹               |                  |       |   |    |                    |                |            |           |   |   | 度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、 全ての点で標高値を算出する。計測感を 度は1点/m2(平面投影面積当たり) 以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層 の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合 には、直下層の目標高さ+直下層の標高較差や均値・設計厚さから求まる高さとの差とする。 |    |

|                  |      |       |   |    |                 |             |                |        |           |   |   |   |  |                                   |                                |  |                                    |   |                                | 単化  | 过:mm |
|------------------|------|-------|---|----|-----------------|-------------|----------------|--------|-----------|---|---|---|--|-----------------------------------|--------------------------------|--|------------------------------------|---|--------------------------------|---|------|
| 編                | 章    | 節     | 条 | 枝番 | I               | 種           | 測定項目           | 中規模    |           | の平<br>※面管<br>は測定<br>中規模                                   | D測定値<br>均(X <sub>Io</sub> )<br>理の場合<br>値の平均<br>小規模以 | 測   | 定  | 基                                 | 準                              | :  | 測 :                                | 定   | 箇                              | 所   | 摘要   |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般 | 6 一般  | 7 | 11 | アスファルト          | 舗装工         | 厚き             | 以上 - 7 | 以下<br>- 9 | 以上 - 2  | 下<br>-3   | 幅、中心線<br>路中心線か<br>不要)は、延                                | ら左、右<br>長 40z  | <b>を測定</b><br>2毎に1                | <b>ミする場合は</b><br>ヶ所の割と         | 中規模以<br>工面積が                                       | メ上のコ<br>1,000 z                    | 事と<br>以上  | とする                            |   |      |
| 工事共通             | 施工   | 舗装工   |   |    |                 |             | 幅              | -25    | -25       | _   | _   | アーを採取   | して測定   | Ξ.                                | . 個の割でコ<br>: 出来形管理             | <b>満</b> とする。<br>厚さは、                              | 個々の                                | 測定  | 値が                             | 責が <b>1,000 ㎡末</b><br>10 個に 9 個り<br>なければなら        |      |
| 編通編              |      |       |   |    |                 |             | 平坦性            | -      | -         | 3m プロ<br>メーター<br>(σ)2.4m<br>直読式<br>(足付き)<br>(σ)1.75<br>以下 | m以下   |   | の規定  | による                               | 測点の管理                          | ないとと<br>(X10) (<br>い。ただし<br>の場合は涯<br>コアー採取<br>橋面舗割 | もに、<br>こつい<br>シ、厚値の<br>対につい<br>装等で | 10 個である (10 であり) である (10 であり) でいました (10 でんり) でんり (10 でんり | 間の測<br>足しな<br>一夕数<br>値は<br>一採取 | 定値の平均値<br>ければならな<br>対が 10 個未満<br>箇用しない。<br>により床版等 |      |
|                  |      |       |   |    |                 |             | 中心線偏心量         |        |           | ± 100   |   |   |  |                                   |                                | 方法による<br><b>延長が</b>                                | ちことか<br>100 <b>mオ</b>              | 当来  | る。<br><b>舗装、</b>               | 場合は、他の<br><b>または</b> 維持エ<br>目を省略する                |      |
|                  |      |       |   |    |                 |             | 延長L            |        | -         | - 200   |   |   |  |                                   |                                | 争においことが出来  |                                    | 半坦1   | 生の項                            | 日を自酔する  | '    |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2一般施 | 6 一般舗 | 7 | 12 | アスファルト<br>(表層工) | 舗装工         | 厚さあるい<br>は標高較差 | -17    | -20       | - 2   | - 3   | おいて「3)  | 欠元計測<br>(案)」   | 対接術を<br>に基づ                       | き出来形管                          | 中規模以<br>工面積が                                       | 以上のコ<br>1,000 m                    | 事と<br>以上  | とする                            | 層当たりの施<br>る。<br><sub>責</sub> が <b>1.000 ㎡オ</b>    |      |
| - 事共通編通編         | 工    | 装工    |   |    | (面管理の場          | <b>}</b> 合) | 平坦性            | 1      | -         | 3mプロ<br>メーター<br>(σ)2.4m<br>直読式(ξ<br>(σ)1.75               | m 以下<br>足付き)  | 定する計測<br>測方法によ<br>合に適用す                                 | 情度・計<br>り出来形<br>る。<br>計測値の<br>10mmが含   | 測密度<br>  影管理を<br>  規格値<br>  まれて   | を満たす計<br>実施する場<br>には計測精<br>いる。 | <i>満</i> とする。<br>延長が1                              | <b>00m未</b><br>(は、3                | 満の舘   | 補装、                            | <b>または</b> 維持工目を省略する                              |      |
| 197 0000         |      |       |   |    |                 |             |                |        |           |   |   | 全ての点で<br>度は1点/r<br>以上とする。<br>4. 厚高値と<br>5. 厚値を<br>合は、直下 | 票高値を<br>a2( 直差高の<br>で<br>で<br>を<br>で<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>り<br>と<br>り<br>と<br>り<br>と<br>り<br>と | 算出す<br>質数標準<br>の標する<br>きと高さ<br>もと | る。計測密<br>i積当たり)<br>i値と当該層      |  |                                    |   |                                |   |      |

| _                | _     |       |   |    | 1                   |                |           |           |            |   |  |   |
|------------------|-------|-------|---|----|---------------------|----------------|-----------|-----------|------------|---|--|---|
|                  |       |       |   |    |                     |                |           | 規         | 格値         |   |  |   |
| 編                | 章     | 節     | 条 | 枝番 | 工種                  | 測定項目           | 個々の<br>(2 |           | の平<br>※面管  | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準 測定箇所 擯  | 要 |
|                  |       |       |   |    |                     |                | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模<br>以上  | 小規模以<br>下                                   |  |   |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般  | 6 一般  | 8 | 1  | 半たわみ性舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽           | ±40       | ±50       | _          |   | 基準高は延長 40m毎に1箇所の割と<br>し、道路中心線および端部で測定。<br>早さは、各車線(40m毎に右、中、左、<br>「原本は、40m毎に右、中、左、「原本」をは、1 層当たり<br>で、1,000㎡以上とする。   |   |
| 工事共通             | 施工    | 舗装工   |   |    |                     | 厚き             | -45       | -45       | -15        | -15   | を交互に) 1 箇所を掘り起こし測定。<br>幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割に測<br>定。<br>厚さは、個々の測定値が 1,000 ㎡未満とする。<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個  |   |
| 編                |       |       |   |    |                     | 幅              | -50       | -50       | _          | _   | 以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平<br>均値 (X10) について満足しなければ  |   |
|                  |       |       |   |    |                     |                |           |           |            |   | ならない。ただし、厚さのデータ数が<br>10 個末満の場合は測定値の平均値は適<br>用しない。  |   |
|                  | 0     | 0     | 8 | 2  | 半たわみ性舗装工            |                |           |           | T          | П   | 1. 3次元データによる出来形管理にお 工事規模の考え方   |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6 一般舗 | 8 | 2  | (下層路盤工)             | 基準高▽           | ±90       | ±90       | +40<br>-15 |   | 1. 3次元アークによるロ米形管理にね<br>いて「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)舗装工編 多点計測技術<br>(面管理の場合)]に基づき出来形管理   |   |
| 事共通編             | エ     | 装工    |   |    | (面管理の場合)            | 厚さあるい<br>は標高較差 | ±90       | ±90       | +40<br>-15 | -15   | を実施する場合、その他本基準に規定す<br>る計測精度・計測密度を満たす計測方法<br>により出来形管理を実施する場合に適用<br>する。<br>施工管理に反映できる規模の工事をい   |   |
|                  |       |       |   |    |                     |                |           |           |            |   | 2. 個々の計測値の規格値には計測精度<br>として±10mmが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全<br>ての点で標高値を算出する。計測密度は<br>1点/m2 (平面投影面積当たり)以上と<br>する。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の<br>標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場合<br>は、直下層の目標高さ十直下層の標高較<br>差平均値+設計厚さから求まる高さとの<br>差とする。 |   |

|         |      |      |   |    |                     |                |           |           |            |   | 単位   | . 111111 |
|---------|------|------|---|----|---------------------|----------------|-----------|-----------|------------|---|--|----------|
|         |      |      |   |    |                     |                |           | 規         | 格値         |   |  |          |
| 編       | 章    | 節    | 条 | 枝番 | 工種                  | 測定項目           | 個々の<br>() |           | の平<br>※面管  | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準測定箇所擴  | 要        |
|         |      |      |   |    |                     |                | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模<br>以上  | 小規模以<br>下                                   |  |          |
| 3 土 木 - | 2 一般 | 6 一般 | 8 | 1  | 半たわみ性舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽           | ±40       | ±50       | _          |   | 基準高は、延長 40m年に1ヶ所の割と<br>し、道路中心線及び端部で測定。<br>厚さは、各車線(40m年に右、中、左、の施工面積が1,000 m以上とする。   |          |
| 工事共通    | 施工   | 舗装工  |   |    |                     | 厚き             | -45       | -45       | -15        | -15   | <b>を交互に)</b> 1 箇所を掘り起こし測定。<br>幅は、延長 <b>40 m</b> 毎に 1 ヶ所の割に測<br>定。  |          |
| 編       |      |      |   |    |                     | 幅              | -50       | -50       | _          | _   | 「3次元計測技術を用いた出来形管理要<br>飯(案)」の規定による測点の管理方法<br>を用いることができる。<br>い上の割合で規格値を満足しなければ<br>ならないとともに、10個の測定値の平<br>均値(X10)について満足しなければ                             |          |
|         |      |      |   |    |                     |                |           |           |            |   | ならない。ただし、厚さのデータ数が<br>10個未満の場合は測定値の平均値は適<br>用しない。   |          |
| 3       | 2    | 6    | 8 | 2  | 半たわみ性舗装工            |                |           |           | I          | T   | 1. 3次元データによる出来形管理にお 工事規模の考え方   |          |
| 土木工     | 一般施  | 般舗   | ٥ | 2  | (下層路盤工)             | 基準高▽           | ±90       | ±90       | +40<br>-15 | -15   | 1. 3 次元 ) 一クによる山木が音座にお 上 事成帳   |          |
| 事共通編    | 工    | 装工   |   |    | (面管理の場合)            | 厚さあるい<br>は標高較差 | ±90       | ±90       | +40<br>-15 | +50   | 測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。<br>り出来形管理を実施する場合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測精度  |          |
|         |      |      |   |    |                     |                |           |           |            |   | として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全での点で標高値を算出する。計測密度は 1 点/m2 (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高敏をとして評価する場合は、直下層の標高さ+直下層の標高較 |          |
|         |      |      |   |    |                     |                |           |           |            |   |  |          |

| 編         | 章      | 節       | 条 | 枝番 | 工種   | 測定項目       | 1          | の測定<br>値<br>X) | の平<br>※面管<br>は測定 | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均<br>小規模以<br>下 | 測定基準測定箇所   | 摘 要 |
|-----------|--------|---------|---|----|--|------------|------------|----------------|------------------|--|--|-----|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工  | 8 | 3  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)<br>粒度調整路盤工             | 厚さ幅        | -25<br>-50 | -30<br>-50     | - 8<br>-         | -10  | 幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、<br>厚さは、各車線(毎に右、中、左、を<br>交互に)1箇所を掘り起こし測定。<br>・ 一規模以上の工事とは、1 層当たり<br>の施工面積が 1,000 ㎡以上とする。<br>・ 小規模工事とは、表層、及び基層の<br>施工面積が 1,000 ㎡来渡とする。<br>厚さは、個々の測定値が10個に9個<br>以上の割合で規格値を満足しなければ   |     |
| 7,10      |        |         |   |    |  |            |            |                |                  |  | ならないとともに、10個の測定値の平<br>均値 (X10) について満足しなければ<br>ならない。ただし、厚さのデータ数が<br>10個未満の場合は測定値の平均値は適<br>用しない。   |     |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 8 | 4  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)<br>粒度調整路盤工<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -54        | -63            | -8               |  | 1. 3次元データによる出来形管理において 3次元計測技術を用いた出来形管理要額 (案) 舗装工編 多点計測技術 (面管理の場合)」に基づき出来形管理 を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満た計測方法 (の10 以上との当分が設当する。 3計測精度・計測値の規格値には計測精度と 1 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は 1 点/m2 (平面投影面積当たり) 以上と |     |
|           |        |         |   |    |  |            |            |                |                  |  | する。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差として評価が標高較差と助値+設計厚さから求まる高さとの差とする。   |     |

|                  |        |        |   |    |  |            |       | 規              | 格値                        |   |                              |                                      |                                       |  |                     |  |                                   |                             |             |                           |                                   |        |   |
|------------------|--------|--------|---|----|--|------------|-------|----------------|---------------------------|---|------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------|-------------|---------------------------|-----------------------------------|--------|---|
| 編                | 章      | 節      | 条 | 枝番 | 工 種  | 測定項目       |       | の測定<br>値<br>X) | 10 個の<br>の平<br>※面管<br>は測定 | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | :                            | 測                                    | 定                                     | 基  | 準                   |  | 測                                 | 定                           | <u> </u>    | 箇                         | 所                                 | 摘      | 要 |
|                  |        |        |   |    |  |            | 中規模以上 | 小規模<br>以下      |                           | 小規模以下                                       |                              |                                      |                                       |  |                     |  |                                   |                             |             |                           |                                   |        |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施  | 6 一般舗  | 8 | 3  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)<br>粒度調整路盤工             | 厚き         | -25   | -30            | -8                        |   | 幅は、延<br>厚さは、<br><b>交互に</b> ) | 各車                                   | 線(毎                                   | に右   | 中、                  | 左、を  | の施工面積                             | 人上の<br>貴が <b>1,</b>         | 工事<br>000 i | 加以上                       | 1 層当たり<br>とする。<br>及び基層の           |        |   |
| 事共通              | ī      | 装工     |   |    | THE WASTE PRINCE                           | 幅          | -50   | -50            | _                         | _   | 「3次元<br>領 (案)」<br>を用いる       | の規                                   | 定によ                                   | る測   |                     |  | 施工面積が                             | 1,00                        | 0 п         | <b>未満</b> と               |                                   |        |   |
| 編                |        |        |   |    |  |            |       |                |                           |   | . 2711 2                     |                                      | ,                                     | o 0  |                     |  | 以上の割合<br>ならないと<br>均値 (X1<br>ならない。 | さで規<br>ともい<br>の) にっ<br>ただ   | 格値・こ、1      | を満足<br>10個の<br>て満足<br>厚さの |                                   | f<br>Z |   |
| 3 土木工事共通編        | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 8 | 4  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)<br>粒度調整路盤工<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -54   | -63            | -8                        |   | いて「3<br>理要領 (<br>施する場        | 次案合計管 の10は標( はのを層+元)、測理 計論設高平 、 逆標の設 | 十にそ密を 則が十直面 直で新目標との度実 値含幅を投 下算較標度出差高。 | 「「おき本満す」見れの出面のすとされる一様で大きを出またる一格で内す積「標るし+」の選手は、値に側る当「高。で直 | いだに計合 にる全。た 値 評下では、 | 出理を方蓋 汁 と刺 当 された で ままま ままま ままま まままま まままままままままままままままままま | の施工面和<br>小規模コ<br><b>ポ未満</b> とす    | 人上の<br>貴が <b>1,</b><br>こ事とに | 工事<br>000   | m以上                       | 1 層当たり<br>とする。<br>と荷が <b>1,00</b> |        |   |

|           |        |        |   |    |   |            |           | 規         | 格値        |   |   |   |
|-----------|--------|--------|---|----|---|------------|-----------|-----------|-----------|---|---|---|
| 編         | 章      | 節      | 条 | 枝番 | 工 種   | 測定項目       | 個々の<br>() | 測定値<br>() | 定値の ※ 面管  | 固の測<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準測定箇所摘   | 要 |
|           |        |        |   |    |   |            | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模<br>以上 | 小規模以<br>下                                   |   |   |
| 3 土 木 -   | 2 一般   | 6 一般   | 8 | 5  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)                                   | 厚き         | -25       | -30       | - 8       | -10   | 届は、延長 <b>40m</b> 毎に1箇所の割とし、<br>正字は、1,000 ㎡に1個の割でコアー<br>に採取もしくは掘り起こして測定。   |   |
| 工事共涌      | 施工     | 舗装工    |   |    | セメント(石灰)<br>安定処理工                                     | 幅          | -50       | -50       | _         | _   | 小規模工事とは、施工面積が 1,000<br><b>加未満</b> とする。<br>厚さは、個々の測定値が10個に9個<br>以上の割合で規格値を満足しなければ  |   |
| 色編        |        |        |   |    |   |            |           |           |           |   | ならないともに、10 個の測定値の平<br>対値(X10)について満足しなければ<br>ならない。ただし、厚さのデラを<br>10 個未満の場合は測定値の平均値は適<br>用しない。<br>コアー採取について<br>橋面舗装等でコアー採取により床版<br>等に損傷を与える恐れのある場合は、<br>他の方法によることが出来る。 |   |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 8 | 6  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)<br>セメント (石灰)<br>安定処理工<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -54       | -63       | -8        | -10   | 1. 3次元データによる出来形管理に コップステータによる出来形管理に コップステータによる出来形管理を  |   |

|                  |        |              |   |    |   |            |       |           |                   |   | 車位:  |   |
|------------------|--------|--------------|---|----|---|------------|-------|-----------|-------------------|---|--|---|
|                  |        |              |   |    |   |            |       | 規         | 格 値               |   |  |   |
| 編                | 章      | 節            | 条 | 枝番 | 工種  | 測定項目       | (2    | X)        | 定値の<br>※面管<br>は測定 | 個の測<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>・理の場合<br>で値の平均 | 測定基準測定箇所擴  | 要 |
|                  |        |              |   |    |   |            | 中規模以上 | 小規模<br>以下 | 中規模以上             | 小規模以<br>下                                     |  |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施  | 6<br>一般<br>舗 | 8 | 5  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)<br>セメント (石灰)                      | 厚き         | -25   | -30       | -8                | -10   | 幅は、延長 <b>40加</b> 毎に1ヶ所の割とし、<br>厚さは、1,000 ㎡に1個の割でコアー<br>を採取もしくは掘り起こして測定。<br>の施工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。<br>小規模工事とは、加工面積が <b>1,000</b>  |   |
| 事共通編             | I      | 装工           |   |    | 安定処理工   | 幅          | -50   | -50       | _                 | _   | 「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」の規定による測点の管理 以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければ ならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適 用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 |   |
| 3 土木工事共通編        | 2 一般施工 | 6一般舗装工       | 8 | 6  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)<br>セメント (石灰)<br>安定処理工<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -54   | -63       | -8                | -10   | 1. 3次元データによる出来形管理に   |   |

|                  |                  |       |   |    |                                 |            |       | 規格          | 植                         |   |   |                                 |  |                              |  |   |  |  |                   |  |        |   |
|------------------|------------------|-------|---|----|---------------------------------|------------|-------|-------------|---------------------------|---|---|---------------------------------|--|------------------------------|--|---|--|--|-------------------|--|--------|---|
| 編                | 章                | 節     | 条 | 枝番 | 工 種                             | 測定項目       |       | の測定値<br>(X) | 10 個の<br>平地<br>※面管<br>は測定 | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 |   | 測                               | 定  | 基                            | 準  | ž   | Ŋ                                      | 定  | 箇                 | 所  | 揺      | 更 |
|                  |                  |       |   |    |                                 |            | 中規模以上 | 小規模<br>以下   | 中規模以上                     | 小規模以<br>下                                   |   |                                 |  |                              |  |   |  |  |                   |  |        |   |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般             | 6 一般  | 8 | 7  | 半たわみ性舗装工                        | 厚き         | -15   | -20         | - 5                       |   | し、馬<br>コア-                                | きは、                             | 1,000  | m²(C                         | 箇所の割と<br>1個の割で<br>り起こして                  | 中規模以施工面積減   | 以上の<br>5 <b>1,</b> (                   | の工事<br>000 ㎡   | 以上と               |  |        |   |
| 工事共通             | 施工               | 舗装工   |   |    | 卜安定処理工)                         | 幅          | -50   | -50         | -                         | _   | 測定。                                       |                                 |  |                              |  | <b>未満</b> とする<br>厚さは、   | 5。                                     | マの測  | 定値が               | i積が <b>1,000</b><br>i 10 個に 9<br>足しなけれ                                   | 個      |   |
| 編                |                  |       |   |    |                                 |            |       |             |                           |   |   |                                 |  |                              |  | な均<br>な均<br>なり<br>なり<br>は<br>は<br>は<br>は<br>に<br>は<br>に<br>は<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に | と<br>10)<br>た<br>場<br>の<br>は<br>等<br>与 | もにつした<br>はつした<br>はいて こここと<br>こここここと<br>こここここここここここここここここここここここここ | 10 個満さ値 採の        | の<br>足の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の | 平ばが適 版 |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2<br>一<br>般<br>施 | 6 一般舗 | 8 | 8  | 半たわみ性舗装工<br>(加熱アスファル<br>ト安定処理工) | 厚さあるいは標高較差 | -36   | -45         | - 5                       | - 7   | におい<br>出来刑<br>点計測                         | へて「3<br>が管理<br>明技術              | 3 次元<br>要領(第<br>(面管 <del>)</del>   | 計測技術<br>案)舗<br>里の場           | 出来形管理<br>析を用いた<br>装工編 多<br>合)」に基         | 中規模り<br>いた上での<br>基層および  | 以上の管理<br>び表属                           | の工事<br>里が可<br>層用混  | 能な工<br>合物の        | 総使用量が  |        |   |
| 事共通編             | 工                | 装工    |   |    | (面管理の場合)                        |            |       |             |                           |   | の測形 2 精 3 し計当 4 層 5 場のに高を見る。、測た、の、合標に高さる。 | 基を理りに十全管)  三震直は   準満実のではのは以は値を直 | ことを出というでは、ことを出り、これを出り、これを見います。 これ とう こう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう はい しょうしょう はい | す削易のが員高は3番で差目+およに格は内を平 標出し高計 | れている。<br>則全面と<br>算出する。<br>面投影面積<br>島値と当該 | 小規模二より規模に<br>施工管理に<br>い、同一二<br>合が該当っ  | E事さ<br>ま小さ<br>こ反明<br>L種の               | とは、<br>さいも<br>央でき<br>の施工   | 中規模<br>のの、<br>る規模 | する。<br>E以上の工事<br>管理結果を<br>の工事をい<br>連続する場                                 |        |   |

|                  |             |       |   |    |                                 |                |       | 規格          |           |   |                              |  |   |  |   |   |  |                      |            |   | Т      |     |
|------------------|-------------|-------|---|----|---------------------------------|----------------|-------|-------------|-----------|---|------------------------------|--|---|--|---|---|--|----------------------|------------|---|--------|-----|
| 編                | 章           | 節     | 条 | 枝番 | 工種                              | 測定項目           |       | の測定値<br>(X) | 平地 ※面管    | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 |                              | 測  | 定   | 基  | 準   | Ĭ   | U Si   | È                    | 箇          | 所   | ħ      | 新 要 |
|                  |             |       |   |    |                                 |                | 中規模以上 | 小規模<br>以下   | 中規模<br>以上 | 小規模以<br>下                                   |                              |  |   |  |   |   |  |                      |            |   |        |     |
| 3<br>土<br>木      | 2<br>一<br>般 | 6 一般  | 8 | 7  | 半たわみ性舗装工<br>(加熱アスファル            | 厚き             | -15   | -20         | - 5       | - 7   | し、E<br>コア-                   | 厚さは、<br>- を採耳  | 1,00  | m²≀⊂                                     | ヶ所の割と<br>1個の割で<br>り起こして                         | 中規模以<br>施工面積が   | (上の)<br>1,000  | □事と<br><b>0 m</b> *以 | 上と         |   |        |     |
| 工事共              | 施工          | 舗装工   |   |    | 卜安定処理工)                         | 幅              | -50   | -50         | -         | _   |                              | 大元計》   |   |  | た出来形管   | <b>未満</b> とする<br>厚さは、                                     | 個々の  | )測定                  | 値が         | 積が <b>1,000</b> 1   | 固      |     |
| 通編               |             |       |   |    |                                 |                |       |             |           |   | 管理力                          | 方法を用   | ์<br>สหาร                                   | ことが                                      | できる。  | ならない。<br>均な値ない。<br>10 個未い。<br>用コア 橋に<br>一面損傷<br>に<br>の方法に | ともいの た場合 なに なき なる ともに がまる ない | こつしは ハコるとが           | 0 て厚定 - れの | としなけれる<br>の測定はの3<br>としながでいる<br>とりデータ値は<br>かのでいる<br>でいる場合は、<br>なる。 | 平ずが適 仮 |     |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施       | 6 一般舗 | 8 | 8  | 半たわみ性舗装工<br>(加熱アスファル<br>ト安定処理工) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -36   | -45         | - 5       | <b>-</b> 7                                  | におい<br>出来刑<br>来形管            | ヽて「 {<br>ジ管理要<br>管理を実                                | 3 次元<br>要領(<br>実施す                          | 計測技<br>案)」に<br>る場合                       | 出来形管理<br>術を用いた<br>ニ基づき出<br>、その他本                | 中規模以<br>施工面積が<br>小規模コ                                     | 人上のコ<br>ら <b>1,00</b> 0<br>こ事とに                                  | [事と<br><b>) ㎡</b> 以  | 上と         | 1 層当たりの<br>する。<br>積が <b>1,000</b> :                               |        |     |
| 事共通編             | 工           | 装工    |   |    | (面管理の場合)                        |                |       |             |           |   | をを2精3し計当4層5場の  清寒・度・、測た・の・合標 | 上面固に十全管) 戸票戸は十十年のでは別で度) さ高さ、計るのではのは以は値を直計るのではのは以ば値を直 | 則易計と及れたと、原下下<br>方合測10計で点と直の高層均<br>では、す下差較の値 | こ窗のが員高22る層で差目+よ用規含の値(。の算と標設りす格ま内を平 標出し高計 | 値には計測<br>れている。<br>側全面と<br>算出表<br>面投影面積<br>高値と当該 |   | ò.   |                      |            |   |        |     |

|           |        |        |   |    |                               |            |            | 規          | 格値   |          |   |     |
|-----------|--------|--------|---|----|-------------------------------|------------|------------|------------|--|----------|---|-----|
| 編         | 章      | 節      | 条 | 枝番 | 工種                            | 測定項目       | 個の定()中模以   | ※面<br>は測   | 国の測定<br>平均(X10)<br>育管理の<br>別定値の<br>中規模<br>以上 | 場合<br>平均 | 測定基準測定箇所打   | 摘 要 |
| 3 土木工事共   | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 8 | 9  | 半たわみ性舗装工<br>(基層工)             | 厚 さ<br>幅   | - 9<br>-25 | -12<br>-25 | - 3  | -4<br>-  | 幅は、延長 <b>40m</b> 毎に1箇所の割とし、厚さ 工事規模の考え方<br>は、1,000 ㎡に1個の割でコアーを採取して 中規模以上の工事とは、1 層当た<br>りの施工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とす<br>る。<br>小規模工事とは、施工面積が<br><b>1.000 ㎡未満</b> とする。           |     |
| 通編        |        |        |   |    |                               |            |            |            |  |          | 「厚さは、個々の測定値が10 個に9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。コアー接取について橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 |     |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 8 | 10 | 半たわみ性舗装工<br>(基層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -20        | -25        | -3   | -4       | 1. 3次元計列技術を用いた出来形管理において「3次元計例技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」に基づさ出来形管理を実施する場合、この他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。   |     |

|                  |       |      |   |    |                   |                |         |            |   |               |   | .: mm |
|------------------|-------|------|---|----|-------------------|----------------|---------|------------|---|---------------|---|-------|
|                  |       |      |   |    |                   |                |         | 規          | 格 値   |               |   |       |
| 編                | 章     | 節    | 条 | 枝番 | 工種                | 測定項目           | 個の定()中は | ※ii<br>はii | 固の測定<br>平均(X <sub>10</sub><br>証管理の<br>削定値の<br>中規模 | )<br>場合<br>平均 | 測定基準測定箇所額   | 更     |
|                  |       |      |   |    |                   |                | 中規模以上   | 以下         | 以上  | 以下            |   |       |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般: | 6 一般 | 8 | 9  | 半たわみ性舗装工<br>(基層工) | 厚さ             | - 9     | -12        | - 3   | -4            | 幅は、延長 <b>40m</b> 毎に1ヶ所の割とし、厚さ 工事規模の考え方は、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して 中規模以上の工事とは、1 層当たりの施工面積が <b>1,000㎡</b> 以上とす   |       |
| 工事共              | 施工    | 舗装工  |   |    |                   | 幅              | -25     | -25        | _   | _             | る。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理要領<br>(案)」の規定による測点の管理方法を用い<br><b>1,000                                  </b>   |       |
| 通編               |       |      |   |    |                   |                |         |            |   |               | 写さは、個々の測定値が10 個に9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。コアー採取について橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。   |       |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6一般舗 | 8 | 10 | 半たわみ性舗装工<br>(基層工) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -20     | -25        | - 3   | - 4           | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要 中規模以上の工事とは、1 層当た  |       |
| 上事共通編            | 工     | 調装工  |   |    | (面管理の場合)          |                |         |            |   |               | □、ての他か益単に成皮りの可能内核・管理<br>を実施する場合に適用する。<br>2. 個本の計測値の規格値には計測精度と<br>して±10mmが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全て<br>の点で標高値を算出する。計測密度は1点<br>/m2 (平面投影面積当たり)以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標<br>高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場合<br>は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差<br>平均値+設計厚さから求まる高さとの差と<br>する。 |       |

| 編                | 章                | 節         | 条 | 枝番 | 工種                | 測定項目           | (   | 測定値<br>X) | 平均<br>※面管<br>は測定                    | 測定値の<br>対(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均<br>小規模以<br>下 | ì                             | 測 3   | ŧ                   | 基  | 準  |                            |  | 測                                       | 定  | 箇                        | 所   | 1    | 商 | 更 |
|------------------|------------------|-----------|---|----|-------------------|----------------|-----|-----------|-------------------------------------|--|-------------------------------|---|---------------------|--|--|----------------------------|--|---|--|--------------------------|---|------|---|---|
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2<br>一<br>般<br>施 | 6一般舗:     | 8 | 11 | 半たわみ性舗装工<br>(表層工) | 厚き             | - 7 | - 9       | - 2                                 | - 3  | 幅は、延<br>厚さは、<br>ーを採取          | 1,000   | m²毎                 |  |  |                            | 施工面積<br>小規模                                | 以上の<br>が <b>1,</b> の<br>工事 る            | D工事<br>000 m                                 | 以上と                      | 1 層当たり<br>する。<br>積が <b>1,000</b>                      |      |   |   |
| 事共通編             | I                | 装工        |   |    |                   | 平坦性            | -25 | _         | ー<br>(σ)2.4<br>直読式(<br>き)<br>(σ)1.7 | mm以下<br>足付   |                               |   |                     |  |  |                            | 以上の割<br>らないと<br>値(X10<br>ない。た              | 、個々<br>合でもし<br>とにし、                     | 見格値<br>に、10<br>ついて<br>厚さ                     | を満足<br>個の<br>満足し<br>のデー  | 10 個に 9<br>しなければ<br>測定値の平<br>なければな<br>タ数が 10<br>値は適用し | な均ら個 |   |   |
|                  |                  |           |   |    |                   |                |     |           |                                     |  |                               |   |                     |  |  |                            | に損傷を<br>方法によ<br><b>延長が</b><br>工事にお<br>ることが | 装等で<br>与える<br><b>100r</b><br>いてに<br>出来る | でコア<br>る恐れ<br>とが出<br><b>n未満</b><br>は、平<br>る。 | のある<br>来る。<br><b>の舗装</b> | により床版<br>場合は、他<br><b>、または</b> 維<br>項目を省略              | の持   |   |   |
| 3 土木工士           | 2 一般施一           | 6一般舗装     | 8 | 12 | 半たわみ性舗装工(表層工)     | 厚さあるい<br>は標高較差 | -17 | -20       | - 2                                 | - 3  | 1. 3次<br>おいて<br>形管理要<br>技術(面  | 「3次元<br>領(案<br>管理の                                | 計測<br>() 舗<br>(場合   | 技術を<br>装工編<br>)」に                        | :用いた<br>  多点<br>基づき                        | 出来                         | いた上で<br>基層およ                               | 以上の管理<br>び表属                            | の工事(<br>里が可)<br>暑用混                          | ・<br>能な工<br>合物の          | 理図等を描<br>事をいい、<br>総使用量が                               |      |   |   |
| 事共通編             | I                | <b></b> 五 |   |    | (面管理の場合)          | 平坦性            |     | _         | (σ)2.<br>直読式                        | 7/ルメーター<br>4mm以下<br>に足付<br>)1.75mm以                      | に規定す<br>す計測力<br>る場合に<br>2. 個々 | る計測<br>法によ<br>適用す<br>の計測                          | 精度<br>  り出<br>  値の  | <ul><li>計測<br/>来形管</li><li>規格値</li></ul> | 密度を<br> で理をす                               | と満た<br>逐施す                 | より規模<br>施工管理<br>い、同一                       | 工事<br>は小<br>に<br>に<br>工種<br>の           | とは、!<br>さいも(<br>央でき                          | 中規模<br>のの、<br>る規模        | 「る。<br>以上の工事<br>管理結果を<br>の工事をい<br>連続する場               |      |   |   |
|                  |                  |           |   |    |                   |                |     |           |                                     |  | 度3全度以4の5合高さて測点点すさ値さ直平差        | <br> は設標に/m2<br>  で はとを下域に<br>  で 直差高の<br>  大 で 1 | 幅値平 下で較目設1員を面 層算差標計 | ・ 内質投 の出と高                               | 全のを表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を | 計測密<br>ニり)<br>善診 層<br>計画の標 | 工事にお<br>を省略す                               | <b>100m</b><br>いてに                      | ま、平  | 坦性の                      | または維持項目   | 寺    |   |   |

|                  |       |             |   |    |                   |                |        | 規          | 格値   |   |   |
|------------------|-------|-------------|---|----|-------------------|----------------|--------|------------|--|---|---|
| 編                | 章     | 節           | 条 | 枝番 | 工 種               | 測定項目           |        | )測定値<br>X) | 平海 ※ 面質  | )測定値の<br>均(X₁₀)<br>理の場合<br>で値の平均          | 測定基準 測定簡所 摘曳  |
|                  |       |             |   |    |                   |                | 中規 模以上 | 小規模<br>以下  | 中規模以上  |   |   |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般  | 6<br>一<br>般 | 8 | 11 | 半たわみ性舗装工<br>(表層工) | 厚き             | - 7    | - 9        | - 2  | - 3                                       | 幅は、延長 <b>40m</b> 毎に1ヶ所の割とし、<br>厚さは、1,000 ㎡毎に1個の割でコア<br>ーを採取して測定。<br>工事規模の考え方<br>中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。                           |
| 工事共              | 施工    | 舗装工         |   |    |                   | 幅              | -25    | -25        | _  | _   | 「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要額(案)」の規定による測点の管理<br>厚さは、個々の測定値が10個に9個   |
| 通編               |       |             |   |    |                   | 平坦性            |        | _          | 3mプロフメータ・<br>(σ)2.4<br>直読式(<br>き)<br>(σ)1.7<br>下 | -<br>Imm以下<br>(足付                         | 方法を用いることができる。   |
|                  |       |             |   |    |                   |                |        |            |  |   | 橋面舗装等でコアー採取により床版等<br>に損傷を与える忍れのある場合は、他の<br>方法によることが出来る。<br>延長が 100m未満の舗装、または維持<br>工事においては、平坦性の項目を省略す<br>ることが出来る。  |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6一般舗        | 8 | 12 | 半たわみ性舗装工<br>(表層工) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -17    | -20        | -2   | - 3                                       | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要額(案)」に基づき出来形管<br>理を実施する場合、その他本基準に規<br>・  |
| 事共通編             | 工     | 装工          |   |    | (面管理の場合)          | 平坦性            |        | _          | メータ<br>(σ)2.<br>直読式                              | ロフィル<br>/-<br>.4mm以下<br>に(足付<br>-)1.75mm以 | 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、  |
|                  |       |             |   |    |                   |                |        |            |  |   | 全での点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)<br>以上とする。<br>4.厚さは、直下層の標高値と当該層<br>の標高値との差で算出する。<br>5.厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高<br>高軟差平均値+設計厚さから求まる高<br>さとの差とする。 |

|             |             |             |   |    |                   |                |           | 規         | 格 値              | の測定値                   |  |     |
|-------------|-------------|-------------|---|----|-------------------|----------------|-----------|-----------|------------------|------------------------|--|-----|
| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工種                | 測定項目           | 個々の<br>(X | ()        | の平<br>※面管<br>は測定 | 均(X10)<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準測定箇所擴  | 新 要 |
|             |             |             |   |    |                   |                | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模<br>以上        | 小規模<br>以下              |  |     |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6 一般        | 9 | 1  | 排水性舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽           | ±40       | ±50       | _                | _                      | 基準高は延長 40m毎に1箇所の割と<br>し、道路中心線および端部で測定。<br>厚さは、各車線( <b>40m</b> 毎に <b>右、中、左、</b><br>の施工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。   |     |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |   |    |                   | 厚き             | -45       | -45       | -15              | -15                    | を交互に) 1 箇所を掘り起こし測定。       小規模工事とは、表層、及び基層の<br>施工面積が 1,000  |     |
| 通編          |             |             |   |    |                   | 幅              | -50       | -50       | _                | _                      | 以上の割合で規格値を満足しなければ<br>ならないとともに、10個の測定値の平<br>均値 (X10) について満足しなければ  |     |
|             |             |             |   |    |                   |                |           |           |                  |                        | ならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適 用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版 等に損傷を与える恐れのある場合は、 他の方法によることが出来る。  |     |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 9 | 2  | 排水性舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽           | ±90       | ±90       | +40<br>-15       | +50<br>-15             | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管中規模以上の工事は、管理図等を描理要額(案)舗装工編 多点計測技術 いた上での管理が可能な工事をいい、   |     |
| 工事共通        | 施工          | 舗装工         |   |    | (面管理の場合)          | 厚さあるい<br>は標高較差 | ±90       | ±90       | +40<br>-15       |                        | (面管理の場合)」に基づき出来形管理<br>を実施する場合、その他本基準に規定す<br>3,000 t以上の場合が該当する。<br>る計測精度・計測密度を満たす計測方法<br>により出来形管理を実施する場合に適用<br>より規模は小さいものの、管理結果を  |     |
| 編           |             |             |   |    |                   |                |           |           |                  |                        | する。 施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場として主10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全での点で標高値を算出する。計測密度は11点、m2 (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高軟差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差を平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 |     |

|             |             |             |   |    | 1                 |                | I                      |     |                  |  |  |     |
|-------------|-------------|-------------|---|----|-------------------|----------------|------------------------|-----|------------------|--|--|-----|
|             |             |             |   |    |                   |                |                        | 規   | 格値               |  |  |     |
| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工種                | 測定項目           | 個々の<br>(2<br>中規模<br>以上 |     | の平<br>※面管<br>は測定 | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均<br>小規模<br>以下 | 測定基準測定箇所   | 新 要 |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 9 | 1  | 排水性舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽           | ±40                    | ±50 | _                | _  | 基準高は、延長 40m毎に1ヶ所の割と<br>し、道路中心線及び端部で測定。<br>厚さは、各車線( <b>40m</b> 毎に <b>右、中、左、</b><br>の施工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。   |     |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |   |    |                   | 厚き             | -45                    | -45 | -15              | -15  | を交互に) 1 箇所を掘り起こし測定。幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割に測施工面積が1,000  |     |
| 通編          |             |             |   |    |                   | 幅              | -50                    | -50 | _                | _  | 以上の割合で規格値を満足しなければ<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理要<br>領(案)」の規定による測点の管理方法<br>均値(X10)について満足しなければ  |     |
|             |             |             |   |    |                   |                |                        |     |                  |  | を用いることができる。       ならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適 用しない。         コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。  |     |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 9 | 2  | 排水性舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽           | ±90                    | ±90 | +40<br>-15       | +50<br>-15   | 1. 3次元データによる出来形管理にお<br>いて「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)」に基づき出来形管理を実<br>の施工面積が1,000 m/以上とする。  |     |
| 工事共通        | 施工          | 舗装工         |   |    | (面管理の場合)          | 厚さあるい<br>は標高較差 | ±90                    | ±90 | +40<br>-15       | +50<br>-15   | 施する場合、その他本基準に規定する計<br>測精度・計測密度を満たす計測方法によ<br>り出来形管理を実施する場合に適用す<br>る。  |     |
| 編           |             |             |   |    |                   |                |                        |     |                  |  | 2. 個々の計測値の規格値には計測精度<br>として±10mmが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全<br>ての点で標高値を算出する。計測密度は<br>1点/m2(平面投影面積当たり)以上と<br>する。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の<br>標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高値を差として評価する場合<br>は、直下層の目標高さ+直下層の標高較<br>差平均値+設計厚さから求まる高さとの<br>差とする。 |     |

|             |             |             |   |    |                                  |                |           | 規         | 格値     |   |  |      |              |          |     |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
|-------------|-------------|-------------|---|----|----------------------------------|----------------|-----------|-----------|--------|---|--|------|--------------|----------|-----|-------------|---------------------|----------------------|-------------|---------------|-------------------------|---|---|
| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工 種                              | 測定項目           | 個々の<br>() | 測定値       | 平均 ※面管 | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測  | 定    | 基            | 準        |     |             | 測                   | 定                    | 笛           | 所             | Ť                       | 摘 | 要 |
|             |             |             |   |    |                                  |                | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模以上  | 小規模以<br>下                                   |  |      |              |          |     |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 9 | 3  | 排水性舗装工<br>(上層路盤工)                | 厚き             | -25       | -30       | - 8    | -10   | 幅は、延長 <b>40</b><br>厚さは、各車<br><b>左、を交互に</b> | 三線 ( | <b>40m</b> 毎 | に右、      | 中、  | 中規<br>工面積   | 模以上<br>が <b>1,0</b> | の工事<br><b>00 ㎡</b> 以 | 上とす         | っる。           | 当たりの施                   |   |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |   |    | 粒度調整路盤工                          | 幅              | -50       | -50       | _      | _   | 定。   |      |              |          |     | 工面積 厚さ      | が <b>1,0</b><br>は、個 | <b>00 ㎡オ</b><br>マの測  | <b>満</b> とす | トる。<br>§ 10 個 | び基層の施<br>固に 9 個以        |   |   |
| 通編          |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   |  |      |              |          |     | ないと<br>(X10 | ともり) につ             | こ、10<br>ついてi         | 個の満足し       | 則定値<br>なけれ    | ければなら<br>直の平均値<br>ればならな |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   |  |      |              |          |     | の場合         |                     | 値の平                  | 均値に         |               | 10 個未満<br>しない。          |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   |  |      |              |          |     | に損傷         |                     | とる恐れ                 | hのあ         | る場合           | より床版等<br>合は、他の          |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   |  |      |              |          |     |             |                     |                      | 1/K'2/0     |               |                         |   |   |
| 3 土 木       | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 9 | 4  | 排水性舗装工 (上層路盤工)                   | 厚さあるい<br>は標高較差 | -54       | -63       | 8 -8   | -10   | 1. 3次元デ<br>おいて「3次<br>形管理要領(                | 元計測  | 則技術を         | 用いた      | 出来  | 中規          | 模以上                 | の工事                  |             |               |                         |   |   |
| エ           | 施           | 舗           |   |    | 粒度調整路盤工                          |                |           |           |        |   | 技術(面管理                                     | の場合  | )」に          | 基づき出     | 出来  | 基層お         | よび表                 | 層用酒                  | 合物の         | 総使            | 用量が                     |   |   |
| 事共          | 工           | 装工          |   |    | (面管理の場合)                         |                |           |           |        |   | 形管理を実施 に規定する計                              |      |              |          |     |             | t 以上の<br>模工事        |                      |             |               | の工事                     |   |   |
| 通           |             |             |   |    | (m a - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 1 - 1 |                |           |           |        |   | す計測方法に                                     |      |              |          |     |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
| 編           |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | る場合に適用                                     |      | . 10 14 14   | F11-1-31 |     |             | 理に反                 |                      |             |               |                         |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | <ol> <li>個々の計<br/>度として±10</li> </ol>       |      |              |          |     |             | ]一丄種<br>€当する        |                      | -か数ト        | 理紀"           | する場                     |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | 3. 計測は設                                    |      |              |          |     | L 10 100    |                     | . 0                  |             |               |                         |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | 全ての点で標                                     |      |              |          |     |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | 度は1点/m2<br>以上とする。                          | (半直  | 口投影直         | 間付当た     | .9) |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | <u>め</u> エこする。<br>4. 厚さは、i                 | 直下層  | の標高          | 「値と当     | 該層  |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | の標高値との                                     | 差で第  | 出する          | 0.       |     |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | 5. 厚さを標                                    |      |              |          |     |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | 合は、直下層<br>高較差平均値                           |      |              |          |     |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |
|             |             |             |   |    |                                  |                |           |           |        |   | 商収定半均値                                     |      | 1子さり         | いり水よ     | る言  |             |                     |                      |             |               |                         |   |   |

| 編         | 章      | 節       | 条 | 枝番 | 工種                                       | 測定項目       | (2         | 測定値() 小規模        | 平均<br>※面管<br>は測定<br>中規模 | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>直の平均<br>小規模以 | 測定基準 測定箇所 摘   | 要 |
|-----------|--------|---------|---|----|--|------------|------------|------------------|-------------------------|---|---|---|
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 3  | 排水性舗装工<br>(上層路盤工)<br>粒度調整路盤工             | 厚さ幅        | -25<br>-50 | 以下<br>-30<br>-50 | - 8                     | -10<br>-  | 幅は、延長 40m年に1ヶ所の割とし、<br>厚さは、各車線(40m年に右、中、<br>左、を交互に)1 箇所を掘り起こし測<br>定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要領(案)」の規定による測点の管理<br>方法を用いることができる。<br>(X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10 個末満の場合は適用といい、 「200 データ数が10 個末満の場合は測定値の平均値は適用しなただし、厚さのデータ数が10 個末満の場合は測定値の平均値は適用しながあると  |   |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工  | 6一般舗装工  | 9 | 4  | 排水性舗装工<br>(上層路盤工)<br>粒度調整路盤工<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -54        | -63              | 3 -8                    | -10   | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(策)」に基づき出来形管<br>理を実施する場合、その他本基準に規<br>渡方法により出来形管理を実施する場合、その他本基準に規<br>渡方法により出来形管理を実施する場合、その他本基準に規<br>に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測精<br>度として土10mが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、<br>全での点で標高値を算出する。計測密度<br>度は1点/四2(平面投影面積当たり)<br>以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層<br>の標高値との差で第出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高をき出する場合は、直下層の標高をも直下層の標高を要出する場合は、直下層の標高を要出する場合は、直下層の標高を必要として評価する場合は、直下層の標高を当まる。 |   |

|             |             |      |   |    |                   |                |       | 規         | 格値                       |   |                                   |             |            |                |  |                        |                      |  | Τ  |   |
|-------------|-------------|------|---|----|-------------------|----------------|-------|-----------|--------------------------|---|-----------------------------------|-------------|------------|----------------|--|------------------------|----------------------|--|----|---|
| 編           | 章           | 節    | 条 | 枝番 | 工 租               | 測定項目           | ()    | 測定値<br>X) | 10個の<br>平式<br>※面管<br>は測定 | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測                                 | 定           | 基          | 準              | 測  | 定                      | 箇                    | 所  | 摘  | 要 |
|             |             |      |   |    |                   |                | 中規模以上 | 小規模<br>以下 | 中規模以上                    | 小規模以<br>下                                   |                                   |             |            |                |  |                        |                      |  |    |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6一般舗 | 9 | 5  | 排水性舗装工<br>(上層路盤工) | 厚き             | -25   | -30       | - 8                      | -10   | し、厚さは                             | 1,00        | 00 m² (3   | 1個の割て          | 工事規模の<br>・ 中規模以<br>・ の施工面積               | 上のエ                    |                      |  |    |   |
| 工事共         | 施工          | 装工   |   |    | セメント(石灰)<br>安定処理工 | 幅              | -50   | -50       | _                        | _   | 測定。                               |             |            |                | 施工面積が<br>厚さは、                            | <b>1,000</b> i<br>個々のi | <b>北未満</b> 。<br>則定値2 | 5 10 個に 9 個                                    | ı  |   |
| 通編          |             |      |   |    |                   |                |       |           |                          |   |                                   |             |            |                | ならないと<br>均値 (X10<br>ならない。                | ともに、<br>) につ!<br>ただし.  | 10個の<br>いて満足<br>厚さの  | 足しなければ<br>の測定値の平<br>足しなければ<br>のデータ数が<br>の平均値は適 |    |   |
|             |             |      |   |    |                   |                |       |           |                          |   |                                   |             |            |                | 用しない。<br>コアー採取<br>橋面舗集<br>等に損傷を<br>他の方法に | 等でコ<br>与える:            | アー採耳                 |  | į. |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般;       | 6 一般 | 9 | 6  | 排水性舗装工<br>(上層路盤工) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -54   | -63       | -8                       | -10   | において「<br>出来形管理                    | 3 次元<br>要領( | 計測技<br>案)舗 | 術を用いた<br>装工編 多 | いた上での                                    | 上の工                    | 可能なこ                 |  |    |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工  |   |    | セメント(石灰)<br>安定処理工 |                |       |           |                          |   | の他本基準                             | 管理を<br>に規定  | 実施す<br>する計 | る場合、そ<br>測精度・計 | 3,000 t 以」<br>小規模工                       | 上の場合<br>事とは、           | が該当<br>中規権           | 莫以上の工事   |    |   |
| 通編          |             |      |   |    | (面管理の場合)          |                |       |           |                          |   | 形管理を実<br>2. 個々の                   | 施する<br>計測値  | 場合に<br>の規格 | 適用する。<br>値には計測 | い、同一工                                    | 反映で:                   | きる規模                 | 莫の工事をい   |    |   |
|             |             |      |   |    |                   |                |       |           |                          |   | 精度として<br>3. 計測は<br>し、全ての<br>計測密度は | 設計幅<br>点で標  | 員の内<br>高値を | 側全面と<br>算出する。  | 合が該当す                                    | <b>්</b>               |                      |  |    |   |
|             |             |      |   |    |                   |                |       |           |                          |   | 計例名及は<br>当たり)以<br>4. 厚さは<br>層の標高値 | 上とす<br>、直下  | る。<br>層の標  | 高値と当該          |  |                        |                      |  |    |   |
|             |             |      |   |    |                   |                |       |           |                          |   | 5. 厚さを<br>場合は、直                   | 標高較<br>下層の  | 差とし<br>目標高 | て評価する<br>さ+直下層 | ž.                                       |                        |                      |  |    |   |
|             |             |      |   |    |                   |                |       |           |                          |   | の標高較差<br>まる高さと                    |             |            | "厚さからオ         |  |                        |                      |  |    |   |

|       |   |    |     |    |           |             |     | 規     | 格値  |                             |        |      |       |                          |               |     |        |               |                   |      |   |
|-------|---|----|-----|----|-----------|-------------|-----|-------|-----|-----------------------------|--------|------|-------|--------------------------|---------------|-----|--------|---------------|-------------------|------|---|
|       |   |    |     |    |           |             | 個力  | の測定値  |     | 測定値の<br>匀(X <sub>10</sub> ) |        |      |       |                          |               |     |        |               |                   |      |   |
| 編     | 章 | 節  | 条   | 枝番 | т. я      | ■ 測定項目      |     | (X)   |     | 理の場合                        | 湘      | 定    | 基     | 准                        | 油             | ı   | 定      | 笛             | 丽                 | 縮    | 要 |
| 77110 | - | MI | 714 | МШ |           | ± 101.0C X1 |     |       | は測定 | 値の平均                        | 100    | ~_   | canz  | -                        | LA.           | ,   | ~_     | 100           | 721               | 3100 | _ |
|       |   |    |     |    |           |             |     | 1 小規模 |     | 小規模以                        |        |      |       |                          |               |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             | 以上  | 以下    | 以上  | 下                           |        |      |       |                          |               |     |        |               |                   |      |   |
| 3     | 2 | 6  | 9   | 5  | 排水性舗装工    |             |     |       |     |                             | 幅は、延長  |      |       |                          |               |     |        |               |                   |      |   |
| 土     | - | 般  |     |    |           | 厚き          | -25 | -30   | - 8 | -10                         |        |      |       |                          |               |     |        |               | 1 層当たり            |      |   |
| 木     | 般 | 舗  |     |    | (上層路盤工)   |             |     |       |     |                             |        | 取もし  | くは掘   | り起こして                    | の施工面積         |     |        |               |                   |      |   |
| 工     | 施 | 装  |     |    | セメント(石灰)  |             |     |       |     |                             | 測定。    |      |       |                          | 小規模           | 工事。 | とは、    | 表層、           | 及び基層の             | •    |   |
| 事     | 工 | 工  |     |    | 安定処理工     | 幅           | -50 | -50   | _   | _                           |        |      |       |                          | 施工面積左         |     |        |               |                   |      |   |
| 共     |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 「3次元計  |      |       |                          |               |     |        |               | ぶ10個に9個           |      |   |
| 通     |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          |               |     |        |               | 足しなければ            |      |   |
| 編     |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 管理方法を  | 用いる  | ことが   | できる。                     | ならない。         | ととも | もに、    | 10個           | の測定値の平            |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          |               |     |        |               | 足しなければ            |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          |               |     |        |               | りデータ数が            |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          | 10 個未満        | の場合 | 合は涯    | 則定値の          | の平均値は遙            | i    |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          | 用しない。         |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          | コアー採用         | 取に~ | ついて    | -             |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          | 橋面舗           | 装等~ | でコフ    | アー採耳          | 反により床版            | į    |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          | 等に損傷を         | を与え | える恐    | 恐れのお          | ある場合は、            |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             |        |      |       |                          | 他の方法に         |     |        | が出来           | とる。               |      |   |
| 3     | 2 | 6  | 9   | 6  | 排水性舗装工    | 厚さある        | 1.5 |       |     |                             | 1. 3次元 | データに | による   | 出来形管理                    | ! 工事規模の       | の考え | え方     |               |                   |      |   |
| 土     | _ | _  |     |    |           | は標高較        |     | -63   | - 8 | -10                         | において「  | 3次元  | 計測技   | 術を用いた                    |               |     |        |               | 1 層当たり            |      |   |
| 木     | 般 | 般  |     |    | (上層路盤工)   | 7.4.1元(円)平X | 圧   |       |     |                             | 出来形管理  |      |       |                          |               | 責が. | 1, 000 | <b>1 ㎡</b> 以上 | ととする。             |      |   |
| 工     | 施 | 舗  |     |    | セメント (石灰) |             |     |       |     |                             | 来形管理を  |      |       |                          |               |     |        | 施工            | 面積が <b>1,00</b> 0 | )    |   |
| 事     | 工 | 装  |     |    | 安定処理工     |             |     |       |     |                             | 基準に規定  | する計  | 則精度   | <ul> <li>計測密度</li> </ul> | <b>㎡未満</b> とっ | する。 |        |               |                   |      |   |
| 共     |   | 工  |     |    |           |             |     |       |     |                             | を満たす計  |      |       |                          | !             |     |        |               |                   |      |   |
| 通     |   |    |     |    | (面管理の場合)  |             |     |       |     |                             | を実施する  |      |       |                          |               |     |        |               |                   |      |   |
| 編     |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 2. 個々の |      |       |                          | I             |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 精度として  |      |       |                          |               |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 3. 計測は | 設計幅  | 員の内   | 側全面と                     |               |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | し、全ての  | 点で標  | 高値を   | 算出する。                    |               |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 計測密度は  | 1点/m | n2 (平 | 面投影面積                    | f             |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 当たり)以  | 上とす  | る。    |                          |               |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 4. 厚さは | 、直下  | 層の標   | 高値と当該                    |               |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 層の標高値  | との差  | で算出   | する。                      |               |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 5. 厚さを | 標高較  | 差とし   | て評価する                    | 5             |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | 場合は、直  | 下層の  | 目標高   | さ+直下原                    | š             |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | の標高較差  | 平均値  | +設計   | 厚さかられ                    | ₹             |     |        |               |                   |      |   |
|       |   |    |     |    |           |             |     |       |     |                             | まる高さと  | の差と  | する。   |                          |               |     |        |               |                   |      |   |

|           |       |         |   |    |   |            |       | 規         | 格値                        |   |   |  |  |  | 1  |  |   |  |  |       |   |
|-----------|-------|---------|---|----|---|------------|-------|-----------|---------------------------|---|---|--|--|--|--|--|---|--|--|-------|---|
| 編         | 章     | 節       | 条 | 枝番 | 工  種                                      | 測定項目       |       | 測定値       | 10 個の<br>平式<br>※面管<br>は測定 | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測   | 定  | 基  | 準  |  | 測  | 定   | 箇                                      | 所  | 摘     | 要 |
|           |       |         |   |    |   |            | 中規模以上 | 小規模<br>以下 | 中規模<br>以上                 | 小規模以<br>下                                   |   |  |  |  |  |  |   |  |  |       |   |
| 3 土 木     | 2 一般  | 6 一般    | 9 | 7  | 排水性舗装工<br>(加熱アスファルト                       | 厚き         | -15   | -20       | - 5                       |   |   | , 1,00   | 0 m²k3   | 箇所の割と<br>こ1個の割で  | 中規4  | 莫以上<br>漬が 1  | の工事<br>,000 m   | 以上と                                    |  |       |   |
| 工事共通      | 施工    | 舗装工     |   |    | 安定処理工)                                    | 幅          | -50   | -50       | _                         | _   |   |  |  |  | 施工面積<br>厚さり  | 責が <b>1</b><br>は、個   | <b>,000 m</b><br> 々の測   | <b>未満</b> と<br> 定値が                    | 及び基層<br>する。<br>10個に9<br>としなけれ  | 個     |   |
| 選編        |       |         |   |    |   |            |       |           |                           |   |   |  |  |  | な均な10 用コ<br>幅の10 間に<br>はない<br>が、<br>はない<br>になっ<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に | いとと<br>X10)<br>い。<br>満の<br>い。<br>取<br>に<br>編<br>を<br>基<br>්                              | もに、い<br>とだし、<br>とだけ<br>は<br>は<br>は<br>い<br>こ<br>で<br>る<br>で<br>る<br>る<br>る<br>る<br>る<br>で<br>る<br>る<br>る<br>る<br>る<br>る<br>る<br>る<br>る<br>る | 10 個の<br>いて厚えの<br>則定値の<br>アー採取<br>なれのも | の測定値の<br>足しだけり<br>の平均値<br>ない<br>りで<br>りに<br>よ<br>に<br>よ<br>に<br>よ<br>に<br>よ<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に | 平ばが適版 |   |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 8  | 排水性舗装工<br>(加熱アスファルト<br>安定処理工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -36   | -45       | - 5                       |   | に出来計画出来を連ってはのは以は値を直に出来計画出来を連合を管理をなし測で度りを高さ、現でりに高さ、場でりはは値を直をしまれる。 は、過ぎりを高さ、場合のは、は、値を直に、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は | 3要(管にた施計±設点1上、と標下平次領面理規すす測10計で点と直の高層均にです。<br>では管を定計る値㎜幅標/「す下差較の値 | 計案理実す則場のが員高にる層で差目+)測)の施る方合規含の値(。の算と標設・技舗場す計法に格ま内を平 標出し高計 | る測に適値にれ側算面を高値になった。別に適値になります。別にで全はのではいるとのでは、別になるとのでは、別には、別には、別には、別には、別には、別には、別には、別には、別には、別に | ・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・   | 製でより<br>単のびより<br>単のでは<br>以上等<br>はに<br>はに<br>はに<br>はに<br>はに<br>はに<br>はに<br>はに<br>はに<br>はに | の工事団場のとさいで施工のでは、もき工   | 能なのが該当様の規模の規模                          | 総使用量が<br>ける。<br>以上の工事<br>管理結果を<br>の工事をい  |       |   |

|           |        |         |   |    |   |            |                  |                   | 格値                        |   | T   |   |
|-----------|--------|---------|---|----|---|------------|------------------|-------------------|---------------------------|---|---|---|
| 編         | 章      | 節       | 条 | 枝番 | 工  種                                      | 測定項目       | 個々の<br>(2        | 測定値<br>X)         | 10 個の<br>平均<br>※面管<br>は測定 | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準 測定箇所 摘   | 要 |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 7  | 排水性舗装工<br>(加熱アスファルト<br>安定処理工)             | 厚さ幅        | 中規模<br>以上<br>-15 | 小規模<br>-20<br>-50 | 中規模<br>- 5                | 小規模以<br>下<br>- 7                            | 幅は、延長 <b>40加</b> 毎に 1 ヶ所の割と<br>し、厚さは、1,000 ㎡に 1 個の割で<br>ロアーを採取して測定。<br>・ 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工面積が <b>1,000 ㎡以</b> 上とする。<br>小規模工事とは、表層、及び基層の<br>施工面積が <b>1,000 ㎡以</b> 上とする。<br>「3 次元計測技術を用いた出来形管<br>種要領 (案)」の規定による測点の<br>管理方法を用いることができる。<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個<br>以上の割合で規格値を満足しなければ<br>ならないとともに、10 個の測定値の平<br>均値 (X10) について満足しなければ<br>ならない。ただし、厚さのデータ数が<br>10 個未満の場合は測定値の平均値は適 |   |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工  | 9 | 8  | 排水性舗装工<br>(加熱アスファルト<br>安定処理工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -36              | -45               | - 5                       | - 7   | 用しない。コア-採取について<br>橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。  1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(業)」に基づき出地来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測特度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を演だす計測方法により出来形管理を演だする場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測特度として土10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側を面とし、全ての点で標高値を算出する。   |   |
|           |        |         |   |    |   |            |                  |                   |                           |   | 計測密度は1点/m2 (平面投影面積<br>当たり)以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該<br>層の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高敏差として評価する<br>場合は、直下層の目標高さ+直下層<br>の標高敏差平均値+設計厚さから求<br>まる高さとの差とする。   |   |

|                  |       |        |   |    |                             |            |       | 規         | 格値                        |   |   |  |  |  |   |                                    |  |   | 1             |   |
|------------------|-------|--------|---|----|-----------------------------|------------|-------|-----------|---------------------------|---|---|--|--|--|---|------------------------------------|--|---|---------------|---|
| 編                | 章     | 節      | 条 | 枝番 | 工種                          | 測定項目       | (2    | 測定値<br>X) | 10 個の<br>の平<br>※面管<br>は測定 | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測   | 定  | 基  | 準  | 測   | 定                                  | 箇  | 所   | 摘             | 要 |
|                  |       |        |   |    |                             |            | 中規模以上 | 小規模<br>以下 | 中規模以上                     | 小規模<br>以下                                   |   |  |  |  |   |                                    |  |   |               |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6 一般舗  | 9 | 9  | 排水性舗装工 (基層工)                | 厚き         | - 9   | -12       | - 3                       | - 4   |   | , 1,00   | 0 m² k²  | 箇所の割と<br>1個の割で   | 中規模以<br>施工面積が   | 上の工事<br><b>1,000 m</b>             | 以上と  | 1層当たりの<br>: する。<br>、及び基層の   |               |   |
| 事共通              | I     | 装工     |   |    |                             | 幅          | -25   | -25       | _                         | _   |   |  |  |  | 施工面積が<br>厚さは、   | <b>1,000 n</b><br>個々の測             | <b>3未満</b> と<br>1定値か   |   | 固             |   |
| 編                |       |        |   |    |                             |            |       |           |                           |   |   |  |  |  | 均値 (X10<br>ならない。<br>10 個未満の<br>用しない。<br>コアー採面<br>糖面舗装 | ) についただし、<br>) 場合は<br>について<br>等でコン | ハ<br>で<br>下<br>で<br>で<br>に<br>で<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に             | の測定値の3<br>足しなけれいのデータ数がの平均値は近<br>の平均値は近<br>取により床り<br>ある場合は、<br>そる。 | ゴ<br>Sa<br>Sa |   |
| 3 土木工事共通編        | 2一般施工 | 6一般舗装工 | 9 | 10 | 排水性舗装工<br>(基層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -20   | -26       | -3                        | -4  | に出来ができます。 は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 | 3要(管にた施計±設点1上、と標下平次領面理規すす測10計で点と直の高層均元(管を定計る値皿幅標/「す下差較の値 | 計案理実す測場のが員高記る層で差目+測)の施る方合規含の値(。の算と標設は舗場す計法に格ま内を平 標出し高計 | る測に適値れ側算面 高側に適値れ側算面 とまりまる計を出るとのではいるとのではいるとのでは、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 中規模以<br>いた屋おより<br>3,000 t 以<br>小規規模は<br>施工管理に         | 上管表のとさいの理層場はいで施ります。                | 能物の<br>能物が<br>中のの<br>規様<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の | 総使用量が   |               |   |

|                  |       |         |   |    |                            |    |            |           | 規         | 格値               |   |   |                                      |   |  |                   |  |                                   |   |                      |                          |   |   |
|------------------|-------|---------|---|----|----------------------------|----|------------|-----------|-----------|------------------|---|---|--------------------------------------|---|--|-------------------|--|-----------------------------------|---|----------------------|--------------------------|---|---|
| 編                | 章     | 節       | 条 | 枝番 | 工                          | 種  | 測定項目       | (2        |           | の平<br>※面管<br>は測定 | の測定値<br>均(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測   | 定                                    | 基   | 準  |                   | 測  | 定                                 | 箇   | 所                    |                          | 摘 | 要 |
|                  |       |         |   |    |                            |    |            | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模<br>以上        | 小規模<br>以下                                   |   |                                      |   |  |                   |  |                                   |   |                      |                          |   |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6一般舗    | 9 | 9  | 排水性舗装工 (基層工)               |    | 厚き         | - 9       | -12       | - 3              | - 4   | 幅は、延長・<br>し、厚さは、<br>コアーを採取  | 1,000                                | m² k²   |  | · 中<br>施工         | 4規模の表現模以<br>対機以<br>面積が、<br>対機工   | 上の工事<br>1,000 i                   | 加以上と                                      | する。                  |                          |   |   |
| 事共通              | 工     | 装工      |   |    |                            |    | 幅          | -25       | -25       | _                | _   | 「3次元計測<br>理要領(案)」<br>管理方法を用   | の共                                   | 見定に   | よる測点の  | 施工                | 面積が.<br>では、他<br>で割合  | <b>1,000 i</b><br>固々の派<br>で規格     | <b>ポ未満</b> と<br>則定値が<br>値を満り              | する。<br>10 個に<br>足しない | に 9 個<br>ければ             |   |   |
| 編                |       |         |   |    |                            |    |            |           |           |                  |   |   |                                      |   |  | 均な10用コ 等に         | o k (X 10)<br>o k  | ) につ<br>ただし<br>場合は<br>こついっ<br>与える | いて満<br>、厚定値<br>て<br>アー採<br>で<br>で<br>アルの。 | 足しない<br>の平均(<br>取らより | ければ<br>タ数が<br>値は適<br>り床版 |   |   |
| 3 土木工事共通編        | 2一般施工 | 6 一般舗装工 | 9 | 10 | 排水性舗装工<br>(基層工)<br>(面管理の場合 | 5) | 厚さあるいは標高較差 | -20       | -26       | -3               | -4  | 1. に出来基をを2. 権は、対策を表し、対策を表し、対策を対象に対し、対策を対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対 | 次領施る方合測10計で点と直の高層均元(す計法に近の幅標/エマ下差較の値 | 計案る則こ窗のが員高にる層で差目+測)の場構よ用規含の値(。の算と標設は、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方では、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは | 術を式、・出る値れ側算面 高すていた出本度理 測。<br>とる評判とはいる正すと しょ 価値にて全計判 といるとる しょ 価値を できまる といる できまる できまる しょう しょう しょう しょう はい はい しょう はい はい しょう はい はい しょう はい しょう はい しょう はい しょう はい はい はい しょう はい | 中 施工 小 <b>加</b> 对 | <ul><li>類様のより</li><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><l>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、<ul><li>は、</li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></l></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul></li></ul> | 上の工事<br><b>1,000 1</b><br>事とは     | 加以上と                                      | する。                  |                          |   |   |

|             |             |             |   |    |                 |                |       | 規         | 格 値                   |   |  |   |  |   |                                |                             |                                     |                            |  |   |     |
|-------------|-------------|-------------|---|----|-----------------|----------------|-------|-----------|-----------------------|---|--|---|--|---|--------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|----------------------------|--|---|-----|
| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工種              | 測定項目           |       | 測定値<br>K) | 平型 ※面管                | 測定値の<br>匀(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測  | 定   | 基  | 準   |                                | 測                           | 定                                   | 箇                          | 所  | ħ | 窗 要 |
|             |             |             |   |    |                 |                | 中規模以上 | 小規模<br>以下 |                       | 小規模以下                                       | =  |   |  |   |                                |                             |                                     |                            |  |   |     |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 9 | 11 | 排水性舗装工<br>(表層工) | 厚き             | - 7   | - 9       | -2                    | - 3   | 幅は、延長<br>し、厚さは<br>でコアーを                        | , 1,000   | ) m³毎  | に1個の割   | 中規 工面積                         | 模以上<br>が <b>1,0</b> 0       | の工事。<br><b>00 ㎡</b> 以               | ヒとす                        |  |   |     |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |   |    |                 | 幅              | -25   | -25       | _                     | _   |  |   |  |   | 面積が厚さ                          | <b>1,000</b><br>は、個         | <b>㎡未満</b> る                        | とする。<br>E値が                | 10 個に 9 個以                                       | Ļ |     |
| 通編          |             |             |   |    |                 | 平坦性            | -     | _         | (σ)2.4<br>直読式<br>(足付き | フィルーター<br>Imm 以下<br>)<br>75mm 以下            |  |   |  |   | いとと<br>10) に<br>だし、<br>は測定     | もに、<br>ついて<br>厚さの<br>値の平    | 10 個の<br>満足した<br>データ数<br>均値は近       | )測定値<br>なけれい<br>数が 10      | なければならた<br>直の平均値(♪<br>ばならない。た<br>)個未満の場合<br>ない。  | - |     |
|             |             |             |   |    |                 |                |       |           |                       |   |  |   |  |   | 橋面<br>損傷を<br>による<br><b>延長</b>  | 与える<br>ことが<br><b>が 100</b>  | でコア-<br>恐れの<br>出来る。<br><b>m未満</b> の | ある場<br><b>の舗装</b> 、        | により床版等に<br>合は、他の方法<br><b>、または</b> 維持コ<br>目を省略するこ | 3 |     |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般        | 6 一般        | 9 | 12 | 排水性舗装工<br>(表層工) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -17   | -20       | - 2                   | - 3   | 1. 3次元<br>において「<br>出来形管理                       | 3 次元記<br>要領(3   | 計測技<br>案)舗   | 術を用いた<br>装工編 多  | 中規いた上                          | 模の考<br>模以上<br>での管           | の工事に                                | とな工                        |  |   |     |
| 工事共通編       | 施工          | 舗装工         |   |    | (面管理の場合)        | 平坦性            | -     |           | (σ)2.<br>直読式          | 4mm 以下<br>(足付き)                             | 点計測技術<br>づき出来形の他本基準<br>測密度を満<br>形管理を実<br>2.個々の | 管理を<br>に規定<br>たす計<br>施する  | 実施す<br>する計<br>則方法<br>場合に   | る場合、そ<br>測精度・計<br>により出来<br>適用する。  | 3,000<br>小規<br>より規<br>施工管      | t 以上の<br>模工事<br>模は小<br>理に反  | )場合が<br>とは、「<br>さいもの<br>映できる        | 該当す<br>中規模リ<br>の、行<br>る規模の | でる。<br>以上の工事<br>管理結果を<br>の工事をい                   |   |     |
|             |             |             |   |    |                 |                |       |           | ı                     |   | 精度として:<br>3. 計測は                               | ±10mm/<br>記計では1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 | が員高心な層で差している。<br>ののをできまれる。<br>ののできるできまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまれる。<br>できまる。<br>できまる。<br>できまる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>でる。<br>でる。<br>でる。<br>でる。<br>でる。<br>でる。<br>でる。<br>で | れてい面とる。<br>とるとのとの<br>を出投影 値るの<br>はでいるとの<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>で<br>さ<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が | 合が該<br><b>延長</b><br>事にお<br>とが出 | 当する。<br><b>が 100</b><br>いては | m未満の                                | の舗装、                       | 、 <b>または</b> 維持3<br>目を省略するこ                      |   |     |

|             |             |             |   |    |                 |                |           | 規         | 格値                                       |   | _   |  |   |  |                             |                                  |                              |                      |   |   |     |
|-------------|-------------|-------------|---|----|-----------------|----------------|-----------|-----------|--|---|---|--|---|--|-----------------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------|---|---|-----|
| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工種              | 測定項目           | 個々の<br>(2 |           | 平均<br>※面管                                | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測   | 定  | 基   | 準  |                             | 測                                | 定                            | 箇                    | 所   | 指 | 新 要 |
|             |             |             |   |    |                 |                | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 |  | 小規模以下                                       |   |  |   |  |                             |                                  |                              |                      |   |   |     |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 9 | 11 | 排水性舗装工<br>(表層工) | 厚き             | - 7       | - 9       | - 2                                      | - 3   | 幅は、延長<br>し、厚さは<br>でコアーを   | 1,000  | ma毎り  | こ1個の割  | 中規模<br>工面積が                 | 以上の<br><b>1,000</b>              | エ事と<br><b>加</b> 以上           | :とする                 |   |   |     |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |   |    |                 | 幅              | -25       | -25       | _  | l   | 「3次元計<br>理要領(案  | )」 の規  | 見定に。  | よる測点の  | 面積が <b>1,</b><br>厚さは        | 000 m<br>、個々                     | <b>(未満</b> と<br>の測定          | :する。<br>E値が 1        | 及び基層の施工<br>10 個に 9 個以                           | Į |     |
| 通編          |             |             |   |    |                 | 平坦性            | _         | -         | メーター<br>(σ)2.4<br>直読式<br>(足付き            | mm 以下                                       | 管理方法を   | 用いるこ   | ことが゛  | できる。   | いととも<br>10) につ              | に、1<br>いて満<br>さのテ<br>の平均         | 0 個の<br>情足した<br>ボータ数<br>J値は適 | 測定値<br>cけれに<br>yが 10 | なければならな<br>近の平均値(X<br>ばならない。た<br>個未満の場合<br>よい。  | _ |     |
|             |             |             |   |    |                 |                |           |           | (0)11.                                   | y   |   |  |   |  | 損傷を与<br>によるこ<br><b>延長が</b>  | える恐<br>とが出<br><b>100m</b><br>ては、 | れのま<br> 来る。<br>  <b>未満の</b>  | oる場合<br><b>O舗装、</b>  | こより床版等に<br>合は、他の方法<br><b>または</b> 維持コ<br>目を省略するこ | - |     |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般;       | 6 一般        | 9 | 12 | 排水性舗装工<br>(表層工) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -17       | -20       | - 2                                      | - 3   | 1. 3次元<br>において「<br>出来形管理  | 3 次元記<br>要領(第  | 十測技術<br>を)」に  | 析を用いた<br>基づき出  | 工事規模<br>中規模<br>工面積が         | の考え<br>以上の<br><b>1,000</b>       | 工事と<br><b>加</b> 以上           | :とする                 |   |   |     |
| 工事共通編       | 施工          | 舗装工         |   |    | (面管理の場合)        | 平坦性            | -         | _         | 3mプロ<br>メーター<br>(σ)2.4<br>直読式(<br>(σ)1.7 | mm 以下                                       | 来形管理を<br>基準に規定<br>を実施する<br>2.個々の<br>精度として   | する計測<br>別方法に<br>場合に<br>計測値の  | 則精度<br>こよりと<br>箇用する<br>り規格(   | ・計測密度<br>出来形管理<br>る。<br>直には計測  | <b>満</b> とする。<br><b>延長が</b> | 100m                             | ı <b>未満</b> ∉                | 舗装、                  | iが <b>1,000 ㎡</b><br>または維持コ<br>目を省略するこ          | - |     |
|             |             |             |   |    |                 |                |           |           |  |   | 3. 、測た の . 合標原は の は以は値を の . 合標原は 高さ、 較原原は 高さ、 較標原は 高さ、 較標原は 高さ、 較原原 に 一般 の . 一般 . 一般 | 設計幅<br>が<br>は<br>な<br>に<br>と<br>直<br>の<br>高<br>を<br>に<br>と<br>に<br>を<br>に<br>を<br>に<br>を<br>に<br>に<br>を<br>に<br>を<br>に<br>を<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に | 員の内(<br>高(2)<br>高(2)<br>高(3)<br>高(3)<br>高(3)<br>高(3)<br>高(4)<br>高(4)<br>高(4)<br>高(4)<br>高(4)<br>高(4)<br>高(4)<br>高(4 | 則全面と<br>章出なる。<br>面投影面積<br>高値と<br>もである。<br>高値を<br>もである。<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、 | とが出来                        |                                  |                              |                      |   |   |     |

|             |      |        |    |    |              |       |                        | #1 /       | 格値  |   |   |
|-------------|------|--------|----|----|--------------|-------|------------------------|------------|---|---|---|
| 編           | 章    | 節      | 条  | 枝番 | 工   種        | 測定項目  | 個々の<br>(X<br>中規模<br>以上 | 測定値(       | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均<br>中規模 小規模<br>以上 以下 | 測定基準測定箇所摘   | 要 |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 6 一般   | 10 | 1  | 透水性舗装工 (路盤工) | 基準高▽  | ±                      | 50         | _   | 基準高は片側延長 40m毎に1箇所の<br>中規模以上の工事とは、1層当たりの<br>東さは、片側延長 40m毎に1箇所網 施工雨館が1,000 m以上とする。  |   |
| 小工 事 共      | 施工   | 放舗 装 工 |    |    | (阿強土)        | 厚 さ   | t <<br>15cm            | -30        | -10   | ルストランス (1987年) 1887年 (1987年 |   |
| 通編          |      |        |    |    |              | 厚り    | t ≧<br>15cm            | -45        | -15   | 以上の割合で規格を満足しなければ<br>水歩道舗装に適用する。   |   |
|             |      |        |    |    |              | 幅     | -1                     | .00        | _   | ならない。ただし、厚さのデータ数が<br>10 個未満の場合は測定値の平均値は適<br>用しない。   |   |
|             |      |        |    |    |              |       |                        |            |   | コアー採取について<br>橋面舗装等でコアー採取により床版等<br>に損傷を与える恐れのある場合は、他<br>の方法によることが出来る。  |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 6 一般   | 10 | 2  | 透水性舗装工 (路盤工) | 基準高▽  | t <<br>15cm            | +90<br>-70 | +50<br>-10  | 1. 3次元データによる出来形管理<br>こおいて「3次元計測技術を用いた<br>出来形管理解質(変) 舗装工編 多 いた上での管理が可能な工事をいい。  |   |
| · 工事        | 施工   | 舗装     |    |    | (面管理の場合)     | 左毕向 ∨ | t ≧<br>15cm            | ±90        | +50<br>-15  | 13本か管理を順(泉)舗泉上幅 タ<br>京計側技術「面管理の場合)」に基づ<br>芸層および表層用混合物の総使用量が<br>ち出来形管理を実施する場合、その 3,000 t 以上の場合が該当する。   |   |
| 共通編         |      | 工      |    |    |              | 厚さあるい | t <<br>15cm            | +90<br>-70 | +50<br>-10  | 也本基準に規定する計測精度・計測<br>密度を満たす計測方法により出来形<br>影度を満たす計測方法により出来形<br>影見模は小さいものの、管理結果を<br>施工管理に反映できる規模の工事をい   |   |
| APRIS       |      |        |    |    |              | は標高較差 | t ≧<br>15cm            | ±90        | +50<br>-15  | 2. 個々の計測値の規格値には計測<br>請度として±10mmが含まれている。<br>合が該当する。  |   |
|             |      |        |    |    |              |       |                        |            |   | 3. 計測は設計幅員の内側全面と  、   |   |

|                  |       |                  |    |    |              |                |                   | 規                 | 格値   |   |   |
|------------------|-------|------------------|----|----|--------------|----------------|-------------------|-------------------|--|---|---|
| 編                | 章     | 節                | 条  | 枝番 | 工 種          | 測定項目           | 個々の               | 測定値()             | 10個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均<br>中規模 小規模<br>以上 以下 | 測定基準測定箇所擴   | 要 |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6<br>一<br>般<br>舗 | 10 | 1  | 透水性舗装工       | 基準高▽           | 以上<br>±:          | •                 | ——————————————————————————————————————                                     | 5 準高は片側延長 40m毎に1ヶ所の 工事規模の考え方<br>可で測定。<br>ささは、片側延長 40m毎に1箇所掘 施工面積が1,000 m以上とする<br>小規模工事とは、施工面積が1,000 m以上とする<br>小規模工事とは、施工面積が1,000  |   |
| 事共通              | 工     | 装工               |    |    |              | 厚き             | t <<br>15cm       | -30               | -10  | 通は、片側延長 40m毎に1箇所測 <b>ゴ大浦</b> とする。<br>厚さは、個々の測定値が10個に9個<br>以上の割合で規格値を満足しなければ   |   |
| 編                |       |                  |    |    |              | 序 &            | t ≧<br>15cm       | -45               | -15  | 大歩道舗装に適用する。 ならないとともに、10 個の測定値の平均値(X10)について満足しなければ「3次元計測技術を用いた出来形管ならない。ただし、厚さのデータ数が  |   |
|                  |       |                  |    |    |              | 幅              | -1                | .00               | _  | 10 個大演の場合は測定値の平均値は適<br>  15 個大演の場合は測定値の平均値は適<br>  17   18   18   18   18   18   18   18   |   |
|                  |       |                  |    |    |              |                |                   |                   |  | 横面輸装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。   |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6 一般舗            | 10 | 2  | 透水性舗装工 (路盤工) | 基準高▽           | t < 15cm t ≧ 15cm | +90<br>-70<br>±90 | +50<br>-10<br>+50<br>-15   | ・ 3 次元データによる出来形管理<br>たおいて「3 次元計測技術を用いた<br>は来形管理要領(案)」に基づき出来<br>影管理を実施する場合、その他本基<br>・ 1 本規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工面積が 1,000 加以上とする。<br>・ 小規模工事とは、施工面積が 1,000                             |   |
| 事共通編             | I     | 装工               |    |    | (面管理の場合)     | 厚さあるい<br>は標高較差 | t < 15cm          | +90<br>-70<br>±90 | +50<br>-10<br>+50  | はに規定する計測特度・計測密度を<br>結たす計測方法により出来形管理を<br>認能する場合に適用する。<br>個々の計測値の規格値には計測<br>特度として±10mmが含まれている。  |   |
|                  |       |                  |    |    |              |                | 15cm              |                   | _15  | 3. 計測は設計幅員の内側全面と 、、全ての点で標高値を算出する。  「測密度は1点/m2 (平面投影面積  たり)以上とする。  1. 厚さは、直下層の標高値と当該  『の標高値との差で算出する。  5. 厚さを標高較差として評価する。  3- 合は、直下層の目標高さ+直下層 標高較差平均値+設計厚さから求  こる高さとの差とする。  《歩道舗装に適用する。 |   |

単位: mm

|         |        |        |    |    |                             |                | 規             | 各値  |  |   |
|---------|--------|--------|----|----|-----------------------------|----------------|---------------|---|--|---|
| 編       | 章      | 節      | 条  | 枝番 | 工種                          | 測定項目           | 個々の測定値<br>(X) | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測定基準測定箇所摘  | 要 |
| 3 土木工事  | 2一般施工  | 6一般舗装  | 10 | 3  | 透水性舗装工(表層工)                 | 厚さ             | <b>-</b> 9    | - 3   | 幅は、片側延長 <b>40加</b> 毎に1箇所の割<br>で測定。<br>厚さは、片側延長 <b>80加</b> 毎に1箇所コ<br>アーを採取して測定。<br>エ事規模の考え方<br>中規模以上の工事とは、1層当たりの<br>施工面積が <b>1,000 加</b> 以上とする。<br>小規模工事とは、施工面積が <b>1,000</b><br><b>加未満</b> とする。  |   |
| 共通編     |        | エ      |    |    |                             | 幅              | -25           | _   | ※歩道舗装に適用する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデーク敷が  |   |
|         |        |        |    |    |                             |                |               |   | 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。<br>コア・採取について<br>橋面舗装等でコアー採取により床版等<br>に損傷を与える恐れのある場合は、他<br>の方法によることが出来る。   |   |
| 3 土木工事: | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 10 | 4  | 透水性舗装工<br>(表層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -20           | - 3   | 1. 3次元データによる出来形管理<br>において「3次元計測技術を用いた<br>出来形管理要領(第)舗装工編 多<br>点計測技術 (面管理の場合)」に基づ<br>き出来形管理を実施する場合、その<br>3,000 t 以上の場合が該当する。   |   |
| 共通編     |        | 工      |    |    |                             |                |               |   | 他本基準に規定する計測精度・計測 密度を満たす計測方法により出来形 管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測 精度として主10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。 計測密度は1点/m2(平面投影面積 当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該 層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さい合成。 場合は、直下層の目標高さい合成。 場合は、直下層の標高さい合成。 場合は、直下層の標高を必要として評価する。 |   |

#### 改訂【R4.10】

|        |        |        |    |    |                             |                |               |   | 単位  | 位:mm |
|--------|--------|--------|----|----|-----------------------------|----------------|---------------|---|---|------|
|        |        |        |    |    |                             |                | 規             | 格 値   |   |      |
| 編      | 章      | 節      | 条  | 枝番 | 工種                          | 測定項目           | 個々の測定値<br>(X) | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測定基準測定箇所  | 窗 要  |
| 3 土木工事 | 2 一般施工 | 6 一般舗装 | 10 | 3  | 透水性舗装工(表層工)                 | 厚さ             | <b>-</b> 9    | - 3   | 幅は、片側延長 <b>40m</b> 毎に 1ヶ所の割 工事規模の考え方<br>で測定。<br>厚さは、片側延長 <b>80m</b> 毎に 1ヶ所コ<br>アーを採取して測定。<br>北工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。<br>小規模エ事とは、施工面積が <b>1,000 ㎡</b><br><b>1,000 ㎡</b><br><b>1,000 ㎡</b>  |      |
| 共通編    |        | 工      |    |    |                             | 幅              | -25           | _   | ※歩道舗装に適用する。 「3 次元計測技術を用いた出来形管 理要領 (案)」の規定による測点の管 理方法を用いることができる。   |      |
|        |        |        |    |    |                             |                |               |   | 10 個未満の場合は測定値の平均値は適<br>用しない。<br>コアー採取について<br>橋面舗装等でコアー採取により床版等<br>に損傷を与える恐れのある場合は、他<br>の方法によることが出来る。  |      |
| 3 土木工事 | 2 一般施工 | 6一般舗装  | 10 | 4  | 透水性舗装工<br>(表層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -20           | - 3   | 1. 3次元データによる出来形管理<br>において「3次元計測技術を用いた<br>出来形管理要領(案)」に基づき出来<br>形管理を実施する場合、その他本基<br>準に規定する計測精度・計測密度を<br><b>エ</b> 事機工事とは、施工面積が <b>1,000 加</b> 大地とする。<br><b>加</b> 大地でする。<br><b>加大地で工事とは、施工面積が 1,000 加大地で工事とは、施工面積が 1,000 加大地で工事とは、施工面積が 1,000 加大地で工事とは、施工面積が 1,000</b>      |      |
| 共通編    |        | 工      |    |    |                             |                |               |   | 満たす計測方法により出来形管理を<br>実施する場合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測<br>精度として±10mが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面と<br>しての点で標高値を算出する。<br>計測密度は1点/m2 (平面投影面積<br>当たり、以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該<br>層の標高値との整で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する<br>場合は、直下層の目標高さ+直下層<br>の標高較差平均値+設計厚さから求<br>まる高さとの差とする。 |      |
|        |        |        |    |    |                             |                |               |   | ※歩道舗装に適用する。   |      |

|           |        |         |    |    |   |            |                  | 規   | 格値                      |     |   |   |   |  |  |   |  |   |   |   |
|-----------|--------|---------|----|----|---|------------|------------------|-----|-------------------------|-----|---|---|---|--|--|---|--|---|---|---|
| 編         | 章      | 節       | 条  | 枝番 | 工 種   | 測定項目       | 個々の<br>()<br>中規模 | 小規模 | 平均<br>※面管<br>は測定<br>中規模 |     | 測   | 定   | 基   | 準  | 測  | 定   | 箇  | 所   | 摘 | 要 |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 11 | 1  | グースアスファルト<br>舗装工<br>(加熱アスファルト<br>安定処理工)                                 | 厚さ         | 一15              | -20 | -5                      | 一7  | 幅は、延長<br>し、厚さは、<br>コアーを採む                   | 1,000   | m²≀⊂  |  | 施工の根本が、インスをはいる。<br>施工の大型では、インスをはいる。<br>施工のない。からでは、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、インスをはいる。<br>が、ため、<br>が、ため、<br>が、ため、<br>が、もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、 | 上の1,000 m<br>1,000 m<br>1, | 以表帯値満の満りにという。 大田 10 で 関 アンドル 10 で 関 アンドル 10 で で は 10 で で は 10 で で 10 で で 10 で 10 | 及び基層ののでは、<br>は10個なけ値のはでは、<br>は20別ででは、<br>は20別ででは、<br>は30回では、<br>は30回ででは、<br>は30回では、<br>は30回では、<br>は30回では、<br>は40回では、<br>は5回では、<br>は5回では、<br>な6回では、<br>な6回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では、<br>な7回では7回では7回では7回では7回では7回では7回では7回では7回では7回では |   |   |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工  | 6一般舗装工  | 11 | 2  | <ul><li>グースアスファルト舗装工</li><li>(加熱アスファルト安定処理工)</li><li>(面管理の場合)</li></ul> | 厚さあるいは標高較差 | -36              | -45 | - 5                     | - 7 | 1. コンス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ | 「管則をの計出す計で、役点度り、直標直較次要術来を別せ、計では、)直と高下差では、)直と高下差では、前にの「動標」が、対しての「動展平 | 元領(形基度管 か加 員高点上層差差の均計)、無常準定理 規が の値/と標等を連接を 格含 内を心す標算と目値 | 技) 無理規定<br>(大) 無理規定<br>(大) 無理規定<br>(大) 無理規定<br>(大) にれ 全田平。<br>(本) は、<br>(本) と。価十三<br>(本) と。価十三<br>(本) と。価十三<br>(本) に、<br>(本) に 、<br>(本) に<br>(本) に<br>(本) に<br>(本) に<br>(本) | いた上でのできる。<br>3,000 t以上でいた。<br>小規模では、<br>小規模では、<br>施工の設管理工だ。<br>合が該当する。   | この工事で<br>受験を<br>でで<br>でで<br>でで<br>でで<br>でして<br>で<br>が<br>で<br>が<br>で<br>が<br>で<br>が<br>で<br>が<br>で<br>の<br>と<br>さ<br>い<br>で<br>で<br>の<br>た<br>り<br>た<br>り<br>た<br>り<br>た<br>り<br>た<br>り<br>た<br>り<br>た<br>り<br>た<br>り<br>た<br>り<br>た  | 能なのが該当様の規模の規模  | 総使用量が<br>ける。<br>以上の工事<br>管理結果を<br>の工事をい   |   |   |

|           |        |        |    |    |   |            |       | 規         | 格値                 |   |   |   |
|-----------|--------|--------|----|----|---|------------|-------|-----------|--------------------|---|---|---|
| 編         | 章      | 節      | 条  | 枝番 | 工 種   | 測定項目       | 個々の   |           | 10 個の<br>平均<br>※面管 | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準測定箇所擴   | 要 |
|           |        |        |    |    |   |            | 中規模以上 | 小規模<br>以下 | 中規模以上              |   |   |   |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 11 | 1  | グースアスファルト<br>舗装工<br>(加熱アスファルト<br>安定処理工)             | 厚さ         | -15   | -20       | - 5                | - 7   | 幅は、延長 40m年に1ヶ所の割と<br>し、厚さは、1,000 ㎡に1個の割で<br>コアーを採取して測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形<br>管理要額(案)」に基づき出来形形<br>煙さは、個々の測定値が1,000 ㎡以上とする。<br>小規模工事とは、表層、及び基層の<br>管理要額(案)」に基づき出来形形<br>煙さは、個々の測定値が10個に9個<br>理を実施する場合は、同要額に規<br>以上の割合で規格値を消足しなければ<br>定する計測精度・計測密度を満たならないとともに、10個の測定値の平<br>す計測方法により出来形管理を実<br>施することができる。<br>10個末満の場合は測定値の平均値は<br>組上ない。<br>コア一採取について<br>橋面舗装等でコアー採取により床版<br>等に損傷を与える恐れのある場合は、<br>他の方法によることが出来る。 |   |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工  | 6一般舗装工 | 11 | 2  | グースアスファルト<br>舗装工<br>(加熱アスファルト<br>安定処理工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -36   | -45       | - 5                | - 7   | 1. 3次元データによる出来形管<br>理において「3次元計測技術を用<br>いた出来形管理要領(案)」に基づ<br>さ出来形管理を実施する場合、そ<br>の他本基準に規定する計測特度・<br>制密度を満たす計測方法により<br>出来形管理を実施する場合に適用<br>する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計<br>制精度として土10mm/含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面と<br>し、全での点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2 (平面投<br>影面積当たり)以上とする。<br>5. 厚さは、直下層の標高値と当<br>該層の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高を当<br>時間の標高値とから水まる高さとの差とする。   |   |

|                  |       |        |    |    |                                       |       |       | 規         | 格値               |   |                           |   |   |  |  |  |  |  |   |   |
|------------------|-------|--------|----|----|---------------------------------------|-------|-------|-----------|------------------|---|---------------------------|---|---|--|--|--|--|--|---|---|
| 編                | 章     | 節      | 条  | 枝番 | 工  種                                  | 測定項目  | ì     | (X)       | 平式<br>※面管<br>は測定 | 測定値の<br>タ(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測                         | 定   | 基   | 準  | 測  | 定  | 箇  | 所  | 摘                                       | 要 |
|                  |       |        |    |    |                                       |       | 中規模以上 | 小規模<br>以下 | 甲規模<br>以上        | 小規模以<br>下                                   |                           |   |   |  |  |  |  |  |   |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6 一般舗  | 11 | 3  | グースアスファルト<br>舗装工<br>(基層工)             | 厚さ    | - 9   | -12       | - 3              | - 4   | 幅は、延長<br>し、厚さは、<br>コアーを採り | 1,00  | 0 m²k3  |  | 施工面積が  | 上の工事<br><b>1,000 n</b>   | 以上と  | 1層当たりの<br>する。<br>及び基層の                         |   |   |
| 事共通              | I     | 装工     |    |    | (CLL) par                             | 幅     | -25   | -25       | _                | _   |                           |   |   |  | 施工面積が、<br>厚さは、(<br>以上の割合)  | <b>1,000 m</b><br>固々の測<br>で規格(   | <b>(未満</b> と<br>  定値が<br>直を満り  | する。<br>: 10 個に 9 個<br>足しなけれは                   | 1                                       |   |
| 編                |       |        |    |    |                                       |       |       |           |                  |   |                           |   |   |  | な均な (X 10)<br>なり値 (X 10)<br>10 個未就<br>間しない操動<br>単立<br>一様<br>にの<br>方<br>他<br>の<br>方<br>後<br>後<br>後<br>後<br>後<br>後<br>後<br>後<br>後<br>後<br>り<br>を<br>り<br>を<br>り<br>を<br>り<br>を<br>り<br>を | についただし、<br>場合は<br>こついて<br>等えるる   | 、<br>で<br>で<br>関定値<br>アー採り<br>恐れのる                                   | としなければ<br>のデータ数が<br>の平均値は適<br>なにより床版<br>ある場合は、 | t c c c c c c c c c c c c c c c c c c c |   |
| 3 土木工事共通編        | 2一般施工 | 6一般舗装工 | 11 | 4  | グースアスファルト<br>舗装工<br>(基層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるい | -20   | -25       | -3               | - 4   | る場合は、                     | 「3理技の計出す計で、設点変り、値標直較次を開きの計出す計で、計では)直と高下差別を、計では)直と高下差別を対しての電局で、場所の電局では、10世間では、10世に | 元領(形基度管 の㎜ 員高点上層差交番互計(面発準を理 規が の値/とのでき目値<br>別楽管に演を 格含 | 脚技術 無対<br>(注) 無理知<br>(注) 無理知<br>(注) 無理知<br>(注) 無理知<br>(注) 無理<br>(注) 無理<br>(注) 表<br>(注) 是<br>(注) 表<br>(注) 是<br>(注) 是<br>(主) 是 | いた上での名<br>基層および以上<br>小規模は大<br>小規模は大<br>ル<br>大り規管理に上<br>い、<br>合が該当する  | 上の工事で表現のというというというというというというというです。<br>というでは、いいでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでは、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というでも、<br>というと、<br>というと、<br>というと、<br>といも、<br>といも、<br>といも、<br>といも、<br>といも、<br>といも、<br>といも、<br>とい | 能なり<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 総使用量が<br>する。<br>以上の工事<br>管理結果を<br>の工事をい        |   |   |

#### 改訂【R4.10】

|           |       |        |    |    |                                       |            |     | 規         | 格値               |   |  |   |  |  |  |  |  |   |             |   |
|-----------|-------|--------|----|----|---------------------------------------|------------|-----|-----------|------------------|---|--|---|--|--|--|--|--|---|-------------|---|
| 編         | 章     | 節      | 条  | 枝番 | 工 種                                   | 測定項目       | (2  | 測定値<br>K) | 平均<br>※面管<br>は測定 | 測定値の<br>タ(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均<br>小規模以 | 測 :  | 定   | 基  | 準  | 測  | 定                                      | 箇  | 所   | 摘           | 要 |
|           |       |        |    |    |                                       |            | 以上  | 以下        | 以上               | 下   |  |   |  |  |  |  |  |   |             |   |
| 3 土 木 工   | 2 一般施 | 6 一般舗  | 11 |    | グースアスファルト<br>舗装工<br>(基層工)             | 厚き         | - 9 | -12       | - 3              | - 4   | 幅は、延長 <b>4</b><br>し、厚さは、<br>コアーを採取   | 1,000                                     | m²(C   | 1個の割で  | 中規模以<br>施工面積が                                | 上の工事<br><b>1,000 z</b>                 | 心以上と                                       | 1層当たり<br>する。<br>及び基層                      |             |   |
| 事共通       | 工     | 装工     |    |    | (金/日上)                                | 幅          | -25 | -25       | _                | _   | 「3次元計測<br>管理要領(案<br>理を実施する   | )] [                                      | こ基づ  | き出来形管  | 施工面積が<br>厚さは、                                | <b>1,000 m</b><br>固々の測                 | <b>4未満</b> と<br>  定値か                      | する。<br>10個に9                              | 固           |   |
| 編         |       |        |    |    |                                       |            |     |           |                  |   | 定する計測精<br>す計測方法に<br>施することが   | より  | 出来   | 形管理を実  | 均値(X10<br>ならない。<br>10 個未満の<br>用しない。<br>コアー採取 | ) につ!<br>ただし、<br>場合は<br>こついてコ!<br>与える! | ハて満り<br>、厚さ値<br>・<br>アー採り<br>で<br>で<br>れのる | 足しなけれ<br>のデータ数<br>の平均値は<br>取によりは<br>ある場合は | ボ<br>が<br>適 |   |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工 | 6一般舗装工 | 11 | 4  | グースアスファルト<br>舗装工<br>(基層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -20 | -25       | -3               |   | 1. おおでいます。<br>1. おいまでは、 1. では、 | 3 理を規た実 測土 計では)直と高下差次要実定す施 値10m 幅標1以下の較層平 | 元領施す計す の 順員高点上層差ぎの均計側案る計分 規が の値/とので差の均場 格含 内を心す標算と目値 | 技) 場測法合 値ま 側算(る高出し標件) は物法合 値ま 側算(る高出し標件を にれ 全出平面 とる評さ計計 とが 当。価年厚も が 当。価年度な 当 が は かっぱい と 投 当。価年度な は かっぱい と は 当 がっぱい かっぱい かっぱい かっぱい しょうしょう | 施工面積が  | 上の工事<br><b>1,000 m</b><br>事とは、         | 加以上と                                       | 1層当たり<br>する。<br><u>布</u> 積が <b>1,0</b>    |             |   |

|             |        |        |    |    |                                       |                |           | 規         | 格値  |             |   |   |                               |  |  |     |
|-------------|--------|--------|----|----|---------------------------------------|----------------|-----------|-----------|---|-------------|---|---|-------------------------------|--|--|-----|
| 編           | 章      | 節      | 条  | 枝番 | 工 種                                   | 測定項目           |           | 測定値<br>K) | 10 個の測<br>平均(<br>※面管理<br>は測定値                 | X10)        | 測   | 定   | 基                             | 準  | 測 定 箇 所 摘  | i 要 |
|             |        |        |    |    |                                       |                | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模以上   | 小規模<br>以下   |   |   |                               |  |  |     |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般   | 6 一般は  | 11 | 5  | グースアスファルト<br>舗装工                      | 厚き             | - 7       | - 9       | - 2   | - 3         | 幅は、延長<br>し、厚さは、<br>アーを採取し   | 1,000   | m²(こ)                         |  | 工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。   |     |
| 工事共通        | 施工     | 舗装工    |    |    | (表層工)                                 | 幅              | -25       | -25       | _   | _           |   |   |                               |  | 小規模工事とは、表層、及び基層の施工<br>面積が 1,000 <b>㎡未満</b> とする。<br>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上<br>の割合で規格値を満足しなければならない                    |     |
| 編           |        |        |    |    |                                       | 平坦性            | -         | _         | 3mプロフィ)<br>(σ)2.4m<br>直読式<br>(足付き)<br>(σ)1.75 | n以下         |   |   |                               |  | とともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は<br>測定値の平均値は適用しない。<br>コアー採取について                        |     |
|             |        |        |    |    |                                       |                |           |           |   |             |   |   |                               |  | 橋面舗装等でコアー採取により床版等に<br>損傷を与える恐れのある場合は、他の方法<br>によることが出来る。<br>延長が 100m未満の舗装、または維持工<br>事においては、平坦性の項目を省略するこ<br>とが出来る。 |     |
| 3 土木工事共     | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 11 | 6  | グースアスファルト<br>舗装工<br>(表層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるい<br>は標高較差 | -17       | -20       | - 2   | - 3         | 1.3次元ラ<br>において「3<br>出来形管理要<br>点計測技術<br>き出来形管理<br>他本基準に規             | 次元計<br>要領(案<br>(面管理<br>里を実施   | 測技(<br>) 舗<br>の場<br>する        | 析を用いた<br>装工編 多<br>合)」に基づ<br>場合、その        | 工事規模の考え方<br>中規模以上の工事は、管理図等を描いた<br>上での管理が可能な工事をいい、基層およ  |     |
| 八通編         |        |        |    |    | (面自在7/10日)                            | 平坦性            | -         | _         | 3mプロフィリ<br>(σ)2.4m<br>直読式(足<br>(σ)1.75n       | n以下<br>と付き) | 密度を満たす管理を実施す<br>2.個々の計<br>精度として±<br>3.計測は認                          | -計測方<br>- る場合<br>- 削値の<br>- 10mmが<br>計幅員  | 法に適用格の内                       | より出来形<br>用する。<br>直には計測<br>れている。<br>則全面と  | 規模は小さいものの、管理結果を施工管理<br>に反映できる規模の工事をいい、同一工種<br>の施工が数日連続する場合が該当する。<br>延長が100m未満の舗装、または維持工<br>事においては、平坦性の項目を省略するこ   |     |
|             |        |        |    |    |                                       |                |           |           |   |             | し、<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・ | 点/m2<br>とする<br>で<br>で<br>で<br>で<br>高<br>で<br>高<br>で<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | (平i<br>の標声<br>算出<br>手を<br>目標計 | 面投影面積<br>高値と当該<br>する。<br>で評価する<br>いて評価する | n and a second   |     |

|         |        |         |    |    |                                       |            |           |           |  |                          |   |  |                                     |                                  | 単位. IIIII  |     |
|---------|--------|---------|----|----|---------------------------------------|------------|-----------|-----------|--|--------------------------|---|--|-------------------------------------|----------------------------------|--|-----|
|         |        |         |    |    |                                       |            |           | 規         | 格値   |                          |   |  |                                     |                                  |  |     |
| 編       | 章      | 節       | 条  | 枝番 | 工種                                    | 測定項目       | 個々の<br>() | 測定値<br>X) | 10 個の測<br>平均(<br>※面管理<br>は測定値                | X <sub>10</sub> )<br>の場合 | 測   | 定  | 基                                   | 準                                | 測 定 箇 所 摘  | i 要 |
|         |        |         |    |    |                                       |            | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模<br>以上                                    | 小規模<br>以下                |   |  |                                     |                                  |  |     |
| 3 土 木   | 2 一般:  | 6 一般    | 11 |    | グースアスファルト<br>舗装工                      | 厚き         | - 7       | - 9       | - 2  | - 3                      | 幅は、延長<br>し、厚さは、<br>アーを採取し   | 1,000  | m²(こ 1                              |                                  | 工面積が 1,000 ml以上とする。  |     |
| 工事共通    | 施工     | 舗装工     |    |    | (表層工)                                 | 幅          | -25       | -25       | _  | _                        | 理要領 (案)   | 」に基  | づき出                                 | 来形管理を                            | 小規模工事とは、表層、及び基層の施工<br>・ 面積が 1,000 加未満とする。<br>・ 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上<br>・ 5 の割合で規格値を満足しなければならない              |     |
| 編       |        |         |    |    |                                       | 平坦性        | -         | _         | 3mプロラ<br>メーター<br>(σ)2.4m<br>直読式<br>(足付き)     |                          |   |  |                                     |                                  | 7とともに、10個の測定値の平均値(X10)<br>について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は<br>測定値の平均値は適用しない。<br>コアー採取について                 |     |
|         |        |         |    |    |                                       |            |           |           | (σ)1.75                                      | mm 以下                    |   |  |                                     |                                  | 橋面舗装等でコアー採取により床版等に<br>損傷を与える恐れのある場合は、他の方法<br>によることが出来る。<br>延長が 100m未満の舗装、または維持工<br>事においては、平虫性の項目を省略するこ         |     |
| 3 土木工事共 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 11 |    | グースアスファルト<br>舗装工<br>(表層工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -17       | -20       | - 2  | - 3                      | 1. 3次元ラ<br>において「3<br>出来形管理を実施<br>準に規定する<br>満たす計測す                       | 次元計<br>要領(案<br>重する場<br>計測精                             | 測技術                                 | 析を用いた<br>基づき出来<br>その他本基<br>計測密度を | とが出来る。<br>工事規模の考え方<br>中規模以上の工事とは、1 層当たりの施<br>工面積が 1,000 ㎡以上とする。<br>小規模工事とは、施工面積が 1,000 ㎡未<br>満とする。             |     |
| 八通編     |        |         |    |    | (間日至20個日)                             | 平坦性        | -         | _         | 3mプロフ<br>メーター<br>(σ)2.4m<br>直読式(反<br>(σ)1.75 | -<br>n以下<br>と付き)         | 実施 1 3 2 2 1 2 1 3 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2                              | かに適用<br>計測値の<br>10mmが<br>計幅員<br>で標高                    | する。<br>規格(<br>含まれ<br>の内(<br>値を)     | 直には計測<br>れている。<br>則全面と<br>章出する。  | 延長が 100m未満の舗装、または維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。  |     |
|         |        |         |    |    |                                       |            |           |           |  |                          | 計例を<br>当たり)以<br>4. 厚の標高を<br>5. 厚高値を<br>場合は、<br>が標高さを<br>が標高さを<br>まる高さとの | :とする<br>: 直下層<br>: の差で<br>: 原高較<br>: 下層の<br> <br>  下層面 | 。<br>の標<br>第出<br>きと<br>目標<br>計<br>計 | 高値と当該<br>する。<br>て評価する<br>;さ+直下層  | ži dienie i |     |

|                  |                  |             |    |    |                      |                    |                  | 規 札       | 各値                      |                |  |   |
|------------------|------------------|-------------|----|----|----------------------|--------------------|------------------|-----------|-------------------------|----------------|--|---|
| 編                | 章                | 節           | 条  | 枝番 | 工種                   | 測定項目               | 個々の<br>(X<br>中規模 | 小規模       | 平均<br>※面管<br>は測定<br>中規模 |                | 測定基準測定箇所摘  | 要 |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2<br>一<br>般<br>施 | 6 一般舗       | 12 | 1  | コンクリート舗装工            | 基準高▽               | 以上<br>±40        | 以下<br>±50 | 以上                      | <u>以下</u><br>— | 基準高は延長 40m毎に 1 箇所の割と<br>し、道路中心線および端部で測定。<br>早さは、各車線(40m毎に右、中、<br>塩工面積が 1,000 ㎡以上とする。<br>気を変瓦に) 1 箇所を掘り起こし測 小規模工事とは、施工面積が 1,000 ㎡ |   |
| 事共               | I                | 装工          |    |    |                      | 厚き                 |                  | 45        | -                       | -15            | 定。 中心線偏心量(幅管理において道   |   |
| 通編               |                  | 1           |    |    |                      | 幅                  | - 5              | 50        |                         | _              | 格中心線から左、右を測定する場合 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個<br>は不要)は、延長 40m毎に 1 箇所の割<br>以上の割合で規格値を満足しなければな<br>らないとともに、10 個の測定値の平均値                    |   |
|                  |                  |             |    |    |                      | 中心線偏心量             |                  | ±         | 100                     |                | (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未<br>満の場合は測定値の平均値は適用しない。  |   |
|                  |                  |             |    |    |                      | 延長L                |                  | -         | 200                     |                | . •  |   |
| 3<br>土<br>木      | 2<br>一<br>般      | 6<br>一<br>般 | 12 | 2  | コンクリート舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽               | ±90              | ±90       | +40<br>-15              | +50<br>-15     | 1. 3次元データによる出来形管理に 工事規模の考え方<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来 中規模とは、1層あたりの施工面積が<br>形管理要領(案)舗装工編 多点計測 2,000㎡以上とする。                             |   |
| 工事共              | 施工               | 舗装工         |    |    | (面管理の場合)             | 厚さある<br>いは標高<br>較差 | ±90              | ±90       | +40<br>-15              | +50<br>-15     | 技術(面管理の場合)」に基づき出来<br>形管理を実施する場合、その他本基準<br>ご規定する計測精度・計測密度を満た<br>あるいは施工面積が2,000㎡未満。  |   |
| 通編               |                  |             |    |    |                      |                    |                  |           |                         |                | 計測方法により出来形管理を実施す   |   |

|             |             |             |    |    |                      | 1                  |            |           |            |   |  |   |
|-------------|-------------|-------------|----|----|----------------------|--------------------|------------|-----------|------------|---|--|---|
|             |             |             |    |    |                      |                    |            | 規         | 各値         |   |  |   |
| 編           | 章           | 節           | 条  | 枝番 | 工 種                  | 測定項目               | 個々のi<br>(X |           | 平均※面管      | 測定値の<br>g(X <sub>10</sub> )<br>理の場合<br>値の平均 | 測定基準測定箇所摘  | 要 |
|             |             |             |    |    |                      |                    | 中規模以上      | 小規模<br>以下 | 中規模以上      | 小規模<br>以下                                   |  |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 12 | 1  | コンクリート舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽               | ±40        | ±50       |            |   | 基準高は、延長 40m毎に1ヶ所の割<br>とし、道路中心線 <mark>及</mark> び端部で測定。厚<br>さは、各車線( <b>40m</b> 毎に <b>右、中、</b><br>施工面積が <b>1,000㎡</b> 以上とする。  |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    |                      | 厚き                 | -4         | 15        | -          | -15   | 左、を交互に) 1 ヶ所を掘り起こし測 小規模工事とは、施工面積が 1,000 ㎡<br>定。<br>悪、中心線偏心量(幅管理において道   |   |
| 通編          |             |             |    |    |                      | 幅                  | -5         | 50        |            | _   | <b>烙中心線から左、右を測定する場合</b> 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個<br><b>は不要</b> は、延長 <b>40m</b> 毎に 1 ヶ所の割<br>こ測定。  |   |
|             |             |             |    |    |                      | 中心線<br>偏心量         |            | ±         | 100        |   | 「3次元計測技術を用いた出来形管理い。ただし、厚さのデータ数が 10 個未<br>要領 (案)」に基づき出来形管理を実満の場合は測定値の平均値は適用しな   |   |
|             |             |             |    |    |                      | 延長L                |            | -         | 200        |   | 施する場合は、同要領に規定する計測い。<br>情度・計測密度を満たす計測方法によ<br>り出来形管理を実施することができ<br>る。   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 12 | 2  | コンクリート舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽               | ±90        | ±90       | +40<br>-15 | +50<br>-15                                  | 1. 3次元データによる出来形管理に<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」に基づき出来形管<br>施工面積が 1,000 ㎡以上とする。  |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    | (面管理の場合)             | 厚さある<br>いは標高<br>較差 | ±90        | ±90       | +40<br>-15 | +50<br>-15                                  | 理を実施する場合、その他本基準に規<br>定する計測精度・計測密度を満たす計<br>大満とする。<br>関方法により出来形管理を実施する場  |   |
| 通編          |             |             |    |    |                      |                    |            |           |            |   | 合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精 度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、 全ての点で標高値を算出する。計測密 度は1点/22(平面投影面積当ちり) 以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層 の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場 高軟差平均値中設計更の標高値とさな。 6. 原さを標高軟差として評価する場 高軟差平均値中設計更らがら求まる高 さとの差とする。 |   |

|                  |                  |         |    |    |                                    |                    | 規                | 格値  |  |   |   |
|------------------|------------------|---------|----|----|------------------------------------|--------------------|------------------|---|--|---|---|
| 編                | 章                | 節       | 条  | 枝番 | 工種                                 | 測定項目               | 個々の測定値<br>(X)    | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測定基準測定箇所   | 摘 | 要 |
|                  |                  |         |    |    |                                    |                    | 中規模 小規模<br>以上 以下 | 中規模 小規模<br>以上 以下  |  |   |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2<br>一<br>般<br>施 | 6 一般舗   | 12 | 3  | コンクリート舗装工<br>(粒度調整路盤工)             | 厚き                 | -25 -30          | - 8   | 画、中心線偏心量(幅管理において道<br>各中心線偏心量(幅管理において道<br>本理)は、延長 40m年に1 箇所の割<br>施工面積が1,000 ㎡以上とする。<br>とし、厚さは、各車線(40m年に<br>小規模工事とは、施工面積が1,000 ㎡ |   |   |
| 事共通              | 工                | 装工      |    |    |                                    | 幅                  | -50              | _   | 5、中、左、を交互に)1 箇所を掘り<br>まごし測定。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個   |   |   |
| 編                |                  |         |    |    |                                    | 中心線偏心量             | ±                | 100   | 以上の割合で規格値を満足しなければな<br>らないとともに、10 個の測定値の平均値<br>(X10) について満足しなければならな   |   |   |
|                  |                  |         |    |    |                                    | 延長L                | _                | 200   | い。ただし、厚さのデータ数が 10 個末<br>満の場合は測定値の平均値は適用しな<br>い。  |   |   |
|                  |                  |         |    |    |                                    |                    |                  |   |  |   |   |
| 3 土木工事共通編        | 2<br>一般施工        | 6 一般舗装工 | 12 | 4  | コンクリート舗装工<br>(粒度調整路盤工)<br>(面管理の場合) | 厚さある<br>いは標高<br>較差 | -55 -66          | -8  | 1. 3次元データによる出来形管理に   |   |   |

|           |       |        |    |    |                                    |                    |                  |   |   | nm  |
|-----------|-------|--------|----|----|------------------------------------|--------------------|------------------|---|---|-----|
|           |       |        |    |    |                                    |                    | 規                | 格値  |   |     |
| 編         | 章     | 節      | 条  | 枝番 | 工 種                                | 測定項目               | 個々の測定値<br>(X)    | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測定基準測定箇所  | 簡 要 |
|           |       |        |    |    |                                    |                    | 中規模 小規模<br>以上 以下 | 中規模 小規模<br>以上 以下  |   |     |
| 3 土 木 工   | 2 一般施 | 6 一般舗  | 12 | 3  | コンクリート舗装工<br>(粒度調整路盤工)             | 厚き                 | -25 -30          | - 8   | 幅 中心線偏心量 (編管理において道 工事規模の考え方<br>路中心線から左、右を測定する場合 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>技不要) は、延長 40m毎に1ヶ所の割<br>施工面積が 1,000 ㎡以上とする。<br>とし、厚さは、各車線(40m毎に 小規模工事とは、施工面積が 1,000 ㎡   |     |
| 事共通       | I     | 装工     |    |    |                                    | 幅                  | -50              | _   | 右、中、左、を交互に) 1 箇所を掘り<br>起こし測定。<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個  |     |
| 編         |       |        |    |    |                                    | 中心線偏心量             | ±                | 100   | 以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値<br>(X10) について満足しなければならな<br>い。ただし、厚さのデータ数が 10 個末  |     |
|           |       |        |    |    |                                    | 延長L                | _                | 200   | 満の場合は測定値の平均値は適用しない。   |     |
|           |       |        |    |    |                                    |                    |                  |   |   |     |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工 | 6一般舗装工 | 12 | 4  | コンクリート舗装工<br>(粒度調整路盤工)<br>(面管理の場合) | 厚さお痛<br>いは標整<br>較差 | -55 -66          | -8  | 1. 3次元データによる出来形管理に 工事規模の考え方 おいて「3次元計測技術を用いた出来 や規模以上の工事とは、1 層当たりの 施工面積が 1,000 ㎡ 以上とする。 か規模工事とは、施工面積が 1,000 ㎡ 大減とする計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全での点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 6. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高さとの差をする。 6. 厚さを標高較差である。 6. 厚さを標高較差である。 6. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さりの意とする。 6. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高さとの差をきまる。 |     |
|           |       |        |    |    |                                    |                    |                  |   |   |     |

|             |             |             |    |    |                          |                |       | 規         | 格 値   |  |
|-------------|-------------|-------------|----|----|--------------------------|----------------|-------|-----------|---|--|
| 編           | 章           | 節           | 条  | 枝番 | 工   種                    | 測定項目           | (2    | 測定値       | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測定基準測定箇所   |
|             |             |             |    |    |                          |                | 中規模以上 | 小規模<br>以下 | 中規模 小規模<br>以上 以下  |  |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般        | 6 一般        | 12 | 5  | コンクリート舗装工<br>(セメント (石灰・瀝 | 厚さ             | -25   | -30       | - 8   | 幅は、延長 <b>40m</b> 毎に1箇所の割とし、厚 工事規模の考え方<br>さは、1,000 ㎡に1個の割でコアーを採取<br>もしくは掘り起こして測定。<br>面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。  |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    | 青)安定処理工)                 | 幅              | _     | 50        | _   | 小規模工事とは、施工面積が <b>1,000 ㎡</b><br>満とする。  |
| 通編          |             |             |    |    |                          |                |       |           |   | 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値(X 10)について満足しなければならない。たたし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は遺定値の平均値は適用しない。コアー採取について橋面舗装等でコアー採取により床版等は損傷を与える忍れのある場合は、他の方法によることが出来る。  |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 12 | 6  | コンクリート舗装工 (セメント (石灰・瀝    | 厚さあるい<br>は標高較差 | -55   | -66       | - 8   | 1. 3次元データによる出来形管理におい<br>て「3次元計測技術を用いた出来形管理要<br>領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理<br>2,000㎡以上とする。   |
| 工事共通編       | 施工          | 舗装工         |    |    | 青)安定処理工)<br>(面管理の場合)     |                |       |           |   | の場合)」に基づき出来形管理を実施する<br>場合、その他本基準に規定する計測精度・<br>計測密度を満たす計測方法により出来形管<br>理を実施する場合に適用する。<br>2.個々の計測値の規格値には計測精度と<br>して±10mm分含まれている。<br>3.計測は設計幅員の内側全面とし、全て<br>の点で標高値を置出する。計測密度は1点<br>/m2 (平面投影面積当たり) 以上とする。<br>4.厚さは、直下層の標高値と当該層の標<br>高値との差で算出する。<br>5.厚さを廃高較差として評価する場合<br>は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差<br>平均値+設計厚さから求まる高さとの差と<br>する。 |

|           |        |        |    |    |   |            |                        | 規         | 恪 値   |   |
|-----------|--------|--------|----|----|---|------------|------------------------|-----------|---|---|
| 編         | 章      | 節      | 条  | 枝番 | 工種  | 測定項目       | 個々の<br>(2<br>中規模<br>以上 | ,         | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均<br>中規模 小規模<br>以上 以下 | 測定基準測定箇所  |
| 3 土木工事:   | 2 一般施工 | 6 一般舗装 | 12 | 5  | コンクリート舗装工<br>(セメント (石灰・瀝青) 安定処理工)             | 厚き幅        | -25                    | -30<br>50 | - 8<br>-  | 幅は、延長 <b>40加</b> 毎に1ヶ所の割とし、厚<br>さは、1,000 ㎡に1個の割でコアーを採取<br>もしくは掘り起こして測定。 中規模以上の工事とは、1層当たりの施コ<br>面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。<br>小規模工事とは、施工面積が <b>1,000 ㎡</b><br><b>満</b> とする。   |
| 共通編       |        | I      |    |    |   |            |                        |           |   | 厚さは、個々の測定値が10個に9個以りの割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。たたし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について<br>橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。   |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 12 | 6  | コンクリート舗装工<br>(セメント (石灰・瀝青) 安定処理工)<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -55                    | -66       | -8  | 1. 3次元計列技術を用いた出来形管理において「3次元計列技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理要する場合、その他本基準に規定する計列結定・計測密度を満たす計列方法により出来形管連を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として土10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との整で算出する。計列密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。 5. 厚さを標高軟差として評価する場合は、直下層の標高値との整で算出する。 6. 厚さを標高軟差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高軟差とする。 中域値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 |

|             |       |         |    |    |                                      |                    |           | 規         | 格 値   |   |   |
|-------------|-------|---------|----|----|--------------------------------------|--------------------|-----------|-----------|---|---|---|
| 編           | 章     | 節       | 条  | 枝番 | 工種                                   | 測定項目               | 個々の<br>(2 | 測定値<br>K) | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測定基準測定箇所摘   | 要 |
|             |       |         |    |    |                                      |                    | 中規模以上     | 小規模<br>以下 | 中規模 小規模 以上 以下   |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般  | 6 一般    | 12 | 7  | コンクリート舗装工<br>(アスファルト中間層)             | 厚き                 | - 9       | -12       | - 3   | 幅は、延長 <b>40加</b> 毎に1箇所の割とし、厚さ<br>は、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もし<br>くは掘り起こして測定。  |   |
| 工事共通        | 施工    | 舗装工     |    |    |                                      | 幅                  | -         | 25        | _   | る。<br>小規模工事とは、施工面積が<br><b>1,000                                  </b>   |   |
| 編           |       |         |    |    |                                      |                    |           |           |   | 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値(X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。  |   |
| 3 土木工事共通編   | 2一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 8  | コンクリート舗装工<br>(アスファルト中間層)<br>(面管理の場合) | 厚さある<br>いは標高<br>較差 | -20       | -27       | -3  | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要(案)舗装工編 多点計測技術で簡単理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計 別密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として土10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚ささは、直下層の標高値と当該層の標高値との整で開出する場合は、直下層の標高値と当該層の標高値との整で算出する。5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差や対値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 |   |

|             |        |        |    |    |                                      |                   |       | 規         | 格 値   |   |
|-------------|--------|--------|----|----|--------------------------------------|-------------------|-------|-----------|---|---|
| 編           | 章      | 節      | 条  | 枝番 | 工種                                   | 測定項目              | 個々の   | 測定値<br>X) | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測定基準測定箇所摘要  |
|             |        |        |    |    |                                      |                   | 中規模以上 | 小規模<br>以下 | 中規模 小規模 以上 以下   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般   | 6 一般   | 12 | 7  | コンクリート舗装工<br>(アスファルト中間層)             | 厚き                | - 9   | -12       | - 3   | 幅は、延長 <b>40加</b> 毎に1ヶ所の割とし、厚さ<br>は、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もし<br>くは掘り起こして測定。  |
| 工事共通        | 施工     | 舗装工    |    |    |                                      | 幅                 | -     | 25        | _   | る。<br>小規模工事とは、施工面積が<br><b>1,000 ㎡未満</b> とする。  |
| 編           |        |        |    |    |                                      |                   |       |           |   | 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横面舗装等でコアー採取により床 版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。   |
| 3 土木工事共通編   | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 12 | 8  | コンクリート舗装工<br>(アスファルト中間層)<br>(面管理の場合) | 厚さある<br>いは標<br>較差 | -20   | -27       | -3  | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 小規模工事とは、施工面積が1,000 ㎡以上とする。 1 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。 計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で第出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 |

|        | 1     |       |    |    |                               |                    | 規             | 格値  | 1  |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
|--------|-------|-------|----|----|-------------------------------|--------------------|---------------|---|--|---|---|--|---|--|--|---|---------------------------|------|---|
|        |       |       |    |    |                               |                    | .,-           | 10 個の測定値の   | 1  |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
| 編      | 章     | 飾     | 条  | 枝番 | 工種                            | 測定項目               | 個々の測定値<br>(X) | 平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合                               | 測  | 定   | 基   | 進  |   | 測  | 定  | 衡   | 所                         | 摘    | 要 |
| 7,110  | ·     | 74.   |    | М  | 121                           | V47-C 71-          | 中規模 小規模       | は測定値の平均   |  | ~   |   |  |   | 5.5  | ~_   |   | 721                       | 3,50 | _ |
|        |       |       |    |    |                               |                    | 以上 以下         | 以上 以下   |  |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
| 3      | 2     | 6     | 12 | 9  | コンクリート舗装工                     |                    |               |   | 厚さは各車線の  |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
| 土木     | 般     | 般     |    |    | (コンクリート舗装                     | 厚さ                 | -10           | -3.5  | 線 <b>40加</b> 毎に水<br>当たり横断方   |   |   |  |   |  |  |   | 、1 層当/                    |      |   |
| 工      | 施     | 舗     |    |    | 版工)                           |                    |               |   | 延長 40m毎に   |   |   |  |   |  | 出力減ルー  | 1,000   | more:                     | '    |   |
| 事      | 工     | 装     |    |    |                               | 幅                  | -25           | _   | はコンクリー   |   |   |  |   |  |  |   | 巨工面積力                     | žį   |   |
| 共通     |       | エ     |    |    |                               |                    |               | コンクリートの   | なお、スリップ  |   |   |  |   |  |  |   | が 10 個に                   | a    |   |
| 編      |       |       |    |    |                               |                    |               | 硬化後   | で各車線 40五   |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
|        |       |       |    |    |                               |                    |               | 3mプロフィル   | 1側線当たり   |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
|        |       |       |    |    |                               | 平坦性                | _             | メーターにより<br>機械舗設の場合  | 基準高を測定<br>加毎に両端の開  |   |   |  |   | 値の平均値<br>なければな   |  |   |                           |      |   |
|        |       |       |    |    |                               |                    |               | 機械舗設の場合<br>(σ)2.4mm 以下  | 西母に同場の力  | <b>火晒</b> 在   | 川たりる  | 0.   |   | ないれいねん<br>データ数か  |  |   |                           |      |   |
|        |       |       |    |    |                               |                    |               | 人力舗設の場合   |  |   |   |  |   | の平均値に  |  |   |                           |      |   |
|        |       |       |    |    |                               |                    |               | (σ)3mm以下  | m# (+ ) - 4 m  |   | - 1   | 6n4 . I . > 6  | 4 T   |  |  |   | 装、またん                     |      |   |
|        |       |       |    |    |                               | 目地段差               | =             | ± 2   | 隣接する各目は<br>端部で測定。  | 他に対し  | して、追  | 1路中心被  |   | 維持工事に<br>を省略する   |  |   |                           | 1    |   |
|        |       |       |    |    |                               | 中心線                |               |   | 幅管理におい   | て道路   | 中心線   | から左、   | 右を  |  |  |   |                           |      |   |
|        |       |       |    |    |                               | 偏心量                | ±             | : 100   | 測定する場合は  | は不要   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
|        |       |       |    |    |                               |                    |               |   |  |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
|        |       |       |    |    |                               | 延長L                | -             | 200   |  |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
| 3      | 2     | 6     | 12 | 10 | コンクリート舗装工                     | 厚さある               |               |   | 1. 3次元デ-   |   |   |  |   |  |  |   |                           |      |   |
| 土      | _     | _     | 12 | 10 |                               | 厚さある<br>いは標高       | -22           | - <b>200</b> -3. 5  | て「3次元計》  | 則技術を  | 用いた   | 出来形管   | 管理要   | 中規模と   | :は、1)  | 層あたり  | )の施工面                     |      |   |
|        | 2 一般施 | 6 一般舗 | 12 | 10 | コンクリート舗装工<br>(コンクリート舗装<br>版工) | 厚さある<br>いは標高       |               | -3.5  | て「3次元計》領(案)舗装  | 則技術を<br>L編 多  | ・用いた<br>ら点計測  | 出来形管   | 管理要<br>11管理   | 中規模と<br>積が2,000  | :は、1<br>  <br>  前以上と                                   | 層あた!<br>:する。  | )の施工面                     |      |   |
| 土木工事   | 般     | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高       |               |   | て「3次元計》<br>領(案)舗装<br>の場合)」に基<br>場合、その他2  | 則技術を<br>[編 多<br>でき出<br>本基準に   | と用いた<br>を点計測<br>来形管<br>に規定す   | 出来形管<br>別技術(面<br>理を実施<br>る計測料  | 管理要<br>面管理<br>する<br>青度・   | 中規模と<br>積が2,000  | は、1<br>mi以上と<br>は、表                                    | 層あた!<br>: する。<br>層及び!   | 甚層の過熱                     |      |   |
| 土木工事共  | 般施    | 般舗    | 12 | 10 | (コンクリート舗装                     | 厚さある<br>いは標高       |               | -3.5<br>コンクリートの<br>硬化後<br>3mプロフィル                             | て「3次元計<br>領(案)舗装<br>の場合)」に基<br>場合、その他<br>計測密度を満  | 則技術を<br>E編 多<br>づき出<br>本基準に<br>こす計測   | と用いた<br>を点計測<br>来形管<br>に規定す<br>則方法に   | 出来形管<br> 技術(面理を実施<br>  る計測料<br> より出来   | 管理要<br>面管理<br>する<br>青度・   | 中規模と<br>積が2,000<br>小規模と<br>アスファル<br>500 t 未満                           | : は、1<br>) m 以上 と<br>: は、表<br>レト混合!                    | 層あた!<br>≤する。<br>層及びま<br>物の総(  | 基層の過熱<br>世用量が             |      |   |
| 土木工事   | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高       |               | -3.5<br>コンクリートの<br>硬化後<br>3mプロフィル<br>メーターにより                  | て「3次元計》<br>領(案)舗装3<br>の場合)」に基<br>場合、その他な<br>計測密度を満<br>理を実施するも  | 則技術を<br>上編 多<br>でき出<br>本基準に<br>まま計<br>場合に<br>過  | を用いた<br>多点計測<br>来形管<br>に規定す<br>川方法に<br>適用する   | 出来形管<br>別技術(面<br>理を実施<br>る計測料<br>より出来  | 管理要<br>面管理<br>する<br>・<br>情度<br>を<br>形管  | 中規模と<br>積が2,000<br>小規模と<br>アスファル                                       | : は、1<br>) m 以上 と<br>: は、表<br>レト混合!                    | 層あた!<br>≤する。<br>層及びま<br>物の総(  | 基層の過熱<br>世用量が             |      |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 |               | -3.5<br>コンクリートの<br>硬化後<br>3mプロフィル                             | て「3次元計<br>領(案)舗装<br>の場合)」に基<br>場合、その他<br>計測密度を満<br>理を実施する。<br>2.個々の計<br>して±10mmがき  | 則技術を<br>上づき<br>本基計にの<br>ままは<br>場値はれて  | 用計算<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・                                      | 出来形管<br>用技術(面理を実施する計測料<br>により出来<br>により出来<br>には計測料  | 管理等の<br>事で<br>事で<br>事で<br>ので<br>ので<br>ので<br>ので<br>ので<br>ので<br>ので<br>ので<br>ので<br>の | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模と<br>アスファバ<br>500 t 未満<br>ポ未満。<br><b>延長が</b>    | は、1<br>m 以上と<br>には、表<br>レト混合<br>あるいに                   | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>を用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 |               | ー3.5<br>コンクリートの<br>硬化後<br>3mプロフィル<br>メーターにより<br>機械舗設の場合       | て「3次元計<br>領(案)舗装<br>の場合)」に基<br>場合、その他<br>計測密度を高<br>理を実版々の計<br>して±10mmが<br>3.計測は設言  | 則技術を多<br>につ基す合のは<br>場合で表す。<br>は<br>は<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り  | と用いた<br>を<br>来規<br>を<br>お<br>が<br>別<br>が<br>関<br>に<br>の<br>の<br>は<br>に<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の | 出来形管理を実施する計別出来のことは計測をは計測を  | 野面す 唐来 唐 全<br>要理 ・管 と て   | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模 と<br>アスファル<br>500 t 未満。<br><b>延長が</b><br>維持工事に | は、1)<br>が以上と<br>には、表<br>レト混合!<br>あるいに<br>100m未<br>こおいて | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>を用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 |               | -3.5 コンクリートの 硬化後 3mプロフィル メーターにより 機械舗設の場合 (σ)2.4mm以下           | て「3次元計計<br>領(案)舗装基の場合)」に基の場合、その他で<br>計測密度を可満り<br>理を実施々の計列<br>2.値10mmが行<br>3.計測に設さ<br>の点で標準の点が  | 則正ご本と場則含計を<br>接編き準計にあれる<br>は、別では、別では、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのれる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、別でのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのな。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのな。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのなる。<br>は、これでのな。<br>は、これでのな。<br>は、これでのな。<br>は、これでのな。<br>は、これでのな。<br>は、これでのな。<br>は、これでいる。<br>は、これで、<br>は、これで、<br>は、これで、<br>は、これで、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は | とおれていたから とり とり とり とり とり とり とり をり とり   | 出来形質面と表別は一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では   | 管面す青浜 青 全1<br>要理 と て点   | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模 と<br>アスファル<br>500 t 未満。<br><b>延長が</b><br>維持工事に | は、1)<br>が以上と<br>には、表<br>レト混合!<br>あるいに<br>100m未<br>こおいて | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>を用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 |               | -3.5  コンクリートの 硬化後 3mプロフィル メーターにより 機械舗設の場合 (c) 2.4mm以下 人力舗設の場合 | て「3次元計<br>領(案)舗装<br>の場合)」に基<br>場合、その他<br>計測密度を高<br>理を実版々の計<br>して±10mmが<br>3.計測は設言  | 則にご基すらには、本と場別されたものれら、本とのよりは、現では、ないのれらいでは、は、現では、ないのは、といいのは、といいのは、といいのは、といいのは、といいのは、といいのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は   | と 4 年 2 年 3 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5   | 出来形質面理を計り出するよう。は、正別を計り出し、とのでは、正別のは、正別のでは、正 | ぎ面す青米 青 よう要理の・管 と て点。   | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模 と<br>アスファル<br>500 t 未満。<br><b>延長が</b><br>維持工事に | は、1)<br>が以上と<br>には、表<br>レト混合!<br>あるいに<br>100m未<br>こおいて | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>を用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 |               | -3.5  コンクリートの 硬化後 3mプロフィル メーターにより 機械舗設の場合 (c) 2.4mm以下 人力舗設の場合 | て「3次計談<br>で領域会)は一部で<br>の場合、の他の<br>満計理を実施である。<br>とて生10mmが設置<br>のの場合、の地で<br>は10mmが設置<br>の場合、の地で<br>は10mmが設置<br>の点で標平面は、同<br>のにで、である。<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる   | 則正が本と場則含計を彩直章は接編さ基準計にのれ員出積層下出す。他のれ員出積層下出す。  | とうない。とうない。とうない。とうない。とうない。とうない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない                                   | 出来術家は一世の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の  | ぎ面す青に 青 よける 要理 ・管 と て点。標  | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模 と<br>アスファル<br>500 t 未満。<br><b>延長が</b><br>維持工事に | は、1)<br>が以上と<br>には、表<br>レト混合!<br>あるいに<br>100m未<br>こおいて | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>吏用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 |               | -3.5  コンクリートの 硬化後 3mプロフィル メーターにより 機械舗設の場合 (c) 2.4mm以下 人力舗設の場合 | て「3次)舗に配って<br>の場合、関連ない。<br>の場合、関連ない。<br>の場合、関連ない。<br>では、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmが設施では、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmがのは、<br>のは、10mmが | 則正二本に昜則含計を彩直章高技編さ基す合値ま幅員面下出較係。出作別道界でのれ員出積層する差   | とうれていた。とうないのでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに   | 出技を計り 計 と密上当 証別以と 評 と密上当 価 本 ま に 正 通り と  | 等面す唐に 青 またる 場理管る度形 度 全1るの 場要理・管 と て点。標 合  | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模 と<br>アスファル<br>500 t 未満。<br><b>延長が</b><br>維持工事に | は、1)<br>が以上と<br>には、表<br>レト混合!<br>あるいに<br>100m未<br>こおいて | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>吏用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 |               | -3.5  コンクリートの 硬化後 3mプロフィル メーターにより 機械舗設の場合 (c) 2.4mm以下 人力舗設の場合 | て「3次計談<br>で領域会)は一部で<br>の場合、の他の<br>満計理を実施である。<br>とて生10mmが設置<br>のの場合、の地で<br>は10mmが設置<br>の場合、の地で<br>は10mmが設置<br>の点で標平面は、同<br>のにで、である。<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>では、同<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる<br>でいる   | 則上:一本と易則含計を彩直章高目技編き基す合値ま幅算面下出較高で出較高がある。 出版 出版 現場 のです 当のできる  | と 東京 大学 はい かいっと いっこう かいっと はい かいっと ない かいっと かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか                         | 出財理るよ。は 面測以と 評層 では かいまん は 面測以と 評層 である は 面側以と 語 価の でいる は でいる でいる は でいる は いっぱん かいまん は いいまん は い  | ぎ面す青桜 青 また骨 うち 理管の度形 度 全1るの 場較要理 ・管 と て点。標 合差                                     | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模 と<br>アスファル<br>500 t 未満。<br><b>延長が</b><br>維持工事に | は、1)<br>が以上と<br>には、表<br>レト混合!<br>あるいに<br>100m未<br>こおいて | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>吏用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 |               | -3.5  コンクリートの 硬化後 3mプロフィル メーターにより 機械舗設の場合 (c) 2.4mm以下 人力舗設の場合 | て「3次) (新文) (新文) (新文) (新文) (新文) (新文) (新文) (新文)  | 則工・本に易則含計を影直章高目享接編き基す合値ま幅算面下出較標さか 出準計にのれ員出積層すを高かいます。 ひずきのて差さい   | とお来に見るでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ  | 出技権を計り は 正測以と 評層高い と密上当 価のさい は 正測以と 証を す標の できる は 正測以と が できる できる できる かい しょう は しょう は かい しょう は かい しょう は かい しょう は かい しょう は しょう は できる は かい しょう は いい は いい しょう は いい いい しょう は いい いい しょう は いい いい しょう は いい いい いい しょう は いい い   | ぎ面す情味 青 は上層 うちつ 理管の度形 度 全1るの 場較差要理 ・管 と て点。標 合差と                                  | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模 と<br>アスファル<br>500 t 未満。<br><b>延長が</b><br>維持工事に | は、1)<br>が以上と<br>には、表<br>レト混合!<br>あるいに<br>100m未<br>こおいて | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>吏用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |
| 土木工事共通 | 般施    | 一般舗装  | 12 | 10 | (コンクリート舗装<br>版工)              | 厚さある<br>いは標高<br>較差 | -22           | -3.5  コンクリートの 硬化後 3mプロフィル メーターにより 機械舗設の場合 (c) 2.4mm以下 人力舗設の場合 | て「3次) (1) (3) (3) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7   | 則工・本に易則含計を影直章高目享接編き基す合値ま幅算面下出較標さか 出準計にのれ員出積層すを高かいます。 ひずきのて差さい   | とお来に見るでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ  | 出技権を計り は 正測以と 評層高い と密上当 価のさい は 正測以と 証を す標の できる は 正測以と が できる できる できる かい しょう は しょう は かい しょう は かい しょう は かい しょう は かい しょう は しょう は できる は かい しょう は いい は いい しょう は いい いい しょう は いい いい しょう は いい いい しょう は いい いい いい しょう は いい い   | ぎ面す情味 青 は上層 うちつ 理管の度形 度 全1るの 場較差要理 ・管 と て点。標 合差と                                  | 中規模 と<br>積が2,000<br>小規模 と<br>アスファル<br>500 t 未満。<br><b>延長が</b><br>維持工事に | は、1)<br>が以上と<br>には、表<br>レト混合!<br>あるいに<br>100m未<br>こおいて | 層あた!<br>さするの<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を<br>を | 基層の過熱<br>吏用量が<br>(積が2,000 | ì    |   |

| 編           | 章           | 節           | 条  | 枝番 | 工種                     | 測定項目               | 規<br>個々の測定値<br>(X)<br>中規模 小規模<br>以上 以下 | 格 値 10 個の測定値の 平均(X <sub>10</sub> ) ※面管理の場合 は測定値の平均 小規模 以上 以下                           | -                                    | 測   | 定  | 基  | 準  |   |  | 測                    | 定                                      | 箇                          | 所  | 摘      | 要 |
|-------------|-------------|-------------|----|----|------------------------|--------------------|--|--|--------------------------------------|---|--|--|--|---|--|----------------------|--|----------------------------|--|--------|---|
| 3<br>土<br>木 | 2 一般        | 6<br>一<br>般 | 12 | 9  | コンクリート舗装工<br>(コンクリート舗装 | 厚き                 | -10                                    | -3.5   |                                      | ほに水糸  | 又は   | レベル  | により  | 1 測線  | 中規   | 模以                   | 上の工                                    | 事とは                        | 、1 層当た<br><b>㎡</b> 以上とす                            |        |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    | 版工)                    | 幅                  | -25                                    | _  | 延長 <b>401</b><br><b>はコンク</b><br>なお、ス | <b>リート</b><br>リップ:  | <b>補装要</b><br>フォー                                  | 網に。<br>ムエ法                                 | <b>さる。</b><br>もの場合(                          | は、厚   | 小 規<br><b>1,000</b>  | 成未知                  | <b>き</b> とする                           | 5。                         | 返工面積か  |        |   |
| 通編          |             |             |    |    |                        | 平坦性                | _                                      | コンクリートの<br>硬化後<br>3mプロフィル<br>メーターにより<br>機械舗設の場合<br>(σ)2.4mm以下<br>人力舗設の場合<br>(σ)3mm以下   | で各車線<br>1側線当                         | <b>40m</b> 缶<br>たり横<br>測定し  | まに水<br>断方向<br>、測分                                  | 糸又は<br>引に3か<br>E打設                         | : レベル(<br>r所以上)<br>後に各車                      | により<br>路盤の<br>『線 <b>40</b>                        | 個はばない<br>値なけん<br>で<br>の<br>平<br>り<br>の<br>り<br>の<br>り<br>の<br>り<br>の<br>り<br>の<br>り<br>の<br>り<br>の<br>り<br>の<br>り<br>の | のら均ば数値ながは            | 合で規<br>い(X10<br>らな個<br>10個<br>も<br>面用し | 格値を<br>もに、つ<br>。満い。<br>ない。 | 満足しなけ<br>10 個の測定                                   | t<br>S |   |
|             |             |             |    |    |                        | 目地段差               | =                                      | ± 2  | 端部で測                                 | 定。  |  |  |  |   | 維持工<br>を省略   |                      |  |                            | 坦性の項目  | ı      |   |
|             |             |             |    |    |                        | 中心線<br>偏心量         | ±                                      | 100  | 幅管理に<br>測定する:                        |   |  | 中心線  | から左、   | 、右を   |  |                      |  |                            |  |        |   |
|             |             |             |    |    |                        | 延長L                | _                                      | 200  |                                      |   |  |  |  |   |  |                      |  |                            |  |        |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 12 | 10 | コンクリート舗装工<br>(コンクリート舗装 | 厚さある<br>いは標高<br>較差 | -22                                    | -3.5   | 1. 3次<br>て「3次<br>領(案)」               | 元計測打に基づ   | 支術を  | 用いた<br>を形管                                 | 出来形理を実施                                      | 管理要<br>でする  | 中規   | 模以                   | 上の工                                    | 事とは                        | 、1 層当た<br><b>㎡</b> 以上とす                            |        |   |
| 工事共通編       | 施工          | 舗装工         |    |    | 版工) (面管理の場合)           | 平坦性                | _                                      | コンクリートの<br>硬化後<br>3mプロフィル<br>メーターにより<br>機械舗設の場合<br>(σ)2.4mm 以下<br>人力舗設の場合<br>(σ)3mm 以下 | 計測密度<br>理を実施<br>2. 個々<br>して±10g      | を<br>する<br>計場<br>が<br>計<br>が<br>計<br>が<br>設<br>計<br>に<br>る<br>記<br>が<br>記<br>計<br>が<br>る<br>記<br>が<br>ま<br>る<br>に<br>る<br>に<br>る<br>た<br>う<br>た<br>う<br>た<br>う<br>た<br>う<br>た<br>う<br>た<br>う<br>た<br>う<br>た<br>う<br>た<br>う<br>た | <b>計合直ま属算面表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表</b> | 方用格い内るにはない。 <br> おすではい内のではない。 <br> おりではない。 | により出<br>には計測<br>には計測<br>を面とし、<br>計測密度<br>以上と | 来 精 と 全 1 た と ま と ま た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま | <b>1,000</b><br><b>延長</b><br>維持工   | <b>ぱ未</b> が 10<br>事に | <b>#</b> とする<br><b>00m未</b><br>おいて     | る。<br><b>満の舗</b>           | <ul><li>工面積が</li><li>装、またに</li><li>坦性の項目</li></ul> | t      |   |
|             |             |             |    |    |                        |                    |  |  | 高値との<br>5. 厚さ<br>は、直下<br>平均値+<br>する。 | 差で算り<br>を標高<br>層の目<br>設計厚。  | 出する<br>較差。<br>票高さ<br>きから                           | 。<br>として<br>+直T<br>求まる                     | 評価する<br>層の標<br>高さと                           | る場合<br>高較差<br>の差と                                 |  |                      |  |                            |  |        |   |
|             |             |             |    |    |                        | 目地段差               | ₫                                      | ± 2  | 隣接する<br>端部で測                         |   | こ対し  | て、道  | <b>直路中心</b>                                  | 線及び   |  |                      |  |                            |  |        |   |

|             |      |      |    |    |                           |                    |           | 規         | 格値                               |             |   |   |
|-------------|------|------|----|----|---------------------------|--------------------|-----------|-----------|----------------------------------|-------------|---|---|
| 編           | 章    | 節    | 条  | 枝番 | 工 種                       | 測定項目               | 個々の<br>(X |           | 10 個の測<br>平均(X<br>※面管理の<br>は測定値の | [10)<br>の場合 | 測定基準 測定箇所 摘   | 臣 |
|             |      |      |    |    |                           |                    | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 |                                  | 小規模<br>以下   |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 6 一般 | 12 | 11 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート       | 基準高▽               | ±40       | ±50       |                                  |             | 基準高は、延長 40m毎に1箇所の割 工事規模の考え方<br>とし、道路中心線及び端部で測定。 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>厚さは、各車線( <b>40m</b> 毎に <b>右、中、</b> 施工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。  |   |
| 工事共         | 施工   | 舗装工  |    |    | 版工)<br>下層路盤工              | 厚さ                 |           | 45        | -15                              | 5           | <b>左を交互に</b> ) 1 箇所を掘り起こして<br>則定。<br>幅は、延長 <b>40</b> m毎に 1 箇所の割に測<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個  |   |
| 通編          |      |      |    |    |                           | 幅                  | -!        | 50        | _                                |             | 定。  以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未<br>満の場合は測定値の平均値は適用しない。   |   |
| 3<br>土      | 2    | 6    | 12 | 12 | コンクリート舗装工                 | 基準高▽               | ±90       | ±90       |                                  |             | 1. 3次元データによる出来形管理   |   |
| 木工事         | 般施工  | 般舗装  |    |    | (転圧コンクリート<br>版工)<br>下層路盤工 | 厚さある<br>いは標高<br>較差 | ±90       | ±90       |                                  |             | 出来形管理要領(案)舗装工編 多<br>点計測技術(面管理の場合)」に基づ<br>き出来形管理を実施する場合、その<br>ファルト混合物の総使用量が500 t 未満  |   |
| 共通編         |      | 工    |    |    | (面管理の場合)                  |                    |           |           |                                  |             | 他本基準に規定する計測精度・計測<br>審理を実施する場合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測<br>精度として±10mmが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面と<br>し、全ての点で標高値を算出する。<br>計測密度は1点/m2 (平面投影面積<br>当たり)以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該<br>層の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高軟差として評価する<br>場合は、直下層の目標高さ+直下層<br>の標高を要出する場合は、直下層の標高値と当該<br>の標高を多とする。 |   |

|             |      |      |    |    |                           |                    |       |     |  | 単位:mm   |   |
|-------------|------|------|----|----|---------------------------|--------------------|-------|-----|--|---|---|
|             |      |      |    |    |                           |                    |       | 規   | 格値   |   |   |
| 編           | 章    | 節    | 条  | 枝番 | 工  種                      | 測定項目               | 個々の(ご | X)  | 10 個の測定値<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場<br>は測定値の平<br>中規模 小規 | 測定基準測定箇所摘   | 要 |
|             |      |      |    |    |                           |                    | 以上    | 以下  | 以上以了   |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 6 一般 | 12 | 11 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート    | 基準高▽               | ±40   | ±50 | _  | 基準高は、延長 40m毎に1ヶ所の割工事規模の考え方<br>とし、道路中心線及び端部で測定。 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>厚さは、各車線(40m毎に右、中、施工面積が 1,000 m以上とする。   |   |
| 工事共         | 施工   | 舗装工  |    |    | 版工)<br>下層路盤工              | 厚き                 | -     | 45  | -15  | <b>左を交互に</b> ) 1 箇所を掘り起こして  |   |
| 通編          |      |      |    |    |                           | 幅                  | _     | 50  | _  | 定。  以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未<br>満の場合は測定値の平均値は適用しない。   |   |
| 3 土         | 2    | 6    | 12 | 12 | コンクリート舗装工                 | 基準高▽               | ±90   | ±90 | +40 +50<br>-15 -15   | 1. 3 次元データによる出来形管理<br>において「3 次元計測技術を用いた<br>中規模以上の工事とは、1 層当たりの   |   |
| 木工事         | 般施工  | 般舗装  |    |    | (転圧コンクリート<br>版工)<br>下層路盤工 | 厚さある<br>いは標高<br>較差 | ±90   | ±90 | +40 +50<br>-15 -15   | 出来形管理要領 (案)」に基づき出来 施工面積が 1,000 ㎡以上とする。<br>形管理を実施する場合、その他本基<br>準に規定する計測精度・計測密度を<br>素満とする。  |   |
| 共通編         |      | 工    |    |    | (面管理の場合)                  |                    |       |     |  | 演たす計測方法により出来形管理を<br>実施する場合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測<br>精度として±10mmが含まれている。<br>3. 計測は設計幅員の内側全面と<br>し、全での点で標高値を算出する。<br>計測密度は1点/m2(平面投影面積<br>当たり)以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該<br>層の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高較差として評価する<br>場合は、直下層の目標高さ+直下層<br>の標高能を平均値+設計厚さから求<br>まる高さとの差とする。 |   |

|           |        |         |    |    |  |              | 規                        | 格値   |   |     |
|-----------|--------|---------|----|----|--|--------------|--------------------------|--|---|-----|
| 編         | 章      | 節       | 条  | 枝番 | 工  種   | 測定項目         | 個々の測定値<br>(X)<br>中規模 小規模 | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均<br>中規模 小規模 | 測定基準測定箇所  | 摘 要 |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 13 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工)<br>粒度調整路盤工             | 厚さ           | 以上 以下<br>-25 -30<br>-50  | -8<br>-  | 幅は、延長 40m毎に1 箇所の割と<br>し、厚さは、各車線(40m毎に右、<br>中、左を交互に)1 箇所を掘り起こ<br>して測定。<br>上で測定。<br>本調とする。<br>小規模工事とは、施工面積が 1,000 m/<br>未満とする。<br>「厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個<br>以上の割合で規格値を満足しなければな<br>らないとともに、10 個の測定値の平均値<br>(X10) について満足しなければならな<br>い。ただし、厚さのデータ数が 10 個未<br>満の場合は測定値の平均値は適用しな<br>い。   |     |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工  | 12 | 14 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工)<br>粒度調整路盤工<br>(面管理の場合) | 厚さ厚さあるいは標高較差 | -55 -66                  | -8   | 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編多点計測技術を用いた出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測特度・計測 密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。2.個体の計測値の規格値には計測精度として土10mmが含まれている。3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/202 で標高値と当該層の標高値との差で算出する。計測密度は1点/202 で調査が過去を持つまた。 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の標高値と当該層の標高値の差で算出する。 場合は、直下層の標高値といまな 電子 では、直下層の標高では1点/202 で調査が高さらの差です出する場合は、直下層の標高である。 |     |

|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  |                   |      |     |         |    |                         |      |       |     |         | ≥1 <u>√</u> .: mn |   |
|--------|----|----|----|----|--------------|--------|------|-----------|-----------|--|-------------------|------|-----|---------|----|-------------------------|------|-------|-----|---------|-------------------|---|
|        |    |    |    |    |              |        |      | 個々の       |           | 格値 10個の測定値の                                |                   |      |     |         |    |                         |      |       |     |         |                   |   |
| 編      | 章  | 節  | 条  | 枝番 | エ            | 種      | 測定項目 | (2        | ζ)        | 平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測                 | 定    | 基   | 準       |    | 測                       | 定    | 筐     | á   | 所       | 摘                 | 要 |
|        |    |    |    |    |              |        |      | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模 小規模<br>以上 以下                           |                   |      |     |         |    |                         |      |       |     |         |                   |   |
| 3<br>土 | 2  | 6  | 12 | 13 | コンクリー        | 卜舗装工   | 厚き   | -25       | -30       | - 8  | 幅は、延長し、厚さは、       |      |     |         |    | 工事規模の表<br>中規模以上         |      | #r しょ | + 1 | 屋水を N   | 0                 |   |
| 木      | 般  | 般  |    |    | (転圧コン        | クリート   | 7年 0 | -25       | -30       | - 8  |                   |      |     |         |    | 施工面積が                   |      |       |     |         | ,                 |   |
| 工事     | 施工 | 舗装 |    |    | 版工)<br>粒度調整器 | 女船丁    | 幅    | _         | 50        | _  | して測定。             |      |     |         |    | 小規模工事<br><b>未満</b> とする。 | まとは、 | 施コ    | L面積 | が 1,000 | nf                |   |
| 共      |    | I  |    |    | 4年/文明正月      | n.mcL. |      |           |           |  |                   |      |     |         |    | 厚さは、個                   |      |       |     |         |                   |   |
| 通編     |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  |                   |      |     |         |    | 以上の割合で<br>らないととも        |      |       |     |         |                   |   |
| 17110  |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  |                   |      |     |         |    | (X10) につ                | oいてi | あ足し   | しなけ | ればなら    | な                 |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  |                   |      |     |         |    | い。ただし、満の場合は             |      |       |     |         |                   |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  |                   |      |     |         |    | い。                      |      |       |     |         |                   |   |
| 3      | 2  | 6  | 12 | 14 | コンクリー        | 卜舗装工   | 厚さ厚さ |           |           |  | 1. 3次元ラ           | ニータに | よるに | 出来形管    | 押  | 工事規模の考                  | きえ方  |       |     |         |                   |   |
| 土木     | 般  | 般  |    |    | (転圧コン        | 7 II L | あるいは | -55       | -66       | - 8  | において「3<br>出来形管理要  |      |     |         |    | 中規模以」<br>施工面積が 』        |      |       |     |         | の                 |   |
| I.     | 施  | 舗  |    |    | 版工)          |        | 標高較差 |           |           |  | 形管理を実施            | する場  | 合、  | その他本    | 基  | 小規模工事                   |      |       |     |         | rd*               |   |
| 事共     | I  | 装工 |    |    | 粒度調整路        | 各盤工    |      |           |           |  | 準に規定する<br>満たす計測力  |      |     |         |    | <i>未満</i> とする。          |      |       |     |         |                   |   |
| 通      |    |    |    |    | (面管理の場       | 易合)    |      |           |           |  | 実施する場合            | に適用  | する。 | ,       |    |                         |      |       |     |         |                   |   |
| 編      |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  | 2. 個々の計<br>精度として± |      |     |         |    |                         |      |       |     |         |                   |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  | 3. 計測は認           | 計幅員  | の内化 | 則全面と    | :  |                         |      |       |     |         |                   |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  | し、全ての点<br>計測密度は1  |      |     |         |    |                         |      |       |     |         |                   |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  | 当たり)以上            | :とする |     |         |    |                         |      |       |     |         |                   |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  | 4. 厚さは、<br>層の標高値と |      |     |         | 該  |                         |      |       |     |         |                   |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  | 5. 厚さを            | 票高較差 | 差とし | て評価     |    |                         |      |       |     |         |                   |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  | 場合は、直の標高較差        |      |     |         |    |                         |      |       |     |         |                   |   |
|        |    |    |    |    |              |        |      |           |           |  | まる高さとの            |      |     | 1 A C N | 27 |                         |      |       |     |         |                   |   |

|             |       |         |    |    |   |            |            | 規        | 各 値   |  |  |                                     |   |  |
|-------------|-------|---------|----|----|---|------------|------------|----------|---|--|--|-------------------------------------|---|--|
| 編           | 章     | 節       | 条  | 枝番 | 工  種  | 測定項目       | 個々の測(X)    |          | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は別定値の平均 | 測  | 定  | 基                                   | 準   | 測 定 箇 所 摘 要  |
|             |       |         |    |    |   |            | 中規模 小以上 以上 | 規模<br>以下 | 中規模 小規模 以下  |  |  |                                     |   |  |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般  | 6 一般    | 12 | 15 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート   | 厚き         | -25 -      | -30      | -8  | 幅は、延長<br>厚さは、1<br>を採取もし                  | ,000 m²  | に1個                                 | の割でコ  | アー 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>E。 施工面積が <b>1,000 m</b> 以上とする。  |
| 工事共         | 施工    | 舗装工     |    |    | 版工)<br>セメント (石灰・<br>瀝青)安定処理工  | 幅          | -50        |          | _   |  |  |                                     |   | 小規模工事とは、施工面積が <b>1,000 ㎡</b><br>未満とする。<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個  |
| 通編          |       |         |    |    |   |            |            |          |   |  |  |                                     |   | 以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値<br>(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。<br>コアー採取について<br>橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 |
| 3 土木工事共通編   | 2一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 16 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工)<br>セメント (石灰・<br>瀝青) 安定処理工<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高較差 | -55 -      | -66      | -8  | 1 おい   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・ | 次長(理施計に加計) 場の計に加計高( 直差高の計制に加計高( 直差高の計制に加計高( 直差高の 1 世界) は、の標面の 1 世界) は、ので、対し、ので、対し、ので、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、 | 側舗合場度出。の含員を面 層算差標を術工に、計形 格れ内出影 標すしさ | を編基の密理を開いるでは、出いのででは、これの密理をはる面の密理をはる面の音響をはる面の音響をはる面の音ができません。 当る する はいい はいい はい は | ・  |

#### 改訂【R4.10】

|           |        |         |    |    |   |            |                          |  |  | 70  | ℤ:mm |   |
|-----------|--------|---------|----|----|---|------------|--------------------------|--|--|---|------|---|
|           |        |         |    |    |   |            | 規                        | 格値   |  |   |      |   |
| 編         | 章      | 節       | 条  | 枝番 | 工種  | 測定項目       | 個々の測定値<br>(X)<br>中規模 小規模 | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均<br>中規模 小規模 | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所   | 摘    | 要 |
|           |        |         |    |    |   |            | 以上以下                     | 以上以下   |  |   |      |   |
| 3 土木工事共   | 2 一般施工 | 6一般舗装工  | 12 | 15 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工)<br>セメント (石灰・<br>瀝青) 安定処理工             | 厚き幅        | -25 -30<br>-50           | - 8<br>-   | 幅は、延長 40m年に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000 ㎡に1個の割でコアー<br>厚さは、1,000 ㎡に1個の割でコアー<br>を採取もしくは、掘り起こして測定。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要額(繁)」の規定による測点の管理 | 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工面積が 1,000 m以上とする。<br>小規模工事とは、施工面積が 1,000 m<br>未満とする。  |      |   |
| 光通 編      |        | 4       |    |    | 確 育 ) 女 足 処 班 上   |            |                          | I  | 方法を用いることができる。  | 呼くは、胸々の側を値が 10 値に 9 嫡 以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならな、ただし、厚さのデータ繋が 10 個表 高適の場合は測定値の平均値は適用しない。コアー採取について横面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 |      |   |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工  | 6 一般舗装工 | 12 | 16 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工)<br>セメント (石灰・<br>瀝青) 安定処理工<br>(面管理の場合) | 厚さあるいは標高教差 | -55 -66                  |  | おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」に基づき出来形管<br>理を実施する場合、その他本基準に規  | 工事規模の考え方<br>中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工面積が 1,000 m以上とする。<br>小規模工事とは、施工面積が 1,000 m<br>未満とする。  |      |   |

|            |        |         |    |    |  |                  | 規             | 格値   |  |   |    |
|------------|--------|---------|----|----|--|------------------|---------------|--|--|---|----|
| 編          | 章      | 節       | 条  | 枝番 | 工   種  | 測定項目             | 個々の測定値<br>(X) | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均<br>中規模 小規模 | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所   | 摘要 |
|            |        |         |    |    |  |                  | 以上 以下         | 以上以下   |  |   |    |
| 3 土 木      | 2 一般:  | 6 一般    | 12 | 17 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート                                    | 厚き               | -9 -12        | - 3  | 厚さは、1,000 ㎡に1個の割でコアー   | 工事規模の考え方<br>中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工面積が <b>1,000 m</b> 以上とする。   |    |
| 工事共通       | 施工     | 舗装工     |    |    | 版工)<br>アスファルト中間層                                       | 幅                | -25           | _  |  | 小規模工事とは、施工面積が <b>1,000 ㎡</b><br>未満とする。<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個   |    |
| <b>迪</b> 編 |        |         |    |    |  |                  |               |  |  | 以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 |    |
| 3 土木工事共通編  | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 18 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工)<br>アスファルト中間層<br>(面管理の場合) | 厚さ厚さあるいは標高<br>教差 | -20 -27       | - 3  | おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)舗装工編 多点計測<br>技術(面管理の場合)」に基づき出来<br>形管理を実施する場合、その他本基準 | 工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が 2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の過熱アス ファルト混合物の総使用量が500 t 未満 あるいは施工面積が2,000㎡未満。  |    |

# 改訂【R4.10】

|           |        |         |    |    |  |               |               |   |                                  | 41.  | ☑: mm |
|-----------|--------|---------|----|----|--|---------------|---------------|---|----------------------------------|--|-------|
|           |        |         |    |    |  |               | 規             | 格値  |                                  |  |       |
| 編         | 章      | 節       | 条  | 枝番 | 工種   | 測定項目          | 個々の測定値<br>(X) | 10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均 | 測 定 基 準                          | 測定箇所   | 摘要    |
|           |        |         |    |    |  |               | 中規模 小規模 以上 以下 | 中規模 小規模 以上 以下   |                                  |  |       |
| 3 土木工事共   | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 12 | 17 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工)<br>アスファルト中間層             | 厚き幅           | -9 -12<br>-25 | -3  | 厚さは、1,000 ㎡に1個の割でコアー<br>を採取して測定。 | 工事規模の考え方<br>中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工而積が 1,000 m以上とする。<br>小規模工事とは、施工面積が 1,000 m<br>未満とする。<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個                 |       |
| 通編        |        |         |    |    |  |               |               |   |                                  | 以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 |       |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工  | 6 一般舗装工 | 12 | 18 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工)<br>アスファルト中間層<br>(面管理の場合) | 厚さ厚さある。<br>教差 |               | -3  | 理を実施する場合、その他本基準に規                | 工事規模の考え方<br>中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工面積が 1,000 m<br>以模工事とは、施工面積が 1,000 m<br>未満とする。  |       |

| 編           | 章           | 節           | 条  | 枝番 | 工種                            | 測定項目           | 規<br>個々の測定値<br>(X)<br>中規模 小規模<br>以上 以下 | 格 値<br>10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均<br>中規模 小規模<br>以上 以下 |   | 摘要 |
|-------------|-------------|-------------|----|----|-------------------------------|----------------|--|--|---|----|
| 3 土 木 工     | 2 一般施       | 6 一般舗       | 12 | 19 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート<br>版工) | 厚き             | -15                                    | -4.5   | 厚さは、各車線の中心付近で型枠据付<br>後各車線 40m毎に水糸又はレベルにより<br>り1 測線当たり横断方向に3箇所以上<br>1,000 が以上とする。                                    |    |
| 事共          | 旭工          | 装工          |    |    | h(X_L)                        | 幅              | -35                                    | _  | 側定。   |    |
| 編           |             |             |    |    |                               | 平坦性            | -                                      | 転圧コンクリート<br>の硬化後、3mプ<br>ロフィルメーター<br>により(σ)2.4mm<br>以下。                             | の線上、全延長とする。   |    |
|             |             |             |    |    |                               | 目地段差           | Ħ                                      | ± 2  | 隣接する各目地に対して、道路中心線 与える恐れのある場合は、他の方法によることが<br>因び端部で測定。<br>エ来る。<br>変更が 100m未満の舗装、または維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。       |    |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 12 | 20 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート           | 厚さあるい<br>は標高較差 | -32                                    | -4.5   | 1. 3次元データによる出来形管理に 工事規模の考え方<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>・ 中規模とは、1層あたりの施工面積2,000㎡以上<br>・ 形管理要領(案) 舗装工編 多点計測 とする。         |    |
| 工事共通編       | 施工          | 舗装工         |    |    | 版工) (面管理の場合)                  | 平坦性            | _                                      | 転圧コンクリート<br>の硬化後、3 m プ<br>ロフィルメーター<br>により (σ)2.4mm<br>以下。                          | 技術(面管理の場合)」に基づき出来<br>形管理を実施する場合、その他本基準<br>に規定する計測精度・計測密度を満た<br>す計測方法により出来形管理を実施す<br>る場合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測精 |    |
|             |             |             |    |    |                               |                |  |  | 度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、 全ての点で標高値を算出する。計測密 度は1点/m2(平面投影面積当たり) 以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層                 |    |
|             |             |             |    |    |                               |                |  |  | の標高値との差で算出する。 「   |    |
|             |             |             |    |    |                               | 目地段差           | ∄                                      | ± 2  | 隣接する各目地に対して、道路中心線<br>及び端部で測定。   |    |

| 編           | 章           | 節           | 条  | 枝番 | 工種                     | 測定項目           | 規<br>個々の測定値<br>(X)<br>中規模 小規模 | 格 値<br>10 個の測定値の<br>平均(X <sub>10</sub> )<br>※面管理の場合<br>は測定値の平均<br>中規模 小規模 |  | 摘要 |
|-------------|-------------|-------------|----|----|------------------------|----------------|-------------------------------|---|--|----|
| 3 土 木       | 2 一般        | 6 一般        | 12 | 19 | コンクリート舗装工              | 厚さ             | 以上 以下                         | 以上 以下 -4.5  | 厚さは、各車線の中心付近で型枠据付<br>後各車線 <b>40m</b> 毎に水糸又はレベルによ 中規模以上の工事とは、1 層当たりの施工面積が<br>り 1 測線当たり横断方向に 3 箇所以上 <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。  |    |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    | 版工)                    | 幅              | -35                           | _   | 測定。<br>幅は、延長 <b>40m</b> 毎に 1 ヶ所の割で測 る。<br>定、平坦性は各車線毎に版縁から 1 m 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合   |    |
| 通編          |             |             |    |    |                        | 平坦性            | _                             | の硬化後、3mプ<br>ロフィルメーター  | の線上、全延長とする。  |    |
|             |             |             |    |    |                        | 目地段差           | =                             | ± 2   | 隣接する各目地に対して、道路中心線 与える恐れのある場合は、他の方法によることが<br>及び端部で測定。<br>延長が 100m未満の舗装、または維持工事におい<br>ては、平坦性の項目を省略することが出来る。  |    |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 12 | 20 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート | 厚さあるい<br>は標高較差 | -32                           | -4.5  | 1. 3次元データによる出来形管理に 工事規模の考え方<br>おいて「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領 (案)」に基づき出来形管 1,000 ㎡以上とする。   |    |
| 工事共通編       | 施工          | 舗装工         |    |    | 版工) (面管理の場合)           | 平坦性            | _                             | 転圧コンクリート<br>の硬化後、3mプ<br>ロフィルメーター<br>により(σ)2.4mm<br>以下。                    | 理を実施する場合、その他本基準に規<br>定する計測精度・計測密度を満たす計<br>測方法により出来形管理を実施する場<br>合に適用する。<br>2. 個々の計測値の規格値には計測精<br>度として±10mmが含まれている。  |    |
|             |             |             |    |    |                        |                |                               |   | 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、<br>全ての点で標高値を算出する。計測密<br>度は1点/m2(平面投影面積当たり)<br>以上とする。<br>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層<br>の標高値との差で算出する。<br>5. 厚さを標高敏差として評価する場<br>合は、直下層の目標高さ+直下層の標<br>高較差平均値+設計厚さから求まる高<br>さとの差とする。 |    |
|             |             |             |    |    |                        | 目地段差           | =                             | ± 2   | 隣接する各目地に対して、道路中心線<br>及び端部で測定。  |    |

単位: mm

|             |             |             |    |    |                     |      |           | 規         | 烙値                                |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
|-------------|-------------|-------------|----|----|---------------------|------|-----------|-----------|-----------------------------------|----------------------|----------|-------------|----------------------|-----------------|-------------|--------------|---------------|---------|---------------------------------------|---|---|
| 編           | 章           | 節           | 条  | 枝番 | 工種                  | 測定項目 | 個々の<br>() | 測定値<br>() | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> ) | i                    | 測        | 定           | 基                    | 準               |             | 測            | 定             | 箇       | 所                                     | 摘 | 要 |
|             |             |             |    |    |                     |      | 中規模<br>以上 | 小規模<br>以下 | 中規模 小規模<br>以上 以下                  |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
| 3 土         | 2 一般        | 6 一般        | 13 | 1  | 薄層カラー舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽ | ±40       | ±50       | _                                 | し、道路<br>厚さは、         | 中心<br>各車 | 線及で<br>『線(4 | 『端部で<br><b>0加</b> 毎に | 右、中、左           | 中規施工面       | 模以上<br>積が 1, | の工事<br>000 mi | 以上と     |                                       |   |   |
| 工事共通        | 施工          | 舗装工         |    |    |                     | 厚き   | -         | 45        | -15                               | 定。                   |          |             |                      | 起こして測<br>前所の割に測 | <b>未満</b> と | する。          |               |         | 積が <b>1,000 n</b><br>10 個に 9 個        |   |   |
| 編           |             |             |    |    |                     | 幅    | -         | 50        | _                                 | Æ.                   |          |             |                      |                 | 以上の         | 割合で<br>ととも   | 規格値<br>に、10   | を満足) 個の | 10 個にすじ<br>しなければな<br>測定値の平均<br>なければなら | 3 |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 13 | 2  | 薄層カラー舗装工<br>(上層路盤工) | 厚き   | -25       | -30       | - 8                               | 厚さは、<br><b>を交互</b> に | 各車       | 源(4         | <b>0加</b> 毎に         | 所の割とし、          | ない。         | ただし          | 、厚さ           | のデー     | タ数が 10 個値は適用した                        | i |   |
| 工事共通        | 施工          | 舗装工         |    |    | 粒度調整路盤工             | 幅    | -         | 50        | _                                 | 定。                   |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
| 編           |             |             |    |    |                     |      |           |           |                                   |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
|             |             |             |    |    |                     |      |           |           |                                   |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
|             |             |             |    |    |                     |      |           |           |                                   |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
|             |             |             |    |    |                     |      |           |           |                                   |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
|             |             |             |    |    |                     |      |           |           |                                   |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
|             |             |             |    |    |                     |      |           |           |                                   |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |
|             |             |             |    |    |                     |      |           |           |                                   |                      |          |             |                      |                 |             |              |               |         |                                       |   |   |

#### 改訂【R4.10】

|             |      | _     | -  |    |                     | 1    |           |           |                                   |                   |      |              |              |                                |            |                          |                            |                          |   |   |  |   |   |
|-------------|------|-------|----|----|---------------------|------|-----------|-----------|-----------------------------------|-------------------|------|--------------|--------------|--------------------------------|------------|--------------------------|----------------------------|--------------------------|---|---|--|---|---|
|             |      |       |    |    |                     |      |           | 規         | 格 値                               |                   |      |              |              |                                |            |                          |                            |                          |   |   |  |   |   |
| 編           | 章    | 節     | 条  | 枝番 | 工種                  | 測定項目 | 個々の<br>() | 測定値<br>X) | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> ) |                   | 測    | 定            | 基            | 準                              |            |                          | 測                          | 定                        | 箇                                       | 所   |  | 摘 | 要 |
|             |      |       |    |    |                     |      | 中規模以上     | 小規模<br>以下 | 中規模 小規模<br>以上 以下                  |                   |      |              |              |                                |            |                          |                            |                          |   |   |  |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 6   最 | 13 | 1  | 薄層カラー舗装工<br>(下層路盤工) | 基準高▽ | ±40       | ±50       | _                                 | し、道               | 路中心  | い線及で         | /端部          | 1ヶ所の<br>で測定。<br>に <b>右、</b> 「  |            | 中規                       | 模以上                        | の工事                      |   | 1 層当たり  | 9 の  |   |   |
| 工           | 施    | 舗     |    |    | (下層路盤工)             |      |           |           |                                   |                   |      |              |              |                                |            |                          |                            |                          |   | りつ。<br>漬が <b>1,00</b> 0   | 0 m²   |   |   |
| 事共通         | 工    | 装工    |    |    |                     | 厚き   | -         | 45        | -15                               | 定。<br>幅は、<br>定。   | 延長   | <b>40m</b> ‡ | 最に 1         | ヶ所の書                           |            | <b>未満</b> と              |                            | r. milli                 | (c) | 10 個に 9   | , AGE  |   |   |
| 編           |      |       |    |    |                     | 幅    | -         | 50        |                                   | 「3次               | (案)」 | の規定          | 色によ          | る測点の                           | 形管理<br>の管理 | 以上の<br>らない<br>値(X<br>ない。 | 割合で<br>ととも<br>10) に<br>ただし | 規格値<br>に、1<br>ついて<br>、厚さ | を満足<br>0 個の<br>満足し<br>のデー               | 10 個に<br>しなければ<br>則定値の <sup>1</sup><br>なければが<br>タ数が 10<br>値は適用し | ばな<br>下<br>な<br>な<br>ち<br>し<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 6 一般: | 13 | 2  | 薄層カラー舗装工<br>(上層路盤工) | 厚き   | -25       | -30       | - 8                               | 厚さは<br><b>を交互</b> | 、各国  | 車線 (         | <b>40加</b> 毎 | ·所の割る<br>に <b>右、</b> 「<br>り起こし | 中、左        |                          |                            |                          |   |   |  |   |   |
| 工事共通        | 施工   | 舗装工   |    |    | 粒度調整路盤工             | 幅    | -         | 50        | _                                 | 要領(               | (案)」 | の規定          | 世によ          | た出来用る測点の                       |            |                          |                            |                          |   |   |  |   |   |
| 編           |      |       |    |    |                     |      |           |           |                                   | 方法を               | 用いる  | ることだ         | ができ          | る。                             |            |                          |                            |                          |   |   |  |   |   |

|             |             |             |    |    |                       |      | 規            | 格値                                  |  |   |   |   |
|-------------|-------------|-------------|----|----|-----------------------|------|--------------|-------------------------------------|--|---|---|---|
| 編           | 章           | 節           | 条  | 枝番 | 工種                    | 測定項目 | 個々の測定<br>(X) | 直 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> ) | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所   | 摘 | 要 |
|             |             |             |    |    |                       |      | 中規模 小規以上 以一  | 模 中規模 小規模<br>以上 以下                  |  |   |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 13 | 3  | 薄層カラー舗装工<br>(上層路盤工)   | 厚き   | -25 -3       | -8                                  | 幅は、延長 $40m$ 毎に $1$ 箇所の割とし、厚さは、 $1,000$ ㎡に $1$ 個の割で<br>コアーを採取もしくは掘り起こして | 中規模以上の工事とは、1 層当たりの<br>施工面積が 1,000 m以上とする。   |   |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    | セメント (石灰)<br>安定処理工    | 幅    | -50          | _                                   | 測定。  | 小規模工事とは、施工面積が <b>1,000 ㎡</b><br>未満とする。  |   |   |
| 編           |             |             |    |    |                       |      |              |                                     |  | 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個<br>以上の割合で規格値を満足しなければな<br>らないとともに、10 個の測定値の平均<br>値 (X10) について満足しなければなら<br>ない。ただし、厚さのデータ数が 10 個<br>未満の場合は測定値の平均値は適用しな |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 13 | 4  | 薄層カラー舗装工<br>(加熱アスファルト | 厚き   | -15 -2       | - 5                                 | 幅は、延長 <b>40加</b> 毎に1箇所の割とし、<br>厚さは、1,000 ㎡に1個の割で<br>コアーを採取して測定。        | コアー採取について   |   |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    | 安定処理工)                | 幅    | -50          | _                                   |  | 橋面舗装等でコアー採取により床版等<br>に損傷を与える恐れのある場合は、他の<br>方法によることが出来る。   |   |   |
| 通編          |             |             |    |    |                       |      |              |                                     |  |   |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 13 | 5  | 薄層カラー舗装工<br>(基層工)     | 厚き   | - 9   -1     | 2 – 3                               | 幅は、延長 <b>40m</b> 毎に1箇所の割とし、<br>厚さは、1,000 ㎡に1個の割で<br>コアーを採取して測定。        |   |   |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    |                       | 幅    | -25          | _                                   |  |   |   |   |
| 通編          |             |             |    |    |                       |      |              |                                     |  |   |   |   |

#### 改訂【R4.10】

|             |             |             |    |    |                       |      |            | 規         | 格値                                |   |   |   |
|-------------|-------------|-------------|----|----|-----------------------|------|------------|-----------|-----------------------------------|---|---|---|
| 編           | 章           | 節           | 条  | 枝番 | 工種                    | 測定項目 | 個々の<br>(2  | 測定値<br>() | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> ) | 測定基準測定箇所  | 摘 | 要 |
|             |             |             |    |    |                       |      | 中規模<br>以上  | 小規模<br>以下 | 中規模 小規模<br>以上 以下                  |   |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 6<br>一<br>般 | 13 | 3  | 薄層カラー舗装工<br>(上層路盤工)   | 厚き   | -25        | -30       | - 8                               | 、延長 <b>40加</b> 毎に1ヶ所の割とし、<br>は、1,000 ㎡に1個の割で<br>一を採取もしくは掘り起こして<br>地工面積が <b>1,000 ㎡</b> 以上とする。   |   |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    | セメント(石灰)<br>安定処理工     | 幅    | -          | 50        | _                                 | 。   |   |   |
| 通編          |             |             |    |    |                       |      |            |           |                                   | (案)」の規定による測点の管理 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個 以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚きのデータ数が 10 個 未満の場合は測定値の平均値は適用しな |   |   |
| 3 土 木       | 2 一般;       | 6 一般        | 13 | 4  | 薄層カラー舗装工<br>(加熱アスファルト | 厚き   | -15        | -20       | - 5                               | 、延長 <b>40m</b> 毎に1ヶ所の割とし、<br>は、1,000 ㎡に1個の割で<br>ーを採取して測定。 コアー採取について   |   |   |
| 工事共通        | 施工          | 舗装工         |    |    | 安定処理工)                | 幅    | _          | 50        | _                                 | 株面舗装等でコアー採取により床版等<br>株面舗装等でコアー採取により床版等<br>に損傷を与える恐れのある場合は、他の<br>(案)」の規定による測点の管理<br>方法によることが出来る。   |   |   |
| 編           |             |             |    |    |                       |      |            |           |                                   | を用いることができる。   |   |   |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般        | 6<br>一<br>般 | 13 | 5  | 薄層カラー舗装工<br>(基層工)     | 厚き   | <b>-</b> 9 | -12       | - 3                               | 、延長 <b>40加</b> 毎に1ヶ所の割とし、<br>は、1,000 m <sup>2</sup> に1個の割で<br>ーを採取して測定。   |   |   |
| 工事共         | 施工          | 舗装工         |    |    |                       | 幅    | -          | 25        | _                                 | 次元計測技術を用いた出来形管理<br>(案)」の規定による測点の管理  |   |   |
| 通編          |             |             |    |    |                       |      |            |           |                                   | を用いることができる。   |   |   |

| <i>I</i> ==      | 章     | 節      | 条  | 枝番 | 工種                            | 2mil a | 定項目         | 規 札                           | 各値         | 测定基準测定简所植  |   |
|------------------|-------|--------|----|----|-------------------------------|--------|-------------|-------------------------------|------------|--|---|
| 編                | 早     | 即      | 采  |    |                               | 例)     | E-摂日        | 個々の測定値<br>(X)                 | 測定値の平均     |  | 安 |
| 3<br>土           | 2     | 6      | 15 | 1  | 路面切削工                         | 厚      | さ t         | <b>-</b> 7                    | - 2        | 至さは 40m毎に現舗装高切削後の基準<br>所の差で算出する。測定点 <b>(5 測点)</b> は  |   |
| 木工事              | 般施工   | 般舗装    |    |    |                               | 幅      | w           | -25                           | _          | 正道中心線、車道端及びその中心とす。<br>。延長 40m未満の場合は、2箇所/   |   |
| <b>事共通編</b>      |       | 工      |    |    |                               |        |             |                               |            | 正工箇所とする。断面状況で、間隔、<br>点点数を変えることが出来る。測定方<br>には自動横断測定法によることが出来<br>。<br>現舗装 w  |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 6 一般舗  | 15 |    | 路面切削工<br>(面管理の場合)<br>標高較差または厚 | (標     | さ t<br>高較差) | -17<br>(17)<br>(面管理として<br>緩和) | - 2<br>(2) | . 施工履歴データを用いた出来形管<br>理要領(案) (路面切削工編) に基づき<br>出来形管理を実施する場合に適用す  |   |
| 事共               | I     | 装工     |    |    | さtのみ                          | 幅      | w           | -25                           | _          | . 計測は切削面の全面とし、すべて<br>)点で設計面との厚さtまたは標高較   |   |
| 通編               |       |        |    |    |                               |        |             |                               |            | をを算出する。計測密度は1点/㎡<br>(平面投影面積当たり)以上とする。<br>は、厚さtまたは標高較差は、現舗装<br>切削後の基準高との差で算出する。<br>・ 幅は、延長 40m毎に測定するもの<br>にし、延長 40m未満の場合は、2箇所<br>施工箇所とする。 |   |
| 3<br>土           | 2     | 6<br>— | 16 |    | 舗装打換え工                        | 路      | 幅 w         | _                             | 50         | · 層毎 1 箇所 / 1 施工箇所   |   |
| 木工事              | 般施工   | 般舗装    |    |    |                               | 盤      | 延長L         | -                             | 100        | w  |   |
| 争<br>共<br>通      | Т     | 五      |    |    |                               | 工      | 厚さt         | 該当                            | 工種         | ↓ ↓ ↓ w  |   |
| 編                |       |        |    |    |                               | 舗      | 幅 w         |                               | 25         | L  |   |
|                  |       |        |    |    |                               | 設      | 延長L         |                               | 100        |  |   |
|                  |       |        |    |    |                               | エ      | 厚さt         | 該当                            | 工種         |  |   |

|           |        |         |    |    |   |        |                                 |                                      |                       |  |  |  |   |     |   |  |   | 単1☑:mn |   |
|-----------|--------|---------|----|----|---|--------|---------------------------------|--------------------------------------|-----------------------|--|--|--|---|-----|---|--|---|--------|---|
| 編         | 章      | 節       | 条  | 枝番 | 工種                                      | 測      | 定項目                             | 規 相<br>個々の測定値<br>(X)                 | 格 値<br>測定値の平均         | 測  | 定  | 基  | 準   | 測   | 定 | 箇  | 所 | 摘      | 要 |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6 一般舗装工 | 15 | 1  | 路面切削工                                   | 厚幅     | ් t<br>w                        | - 7<br>-25                           | - 2<br>-              | 法は自動横りる。   | 出す車未るる側<br>mまるる側<br>技規の<br>が成場である。<br>が表現の<br>が表現の<br>は規模の<br>が表現の<br>は規模の<br>が表現の<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、<br>には、 | <ul><li>、端の新と法</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取ります。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする。</li><li>を取りまする</li></ul> | は(5 <b>測点)</b> は<br>たの中かに<br>たの中かに<br>たった。<br>たいでは<br>たった。<br>たいでは<br>たった。<br>たった。<br>たった。<br>たった。<br>たった。<br>たった。<br>たった。<br>たった | t f | 見 | €<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>-<br>- | ÷ |        |   |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工  | 15 | 2  | 路面切削工<br>(面管理の場合)<br>標高較差または厚<br>さ t のみ | (標     | さ t<br>高較差)<br>W                | -17<br>(17)<br>(面管理として<br>緩和)<br>-25 | - 2<br>(2)            | 施する場合は 2. 点を 3. 高い 2. 点を 5 面 2. 点を 5 面 2 型 2 型 2 型 2 単 2 で 3 高 3 高 4 . 風 4 . | に基別面を<br>適削と<br>の<br>で<br>で<br>で<br>で<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に<br>に                                     | でする全さ測り高の毎に<br>出の面は密り較差に<br>いのの毎に  | 来形管理を実<br>したは標本で<br>または1点/㎡<br>上とする。<br>きは、現舗装  | 17  |   | €<br>  | ÷ |        |   |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工 | 6一般舗装工  | 16 |    | 舗装打換え工                                  | 路盤工舗設工 | 幅 w<br>延長L<br>厚さt<br>幅 w<br>延長L | <b>該当</b>                            | 50<br>1100<br>工工種<br> |  | 則技術:<br>の規定  | を用い <i>†</i><br>をによる   | た出来形管理<br>5測点の管理  | w   |   | L  | w |        |   |

| 編      | 章   | 節           | 条  | 枝番 | 工種       | 測定項目           | 規<br>個々の測定値<br>(X) | 格 値<br>測定値の平均  | 測   | 定                          | 基                    | 準                                    | 測          | 定  | 箇      | 所    | 摘 | 要 |
|--------|-----|-------------|----|----|----------|----------------|--------------------|--|---|----------------------------|----------------------|--------------------------------------|------------|----|--------|------|---|---|
| 3<br>± | 2   | 6<br>一<br>般 | 17 | 1  | オーバーレイエ  | 厚 さ t          |                    | <b>-</b> 9   | 厚さは 40m<br>イ後の基準語   | 島の差で                       | で算出す                 | -る。                                  |            |    |        |      |   |   |
| 木工事    | 般施工 | 舗装          |    |    |          | 幅 w            |                    | -25  | 例 正 点 は 単 ī<br>中 心 と す る 。<br>幅 は 、 延 長                           |                            |                      | 道端及びその<br>所の割とし、                     |            |    |        |      |   |   |
| 共通     |     | I           |    |    |          | 延 長 L          | -                  | -100   | 延長 80m未<br>箇所とする。   | 満の場                        | 合は、                  | 2箇所/施工                               |            | (  | Ē<br>I |      |   |   |
| 編      |     |             |    |    |          | 平坦性            | _                  | 3mプロフィルメーター<br>(σ)2.4mm以下<br>直読式(足付き)<br>(σ)1.75mm以下 | 断面状況で、とが出来る。  |                            | 测点装                  | 数を変えるこ                               | t + 7 - 7% | 現舗 |        | TRI- |   |   |
| 3<br>土 | 2   | 6           | 17 | 2  | オーバーレイエ  | 厚さあるい<br>は標高較差 | -20                | - 3  | 1. 3次元5<br>おいて「32   | 欠元計測                       | 則技術を                 | と用いた出来                               |            |    |        |      |   |   |
| 木工事共通  | 般施工 | 般舗装工        |    |    | (面管理の場合) | 平 坦 性          | _                  | 3mプロフィルメーター<br>(σ)2.4mm以下<br>直読式(足付き)<br>(σ)1.75mm以下 | 形管理要領<br>技術(面管す<br>形管理を実<br>に規定する<br>計測方法                         | 里の場合<br>施する場<br>計測精度       | 。)」に<br>場合、そ<br>度・計測 | 基づき出来<br>この他本基準<br>別密度を満た            |            |    |        |      |   |   |
| 編      |     |             |    |    |          |                |                    |  | 度として±1<br>3. では1はは<br>全は1とでは1と厚高厚以上と厚高厚に<br>5. はでもない。<br>6. はである。 | 計10m計高( 直差高の+ で撃をする) のできまる | の含員と近                | 明全面とし、<br>「る。計測密<br>「積当たり)<br>新値と当該層 |            |    |        |      |   |   |

| 単位 | : | mm |
|----|---|----|
|    |   |    |

| 編      | 章   | 節    | 条  | 枝番 | 工 種      | 測定項目           | 規<br>個々の測定値<br>(X) | 格 値<br>測定値の平均  | 測   | 定   | 基                                       | 準  | 測     | 定                 | 箇       | 所    | 摘 | 要 |
|--------|-----|------|----|----|----------|----------------|--------------------|--|---|---|---|--|-------|-------------------|---------|------|---|---|
| 3<br>土 | 2   | 6    | 17 | 1  | オーバーレイエ  | 厚 き t          | -                  | - 9  | 厚さは 40m<br>イ後の基準高   | あの差で  | 算出す                                     | `る。  |       |                   |         |      |   |   |
| 木工     | 般施  | 般舗   |    |    |          | 幅 w            | -                  | -25  | 測定点は車込中心とする。  | _ ,   |   |  |       |                   |         |      |   |   |
| 事共通    | エ   | 装工   |    |    |          | 延長L            | _                  | - 100  | 幅は、延長<br>延長 80m未<br>箇所とする。  |   |   |  |       |                   | Œ.      |      |   |   |
| 編      |     |      |    |    |          | 平 坦 性          | _                  | 3mプロフィル<br>メーター<br>(σ)2.4mm 以下<br>直読式(足付き)<br>(σ)1.75mm 以下 | 断面状況で、<br>とが出来る。<br>「3次元計》<br>要領(案)」  | 則技術を<br>の規定                                   | シ用いた<br>Eによる                            | た出来形管理<br>5測点の管理   | t + + |                   | <br>    | TRY- |   |   |
|        |     |      |    |    |          |                |                    |  | 方法を用いる  |   |   | •  |       | <del>-</del> 76.8 | H 200 W |      |   |   |
| 3<br>土 | 2   | 6    | 17 | 2  | オーバーレイエ  | 厚さあるい<br>は標高較差 | -20                | - 3  | 1. 3次元ラおいて「3岁   | 大元計測  | 技術を                                     | 用いた出来  |       |                   |         |      |   |   |
| 木工事共通編 | 般施工 | 般舗装工 |    |    | (面管理の場合) | 平 坦 性          | _                  |  | 形管理要領<br>理を実施する<br>定する計測に<br>別方法に毎月である。   | る場合、<br>青度・計<br>) 出来形<br>る。                   | その他<br> 測密度<br> 管理を                     | 本基準に規 を満たす計 実施する場  |       |                   |         |      |   |   |
| 編      |     |      |    |    |          |                |                    |  | 2度3全度以4の5合高さとでは、の生はで介るはと原南に、1と厚高度、直接をの土と原高度、直接をでいるは、のも別があるはとを対して、1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の | の計画の 医学 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で | まの算投 の出と言いる。 これの出り ではいまから はいま できる こうしょう | いる。<br> 全面とし、<br> る。計測密<br> 積当たり)<br> 値と当該層<br> 。<br> で評価する場 |       |                   |         |      |   |   |

| 4           | -dec | 6464        |   | L Le cert |         |         | 10 16 66 | You do the Nation  | Virginia de la companya de la compan | Left Town |
|-------------|------|-------------|---|-----------|---------|---------|----------|--|--|-----------|
| 編           | 章    | 節           |   | 枝番        | 工種      | 測定項目    | 規格値      | 測定基準   | 測定箇所   | 摘要        |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 7<br>地<br>盤 | 2 |           | 路床安定処理工 | 基 準 高 ▽ | ±50      | 延長 40m毎に1箇所の割で測定。<br>基準高は、道路中心線及び端部で測定。<br>厚さは中心線及び端部で測定。          | Ę.   |           |
| 工事共         | 施工   | 改良工         |   |           |         | 施工厚さ t  | -50      | 「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要領(案)表層安定処理等・固結工<br>(中層混合処理)編」による管理の場         |  |           |
| 通編          |      |             |   |           |         | 幅 w     | -100     | 合は、全体改良範囲図を用いて、施工<br>厚さt、天端幅w、天端延長Lを確認<br>(実測は不要)。                 | ▼ ∇ ∇ t  |           |
|             |      |             |   |           |         | 延 長 L   | -200     |  | W  |           |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 7<br>地<br>盤 | 3 |           | 置換工     | 基 準 高 ▽ | ±50      | 施工延長40m (測点間隔25mの場合は<br>50m) につき1箇所、延長40m(50<br>m) 以下のものは1施工箇所につき2 |  |           |
| 工事共         | 施工   | 改良工         |   |           |         | 置換厚さ t  | -50      | 箇所。<br>厚さは中心線及び端部で測定。  |  |           |
| 通編          |      |             |   |           |         | 幅 w     | -100     |  | ę.<br>   |           |
|             |      |             |   |           |         | 延 長 L   | -200     |  |  |           |
|             |      |             |   |           |         |         |          |  | w  |           |
|             |      |             |   |           |         |         |          |  |  |           |
|             |      |             |   |           |         |         |          |  | t  |           |
|             |      |             |   |           |         |         |          |  | w w  |           |
|             |      |             |   |           |         |         |          |  |  |           |
| 1           |      |             |   |           |         |         |          |  |  |           |

### 改訂【R4.10】

| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 |         | 測定項目    | 規格値  | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所 | 摘 要 |
|-------------|-------------|-------------|---|----|---------|---------|------|--|---------|-----|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 7<br>地<br>盤 | 2 |    | 路床安定処理工 | 基 準 高 ▽ | ±50  | 延長 40m毎に1ヶ所の割で測定。<br>基準高は、道路中心線及び端部で測定。<br>厚さは中心線及び端部で測定。            | Ģ.      |     |
| 工事共         | 施工          | 改良工         |   |    |         | 施工厚さ t  | -50  | 「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要領 (案)」による管理の場合は、全<br>体改良範囲図を用いて、施工厚さt、         |         |     |
| 通編          |             |             |   |    |         | 幅 w     | -100 | 天端幅w、天端延長Lを確認(実測は不要)。  | t       |     |
|             |             |             |   |    |         | 延長L     | -200 |  | w d     |     |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 7<br>地<br>盤 | 3 |    | 置換工     | 基 準 高 ▽ | ±50  | 施工延長40m (測点間隔25mの場合は<br>50m) につき1ヶ所、延長 40m (50<br>m) 以下のものは1施工箇所につき2 |         |     |
| 工事共         | 施工          | 改良工         |   |    |         | 置換厚さ t  | -50  | 箇所。<br>厚さは中心線及び端部で測定。  |         |     |
| 通編          |             |             |   |    |         | 幅 w     | -100 |  | £       |     |
|             |             |             |   |    |         | 延 長 L   | -200 |  | ∇ ∇ ∇   |     |
|             |             |             |   |    |         |         |      |  | w       |     |
|             |             |             |   |    |         |         |      |  |         |     |
|             |             |             |   |    |         |         |      |  |         |     |
|             |             |             |   |    |         |         |      |  | w       |     |
|             |             |             |   |    |         |         |      |  | 11 11   |     |
|             |             |             |   |    |         |         |      |  |         |     |
|             |             |             |   |    |         |         |      |  |         |     |

| 編                | 章            | 節     | 条 | 枝番 | 工種                 | 測  | 定           | 項  | 目        | 規  | 格   | 値   | 測                            | 定                    | 基             | 準                | 測        | 定     | 箇  | 所  | 摘 | 要 |
|------------------|--------------|-------|---|----|--------------------|----|-------------|----|----------|----|-----|-----|------------------------------|----------------------|---------------|------------------|----------|-------|----|----|---|---|
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2<br>一般<br>施 | 7 地盤改 | 4 | 1  | 表層安定処理工 (サンドマット海上) | 基  | 準           | 高  | $\nabla$ | 特記 | 仕様  | 書に明 | 施工延長 10r<br>点以上測定。           | nにつき                 | , 1           | 測点当たり 5          | 2        | 3     | 4  |    |   |   |
| 事共通編             | エ            | 良工    |   |    |                    | 法  |             | 長  | ů.       |    | -50 | 0   |                              |                      |               |                  | 0        |       |    | \$ |   |   |
| 77110            |              |       |   |    |                    | 天  | 端           | 幅  | w        |    | -30 | 0   | w. (L) は<br>所、80m以下<br>き3箇所。 |                      |               |                  | ı,       | w. (L | .) | ı  |   |   |
|                  |              |       |   |    |                    | 天如 | <b>始延</b> 長 | į. | L        |    | -50 | 0   | (L) はセン<br>で行う。              |                      |               | 及び表裏法肩           | <u> </u> |       |    |    |   |   |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施        | 7 地盤改 | 4 | 2  | 表層安定処理工 (サンドマット海上) | 基  | 準           | 高  | $\nabla$ | 特記 | 仕様  | 書に明 | 施工延長 10r<br>点以上測定。           | nにつき                 | , 1           | 測点当たり5           | 2        | 3     | 4) |    |   |   |
| 事共通              | I            | 良工    |   |    | (ICT 施工の場合)        | 法  |             | 長  | l        |    | -50 | 0   |                              |                      |               |                  | ①        |       |    | 5  |   |   |
| 編                |              |       |   |    |                    | 天  | 端           | 幅  | w        |    | -30 | 0   | 要領(案)                        | 表層安定<br>1理)編<br>1いて、 | 処理<br>に<br>天端 | 記載の全体改<br>幅w、天端延 | 2        | w. (L | .) |    |   |   |
|                  |              |       |   |    |                    | 天如 | #延長         | į. | L        |    | -50 | 0   |                              |                      |               |                  | <u> </u> |       |    | 1) |   |   |

|                  |       |       |   |    |                    |  | <u>v.</u> . mm |
|------------------|-------|-------|---|----|--------------------|--|----------------|
| 編                | 章     | 節     | 条 | 枝番 | 工 種                | 測定項目 規格値 測定基準 測定箇所   | 摘 要            |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 7 地盤改 | 4 | 1  | 表層安定処理工 (サンドマット海上) | <ul> <li>基 準 高 ▽ 特記仕様書に明 示</li> <li>施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。</li> <li>② ③ ④</li> </ul>   |                |
| 事共通編             | I     | 良工    |   |    |                    | 法 長 t -500 ⑤   |                |
|                  |       |       |   |    |                    | 天端幅w     -300       w. (L) は施工延長 40mにつき1ヶ所、80m以下のものは1施工箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3箇所につき3 箇所につき3 箇所につき3 箇所につき3 箇所につき3 首所につき3 首にのき3 首に |                |
|                  |       |       |   |    |                    | 天端延長       L       -500       (L) はセンターライン及び表裏法肩で行う。   |                |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 7 地盤改 | 4 | 2  | 表層安定処理工 (サンドマット海上) | <ul> <li>基 準 高 ▽ 特記仕様書に明 示</li> <li>施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。</li> <li>② ③ ④</li> </ul>   |                |
| 事共通              | I     | 良工    |   |    | (ICT施工の場合)         | 法 長 t —500 ① ①   |                |
| 編                |       |       |   |    |                    | 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に記載の全体改良平面図を用いて、天端幅W、天端延長Lを確認(実測は不要)。       「3次元計測技術を用いた出来形管理要額(案)」に記載の全体改良平面図を用いて、天端極級人とを確認(実測は不要)。  |                |
|                  |       |       |   |    |                    | 天端延長 L -500  |                |

単位: mm

| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工 種  | 測定項目    | 規 格 値 | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所     | 摘要 |
|-------------|-------------|-------------|---|----|--|---------|-------|--|-------------|----|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 7<br>地<br>盤 | 9 | 2  | 固結工 (スラリー撹拌工)  | 基 準 高 ▽ | 0以上   | 杭芯位置管理表により基準高を確認   | 122         |    |
| 工事共通編       | 施工          | 改良工         |   |    | 「施工履歴データを用<br>いた出来形管理用要領<br>(固結工 (スラリー撹<br>拌工)編)(案)」によ | 位 置     | D/8以内 | 全本数<br>施工履歴データから作成した杭芯位置<br>施工履歴データから作成した杭芯位置<br>種類表により設計杭芯位置を施工した<br>杭芯位置との距離を確認<br>(掘起しによる実測確認は不要) |             |    |
|             |             |             |   |    | る管理の場合   | 杭 径 D   | 設計値以上 | 工事毎に1回<br>施工前の撹拌翼の寸法実測により確認<br>(掘起しによる実測確認は不要)   |             |    |
|             |             |             |   |    |  | 改良長L    | 設計値以上 | 全本数<br>施工履歴データから作成した杭打設結<br>果表により確認<br>(残尺計測による確認は不要)  | C. L. G. L. |    |
|             |             |             |   |    |  |         |       |  | e, L        |    |
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 7<br>地<br>盤 | 9 | 3  | 固結工<br>(中層混合処理)  | 基 準 高 ▽ | 設計値以上 | 1,000 ㎡~4,000 ㎡につき1ヶ所、又は<br>施工延長 40m(測点間隔 25mの場合は<br>50m)につき1ヶ所。                                     | q.          |    |
| 工事共         | 施工          | 改良工         |   |    |  | 施工厚さ t  | 設計値以上 | 1,000m3以下、又は施工延長40m(50m)<br>以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。<br>施工厚さは施工時の改良深度確認を出                                  |             |    |
| 通編          |             |             |   |    |  | 幅 w     | 設計値以上 | 来形とする。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要領(案)表層安定処理等・固結工  | 7 7 7       |    |
|             |             |             |   |    |  | 延 長 L   | 設計値以上 | (中層混合処理)編」による管理の場合は、全体改良範囲図を用いて、施工厚さt、幅w、延長Lを確認(実測は不   |             |    |
|             |             |             |   |    |  |         |       | 序さい、物W、処式Lを開診(表例は个要)。  |             |    |

# 改訂【R4.10】

| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工 種  | 測定項目    | 規 格 値 | 測 定 基 準   | 測 定 箇 所     | 摘要 |
|-------------|-------------|-------------|---|----|--|---------|-------|---|-------------|----|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 7<br>地<br>盤 | 9 | 2  | 固結工 (スラリー撹拌工)  | 基 準 高 ▽ | 0以上   | 杭芯位置管理表により基準高を確認  | 132         |    |
| 工事共通編       | 施工          | 改良工         |   |    | 「施工履歴データを用<br>いた出来形管理用要領<br>(固結工 (スラリー撹<br>拌工)編)(案)」によ | 位 置     | D/8以内 | 全本数<br>施工履歴データから作成した杭芯位置<br>管理表により設計杭芯位置を施工した<br>杭芯位置との距離を確認<br>(掘起しによる実測確認は不要)                     |             |    |
|             |             |             |   |    | る管理の場合   | 杭 径 D   | 設計値以上 | 工事毎に1回<br>施工前の撹拌翼の寸法実測により確認<br>(掘起しによる実測確認は不要)  | h           |    |
|             |             |             |   |    |  | 改良長L    | 設計値以上 | 全本数<br>施工履歴データから作成した杭打設結<br>果表により確認<br>(残尺計測による確認は不要)   | C. L. G. L. |    |
|             |             |             |   |    |  |         |       |   | e, L        |    |
| 3<br>土<br>木 | 2 一般        | 7<br>地<br>盤 | 9 | 3  | 固結工<br>(中層混合処理)  | 基 準 高 ▽ | 設計値以上 | 1,000 m <sup>2</sup> ~4,000 m <sup>2</sup> につき 1 ヶ所、また<br>は施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m)につき 1 ヶ所。 | 9.          |    |
| 工事共         | 施工          | 改良工         |   |    |  | 施工厚さ t  | 設計値以上 | 1,000m3以下、又は施工延長40m(50m)<br>以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。<br>施工厚さは施工時の改良深度確認を出                                 |             |    |
| 通編          |             |             |   |    |  | 幅 w     | 設計値以上 | 来形とする。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要領(案)」による管理の場合は、全  | 7 7 7       |    |
|             |             |             |   |    |  | 延 長 L   | 設計値以上 | 体改良範囲図を用いて、施工厚さt、<br>幅w、延長Lを確認(実測は不<br>要)。  |             |    |
|             |             |             |   |    |  |         |       | ~ ·   |             |    |

単位: mm

| 編                | 章     | 節      | 条 | 枝番 | I              | 種 | Ž          | 則        | 定項目            | 規 格 値                       |     | 測                  | 定    | 基 | 準    | 測 | 定 | 箇 | 所 | 摘 | 要 |
|------------------|-------|--------|---|----|----------------|---|------------|----------|----------------|-----------------------------|-----|--------------------|------|---|------|---|---|---|---|---|---|
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 12 工場製 | 1 | 1  | 鋳造費<br>(金属支承工) |   | 上下部鋼       |          | 孔の直径差          | + 2<br>- 0                  | ※1) | 全数を測<br>ガス切<br>組立て | 断寸法を |   | · 3. |   |   |   |   |   |   |
| 事共通編             | I     | 作工共    |   |    |                |   | 構造物と       | <b>#</b> | ボスの突a<br>にした孔位 |                             |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
| RMH              |       | 通      |   |    |                |   | この接合       | 心        | ≦1000mm        | 1以下                         |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | 用ボル        | 距離       | ボスの突起<br>にした孔位 |                             |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | 孔          |          | >1000mm        | 1.5以下                       |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | アンカー       | リル       | ≤100mm         | + 3<br>- 1                  |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | 用孔(鋳放ーボルトア | 工孔       | >100mm         | + 4<br>- 2                  |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | 放し)        |          | 孔の中心距離<br>※1   | JIS B 0403<br>-1995<br>CT13 |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | センタ        | 7        | ボスの直径          | + 0<br>- 1                  |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | ーボス        | 치        | ボスの高さ          | + 1<br>- 0                  |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | ボ          | 7        | ドスの直径          | + 0<br>- 1                  |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |        |   |    |                |   | ス<br>※5    | z        | ドスの高さ          | + 1<br>- 1                  |     |                    |      |   |      |   |   |   |   |   |   |

### 改訂【R4.10】

| 編                | 章     | 節                 | 条 | 枝番 | I i            | 種                | 測      | 定項目              |   | 規格値                         | 測        | 定 | 基    | 準   | 測 | 定 | 箇 | 所 | 摘 | 要 |
|------------------|-------|-------------------|---|----|----------------|------------------|--------|------------------|---|-----------------------------|----------|---|------|-----|---|---|---|---|---|---|
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 12<br>工<br>場<br>製 | 1 | 1  | 鋳造費<br>(金属支承工) | 上下音              | ß      | 孔の直径差            |   | + 2<br>- 0                  | 全数を測ガス切り |   | を準用す | トる。 |   |   |   |   |   |   |
| 事共通              | 工     | 作工                |   |    |                | 相<br>造<br>物      | 孝      | にした              |   | 記を基準<br>置のずれ                | 組立て行     |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
| 編                |       | 共通                |   |    |                | と<br>の<br>お<br>台 | )<br># | 中<br>≦1000mm     | n | 1以下                         |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    |                | 月オ               | i<br>i |                  |   | 記を基準<br>:置のずれ               |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    |                | F                |        | >1000mr          | n | 1.5以下                       |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    |                |                  | /      | ド<br>リ<br>ル<br>加 | 1 | + 3<br>- 1                  |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    |                | 用孔(鋳:            | ボルト    | 工<br>孔 >100mm    | 1 | + 4<br>- 2                  |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    |                |                  | アンカーバー | 孔の中心距離<br>※1     |   | JIS B 0403<br>-1995<br>CT13 |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    |                | も                | /      | ボスの直             | 径 | + 0<br>- 1                  |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    |                | ا<br>تا<br>تا    |        | ボスの高             | ż | + 1<br>- 0                  |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    |                | オフ               |        | ボスの直             | 径 | + 0<br>- 1                  |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |
|                  |       |                   |   |    | (次頁に続く)        | *                |        | ボスの高             | ż | + 1<br>- 1                  |          |   |      |     |   |   |   |   |   |   |

| 編           | 章           | 節            | 条 | 枝番 | 工種               | 浿                  | 」 定 項 目                            | 規 格 値                       | 測 定 基 準 測 定 箇 所 摘 要                             | 更 |
|-------------|-------------|--------------|---|----|------------------|--------------------|------------------------------------|-----------------------------|---|---|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 12<br>工<br>場 | 1 | 1  | 鋳造費<br>(金属支承工)   |                    | 橋軸及び橋軸直角<br>長さ寸法                   | JIS B 0403<br>-1995<br>CT13 | 製品全数を測定。<br>※2)片面のみの削り加工の場合も含む。                 |   |
| 工事          | 施工          | 製作           |   |    |                  | 全移<br>動量           | ℓ ≦300mm                           | ± 2                         | ※3) ただし、ソールプレートの接触<br>面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法         |   |
| 共通          |             | エ            |   |    |                  | ₩4                 | ℓ >300mm                           | ± l /100                    | に対しては CT13 を適用するものとす<br>る。                      |   |
| 編           |             | 共通           |   |    |                  | 組                  | 上、下面加工仕上<br>げ                      | ± 3                         | ※4) 全移動量分の遊間が確保されて<br>いるのかをする。                  |   |
|             |             |              |   |    |                  | 立                  | H ≦300mm                           | ± 3                         |   |   |
|             |             |              |   |    |                  | 高                  | ク<br>リ                             |                             |   |   |
|             |             |              |   |    |                  | ŧ                  | <br>                               | (H/200+3) 小数<br>点以下切り捨て     |   |   |
|             |             |              |   |    |                  | Н                  | 構造                                 | 点以下切り指し                     |   |   |
|             |             |              |   |    |                  |                    | 用<br>鋳放し長さ寸法                       | JIS B 0403                  |   |   |
|             |             |              |   |    |                  | 普                  | ※2)、※3)                            | -1995 CT14                  |   |   |
|             |             |              |   |    |                  | 通                  | 鋳放し肉厚寸法<br>※2)                     | JIS B 0403<br>-1995 CT15    |   |   |
|             |             |              |   |    |                  | 寸                  | 削り加工寸法                             | JIS B 0405<br>-1991 粗級      |   |   |
|             |             |              |   |    |                  | 法                  | ガス切断寸法                             | JIS B 0417<br>-1979 B級      |   |   |
| 3<br>土      | 2           | 12<br>工      | 1 | 2  | 鋳造費<br>(大型ゴム支承工) |                    | w, L, D≦500                        | 0~+5                        | 製品全数を測定。<br>平面度:1個のゴム支承の厚さ(t)                   |   |
| 木工事         | 般施工         | 場製作          |   |    |                  | 幅w<br>長<br>L<br>直径 | 500 <w, d<br="" l,="">≦1500mm</w,> | 0~+1%                       | の最大相対誤差 補強材                                     |   |
| 共通編         |             | 工            |   |    |                  | D D                | 1500< w, L, D                      | 0~+15                       | t L   |   |
|             |             | 通            |   |    |                  |                    | t ≦20mm                            | ±0.5                        | <del>                                    </del> |   |
|             |             |              |   |    |                  | 厚さ<br>t            | 20< t ≦160                         | ±2.5%                       |   |   |
|             |             |              |   |    |                  |                    | 160< t                             | ± 4                         | l t   |   |
|             |             |              |   |    |                  | 相対                 | $w,\; L,\; D \leqq 1000\; mm$      | 1                           | b D →   |   |
|             |             |              |   |    |                  | 誤差                 | 1000 mm≤w, L, D                    | (w, L, D)/1000              |   |   |

## 改訂【R4.10】

| 編           | 章           | 節            | 条 | 枝番 | 工 種              | 泪                   | 定項目                                | 規格値                         | 測定基準 測定箇所 摘!                                     | 要 |
|-------------|-------------|--------------|---|----|------------------|---------------------|------------------------------------|-----------------------------|--|---|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 12<br>工<br>場 | 1 | 1  | 鋳造費<br>(金属支承工)   | 方向の                 | の橋軸及び橋軸直角<br>)長さ寸法                 | JIS B 0403<br>-1995<br>CT13 | 製品全数を測定。<br>※2)片面のみの削り加工の場合も含                    |   |
| 事           | 施工          | 製作           |   |    |                  | 全移<br>動量            | ℓ ≦300mm                           | ± 2                         | P.   |   |
| 共通          |             | 工            |   |    |                  | ℓ<br><b>※</b> 4     | ℓ >300mm                           | ± l /100                    | ※3) ソールプレートの接触面の橋軸<br>をび橋軸直角方向の長さ寸法に対して          |   |
| 編           |             | 共通           |   |    |                  | 組                   | 上、下面加工仕上<br>げ                      | ± 3                         | はCT13 を適用するものとする。                                |   |
|             |             |              |   |    |                  | 立                   | ⊐<br>∨ H≦300mm                     | ± 3                         | ※4) 全移動量分の遊間が確保されて<br>いるのかをする。                   |   |
|             |             |              |   |    |                  | 高                   | クリ                                 |                             | <b>詳細は道路橋支承便覧参照</b>                              |   |
|             |             |              |   |    |                  | さ                   | <br> -<br>  H>300mm                | (H/200+3) 小数<br>点以下切り捨て     |  |   |
|             |             |              |   |    |                  | Н                   | 構造                                 | 点以下切り指し                     |  |   |
|             |             |              |   |    |                  |                     | 用<br>鋳放し長さ寸法                       | JIS B 0403                  |  |   |
|             |             |              |   |    |                  | 普                   | <b>※</b> 2)、 <b>※</b> 3)           | -1995 CT14                  |  |   |
|             |             |              |   |    |                  | 通                   | 鋳放し肉厚寸法<br>※2)                     | JIS B 0403<br>-1995 CT15    |  |   |
|             |             |              |   |    |                  | 寸                   | 削り加工寸法                             | JIS B 0405<br>-1991 粗級      |  |   |
|             |             |              |   |    |                  | 法                   | ガス切断寸法                             | JIS B 0417                  |  |   |
| 3<br>土      | 2           | 12<br>工      | 1 | 2  | 鋳造費<br>(大型ゴム支承工) |                     | w, L, D≦500                        | -1979 B級<br>0~+5            | 型品全数を測定。<br>P面度:1個のゴム支承の厚さ(t)                    |   |
| 木工事         | 般施工         | 場製作          |   |    | (人至140人年1        | 幅w<br>長さ<br>L<br>直径 | 500 <w, d<br="" l,="">≦1500mm</w,> | 0~+1%                       | PI回返 - 1回のコススポックテさ(し)<br>の最大相対誤差<br>詳細は道路橋支承便覧参照 |   |
| 共通編         |             | 工            |   |    |                  | D                   | 1500< w, L, D                      | 0~+15                       | t L  |   |
|             |             | 通            |   |    |                  |                     | t ≦20mm                            | ±0.5                        | <del>*</del>                                     |   |
|             |             |              |   |    |                  | 厚さ<br>t             | 20< t ≦160                         | ±2.5%                       | T <sub>t</sub>                                   |   |
|             |             |              |   |    |                  |                     | 160< t                             | ± 4                         |  |   |
|             |             |              |   |    |                  | 相対                  | w, L, D≦1000 mm                    | 1                           | D  |   |
|             |             |              |   |    |                  | 誤差                  | 1000 mm < w, L, D                  | (w, L, D)/1000              |  |   |

単位: mm

| 編           | 章    | 節     | 条 | 枝番 | 工種                             | ð           | 則定項目   | 規 格 値     | 測 定 基 準 測 定 箇 所 摘 要   |
|-------------|------|-------|---|----|--------------------------------|-------------|--|-----------|---|
| 3<br>土<br>木 | 2 一般 | 14 法面 | 2 | 1  | 植生工 (種子散布工)                    | 切土法         | ℓ < 5 m                                      | -200      | 施工延長 40m(測点間隔 25mの場合は<br>50m)につき 1箇所、延長 40m(又は<br>50m)以下のものは 1 施工箇所につき 2                                    |
| 工事          | 施工   | I     |   |    | (張芝工)<br>(筋芝工)                 | 長息          | $\ell \geq 5 \; \mathrm{m}$                  | 法長の一4%    | ヶ所。<br>ただし、計測手法については、従来管理   |
| 共通編         |      | 共通    |   |    | (市松芝工)<br>(植生シート工)<br>(植生マット工) | 盛土法         | ℓ < 5 m                                      | -100      | のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案) 法価工編」で規定する出<br>来形計測性能を有する機器を用いること  |
|             |      |       |   |    | (植生筋工)<br>(人工張芝工)<br>(植生穴工)    | 長           | $\ell \geq 5 \ m$                            | 法長の一2%    | ができる。   |
|             |      |       |   |    | (他王八上)                         | 3.          | 重 長 L  | - 200     | 1 施工箇所毎<br>ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3 次元計測技術を用いた出来<br>形管理要額(案) 法面工編」で規定する出<br>来形計測性能を有する機器を用いること<br>ができる。 |
| 3<br>土      | 2    | 14 法  | 2 | 2  | 植生工                            |             | $\ell < 5  \mathrm{m}$                       | -200      | 施工延長40mにつき1箇所、40m以下の<br>ものは1施工箇所につき2箇所。   |
| 木工事共通       | 般施工  | 面工共通  |   |    | (植生基材吹付工)<br>(客土吹付工)           | 法長』         | ℓ ≧ 5 m                                      | 法長の一4%    | ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)法面工編」で規定する出<br>来形計測性能を有する機器を用いること<br>ができる。              |
| 編           |      |       |   |    |                                |             | t < 5 cm                                     | -10       | 施工面積 200 ㎡につき1箇所、面積 200<br>㎡以下のものは、1施工箇所につき2箇   |
|             |      |       |   |    |                                | 厚<br>さ<br>t | t ≧ 5 cm<br>ただし、吹付面1<br>の最小吹付厚は、<br>上とし、平均厚は | 設計厚の 50%以 | 所。<br>検査孔により測。  |
|             |      |       |   |    |                                | 3           | 延 長 L  | -200      | 1 施工箇所毎<br>ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3 次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)法面工編」で規定する出<br>来形計測性能を有する機器を用いること<br>ができる。  |

### 改訂【R4.10】

|       |      |       |   |    |  |     |                             |                                  |  |   |   |   |   |   | mm |  |
|-------|------|-------|---|----|--|-----|-----------------------------|----------------------------------|--|---|---|---|---|---|----|--|
| 編     | 章    | 節     | 条 | 枝番 | 工 種  | I   | 則定項目                        | 規 格 値                            | 測 定 基 準  | 測 | 定 | 箇 | 所 | 摘 | 要  |  |
| 3 土木  | 2 一般 | 14 法面 | 2 | 1  | 植生工<br>(種子散布工)   | 切土法 | ℓ < 5 m                     | -200                             | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は<br>50m) につき1ヶ所、延長40m (または<br>50m) 以下のものは1施工箇所につき2                             |   |   |   |   |   |    |  |
| 工事    | 施工   | 工     |   |    | (張芝工)<br>(筋芝工)   | 長息  | $\ell \geq 5 \; \mathrm{m}$ | 法長の一4%                           | ヶ所。<br>ただし、計測手法については、従来管理  |   |   |   |   |   |    |  |
| 共通編   |      | 共通    |   |    | <ul><li>(市松芝工)</li><li>(植生シート工)</li><li>(植生マット工)</li></ul> | 盛土法 | ℓ < 5 m                     | -100                             | のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」で規定する出来形計測<br>性能を有する機器を用いることができ                                       |   |   |   |   |   |    |  |
|       |      |       |   |    | (植生筋工)<br>(人工張芝工)<br>(植生穴工)                                | 長 & | $\ell \geq 5 \; \mathrm{m}$ | 法長の-2%                           | <b>వ</b> .   |   |   |   |   |   |    |  |
|       |      |       |   |    | (假生八上)   | 31  | Ĕ 長 L                       | -200                             | 1施工箇所毎<br>ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」で規定する出来形計測<br>性能を有する機器を用いることができ<br>る。 |   |   |   |   |   |    |  |
| 3 土   | 2    | 14 法  | 2 | 2  | 植生工  |     | $\ell < 5  \mathrm{m}$      | -200                             | 施工延長40mにつき1ヶ所、40m以下の<br>ものは1施工箇所につき2ヶ所。  |   |   |   |   |   |    |  |
| 木工事共通 | 般施工  | 面工 共通 |   |    | (植生基材吹付工)<br>(客土吹付工)                                       | 法長』 | ℓ ≧ 5 m                     |                                  | ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」で規定する出来形計測<br>性能を有する機器を用いることができ<br>る。           |   |   |   |   |   |    |  |
| 編     |      |       |   |    |  |     | t < 5 cm                    | -10                              | 施工面積 200 ㎡につき1ヶ所、面積 200<br>㎡以下のものは、1施工箇所につき2ヶ  |   |   |   |   |   |    |  |
|       |      |       |   |    |  | 厚さ  | $t \geq 5\mathrm{cm}$       | -20                              | 所。<br>検査孔により測定。  |   |   |   |   |   |    |  |
|       |      |       |   |    |  | t   |                             | に凹凸がある場合<br>設計厚の 50%以<br>t設計厚以上。 |  |   |   |   |   |   |    |  |
|       |      |       |   |    |  | 3   | 近 長 L                       | -200                             | 1施工箇所毎<br>ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要額(案)」で規定する出来形計測<br>性能を有する機器を用いることができ<br>る。 |   |   |   |   |   |    |  |

| 編           | 章           | 節            | 条 | 枝番 | 工種                             | 測        | 定項目                              | 規 格 値    | 測 定 基 準   | 測 定 箇 所               | 摘 要 |
|-------------|-------------|--------------|---|----|--------------------------------|----------|----------------------------------|----------|---|-----------------------|-----|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 14<br>法<br>面 | 3 |    | 吹付工 <b>(仮設を含む)</b><br>(コンクリート) |          | ℓ < 3 m                          | -50      | 施工延長 40mにつき1箇所、40m以下の<br>ものは1施工箇所につき2箇所。<br>測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定  |                       |     |
| 工事共通編       | 施工          | 土 共通         |   |    | (モルタル)<br><b>(簡易法枠工)</b>       | 法<br>長 Q | ℓ ≧ 3 m                          | -100     | が困難な場合は直線法長とする。<br>ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要額(案)法面工編」で規定する出<br>来形計測性能を有する機器を用いること<br>ができる。 |                       |     |
|             |             |              |   |    |                                |          | t < 5 cm                         | -10      | 200 ㎡につき 1 箇所以上、200 ㎡以下は 2<br>箇所をせん孔により測定。  |                       |     |
|             |             |              |   |    |                                | 厚        | t ≧ 5 cm                         | -20      |   |                       |     |
|             |             |              |   |    |                                | ð t      | 但し、吹付面に[<br>の最小吹付厚は、<br>以上とし、平均四 | 設計厚の 50% |   | **                    |     |
|             |             |              |   |    |                                | 延        | 長 L                              | -200     | 1施工箇所毎<br>ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)法面工編」で規定する出<br>来形計測性能を有する機器を用いること<br>ができる。          |                       |     |
|             |             |              |   |    |                                | 高        | ė h                              |          | ※簡易法枠工<br>測定基準は法枠工に基づき測定。   | ***                   |     |
|             |             |              |   |    |                                | 椊        | 中心間隔                             | ±100     |   |                       |     |
|             |             |              |   |    |                                |          |                                  |          |   | \frac{\frac{1}{2}}{2} |     |
|             |             |              |   |    |                                |          |                                  |          |   |                       |     |
|             |             |              |   |    |                                |          |                                  |          |   |                       |     |

### 改訂【R4.10】

|       |      |       |   |    | 1                        |    |     |    |        |                                 | 単位:mm   |
|-------|------|-------|---|----|--------------------------|----|-----|----|--------|---------------------------------|---|
| 編     | 章    | 節     | 条 | 枝番 |                          | 浿  | J 5 | Ξ  | 項目     | 規 格 値                           | 測 定 基 準 測 定 箇 所 摘 要   |
| 3 土   | 2 一般 | 14 法面 | 3 |    | 吹付工 (仮設を含む)<br>(コンクリート)  |    |     | l  | < 3 m  | -50                             | 施工延長 40mにつき1ヶ所、40m以下の<br>ものは1施工箇所につき2ヶ所。<br>測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定  |
| 工事共通編 | 施工   | 工 共通  |   |    | (モルタル)<br><b>(簡易法枠工)</b> | 長』 |     | Q  | ≧ 3 m  | -100                            | が困難な場合は直線法長とする。<br>ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」で規定する出来形計測<br>性能を有する機器を用いることができ<br>る。 |
|       |      |       |   |    |                          |    |     | t  | < 5 cm | -10                             | 200 ㎡につき 1ヶ所以上、200 ㎡以下は 2<br>ヶ所をせん孔により測定。   |
|       |      |       |   |    |                          | 厚  |     | t  | ≧ 5 cm | -20                             |   |
|       |      |       |   |    |                          | έt | Ø)  | 最小 | 吹付厚は   | 凹凸がある場合<br>、設計厚の 50%<br>厚は設計厚以上 |   |
|       |      |       |   |    |                          | 攰  | Ē   |    | 長 L    | -200                            | 1 施工箇所毎<br>ただし、計測手法については、従来管理<br>のほかに「3 次元計測技術を用いた出来<br>形管理要鎖(案)」で規定する出来形計測<br>性能を有する機器を用いることができ<br>る。        |
|       |      |       |   |    |                          | 商  | 5   |    | ර් h   | -30                             | ※簡易法枠工<br>測定基準は法枠工に基づき測定。   |
|       |      |       |   |    |                          | Ħ  | 中   | 心  | 間隔     | ±100                            |   |
|       |      |       |   |    |                          |    |     |    |        |                                 |   |
|       |      |       |   |    |                          |    |     |    |        |                                 |   |
|       |      |       |   |    |                          |    |     |    |        |                                 |   |

単位: mm

| 編           | 章           | 節            | 条 | 枝番 | 工 種             | i   | 測定項目    | 規 格 値 | 測 定 基 準 測 定 箇 所 摘 要  |
|-------------|-------------|--------------|---|----|-----------------|-----|---------|-------|--|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 14<br>法<br>面 | 4 | 1  | 法枠工<br>(現場打法枠工) | 74. | ℓ <10m  | -100  | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇  |
| 工事共通編       | 施工          | 工共通          |   |    | (現場吹付法枠工)       | 法長ℓ | ℓ ≧10m  | -200  | 所につき2箇所。<br>計測手法については、従来管理のほ<br>かに「3 次元計測技術を用いた出来<br>形管理要額(案) 法面工編」で規定す<br>る出来形計測性能を有する機器を用<br>いることができる。 |
|             |             |              |   |    |                 | -   | 幅 w     | -30   | 枠延延長 100m以下のものは1 施工箇所につき 2 箇所。 ペープログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ                                 |
|             |             |              |   |    |                 | i   | 高 さ h   | -30   | ※施工延長での測定が困難な場合は、200m2 につき 1 箇所の割合で測定する。   |
|             |             |              |   |    |                 | ;   | 枠中心間隔 a | ±100  | 計測手法については、従来管理のほかに「3 次元計測技術を用いた出来<br>形管理要額(案) 法面工編」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。                         |
|             |             |              |   |    |                 | ,   | 延長(枠長)L | -200  | 1 施工箇所毎<br>計測手法については、従来管理のほ<br>かに「3 次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)法面工編」で規定す<br>る出来形計測性能を有する機器を用<br>いることができる。   |

### 改訂【R4.10】

| 編           | 章           | 節            | 条 | 枝番 | 工 種             | i   | 則定   | 項目    | 規 格 値 | 測                  | 定                  | 基                 | 準                                | i    | 則 定 | 箇   | 所            | 摘        | 要         |
|-------------|-------------|--------------|---|----|-----------------|-----|------|-------|-------|--------------------|--------------------|-------------------|----------------------------------|------|-----|-----|--------------|----------|-----------|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>一<br>般 | 14<br>法<br>面 | 4 | 1  | 法枠工<br>(現場打法枠工) | 3+- | Q.   | <10m  | -100  | は 50m) l<br>(または 5 | こつき<br>0m) り       | 1 ヶ所、<br>J下のも     | 25mの場合<br>延長 40m<br>のは1施工        |      |     |     |              | 曲線部の書による | は設計図<br>る |
| 工事共通編       | 施工          | 工 共通         |   |    | (現場吹付法枠工)       | 法長ℓ | e i  | ≧10m  | -200  | かに「3次              | ついて<br>元計測<br>(案)」 | は、従<br>技術を<br>で規定 | 来管理のほ<br>用いた出来<br>する出来形<br>用いること |      |     |     |              |          |           |
|             |             |              |   |    |                 | (   | 唱    | w     | -30   |                    |                    |                   | 所、枠延延<br>江箇所につ                   | Le . | a † |     | w            |          |           |
|             |             |              |   |    |                 | i   | 高    | å h   | -30   |                    |                    |                   | 困難な場合<br>の割合で測                   |      |     | a h |              |          |           |
|             |             |              |   |    |                 | ;   | 卆中心  | 間隔a   | ±100  | かに「3次              | 元計測<br>(案)」        | 技術を<br>で規定        | 来管理のほ<br>用いた出来<br>する出来形<br>用いること |      |     |     | <u>*  </u> 1 |          |           |
|             |             |              |   |    |                 | j   | 延長(枠 | 华長) L | -200  | かに「3次              | ついて<br>元計測<br>(案)」 | 技術を<br>で規定        | 来管理のほ<br>用いた出来<br>する出来形<br>用いること |      |     |     |              |          |           |

| 編                | 章     | 節                 | 条 枝 | 番 | 工 種              | 測  | 定 | 項                | 目              | 規 | 格    | 値 |               | 測                      | 定                   | 基    | 準                             | 測              | 定        | 箇              | 所               | 摘要 |
|------------------|-------|-------------------|-----|---|------------------|----|---|------------------|----------------|---|------|---|---------------|------------------------|---------------------|------|-------------------------------|----------------|----------|----------------|-----------------|----|
| 3<br>土<br>木      | 2 一般  | 15<br>擁<br>壁      | 1   |   | (一般事項)<br>場所打擁壁工 | 基  | 準 | 髙                | $\nabla$       |   | ±50  |   | は<br>(ご       | 50m)<br>又は 50          | につき<br>m) 以         | 1 箇所 | i 25mの場合<br>、延長 40m<br>のは1施工箇 |                | <u>+</u> | w <sub>1</sub> |                 |    |
| 工事共              | 施工    | 工                 |     |   |                  | 厚  |   | ż                | t              |   | -20  |   | <b>*</b> f    |                        |                     | 易合の対 | 見準高は±30                       |                |          | ŀ              | 1               |    |
| 通編               |       | 通                 |     |   |                  | 裏  | 込 | 厚                | ż              |   | -50  |   | 27            | する。                    |                     |      |                               | , w            | W2       |                | r <sub>1</sub>  |    |
|                  |       |                   |     |   |                  | 幅  |   | w <sub>1</sub> , | $\mathbf{W}_2$ |   | -30  |   |               |                        |                     |      |                               | <u> </u>       |          |                |                 |    |
|                  |       |                   |     |   |                  | 高さ | h | < 3              | m              |   | -50  |   |               |                        |                     |      |                               | Ţŧ             |          | h              | B h             |    |
|                  |       |                   |     |   |                  | h  | h | ≧ 3              | m              |   | -100 | ) | 1 7           | 施工簡別                   | F無                  |      |                               | W <sub>1</sub> |          |                | w <sub>1.</sub> |    |
|                  |       |                   |     |   |                  | 延  |   | 長                | L              |   | -200 | ) | 1 //          | ve=14()                | 1 22                |      |                               |                |          |                | <b>₹</b>        |    |
|                  |       |                   |     |   |                  |    |   |                  |                |   |      |   |               |                        |                     |      |                               | t W2           | t h      | h<br>t         | w <sub>2</sub>  |    |
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2 一般施 | 15<br>擁<br>壁<br>工 | 2   |   | プレキャスト擁壁工        | 基  | 準 | 高                | $\nabla$       |   | ±50  |   | は<br>(ご<br>所) | 50m)<br>又は 50<br>につき 2 | につき<br>m) 以<br>2箇所。 | 1 箇所 | i 25mの場合<br>、延長 40m<br>のは1施工箇 | ▽              |          | ightharpoonup  |                 |    |
| 事共通編             | I     | 共通                |     |   |                  | 延  |   | 長                | L              |   | -200 | ) | 1 方           | 施工箇月                   | 斤毎                  |      |                               |                |          |                |                 |    |
|                  |       |                   |     |   |                  |    |   |                  |                |   |      |   |               |                        |                     |      |                               |                |          |                |                 |    |
|                  |       |                   |     |   |                  |    |   |                  |                |   |      |   |               |                        |                     |      |                               |                |          |                |                 |    |
|                  |       |                   |     |   |                  |    |   |                  |                |   |      |   |               |                        |                     |      |                               |                |          |                |                 |    |

#### 改訂【R4.10】

| 編         | 章      | 節        | 条 | 枝番 | 工種               | 湘山 | 定 | 項                | Ħ          | 規 | 格 催        | ī | 測定基準 測定簡所:   | 摘 要  |
|-----------|--------|----------|---|----|------------------|----|---|------------------|------------|---|------------|---|--|--|
| 3 土木工事    | 2 一般施工 | 15 擁壁工   | 1 |    | (一般事項)<br>場所打擁壁工 | 基  |   | 高                | $\nabla$   | : | ±50        |   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50<br>m) につき 1 ヶ所、延長 40m (または 50<br>m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ<br>所。   | <i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, |
| 争共通編      | Τ.     | 共通       |   |    |                  | 厚裏 | 込 | 5 厚              | t<br>Š     |   | -20<br>-50 |   | ※舗装に接する場合の規準高は±30 とする。   |  |
|           |        |          |   |    |                  | 幅  |   | w <sub>1</sub> , | <b>W</b> 2 |   | -30        |   | (案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測特度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実  |  |
|           |        |          |   |    |                  | 高さ |   | n < 3            |            |   | -50        |   | 施することができる。   |  |
|           |        |          |   |    |                  | h  |   | n ≧ 3            |            |   | -100       |   |  |  |
|           |        |          |   |    |                  | 延  |   | 長                | L          |   | -200       |   | 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領<br>(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測特度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。   |  |
| 3 土米工事共通編 | 2 一般施工 | 15 推斷 土通 | 2 |    | プレキャスト據壁工        | 基  | 準 | 高                | $\nabla$   | = | ±50        |   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50 m) につき 1 箇所、延長 40m (または 50 m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ 所。  「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。 |  |
|           |        |          |   |    |                  | 延  |   | 長                | L          | _ | -200       |   | 1 施工箇所毎  「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。   |  |

| 編           | 章           | 節            | 条 | 枝番 | 工種                           | ì | 則定項目                                | 規 格 値                 | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所  | 摘要 |
|-------------|-------------|--------------|---|----|------------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------|--|--|----|
| 3<br>土<br>木 | 2<br>共<br>通 | 15<br>擁<br>壁 | 3 |    | 補強土壁工 (補強土 (テールアル            |   | 基 準 高 ▽                             | ±50                   | 施工延長 40m(測点間隔 25mの場合<br>は 50m)につき1箇所、延長 40m<br>(又は50m) 以下のものは1施工箇所 | Δ  |    |
| 事共          | 的工種         | 工            |   |    | メ)壁工法)<br>(多数アンカー式補強<br>土工法) | 尚 | $h \leq 3 \; m$                     | -50                   | につき2箇所。  |  |    |
| 通編          |             | 通            |   |    | (ジオテキスタイルを<br>用いた補強土工法)      | h | $h \geqq 3 \; m$                    | -100                  |  | h  |    |
|             |             |              |   |    |                              | á | 沿 直 度 △                             | ±0.03 h かつ<br>±300 以内 |  | <b>∆</b><br>→   <del> </del> +<br>↑ ::/  |    |
|             |             |              |   |    |                              |   | 空 え 長 さ<br>哺強材の設計長)                 | 設計値以上                 |  | h  |    |
|             |             |              |   |    |                              | 3 | 延 長 L                               | -200                  | 1 施工箇所毎  | <u> </u>   |    |
| 3<br>土      | 2           | 15<br>擁      | 4 |    | 井桁ブロック工                      | ž | 基 準 高 ▽                             | ±50                   | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合<br>は 50m) につき1箇所、延長 40m                      | , L <sub>1</sub>   |    |
| 木工          | 般施          | 壁工           |   |    |                              | 法 | ℓ< 3 m                              | -50                   | (又は50m) 以下のものは1施工箇所<br>につき2箇所。                                     |  |    |
| 事共          | I           | 共            |   |    |                              | 長 | ℓ≧ 3 m                              | -100                  |  |  |    |
| 通編          |             | 通            |   |    |                              | 厚 | [ðt1, t2, t3                        | -50                   |  | L 2  |    |
|             |             |              |   |    |                              | 延 | . 長 L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub> | -200                  | 1 施工箇所毎  | $\begin{array}{c c} \underline{\ell/2} & & \\ & & \\ \hline & & \\ & & \\ \ell \geq 3 \text{ m} \\ & \\ & & \\ & & \\ \end{array}$ |    |

| 編      | 章   | 節       | 条 | 枝番 | 工種                           | SRif | -    | 項             | н              | +8 | 格値          | 測定基準測定箇所摘   | mr. |
|--------|-----|---------|---|----|------------------------------|------|------|---------------|----------------|----|-------------|---|-----|
| 編 3    | 早 2 | 15      | 3 | 忟畓 | 本 性<br>補強土壁工                 | 例    | 疋    | 垻             | Н              | 規  | 冷 旭         | 例 足 基 単 例 足 固 所 摘 :<br>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50  | 安   |
| 土木     | 共通  | 擁壁      |   |    | (補強土(テールアル                   |      | 準    | 高             | $\nabla$       | ±  | ± 50        | m) につき1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ  |     |
| 工事共    | 的工種 | 工       |   |    | メ)壁工法)<br>(多数アンカー式補強<br>土工法) | 高さ   |      | < 3 1         | m              | -  | - 50        | 所。  |     |
| 通編     |     | 通       |   |    | (ジオテキスタイルを<br>用いた補強土工法)      | h    | h    | ≧ 3 1         | m              | -  | 100         | (案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実 h   |     |
|        |     |         |   |    |                              | 鉛    | 直    | 度             | Δ              |    | h かつ±<br>以内 | 施することができる。  |     |
|        |     |         |   |    |                              |      |      | 長<br>すの設<br>) |                | 設計 | 値以上         |   |     |
|        |     |         |   |    |                              | 延    |      | 長             | L              | -  | 200         | 1 施工箇所毎<br>「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領<br>(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施するとができる。 |     |
| 3<br>土 | 2   | 15<br>擁 | 4 |    | 井桁ブロックエ                      | 基    | 準    | 高             | $\nabla$       | ±  | ± 50        | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50<br>m) につき 1ヶ所、延長 40m (または 50  |     |
| 木工     | 般施  | 壁工      |   |    |                              | 法長   | Q    | < 3 n         | n              | _  | - 50        | m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ<br>所。   |     |
| 事共     | I   | 共       |   |    |                              | l L  |      | ≧ 3 n         | n              | -  | 100         |   |     |
| 通編     |     | 通       |   |    |                              | 厚さ   | t 1, | t 2,          | t <sub>3</sub> | -  | - 50        | L2 4  |     |
|        |     |         |   |    |                              | 延    | 長    | L1,           | L2             | -  | 200         | 1 施工箇所毎<br>0 /2 /2 / t : t : t : t : t : t : t : t : t : t  |     |
|        |     |         |   |    |                              |      |      |               |                |    |             | ℓ ≧ 3 m   |     |

単位: mm

| 編                | 章    | 節            | 条 | 枝番 | 工種                   | 測  | 定項   | [ 目          | 規  | . # | 各値                       |        | 測                 | I        | 定               | 基      | 準                                |         | 測 | 定 | 箇 | 所 | łi | 商要 | Ę |
|------------------|------|--------------|---|----|----------------------|----|------|--------------|----|-----|--------------------------|--------|-------------------|----------|-----------------|--------|----------------------------------|---------|---|---|---|---|----|----|---|
| 3<br>土<br>木<br>工 | 2一般施 | 16 浚渫工       | 3 | 3  | 浚渫船運転工<br>(バックホウ浚渫船) | 標  | 高較   | 差            | 平均 | -   | 個々の<br>計測信<br>+400<br>以下 | 重り     | いて「3次<br>里要領(案)   | 元計 河川    | 則技術<br>炎渫工      | を用編」   | 来形管理に<br>いた出来形<br>に基づき出<br>場合、その | 管<br>は来 |   |   |   |   |    |    |   |
| 一事共通編            | I    | 共通           |   |    | (面管理の場合)             |    |      |              |    |     | <u> </u>                 | ネ<br>湯 | 本基準に規:            | 定す.      | る計測<br>により      | 精度     | 参 日、 この<br>・計測密度<br>形管理を実        | きを      |   |   |   |   |    |    |   |
| 神庙               |      |              |   |    |                      |    |      |              |    |     |                          |        | 2. 個々の<br>として±100 |          |                 |        | には計測精<br>いる。                     | 背度      |   |   |   |   |    |    |   |
|                  |      |              |   |    |                      |    |      |              |    |     |                          | 7      | ての点で設             | 計面<br>度は | <br>との標<br>1 点/ | 高較     | 全面とし、<br>差を算出す<br>平面投影面          | -       |   |   |   |   |    |    |   |
| 3<br>土<br>木      | 2 一般 | 18<br>床<br>版 | 2 |    | 床版工                  | 基  | 準 店  | î 🗸          |    | ±   | 20                       | i      | 丘) で、1            | 箇所       | 当たり             | 両端     | 箇所(支点<br>と中央部の<br>i所、厚さに         | カ3      |   |   |   |   |    |    |   |
| 工事共              | 施工   | I            |   |    |                      | 幅  |      | w            |    | 0~  | +30                      | 柞      | 卆設置時に.            | おお       | ひね 10           | 0 m²(3 | - 1 箇所測定<br>をもって作                | 定。      |   |   |   |   |    |    |   |
| 通編               |      |              |   |    |                      | 厚  | ð    | t            | -  | 10~ | ~+20                     |        |                   |          |                 |        |                                  |         |   |   |   |   |    |    |   |
|                  |      |              |   |    |                      | 鉄館 | らのか. | ぶり           | 韶  | 計信  | 直以上                      | Ħ      |                   |          |                 |        | 及び中央 <br> 面変化毎 1                 |         |   |   |   |   |    |    |   |
|                  |      |              |   |    |                      | 鉄筋 | の有効  | 高さ           |    | ±   | 10                       |        |                   |          |                 |        |                                  |         |   |   |   |   |    |    |   |
|                  |      |              |   |    |                      | 鉄  | 筋 間  | 隔            |    | ±   | 20                       | я<br>1 | t。<br>1 箇所の測      | 一定に      | t、橋             | 軸方     | 及び中央)<br>向の鉄筋に                   | は全      |   |   |   |   |    |    |   |
|                  |      |              |   |    |                      |    |      | 鉄筋の有<br>マイナス |    | ±   | 10                       | -      | 数、橋軸直<br>2 mの範囲   |          |                 | 実筋は    | 加工形状包                            | 毎に      |   |   |   |   |    |    |   |

# 改訂【R4.10】

| 編       | 章     | 節        | 条 | 枝番 | 工   種                            | 測 : | Ē ! | 頁 目           | 規 札  | 各   | 直       | 測 定 基 準   | 測 | 定 | 笛 | 所 | 摘 | 要 |
|---------|-------|----------|---|----|----------------------------------|-----|-----|---------------|------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 土木工事共 | 2一般施工 | 16 浚渫工 共 | 3 | 3  | 浚渫船運転工<br>(バックホウ浚渫船)<br>(面管理の場合) |     |     |               | 平均位  | 直言  | * 0 十 1 | 1. 3次元データによる出来形管理において<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理要領<br>(案)」に基づき出来形管理を面管理で実施<br>ち場合、その他本基準に規定する計測精度・<br>計測密度を満たす計測方法により出来形管理<br>を実施する場合に適用する。 |   |   |   |   |   |   |
| 通編      |       | 通        |   |    |                                  | 標   | 高較  | 差             | 0 以T | 40  |         | 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。  |   |   |   |   |   |   |
|         |       |          |   |    |                                  |     |     |               |      |     | į       | 3. 計測は平場面と法面の全面とし、全ての<br>点で設計面との標高較差を算出する。計測密<br>度は1点/m2 (平面按影面積当たり) 以上と<br>する。   |   |   |   |   |   |   |
| 3       | 2     | 18       | 2 |    | 床版工                              |     |     |               |      |     |         | 基準高は、1径間当たり2ヶ所(支点付近)  |   |   |   |   |   |   |
| 土木      | 般     | 床版       |   |    |                                  | 基   | ち さ | \$ ▽          | ±    | 20  |         | で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅は<br>1径間当たり3ヶ所、厚さは型枠設置時にお  |   |   |   |   |   |   |
| 工事共     | 施工    | 工        |   |    |                                  | 幅   |     | w             | 0~   | +30 |         | おむね 10 ㎡に 1 箇所測定。<br>(床版の厚さは、型枠検査をもって代える。)  |   |   |   |   |   |   |
| 通編      |       |          |   |    |                                  | 厚   | ä   | <u>'</u> t    | -10  | ~+2 | 20      |   |   |   |   |   |   |   |
|         |       |          |   |    |                                  | 鉄筋  | のか  | ぶり            | 設計化  | 直以  | Ŀ       | 1 径間当たり 3 断面(両端及び中央)測定。<br>1 断面の測定箇所は断面変化毎 1 ヶ所とす<br>る。   |   |   |   |   |   |   |
|         |       |          |   |    |                                  | 鉄筋  | の有象 | め高さ           | ±    | 10  |         |   |   |   |   |   |   |   |
|         |       |          |   |    |                                  | 鉄   | 店 間 | 司 隔           | ±    | 20  | 1       | 1 径間当たり 3ヶ所(両端及び中央)測定。<br>1ヶ所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋<br>軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に 2 mの範囲  |   |   |   |   |   |   |
|         |       |          |   |    |                                  |     |     | 鉄筋の木<br>シマイナス |      | 10  |         | を測定。  |   |   |   |   |   |   |

|             |             |              |   |    |        |   |   |     |          |   |     |     |        |      |       |                                | 単位: mm          |
|-------------|-------------|--------------|---|----|--------|---|---|-----|----------|---|-----|-----|--------|------|-------|--------------------------------|-----------------|
| 編           | 章           | 節            | 条 | 枝番 |        | 種 | 測 | 定項  | 目        | 規 | . 格 | 値   | 測      |      |       | 準                              | 測定箇所摘要          |
| 6<br>河<br>川 | 1 築 堤       | 7 法覆         | 4 |    | 護岸付属物工 |   | 幅 |     | w        |   | -3  | 30  |        | 則技術を | と用いた  | <b>測定。</b><br>上出来形管理<br>Eによる測点 |                 |
| 編           | - 護         | 護岸           |   |    |        |   | 高 | à   | h        |   | -3  | 30  | の管理方法を | を用いる | らことが  | できる。                           |                 |
|             | 岸           | I            |   |    |        |   |   |     |          |   |     |     |        |      |       |                                | h               |
| 6<br>河<br>川 | 1<br>築<br>堤 | 10<br>水<br>制 | 8 |    | 杭出し水制工 |   | 基 | 準 唐 | $\nabla$ |   | ±ε  | 50  | 1組毎    |      |       |                                |                 |
| 編           | ・護岸         | 工            |   |    |        |   | 幅 |     | w        |   | ±3  | 00  |        |      |       |                                | <u> </u>        |
|             | 圧           |              |   |    |        |   | 方 |     | 向        |   | ± 7 | 0   |        |      |       |                                |                 |
|             |             |              |   |    |        | · | 延 | 長   | L        |   | -2  | 00  |        |      |       |                                | <u> </u>        |
|             |             |              |   |    |        |   |   |     |          |   |     |     |        |      |       |                                |                 |
| 6<br>河      | 1<br>築      | 13<br>光      | 3 |    | 配管工    |   |   |     |          |   |     |     | 接続部(地  | 上機器部 | 『) 間毎 | に1箇所。                          |                 |
| 川編          | 堤・護         | ケーブ          |   |    |        |   | 埋 | 設深  | t        |   | 0~+ | -50 |        |      |       |                                | (F. t           |
|             | 岸           | ル配管          |   |    |        |   | 延 | ₽   | ŧL       |   | -20 | 00  | 接続部(地」 |      |       | で全数。                           | 000             |
|             |             | 工            |   |    |        |   |   |     |          |   |     |     |        |      |       |                                | 接統部 接統部 (地上機器部) |

# 改訂【R4.10】

単位: mr

|      |         |             |   |    |        |   |     |    |          |   |                   |    |  | 単位:mm |
|------|---------|-------------|---|----|--------|---|-----|----|----------|---|-------------------|----|--|-------|
| 編    | 章       | 節           | 条 | 枝番 | I      | 種 | 測 : | 包項 | <b>自</b> | 規 | 格                 | 値  | 測定基準測定箇所   | 摘 要   |
| 6河川編 | 1 築堤・護岸 | 7 法 覆 護岸 工  | 4 |    | 護岸付属物工 |   | 高   | đ  | w<br>h   |   | -30               |    | 各格子間の中央部1ヶ所を測定。<br>「3 次元計測技術を用いた出来形管理<br>要額(案)」の規定による測点の管理方<br>法を用いることができる。            |       |
| 6河川編 | 1 築堤・護岸 | 10 水制工      | 8 |    | 杭出し水制工 |   | 基。  |    | i ▽ w 向  | : | ±30<br>±30<br>±7° | 00 | 1組毎  |       |
| 6河川編 | 1築堤・護岸  | 13 光ケーブル配管工 | 3 |    | 配管工    |   | 埋   |    | ŧ t      |   | -200              |    | 接続部 (地上機器部) 間毎に1ヶ所。  接続部 (地上機器部) 間毎で全数。 【管路センターで測定】   「接続部 (地上機器部) 接続部 (地上機器部) (地上機器部) |       |

|             |             |             |   |    |                   |       |     |       |                  |    |      |     |                                  |       |        |                      |   |                |                   |             | 华位. mm |
|-------------|-------------|-------------|---|----|-------------------|-------|-----|-------|------------------|----|------|-----|----------------------------------|-------|--------|----------------------|---|----------------|-------------------|-------------|--------|
| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 |                   | 13.00 | 則須  | 官項    | 目                | 規  | 格    | 値   |                                  |       |        | 準                    | 測 | 定              | 箇                 | 所           | 摘要     |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 5<br>護<br>岸 | 5 |    | 場所打コンクリート工        | i     | 基 ? | 声 高   | $\nabla$         |    | ±30  |     | 施工延長 40m<br>50m) につき<br>50m) 以下の | 1 箇所、 | 延長     | 40m (又は              |   |                |                   |             |        |
| 海岸          | 護           | 基礎          |   |    |                   | (     | 畐   |       | w                |    | -30  |     | 2箇所。                             | 00714 | 1 //ビユ | -回 <i>)</i> / (C ) C | , | Qv/            | П                 |             |        |
| 編           | 岸           | 工           |   |    |                   | i     | 高   | ż     | h                |    | -30  |     |                                  |       |        |                      |   |                | ĺ                 | L           |        |
|             |             |             |   |    |                   | 3     | £   | 長     | L                |    | -200 |     |                                  |       |        |                      |   | h              | <u> </u>          | w           |        |
|             |             |             |   |    |                   |       |     |       |                  |    |      |     |                                  |       |        |                      |   |                |                   |             |        |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 5 護岸        | 6 |    | 海岸コンクリートブロ<br>ック工 |       | 基 注 | 声 高   | $\nabla$         |    | ±50  |     | ブロック個数<br>測定。基準高、<br>点間隔 25mの    | 延長は   | 施工延    | E長 40m (測            |   | /              | B                 | 7           |        |
| 海岸          | 護           | 基礎          |   |    |                   |       | ブロ: | ック厚   | t                |    | -20  |     | 所、延長 40m<br>は1施工箇所               | (又は   | 50m)   | 以下のもの                |   |                | <b>9</b><br>  T t |             |        |
| 編           | 岸           | 工           |   |    |                   | 1     | プロッ | ク縦幅   | 届W <sub>1</sub>  |    | -20  |     |                                  |       |        |                      | - |                |                   |             |        |
|             |             |             |   |    |                   | 1     | ブロッ | ク横幅   | 届 $\mathbf{w}_2$ |    | -20  |     |                                  |       |        |                      |   |                | w                 | 71          |        |
|             |             |             |   |    |                   | ĺ     | £   | 長     | L                |    | -200 |     |                                  |       |        |                      |   | W <sub>2</sub> | 4                 |             |        |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 6 護岸        | 4 |    | 海岸コンクリートブロ<br>ックエ | ***   | 甚 注 | 声 高   | $\nabla$         |    | ±50  |     | 施工延長 40m<br>50m) につき<br>50m) 以下の | 1 箇所、 | 延長     | 40m (又は              |   |                |                   |             |        |
| 海岸          | 護           | Ĭ           |   |    |                   | 法長    |     | e < 5 | 5 m              |    | -100 |     | 2箇所。<br>「3次元計測                   | 技術を   | 用いた    | 出来形管理                |   |                | /                 | <b>&gt;</b> |        |
| 編           | 岸           |             |   |    |                   | l     |     | ℓ ≧ 5 | 5 m              | e× | (-2  | (%) | 要領(案)護岸<br>管理方法を用                |       |        |                      |   | e /            |                   |             |        |
|             |             |             |   |    |                   | J     | 孠   | ż     | t                |    | -50  |     |                                  |       |        |                      |   |                |                   | t           |        |
|             |             |             |   |    |                   | 3     | Ŀ   | 長     | L                |    | -200 |     |                                  |       |        |                      |   |                |                   |             |        |
|             |             |             |   |    |                   |       |     |       |                  |    |      |     |                                  |       |        |                      |   |                |                   |             |        |
|             |             | 1           |   |    |                   |       |     |       |                  |    |      |     |                                  |       |        |                      |   |                |                   |             |        |

## 改訂【R4.10】

|             |             |             |   |    |                   |                      |                |  |                              | 単位: mm |
|-------------|-------------|-------------|---|----|-------------------|----------------------|----------------|--|------------------------------|--------|
| 編           | 章           | 節           | 条 | 枝番 |                   | 測定項目                 | 規 格 値          | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所                      | 摘要     |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 5<br>護<br>岸 | 5 |    | 場所打コンクリート工        | 基 準 高 ▽              | ±30            | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は<br>50m) につき1ヶ所、延長 40m (また<br>は 50m) 以下のものは1施工箇所につ |                              |        |
| 海岸          | 護           | 基礎          |   |    |                   | 幅 w                  | -30            | き2ヶ所。  | ( m                          |        |
| 編           | 岸           | 工           |   |    |                   | 高 さ h                | -30            |  |                              |        |
|             |             |             |   |    |                   | 延 長 L                | -200           |  | h w                          |        |
|             |             |             |   |    |                   |                      |                |  |                              |        |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 5 護岸        | 6 |    | 海岸コンクリートブロ<br>ックエ | 基 準 高 ▽              | ±50            | ブロック個数40個につき1ヶ所の割で<br>測定。基準高、延長は施工延長40m(測<br>点間隔25mの場合は50m)につき1箇         | / B                          |        |
| 海岸編         | ·護岸         | 基礎          |   |    |                   | ブロック厚 t              | -20            | 所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。                                     | \tag{\tag{\tag{t}}}{\tag{t}} |        |
| 秭田          | 戸           | 工           |   |    |                   | ブロック縦幅w <sub>1</sub> | -20            |  |                              |        |
|             |             |             |   |    |                   | ブロック横幅w2             | -20            |  | $\mathbf{w}_1$               |        |
|             |             |             |   |    |                   | 延 長 L                | -200           |  | <u>W2</u> →                  |        |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 6 護岸        | 4 |    | 海岸コンクリートブロ<br>ックエ | 基 準 高 ▽              | ±50            | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は<br>50m) につき1ヶ所、延長 40m (また<br>は 50m) 以下のものは1施工箇所につ |                              |        |
| 海岸          | 護           | I           |   |    |                   | 法 & < 5 m            | -100           | き2ヶ所。<br>「3次元計測技術を用いた出来形管理   |                              |        |
| 編           | 岸           |             |   |    |                   | € ℓ ℓ ≥ 5 m          | £ × (-<br>2 %) | 要領(案)」の規定する測点の管理方法を用いることができる。  |                              |        |
|             |             |             |   |    |                   | 厚 さ t                | -50            |  | ı t                          |        |
|             |             |             |   |    |                   | 延長L                  | -200           |  |                              |        |
|             |             |             |   |    |                   |                      |                |  |                              |        |
| l           |             |             |   |    | I                 |                      |                |  |                              |        |

|             |             |      |   |    |           |    |     |                             |                |   |      |                 |       |           |                               |   |    |  |  | <b>华亚. IIIII</b> |
|-------------|-------------|------|---|----|-----------|----|-----|-----------------------------|----------------|---|------|-----------------|-------|-----------|-------------------------------|---|----|--|--|------------------|
| 編           | 章           | 節    | 条 | 枝番 | ·         |    | 測定  | 項                           | 目              | 規 | 格値   | 測               |       |           | 準                             | 測                                       | 定  | 笛                                      | 所  | 摘 要              |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 6 護岸 | 5 |    | コンクリート被覆工 |    | 基準  | 高                           | $\nabla$       |   | ±50  | 50m) につ         | き1億   | 所、延       | 25mの場合は<br>長 40m(又は<br>工箇所につき |   |    |  |  |                  |
| 海岸          | 護           | 工    |   |    |           | 法長 |     | Q < 3 1                     | m              |   | -50  | 2 箇所。<br>「3 次元計 | ·測技術  | 所を用い      | た出来形管理                        |   |    | \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\ | -  |                  |
| 編           | 岸           |      |   |    |           | l  |     | l ≧ 3 i                     | m              |   | -100 | 要領(案)<br>管理方法を  |       |           | 定する測点の<br>できる。                |   |    | SCO.                                   |  |                  |
|             |             |      |   |    |           | 厚き |     | t < 10                      | 0              |   | -20  |                 |       |           |                               | 1 | V  | 0 4                                    | <u> </u>                                     |                  |
|             |             |      |   |    |           | t  |     | t ≧10                       | 0              |   | -30  |                 |       |           |                               |   | _/ |  | 1000   |                  |
|             |             |      |   |    |           |    | 裏 込 | 材厚                          | t'             |   | -50  |                 |       |           |                               |   | Ľ  |  | t'   |                  |
|             |             |      |   |    |           |    | 延   | 長                           | L              | - | -200 |                 |       |           |                               |   |    |  |  |                  |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 8 天端 | 2 |    | コンクリート被覆工 |    | 基準  | 高                           | $\nabla$       |   | ±50  | 50m) につ         | き 1 饚 | 所、延       | 25mの場合は<br>長 40m(又は<br>工箇所につき |   |    |  |  |                  |
| 海岸          | 護           | 被覆   |   |    |           |    | 幅   |                             | w              |   | -50  | 2箇所。            | ., 0. | - 100 1 % |                               | 7.1                                     |    | w V                                    |  |                  |
| 編           | 岸           | 工    |   |    |           |    | 厚   | ż                           | t              |   | -10  |                 |       |           |                               | / / #E                                  | 8  | 888                                    | <b>***</b> ********************************* |                  |
|             |             |      |   |    |           |    | 基礎  | 厚                           | t'             |   | -45  |                 |       |           |                               | /:://                                   |    |  | t  |                  |
|             |             |      |   |    |           |    | 延   | 長                           | L              |   | -200 |                 |       |           |                               |   |    |  |  |                  |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 9 波返 | 3 |    | 波返工       |    | 基準  | 高                           | $\nabla$       |   | ±50  | 50m) につ         | き 1 箇 | 所、延       | 25mの場合は<br>長 40m(又は<br>工箇所につき |   | W. | V <sub>1</sub> W <sub>2</sub>          |  |                  |
| 海岸編         | 護           | I    |   |    |           |    | 幅   | w <sub>1</sub> ,            | W <sub>2</sub> |   | -30  | 2 箇所。           | _     |           |                               |   | 1  | <u> </u>                               | h <sub>2</sub>                               |                  |
| 編           | 岸           |      |   |    |           |    |     | h < 3<br>h <sub>2</sub> , h |                |   | -50  |                 |       |           |                               | h                                       |    | ]_].                                   | h <sub>3</sub>                               |                  |
|             |             |      |   |    |           |    |     | h≧ 3<br>h₂, h               |                |   | -100 |                 |       |           |                               |   | ** | /                                      |  |                  |
|             |             |      |   |    |           |    | 延   | 長                           | L              | - | -200 |                 |       |           |                               |   | •  |  |  |                  |

| 編           | 章           | 節     | 条 | 枝番 | 工  種      |    | 測  | 定項            | 目              | 規 | 格    | 値 | 涯             | ľ    | 定    | 基    | 準                           |     | 測              | 定                | 箇                | B        | 斤          | 躺位 要mm |
|-------------|-------------|-------|---|----|-----------|----|----|---------------|----------------|---|------|---|---------------|------|------|------|-----------------------------|-----|----------------|------------------|------------------|----------|------------|--------|
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 6 護岸  | 5 |    | コンクリート被覆工 |    | 基  | 準 高           | $\nabla$       |   | ±50  |   | 50m) につ       | つき 1 | ヶ所、3 | 延長 4 | 5mの場合は<br>40m(または<br>E箇所につき |     |                |                  |                  |          |            |        |
| 海岸          | . 護         | 工     |   |    |           | 法長 |    | e < 3         | 3 m            |   | -50  |   | 2ヶ所。<br>「3次元  | 計測打  | 支術を) | 用いた  | こ出来形管理                      |     | ٤_             |                  | \                | -        |            |        |
| 編           | 岸           |       |   |    |           | l  |    | 0 ≧ 3         | 3 m            |   | -100 | ) | 要領(案)<br>を用いる |      |      |      | 点の管理方法                      |     |                |                  | 3332             |          |            |        |
|             |             |       |   |    |           | 厚さ |    | t < 1         | 00             |   | -20  |   |               |      |      |      |                             |     | 800            |                  |                  | <i>)</i> | \ <u>\</u> |        |
|             |             |       |   |    |           | t  |    | t ≧1          | .00            |   | -30  |   |               |      |      |      |                             |     |                | <b>√</b>         | //               |          |            |        |
|             |             |       |   |    |           |    | 裏辺 | △材厚           | t'             |   | -50  |   |               |      |      |      |                             |     |                |                  |                  | t '      |            |        |
|             |             |       |   |    |           |    | 延  | 長             | L              |   | -200 | ) |               |      |      |      |                             |     |                |                  |                  |          |            |        |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 8 天端  | 2 |    | コンクリート被覆工 |    | 基  | 準高            | $\nabla$       |   | ±50  |   | 50m) に-       | つき 1 | ヶ所、  | 延長   | 5mの場合は<br>40m(また<br>施工箇所につ  |     |                |                  |                  |          |            |        |
| 海岸          | 護岸          | 被覆    |   |    |           |    | 幅  |               | w              |   | -50  |   | き2ヶ所。         |      | _    |      |                             |     | <u> </u>       |                  | w V              |          | <b>→</b>   |        |
| 編           | 岸           | 工     |   |    |           |    | 厚  | ŧ             | t              |   | -10  |   |               |      |      |      |                             |     | / ###          | 3                | HHH /            | ) t      | •[] \      |        |
|             |             |       |   |    |           |    | 基  | 礎 厚           | t'             |   | -45  |   |               |      |      |      |                             | /:. | 7              |                  |                  |          | •          |        |
|             |             |       |   |    |           |    | 延  | 長             | L              |   | -200 | ) |               |      |      |      |                             |     |                |                  |                  |          |            |        |
| 7<br>河<br>川 | 1<br>堤<br>防 | 9 波 返 | 3 |    | 波返工       |    | 基  | 準 高           | $\nabla$       |   | ±50  |   | 50m) に        | つき 1 | ヶ所、  | 延長   | 5mの場合は<br>40m(また<br>施工箇所につ  |     |                | w                | 1 W <sub>2</sub> |          |            |        |
| 海岸          | 護           | エ     |   |    |           |    | 幅  | W 1,          | $\mathbf{W}_2$ |   | -30  |   | き2ヶ所。         |      | _    |      |                             |     |                | 7                | -\\-             | h        | 12         |        |
| 編           | 岸           |       |   |    |           |    |    | h < ;<br>h 2, |                |   | -50  |   |               |      |      |      |                             |     | h <sub>1</sub> | /                | ]]               | 1 h      | 13         |        |
|             |             |       |   |    |           |    |    | h ≧ :<br>h ₂, |                |   | -100 | ) |               |      |      |      |                             |     | (              | <del>'/</del> '/ | /                |          |            |        |
|             |             |       |   |    |           |    | 延  | 長             | L              |   | -200 | ) |               |      |      |      |                             |     | `              |                  |                  |          |            |        |

|              |             |             |   |    |                             |   |             | 規                | 各値                                |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|--------------|-------------|-------------|---|----|-----------------------------|---|-------------|------------------|-----------------------------------|----------------------|------|-----|----------------|------------------|------------------------|-------------|---------------------------------|---|---|
| 編            | 章           | 節           | 条 | 枝番 | 工種                          | 涯 | 定項目         | 個々の測定値<br>(X)    | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> ) | 測                    | 定    | 基   | 準              | 測                | 定                      | 箇           | 所                               | 摘 | 要 |
|              |             |             |   |    |                             |   |             | 中規模 小規模<br>以上 以下 | 中規模<br>以上                         |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
| 10<br>道<br>路 | 2<br>舗<br>装 | 4<br>舗<br>装 |   |    | 歩道路盤工<br>取合舗装路盤工<br>路肩舗装路盤工 | 麦 | 準高▽         | ±50              | _                                 | 基準高は片(で測定。<br>厚さは、片( |      |     |                | 工事規模の表工事規模の表     | 考え方                    | τ           | 1層当たりの                          |   |   |
| 編            | ate         | 工           |   |    | 时用酬教时盤工                     | 厚 |             | -30              | -10                               | 足こして測定<br>幅は、片側を     | ŧ.   |     |                | 施工面積が<br>小規模工    | <b>1,000</b> m<br>事とは、 | 『以上と<br>表層、 | する。<br>及び基層の                    |   |   |
|              |             |             |   |    |                             | ż | t ≧<br>15cm | -45              | -15                               | ※両端部2,               | 点で測定 | する。 |                | 施工面積が、           |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   | 幅           | -100             | _                                 |                      |      |     |                | 以上の割合            | で規格値                   | 直を満足        | 5 10 個に 9 個<br>足しなければ<br>の測定値の平 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  | ただし、                   | 厚さの         | りデータ数が                          |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                | 10 個未満の<br>用しない。 | 場合は                    | 側定値の        | の平均値は適                          |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  | 等でコフ                   | アー採耳        | なにより床版                          |   |   |
| 10           | 2           | 4           |   |    | 歩道舗装工                       | 馬 | <b>5</b> 1  | - 9              |                                   |                      |      |     |                | 等に損傷を<br>他の方法に。  |                        |             |                                 |   |   |
| 道路           | 舗装          | 舗装          |   |    | 取合舗装工<br>路肩舗装工              |   |             | 3                | 0                                 | 測定。厚さに<br>所コアーを打     |      |     | <b>0加</b> 毎に1箇 |                  |                        |             |                                 |   |   |
| 編            |             | エ           |   |    | 表層工                         |   | 幅           | -25              | _                                 |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |
|              |             |             |   |    |                             |   |             |                  |                                   |                      |      |     |                |                  |                        |             |                                 |   |   |

|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   | <u> </u>   | 117. | : mm |
|--------------|------|------|---|----|-----------------------------|---|-------------|---------------|-----------------------------------|--|------|------|
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               | 各値                                |  |      |      |
| 編            | 章    | 節    | 条 | 枝番 | 工種                          | 浿 | 定項目         | 個々の測定値<br>(X) | 10 個の測定値<br>の平均(X <sub>10</sub> ) | 測定基準 測定箇所  | 簡    | 要    |
|              |      |      |   |    |                             |   |             | 中規模 小規模 以上 以下 | 中規模<br>以上                         |  |      |      |
| 10<br>道<br>路 | 2 舗装 | 4 舗装 |   |    | 歩道路盤工<br>取合舗装路盤工<br>路肩舗装路盤工 | 基 | 準高▽         | ±50           | _                                 | 基準高は片側延長 40m毎に1ヶ所の割 工事規模の考え方<br>で測定。<br>見さは、片側延長 <b>40m</b> 毎に1箇所掘り 中規模以よの工事とは、1層当たりの        |      |      |
| 編            | 殺    | 五    |   |    | <b>始月翻</b> 装龄盛上             | 厚 |             | -30           | -10                               | 学さは、片側延長 <b>40加</b> 毎に1 箇所御り<br>起こして測定。<br>駆は、片側延長 <b>40加</b> 毎に1 箇所測定。<br>・                 |      |      |
|              |      |      |   |    |                             | ż | t ≧<br>15cm | -45           | -15                               | 施工面積が <b>1,000 ㎡末満</b> とする。<br>終両端部 2 点で測定する。<br>厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個                       |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   | 幅           | -100          | _                                 | 「3次元計測技術を用いた出来形管理<br>要領(案)」の規定による測点の管理<br>ならないとともに、10 個の測定値の平                                |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   | 方法を用いることができる。  |      |      |
| 10           | 2    | 4    |   |    | 歩道舗装工                       |   |             |               |                                   | コアー採取について<br>構面舗装等でコアー採取により床版<br>等は、片側延長 <b>40m</b> 毎に 1 ヶ所の割で他の方法によることが出来る。                 |      |      |
| 道路           | 舗装   | 舗装   |   |    | 取合舗装工<br>路戸舗装工              | 厚 | <b>5</b> 1  | - 9           | - 3                               | 間は、月間速度 <b>400</b> 班時に17所の部で 1世の方伝によることが出来る。<br>則定。厚さは、片側延長 <b>200</b> 加毎に1箇<br>新コアーを採取して測定。 |      |      |
| 編            | -24  | I    |   |    | 表層工                         |   | 幅           | -25           | _                                 | 「3次元計測技術を用いた出来形管理  |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   | 要領 (案)」の規定による測点の管理<br>方法を用いることができる。  |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   |  |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   |  |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   |  |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   |  |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   |  |      |      |
|              |      |      |   |    |                             |   |             |               |                                   |  |      |      |

| 編       | 章      | 節        | 条 | 枝番 | 工 種          | 測   | 定項  | 目                | 規  | 格        | 値  | 測  | 定  | 基        | 準  | 測              | 定 | 箇              | 所 | 摘 | 要 |
|---------|--------|----------|---|----|--------------|-----|-----|------------------|----|----------|----|--|--|----------|--|----------------|---|----------------|---|---|---|
| 10 道路編  | 2 舗装   | 5 排水構造物工 | 9 |    | 排水性舗装用路肩排水工  | 基   | 準高  | £ ∨              |    | ±30      |    | 施工延長 40m<br>50m) につき:<br>50m) 以下の<br>2箇所。<br>なお、従来管!<br>技術を用いた!<br>工編 計測技<br>規定による測。<br>とができる。 | 1 箇所、<br>ものは 1<br>理のほか<br>出来形質<br>斯(斯面<br>点の管理 | 延長工に理理   | 40m (又は<br>ご箇所につき<br>「3次元計測<br>軽領(案)舗装<br>の場合)」の |                |   |                |   |   |   |
|         |        |          |   |    |              | 延   | Б   | ŧL               |    | -200     | 1  | 1箇所/1施二<br>なお、従来管3<br>技術を用いた!<br>工編 計測技術<br>規定による測,<br>とができる。                                  | 里のほか<br>出来形管<br>所(断面                           | 理要<br>管理 | 要領(案)舗装<br>の場合)」の                                |                |   |                |   |   |   |
| 10<br>道 | 2<br>舗 | 7<br>踏   | 4 |    | 踏掛版工         | 基   | 準   | 高                |    | $\pm 20$ |    | 1ヶ所/1踏持  |  |          |  |                |   |                |   |   |   |
| 路       | 装      | 掛        |   |    | (コンクリート工)    |     |     | 厚さ               |    | $\pm 20$ |    | 1ヶ所/1踏持  |  |          |  |                |   |                |   |   |   |
| 編       |        | 版工       |   |    |              |     |     | 長さ               |    | ±30      |    | 1ヶ所/1踏持  | 掛版   |          |  |                |   |                |   |   |   |
|         |        |          |   |    | (ラバーシュー)     |     | B の | 長さ               |    | ±20      |    | 全数   |  |          |  |                |   |                |   |   |   |
|         |        |          |   |    | ,            | 厚土、 |     | 5                |    | _        |    | A #41.   |  |          |  |                |   |                |   |   |   |
|         |        |          |   |    | (アンカーボルト)    |     |     | ずれ               |    | ±20      |    | 全数   |  |          |  |                |   |                |   |   |   |
| 10      | 2      | 9        | 4 | 1  | 大型標識工        | ) > | 2)  | 一 長              |    | ±20      |    | 主致<br>基礎一基毎  |  |          |  |                |   | $\mathbf{w}_1$ |   |   |   |
| 道路編     | 舗装     | 標識工      | - | 1  | (標識基礎工)      | 幅   | w   | , W <sub>2</sub> |    | -30      |    | als we als w   |  |          |  | w <sub>2</sub> |   | 0              |   |   |   |
|         |        |          |   |    |              | 高   | ٥   | 5 h              |    | -30      |    |  |  |          |  | W2             |   | Д              | h |   |   |
| 10 道路編  | 2 舗装   | 9 標識 工   | 4 | 2  | 大型標識工 (標識柱工) | 設置  | 高さ  | Н                | 設計 | 計値以      | \L | 1ヶ所/1基   |  |          |  | Н              |   |                |   |   |   |

# 改訂【R4.10】

| 編      | 章           | 節        | 条 | 枝番 | 工種              | 測  | 定   | 項                | 目              | 規  | 格        | 値 | 測  | 定差                             | ţ.       | 準  | 涯              | 〕 定 | 笸 | i | 所 | 摘 | 要 |
|--------|-------------|----------|---|----|-----------------|----|-----|------------------|----------------|----|----------|---|--|--------------------------------|----------|--|----------------|-----|---|---|---|---|---|
| 10 道路編 | 2 舗装        | 5 排水構造物工 | 9 |    | 排水性舗装用路肩排水工     | 基  | 準   | 高                | abla           |    | ±30      |   | 施工延長 40m<br>50m) につき:<br>は 50m) 以下<br>き 2 ヶ所。<br>なお、従来管3<br>技術を用いた<br>規定による測<br>とができる。 | l ヶ所、}<br>のものは<br>里のほか<br>出来形管 | 延長加 に 理要 | : 40m (また<br>他工箇所につ<br>「3次元計測<br>[領(案)」の |                |     |   |   |   |   |   |
|        |             |          |   |    |                 | 延  |     | 長                | L              |    | -200     |   | 1ヶ所/1施コ<br>なお、従来管理<br>技術を用いたと<br>規定による測り<br>とができる。                                     | 里のほか<br>出来形管                   | 理要       | 要領(案)」の                                  |                |     |   |   |   |   |   |
| 10 道路編 | 2 舗装        | 7 踏掛版工   | 4 |    | 踏掛版工            | 基  | 準   |                  | 高              |    | $\pm 20$ |   | 1ヶ所/1踏招  | 胁                              |          |  |                |     |   |   |   |   |   |
|        |             |          |   |    | (コンクリート工)       | 各  | 部の  | 厚                | Ż              |    | $\pm 20$ |   | 1ヶ所/1踏排  | 胁                              |          |  |                |     |   |   |   |   |   |
|        |             |          |   |    |                 |    | 部の  | -                |                |    | $\pm 30$ |   | 1ヶ所/1踏括  | 胁                              |          |  |                |     |   |   |   |   |   |
|        |             |          |   |    | (ラバーシュー)        |    | 部の  | 長                |                |    | ±20      |   | 全数   |                                |          |  |                |     |   |   |   |   |   |
|        |             |          |   |    |                 | 厚  |     |                  | さ              |    | _        |   |  |                                |          |  |                |     |   |   |   |   |   |
|        |             |          |   | -  |                 |    | 心の  |                  |                |    | ±20      |   | 全数   |                                |          |  |                |     |   |   |   |   |   |
|        |             |          |   |    |                 | ア  | ンカ  | _                | 長              |    | ±20      |   | 全数   |                                |          |  |                |     |   |   |   |   |   |
| 10 道路編 | 2<br>舗<br>装 | 9標識工     | 4 | 1  | 大型標識工 (標識基礎工)   | 幅  | 7   | v <sub>1</sub> , | $\mathbf{W}_2$ |    | -30      |   | 基礎一基毎  |                                |          |  | W2             |     | О |   |   |   |   |
|        |             |          |   |    |                 | 高  |     | ŧ                | h              |    | -30      |   |  |                                |          |  | w <sub>2</sub> |     | Д |   | h |   |   |
| 10 道路編 | 2 舗装        | 9 標識 工   | 4 | 2  | 大型標識工<br>(標識住工) | 設置 | 置高さ |                  | Н              | 設計 | 計値以      | 生 | 1ヶ所/1基   |                                |          |  | Н              |     |   |   | - |   |   |

単位: mm

| 編       | 章   | 節  | 条 | 枝番 | 工種    |          | 測定項目                           | 規 格 値   | 測定基準測定箇所   | 窗 要 |
|---------|-----|----|---|----|-------|----------|--------------------------------|---------|--|-----|
| 10<br>道 | 3 橋 | 6橋 | 8 |    | 橋台躯体工 |          | 基 準 高 ▽                        | ±20     | 橋軸方向の断面寸法は中央及び両端 w2 w1 w2 w1 部、その他は寸法表示箇所。 +++ ##  |     |
| 路編      | 梁下  | 台工 |   |    |       |          | 厚 さ t                          | -20     | 電放き形状の詳細については「道路橋 h2 又 h2  |     |
| 利用      | 部   | Т  |   |    |       |          | 天 端 幅 w <sub>1</sub><br>(橋軸方向) | -10     | ス年度類」による。<br>なお、従来管理のほかに「3次元計測<br>  技術を用いた出来形管理要領(梁) 構造  |     |
|         |     |    |   |    |       |          | 天 端 幅 W <sub>2</sub><br>(橋軸方向) | -10     | 物工編(秩行)」で規定する出来形計測<br>性能を有する機器を用いることができ<br>る。(アンカーボルト孔の鉛直度を除   |     |
|         |     |    |   |    |       |          | 敷 幅 w <sub>3</sub> (橋軸方向)      | -50     | w <sub>3</sub> w <sub>3</sub> w <sub>3</sub> w <sub>4</sub> w <sub>1</sub> w <sub>2</sub> w <sub>1</sub> w <sub>2</sub> w <sub>1</sub> |     |
|         |     |    |   |    |       |          | 高 き h <sub>1</sub>             | -50     |  |     |
|         |     |    |   |    |       |          | 胸壁の高さ h2                       | -30     | hı hı  |     |
|         |     |    |   |    |       |          | 天 端 長 ℓ1                       | -50     |  |     |
|         |     |    |   |    |       |          | 敷 長 ℓ₂                         | -50     |  |     |
|         |     |    |   |    |       |          | 胸壁間距離 ℓ                        | ±30     | 胸號問距離 ℓ  |     |
|         |     |    |   |    |       |          | 支間長及び<br>中心線の変位                | ±50     |  |     |
|         |     |    |   |    |       | 支承部アン    | 計画高                            | +10~-20 |  |     |
|         |     |    |   |    |       | カーボルトの箱井 | 平面位置                           | ±20     | h1 a1  |     |
|         |     |    |   |    |       | 箱抜き規格値   |                                |         | 中心線の変位<br>(al: 概翰直角方向)<br>(a2: 概翰方向)   |     |
|         |     |    |   |    |       |          | アンカーボルト孔の<br>鉛直度               | 1/50以下  | a1   a2   -  |     |

## 改訂【R4.10】

| 編      | 章     | 節     | 条 | 枝番 | 工種      | 測定        | 項 | 目              | 規 | 格   | 値 | 測定基準測定箇所摘要  |
|--------|-------|-------|---|----|---------|-----------|---|----------------|---|-----|---|---|
| 10 道路編 | 3 橋梁下 | 6 舞台工 | 8 |    | 橋台躯体工   | 基準        | 高 | $\nabla$       |   | ±20 |   | 播軸方向の斯面寸法は中央及び両端<br>部、その他は寸法表示箇所。<br>葡抜き形状の詳細については「道路橋<br>支承便覧」による。   |
|        | 部     |       |   |    |         | 厚         | đ | t              |   | -20 |   | なお、従来管理のほかに「3 次元計測<br>技術を用いた出来形管理要額(案)」で<br>規定する出来形計測性能を有する機器<br>を用いることができる。(アンカーボル                               |
|        |       |       |   |    |         | 天端(橋軸力    |   |                |   | -10 |   | F.孔の鉛直度を除く) ただし、「3次元計測技術を用 いた出 来形管理要領 (案)」に基づき出来形 管理を実施する場合は、同要領に規定   H   W2 W1   H                               |
|        |       |       |   |    |         | 天端(橋軸力    |   |                |   | -10 |   | する計測精度・計測密度を演たす計測<br>方法により出来形管理を実施すること<br>ができる。   |
|        |       |       |   |    |         | 敷(橋軸力     |   | w <sub>3</sub> |   | -50 |   | ▼ t ▼ W3 ▼ T W3 ▼ W3 ▼ W3 ▼ W3 ▼ W3 ▼ W3 ▼  |
|        |       |       |   |    |         | 高<br>1    | ż | h              |   | -50 |   | 文明氏   |
|        |       |       |   |    |         | 胸壁の高<br>2 | ż | h              |   | -30 |   |   |
|        |       |       |   |    |         | 天 端 :     | 長 | <b>Q</b> 1     |   | -50 |   | h1 a1   |
|        |       |       |   |    |         | 敷         | 長 | <b>L</b> 2     |   | -50 |   | L2  |
|        |       |       |   |    |         | 胸壁間距      | 離 | ê.             |   | ±30 |   | (81 : 柳神田 四 ガ 月 间)<br>(a2 : 横軸方向)<br><u>a1</u>   <u>a2</u>     <u>a2</u>     <u>a2</u>     <u>a2</u>     <u>a</u> |
|        |       |       |   |    | (次頁に続く) | 支間 長中心線の  |   |                |   | ±50 |   |   |

| 編      | 章     | 節    | 条 | 枝番 | I     | 種 | ì         | 則定項目          | 規 格 値   | 測定基準測定箇所  | 摘要 |
|--------|-------|------|---|----|-------|---|-----------|---------------|---------|---|----|
| 10 道路編 | 3橋梁下部 | 6橋台工 | 8 |    | 橋台躯体工 |   | 支承部アンカー   | 計画高           | +10~-20 | 支承部アンカーボルトの箱抜き規格値<br>の平面位置は沓座の中心ではなく、ア<br>ンカーボルトの箱抜きの中心で測定。<br>アンカーボルト孔の鉛直度は箱抜きを<br>橋軸方向、橋軸直角方向で十字に切っ |    |
|        |       |      |   |    |       |   | -ボルトの箱抜き規 | 平面位置          | ±20     | た 2 隅で計測。   |    |
|        |       |      |   |    |       |   | 規格値       | アンカーボルト 孔の鉛直度 | 1/50以下  |   |    |
|        |       |      |   |    |       |   |           |               |         |   |    |
|        |       |      |   |    |       |   |           |               |         |   |    |
|        |       |      |   |    |       |   |           |               |         |   |    |
|        |       |      |   |    |       |   |           |               |         |   |    |

単位: mm

| 編            | 章    | 節           | 条 | 枝番 | I               | 種 | ð      | 則    | 定  | 項       | 目              | 規 | 格     | 値   | į. | 測                          | 定          | 基   | 準      | 測 定 箇 所 摘 要  |
|--------------|------|-------------|---|----|-----------------|---|--------|------|----|---------|----------------|---|-------|-----|----|----------------------------|------------|-----|--------|--|
| 10<br>道<br>路 | 3 橋梁 | 7<br>R<br>C | 9 | 1  | 橋脚躯体工<br>(張出式)  |   | į      | 基    | 準  | 高       | $\nabla$       |   | ±20   | )   |    | 橋軸方向の脚部、その他は<br>箱抜き形状の     | 寸法表        | 示箇所 | Ŧ.     |  |
| 編            | 下部   | 橋脚          |   |    | (重力式)<br>(半重力式) |   | J.     | 早    |    | ż       | t              |   | -20   | )   |    | 支承便覧」に<br>なお、従来管           | よる。<br>理のI | まかに | 「3次元計測 | $\int \left\langle \begin{bmatrix} h & t \\ t & t \end{bmatrix} \right\rangle$ |
|              |      | 工           |   |    |                 |   | Э      |      |    | 幅<br>方向 |                |   | -20   | )   |    | 技術を用いた<br>物工編(試行<br>性能を有する | )」で        | 規定す | る出来形計測 | W <sub>2</sub>   |
|              |      |             |   |    |                 |   | 男      | 數 (: | 喬軸 | 幅方向     | w <sub>2</sub> |   | -50   | )   |    | る。(アンカ<br>く)               |            |     |        |  |
|              |      |             |   |    |                 |   | ř      | 高    |    | ż       | h              |   | -50   | )   |    |                            |            |     |        | h  |
|              |      |             |   |    |                 |   | Э      | 天    | 端  | 長       | <b>L</b> 1     |   | -50   | )   |    |                            |            |     |        | kw2 kl2 f  |
|              |      |             |   |    |                 |   | 旉      | 數    |    | 長       | l 2            |   | -50   | )   |    |                            |            |     |        | 機脚中心問矩離 ()<br>支間長  |
|              |      |             |   |    |                 |   | 橋朋     | 脚中   | 心情 | 問距離     | 惟 见            |   | ±30   | )   |    |                            |            |     |        |  |
|              |      |             |   |    |                 |   |        |      |    | 長及の変    |                |   | ±50   | )   |    |                            |            |     |        |  |
|              |      |             |   |    |                 |   | 支承部ア   |      | į  | 計画      | 高              | + | 10∼-  | -20 | )  |                            |            |     |        | L1<br>h1 a1  |
|              |      |             |   |    |                 |   | ンカーボル  |      | 7  | 面位      | 置              |   | ±20   | )   |    |                            |            |     |        | 1 L2   |
|              |      |             |   |    |                 |   | トの箱    |      |    |         |                |   |       |     |    |                            |            |     |        | 中心線の変位<br>(a1: 橋軸直角方向)<br>(a2: 橋軸方向)   |
|              |      |             |   |    |                 |   | 箱抜き規格値 |      |    | ボル      | 孔の             | 1 | /50 L | 以下  |    |                            |            |     |        | <u>a1</u> <u>a2</u> <u>a2</u>  |

# 改訂【R4.10】

| 編      | 章     | 節                | 条 | 枝番 | 工種                      | 測定項目                        | 規 | 格   | 値 | 測定基準測定箇所摘要   |
|--------|-------|------------------|---|----|-------------------------|-----------------------------|---|-----|---|--|
| 10 道路編 | 3 橋梁下 | 7<br>R<br>C<br>橋 | 9 | 1  | 橋脚躯体工<br>(張出式)<br>(重力式) | 基 準 高 ▽                     |   | ±20 |   | 騰軸方向の断面寸法は中央及び両端<br>部、その他は寸法表示箇所。<br>電抜を形状の詳細については「道路橋<br>支承便覧」による。                |
|        | 部     | 脚工               |   |    | (半重力式)                  | 厚 さ t                       |   | -20 |   | なお、従来管理のほかに「3次元計測<br>技術を用いた出来形管理要領(案)」で<br>規定する出来形計測性能を有する機器<br>を用いることができる。(アンカーボル |
|        |       |                  |   |    |                         | 天 端 幅 W <sub>1</sub> (橋軸方向) |   | -20 |   | ト孔の鉛直度を除く)<br>ただし、「3次元計測技術を用いた出<br>来形管理要領(案)」に基づき出来形<br>管理を実施する場合は、同要額に規定          |
|        |       |                  |   |    |                         | 敷 幅 W <sub>3</sub> (橋軸方向)   |   | -50 |   | する計測特度・計測密度を満たす計測<br>方法により出来形管理を実施すること<br>ができる。                                    |
|        |       |                  |   |    |                         | 高 さ h                       |   | -50 |   |  |
|        |       |                  |   |    |                         | 天端長 ℓ1                      |   | -50 |   |  |
|        |       |                  |   |    |                         | 敷 長 ℓ₂                      |   | -50 |   | h1a1   |
|        |       |                  |   |    |                         | 橋脚中心間距離 0                   |   | ±30 |   |  |
|        |       |                  |   |    |                         |                             |   |     |   | 中心線の変位<br>(a1:橋軸直角方向)<br>(a2:橋軸方向)   |
|        |       |                  |   |    |                         | 支間長及び<br>中心線の変位             |   | ±50 |   | <u>a1</u> <u>a2</u> <u>-</u>   |
|        |       |                  |   |    | (次頁に続く)                 |                             |   |     |   |  |

| 編      | 章     | 節       | 条 | 枝番 | I                                 | 種 | Ì       | 則定項目                    | 規 格 値   | 測 定 基 準   | 測 定 箇 所                | 摘 要 |
|--------|-------|---------|---|----|-----------------------------------|---|---------|-------------------------|---------|---|------------------------|-----|
| 10 道路編 | 3橋梁下部 | 7 RC橋脚工 | 9 | 1  | 橋脚躯体工<br>(張出式)<br>(重力式)<br>(半重力式) |   | 支承部アンカー | 計画高                     | +10~-20 | 支承部アンカーボルトの箱抜き規格値<br>の平面位置は各座の中心ではなく、ア<br>ンカーボルトの箱抜きの中心で測定。<br>アンカーボルト孔の鉛直度は箱抜きを<br>橋軸方向、橋軸直角方向で十字に切っ |                        |     |
|        |       |         |   |    |                                   |   | ボルトの箱抜  | 平面位置                    | ±20     | た2隅で計測。   | $\Theta \oplus \Theta$ |     |
|        |       |         |   |    |                                   |   | き規格値    | <b>アンカーボルト</b><br>孔の鉛直度 | 1/50以下  |   |                        |     |
|        |       |         |   |    |                                   |   |         |                         |         |   |                        |     |
|        |       |         |   |    |                                   |   |         |                         |         |   |                        |     |
|        |       |         |   |    |                                   |   |         |                         |         |   |                        |     |
|        |       |         |   |    |                                   |   |         |                         |         |   |                        |     |

| 編       | 章   | 節      | 条 | 枝番 | 工種       | 測                     | 定項目                | 規 格 値   | 測 定 基 準                                   | 測 定 箇 所                                      | 摘 要 |
|---------|-----|--------|---|----|----------|-----------------------|--------------------|---------|---|--|-----|
| 10<br>道 | 3 橋 | 7<br>R | 9 | 2  | 橋脚躯体工    | 基                     | 準 高 ▽              | ±20     | 橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、<br>その他は寸法表示箇所。         | w₁<br> →                                     |     |
| 路編      | 梁下  | C<br>橋 |   |    | (ラーメン式)  | 厚                     | ŧ t                | -20     | 箱抜き形状の詳細については「道路橋支<br>承便覧」による。            | h T  |     |
| 7/10    | 部   | 脚工     |   |    |          | 天                     | 端 幅 w <sub>1</sub> | -20     | なお、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)構造物      | " t  |     |
|         |     |        |   |    |          | 敷                     | 幅 W <sub>2</sub>   | -20     | 工編 (試行)」で規定する出来形計測性<br>能を有する機器を用いることができる。 | ₩ z →  |     |
|         |     |        |   |    |          | 高                     | さ h                | -50     | (アンカーボルト孔の鉛直度を除く)                         | ± [0,0]                                      |     |
|         |     |        |   |    |          | 長                     | ž l                | -20     |   | h t t t                                      |     |
|         |     |        |   |    |          | 橋朋                    | 印中心間距離 @           | ±30     |   | W <sub>2</sub> W <sub>2</sub> W <sub>2</sub> |     |
|         |     |        |   |    |          |                       | 間 長 及 び<br>『心線の変位  | ±50     |   | 城等中心問距離<br>女問長                               |     |
|         |     |        |   |    |          |                       | 計画高                | +10~-20 |   | 1 202  |     |
|         |     |        |   |    |          | 支承部で                  | 平面位置               | ±20     |   | 中心線の変位                                       |     |
|         |     |        |   |    |          | 箱抜き規格値<br>支承部アンカーボルトの | アンカーボルト孔の<br>鉛直度   | 1/50以下  |   | (a1:橋軸直角方向)<br>(a2:橋軸方向)                     |     |
| 10<br>道 | 3 糖 | 8 鋼    | 9 | 1  | 橋脚フーチング工 | 基                     | 準 高 ▽              | ±20     | 橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、<br>その他は寸法表示箇所。         |  |     |
| 路編      | 梁下部 | 製橋脚    |   |    | (Ⅰ型・T型)  | 幅                     | w<br>(橋軸方向)        | -50     |   | ₩ ₩ H  |     |
|         |     | 工      |   |    |          | 高                     | è h                | -50     |   | W.   |     |
|         |     |        |   |    |          | 長                     | ъ l                | -50     |   | <u>∀ili∍</u>                                 |     |

| 編         | 章      | 節      | 条 | 枝番 |                  | 種 | 測        | 定  | 項         | 目              | 規 | 格   | 値 | 測定基準測  | 定 箇 所                                   | 摘 要 |
|-----------|--------|--------|---|----|------------------|---|----------|----|-----------|----------------|---|-----|---|--|---|-----|
| 10<br>道路編 | 3 攤燥下部 | 7 RC舞画 | 9 | 2  | 橋脚躯体工<br>(ラーメン式) |   | 基        | 準  | 高         | $\nabla$       |   | ±20 |   | 喬軸方向の断面寸法は中央及び両端<br>部、その他は寸法表示箇所。<br>宿抜き形状の詳細については「道路橋<br>友承便覧」による。<br>なお、従来管理のほかに「3次元計測   | w:                                      |     |
|           |        | I      |   |    |                  |   | 厚        |    | ż         | t              |   | -20 |   | 技術を用いた出来形管理要領(案)」で<br>現定する出来形計測性能を有する機器<br>を用いることができる。(アンカーボル<br>ト孔の鉛直度を除く)<br>ただし、「3 次元計測技術を用 いた出   | t l                                     |     |
|           |        |        |   |    |                  |   | 天        | 端  | 幅         | $\mathbf{w}_1$ |   | -20 |   | 来形管理要領 (案)」に基づき出来形<br>管理を実施する場合は、同要領に規定<br>する計測精度・計測密度を満たす計測<br>方法により出来形管理を実施すること<br>ができる。   | t t t t t w w w w w w w w w w w w w w w |     |
|           |        |        |   |    |                  |   | 敷        |    | 幅         | <b>W</b> 3     |   | -20 |   |  | 城市中心明新版 E                               |     |
|           |        |        |   |    |                  |   | 高        |    | ż         | h              |   | -50 |   | (a   | → → → → ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |     |
|           |        |        |   |    |                  |   | 長        |    | さ         | <b>l</b> 1     |   | -20 |   | <u>a1</u>  | <u>a2</u>                               |     |
|           |        |        |   |    |                  |   | 橋脚中      | 心間 | 用距离       | É Q            |   | ±30 |   | \ \rightarrow\ \ri | <b>∀</b>                                |     |
|           |        |        |   |    | (次頁に続く)          |   | 支 l<br>中 |    | ě 及<br>の変 |                |   | ±50 |   |  |   |     |

| 編     | 章  | 節       | 条 | 枝番 |                  | 種 | ì        | 測定項目             | 規 格 値   | 測 定 基 準   | 測 定 箇 所    | 摘 要 |
|-------|----|---------|---|----|------------------|---|----------|------------------|---------|---|------------|-----|
| 10 道路 | 橋梁 | 7 RC橋脚工 | 9 | 2  | 橋脚躯体工<br>(ラーメン式) |   | 支承部アンカー  | 計画高              | +10~-20 | 支承部アンカーボルトの箱抜き規格値<br>の平面位置は沓座の中心ではなく、ア<br>ンカーボルトの箱抜きの中心で測定。<br>アンカーボルト孔の鉛直度は箱抜きを<br>橋軸方向、橋軸直角方向で十字に切っ | 1 5441 344 |     |
|       |    |         |   |    |                  |   | -ボルトの箱抜き | 平面位置             | ±20     | た2隅で計測。   | ⊕ ⊕ ⊕      |     |
|       |    |         |   |    |                  |   | き規格値     | アンカーボルト<br>孔の鉛直度 | 1/50以下  |   | T T        |     |
|       |    |         |   |    |                  |   |          |                  |         |   |            |     |
|       |    |         |   |    |                  |   |          |                  |         |   |            |     |
|       |    |         |   |    |                  |   |          |                  |         |   |            |     |
|       |    |         |   |    |                  |   |          |                  |         |   |            |     |

| 編      | 章                  | 節       | 条 | 枝番 | 工種        | 測定項目    | 規 格 値              | 測定基準測定箇所  | 摘 要 |
|--------|--------------------|---------|---|----|-----------|---------|--------------------|---|-----|
| 10 道路編 | 6トンネル              | 5 覆工    | 3 |    | 覆工コンクリートエ | 基準高(拱頂) | ±50                | (1) 基準高、幅、高さは、施工 40mに<br>つき 1 箇所。<br>(2) 厚さ<br>(イ) コンクリート打設前の巻立空間<br>を 1 打設長の終点を図に示す各点  |     |
|        | ( N A T M )        |         |   |    |           | 幅 w(全幅) | -50                | で測定。中間部はコンクリート打<br>設口で測定。<br>(p) コンクリート打設後、覆エコン<br>クリートについて1打設長の端面<br>(施工継手の位置) において、図<br>に示す各点の発厚測定を行う。  |     |
|        |                    |         |   |    |           | 高さh(内法) | -50                | に示す合品の巻厚側足を行り。 (n) 検測孔による巻厚の測定は図の (1)は 40mに 1 箇所、(2)~(3)は 100mに 1 箇所の割合で行う。 なお、トンネル延長が 100m以下 のものについては、1 トンネル当  |     |
|        |                    |         |   |    |           | 厚 さ t   | 設計値以上              | たり2箇所以上の検測孔による測<br>定を行う。<br>ただし、以下の場合には、左記<br>の規格値は適用除外とする。<br>・良好な地山における岩又は吹付コン  | リート |
|        |                    |         |   |    |           | 延 長 L   | _                  | クリートの部分的な突出で、設計機<br>工厚の3分の1以下のもの。<br>なお、変形が収束しているものに<br>限る。<br>・異常土圧による覆工厚不足で、型枠  |     |
|        |                    |         |   |    |           | 中心線の偏心量 | 直練部±100<br>曲練部±150 | の据付け時には安定が確認されかつ<br>別途構造的に覆工の安全が確認され<br>ている場合。<br>・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突<br>出。<br>計測手法については、従来管理のほ<br>かに「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)トンネル工編」で規<br>定する出来形計測性能を有する機器<br>を用いることができる。 |     |
| 路      | 。<br>ら<br>ト<br>A ン | 5<br>覆工 | 5 |    | 床版コンクリート工 | 幅 w     | -50                | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は<br>50m) につき 1箇所、延長 40m (又は<br>50m) 以下のものは 1 施工箇所につき  |     |
|        | T ネ<br>M ル<br>)    |         |   |    |           | 厚 き t   | -30                | 2 箇所。   |     |

| 編      | 章                | 節    | 条 | 枝番 | 工種        | 測定項    | 目  | 規 格 値              | 測 定 基 準   | 測       | 定      | 箇                | 所        | 摘要 | Ē |
|--------|------------------|------|---|----|-----------|--------|----|--------------------|---|---------|--------|------------------|----------|----|---|
| 10 道路編 | 6トンネル            | 5 覆工 | 3 |    | 覆エコンクリートエ | 基準高(拱) | 頁) | ±50                | (1) 基準高、幅、高さは、施工 40mに<br>つき 1 ヶ所。<br>(2) 厚さ<br>(イ) コンクリート打設前の巻立空間<br>を 1 打設長の終点を図に示す各点  |         |        |                  |          |    |   |
|        | N<br>A<br>T<br>M |      |   |    |           | 幅w(全)  | 福) | -50                | で測定。中間部はコンクリート打<br>設口で測定。<br>(p) コンクリート打設後、覆エコン<br>クリートについて1打設長の端面<br>(施工継手の位置) において、図<br>に示す各点の券厚測定を行う。  | i       |        |                  |          |    |   |
|        |                  |      |   |    |           | 高さh(内) | 去) | -50                | (二  |         |        |                  |          |    |   |
|        |                  |      |   |    |           | 厚き     | t  | 設計値以上              | たり2ヶ所以上の検測孔による測定を行う。<br>ただし、以下の場合には、左記の規格値は適用除外とする。<br>・良好な地山における岩又は吹付コン  | t h (2) | FL (3) | 覆工<br>(5)<br>S.1 | ニコンクリート  |    |   |
|        |                  |      |   |    |           | 延長     | L  | _                  | クリートの部分的な突出で、設計覆<br>工厚の3分の1以下のもの。<br>なお、変形が収束しているものに<br>限る。<br>・異常土圧による覆工厚不足で、型枠  |         | w      | (7)              | <u> </u> |    |   |
|        |                  |      |   |    |           | 中心線の偏  | 心量 | 直線部±100<br>曲線部±150 | の掲付け時には安定が確認されかつ<br>別途構造的に覆工の安全が確認され<br>ている場合。<br>・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突<br>出。<br>計測手法については、従来管理の<br>ほかに「3次元計測技術を用いた出<br>来形管理要領(案)」で規定する出来<br>形計測性能を有する機器を用いるこ<br>とができる。 |         |        |                  |          |    |   |
| 路      | 。6<br>Nト<br>Aン   | 覆    | 5 |    | 床版コンクリート工 | 幅      | w  | -50                | 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は<br>50m) につき1ヶ所、延長 40m (また<br>は 50m) 以下のものは1施工箇所につ  |         |        |                  |          |    |   |
|        | T ネ<br>M ル<br>)  |      |   |    |           | 厚き     | t  | -30                | き2箇所。   |         |        |                  |          |    |   |

単位: mm

| 編            | 章     | 節           | 条 | 枝番 | 工 種       | 1   | 測定項目             | 規<br>個々の<br>測定値(X | 格 値<br>測定値の<br>平均 環                                | 測定基準測定箇所摘  | 要 |
|--------------|-------|-------------|---|----|-----------|-----|------------------|-------------------|--|--|---|
| 10<br>道<br>路 | 14 道路 | 4<br>舗<br>装 | 5 |    | 切削オーバーレイエ |     | 厚さ t<br>(切削)     | -7                | -2   | 厚さは 40m毎に「現舗装高と切削後の<br>基準高の差」「切削後の基準高とオーバ<br>・<br>レンイ後の基準高の差。で算出する。      |   |
| 編            | 維持    | 五           |   |    |           |     | 厚さ t<br>オーハ・ーレイ) |                   | -9   | 一レイ侯の基準商の定」で昇口する。<br>測定点は事道中心線、車道端及びその<br>中心とする。                         |   |
|              |       |             |   |    |           | ı   | 幅 w              |                   | -25  | 幅は、延長 40m 毎に1箇所の割とし、<br>延長 40m 未満の場合は、2箇所/施工<br>徳正とする。                   |   |
|              |       |             |   |    |           |     | 延長 L             |                   | -100   | 箇所とする。  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・                              |   |
|              |       |             |   |    |           | :   | 平 坦 性            | 一 (               | Bmプロフィルメーター<br>σ)2.4mm以下<br>正読式(足付き)<br>σ)1.75mm以下 |  |   |
| 10<br>道<br>路 | 14 道路 | 4<br>舗<br>装 | 7 |    | 路上再生工     |     | 厚さ t             |                   | -30  | 幅は延長 <b>40m</b> 毎に 1 箇所の割で測定。<br>厚さは、各車線 200m毎に左右両端及び<br>中央の3点を掘り起こして測定。 |   |
| 編            | 維持    | 工           |   |    |           | 路盤工 | 幅 w              |                   | -50  |  |   |
|              |       |             |   |    |           |     | 延長 L             |                   | -100   | 現舗装 ▼  |   |

# 改訂【R4.10】

| 編       | 童      | 節      | 条 | 枝番 | 工種                              | 測定項目                   | 規                             | 格値                         | 測定基準測定箇所  | 摘  | mi . |
|---------|--------|--------|---|----|---------------------------------|------------------------|-------------------------------|----------------------------|---|----|------|
| 府       | 早      | 即      |   |    |                                 | 例疋垻日                   | 個々の<br>測定値(X)                 | 測定値の<br>平均                 |   | 刮剤 | 安    |
| 10<br>道 | 14 道   | 4<br>舗 | 5 | 1  | 切削オーバーレイエ                       | 厚さ t<br>(切削)           | -7                            | -2                         | 厚さは 40m毎に「現舗装高と切削後の<br>基準高の差」「切削後の基準高とオーバ   |    |      |
| 路編      | 路維持    | 装工     |   |    |                                 | 厚さ t<br>(オーバーレ<br>イ)   | -                             | -9                         | ーレイ後の基準高の差」で算出する。<br>測定点は車道中心線、車道端及びその<br>中心とする。<br>幅は、延長 <b>40m</b> 毎に1ヶ所の割とし、   |    |      |
|         |        |        |   |    |                                 | 幅 w                    | -                             | -25                        | 延長 <b>40m</b> 未満の場合は、2ヶ所/施工<br>箇所とする。 現締装 w   |    |      |
|         |        |        |   |    |                                 | 延長 L                   | _                             | 100                        | 断面状況で、間隔、測点数を変えるこ<br>維持工事においては、平坦性の項目を<br>省略することが出来る。   |    |      |
|         |        |        |   |    |                                 | 平坦性                    | - ダ<br>(σ)<br>直診              | <i>1</i> —                 | 1.「3次元計測技術を用いた出来形管<br>理要領(案)」の規定による測点の管理<br>方法を用いることができる。   |    |      |
| 10 道路編  | 14 道路維 | 4舗装工   | 5 | 2  | 切削オーバーレイエ<br>(面管理の場合)<br>厚さtまたは | 厚さ t<br>(標準較差)<br>(切削) | -17<br>(17)<br>(面管理と<br>して緩和) |                            | 1.「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合に適用する。   |    |      |
|         | 持      |        |   |    | 標高較差(切削)のみ                      | 厚さ t<br>(オーバーレイ)       |                               | -9                         | 2. 計測は切削面の全面とし、すべての点で設計面との厚さtまたは標高較差(切削)を算出する。計測密度は1点/㎡   |    |      |
|         |        |        |   |    |                                 | 幅 w                    | _                             | -25                        | (平面投影面積当たり)以上とする。   |    |      |
|         |        |        |   |    |                                 | 延長 L                   | _                             | 100                        | 3. 厚さtまたは標高較差(切削)は、現<br>舗装高と切削後の基準高との差で算出<br>する。  |    |      |
|         |        |        |   |    |                                 | 平坦性                    | ー (σ)<br>直部                   | 7ー<br>)2.4mm 以下<br>売式(足付き) | 4. 厚さ(オーバーレイ)は40m毎に「切削後の基準高とオーバーレイ後の基準高の差」で算出する。<br>測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。<br>5. 幅は、延長40m毎に1ヶ所の割とし、延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。<br>断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 |    |      |

# 現行【R3.10】

前頁 10-14-4-7 参照

# 改訂【R4.10】

| 編            | 章     | 節           | 条 | 枝番 | I     | 種 | 測定項目 | 規 格 値 | 測 定 基 準   | 測定箇所     | 摘 要 |
|--------------|-------|-------------|---|----|-------|---|------|-------|---|----------|-----|
| 10<br>道<br>路 | 14 道路 | 4<br>舗<br>装 | 7 |    | 路上再生工 |   | 厚さ t | -30   | 幅は延長 <b>40m</b> 毎に1ヶ所の割で測定。<br>厚さは、各車線 <b>40m</b> 毎に左右両端及び<br>中央の3点を掘り起こして測定。   | <u>©</u> |     |
| 編            | 維持    | I           |   |    |       |   | 盤幅w  | -50   | 1701 - 3110 - 310 - | t # 1000 |     |
|              |       |             |   |    |       |   | 延長 L | -100  |   | 現舗装 w    |     |

| 編      | 章       | 節     | 条       | 枝番 | 工 種                | 測定項目   | 規 格 値                             | 測 定 基 準  | 測定箇所   | 摘要                                  |
|--------|---------|-------|---------|----|--------------------|--|-----------------------------------|--|--|-------------------------------------|
| 11 農業農 | 2 ほ 場 整 | 3 整地工 | 1       |    | 表土扱い               | 厚 さ (T)  | - 20%                             | 10a当たり3点以上。<br>(標高差測定又はつぼ掘りによる)  | 標高測定 相 例   |                                     |
| 村整備編   | 備工事     | 3整地工  | 1       |    | 基盤造成表土整地           | 基準高 (V) 均平度(◇)   | ± 150<br>± 50                     | 10a当たり3点以上。<br>(標高測定する)  | 田面 V 基整面   | 1 基盤と<br>第面のる。<br>2 均平埋戻する<br>に測定する |
|        |         | 3整地工  | 1       |    | 畦畔復旧               | 幅 (B)<br>高 さ (H)                                       | - 50<br>- 50                      | 施工延長おおむね200mにつき1箇所の<br>割合で測定する。施工延長を示さない<br>場合は、1耕区につき1箇所の割合で<br>測定する。 | B <sub>2</sub> B <sub>1</sub> H  |                                     |
|        |         | 3 整地工 | 4 暗渠排水工 |    | 吸水渠                | 布 設 深 (H)<br>間 隔 (B)<br>延<br>長<br>L 500m未満<br>L 500m以上 | - 75<br>± 750<br>- 1000<br>- 0.2% | 上、下流端の2箇所を測定する。<br>ただし、1本の布設長がおおむね100m<br>以上のときは、中間点を加えた3箇所<br>を測定する。  | H <sub>1</sub> H <sub>2</sub> H <sub>3</sub> B <sub>4</sub> B <sub>5</sub> B <sub>6</sub> B <sub>6</sub> |                                     |
|        |         | 3整地工  | 4 暗渠排水工 |    | 集水渠(支線)<br>導水渠(幹線) | 布 設 深 (H) 延 500m未満 艮 500m以上                            | - 75<br>- 1000<br>- 0.2%          | 施工延長おおむね50mにつき1箇所の割合で測定する。   | H (1/49/40)  |                                     |

| 編      | 章       | 節     | 条 | 枝番 | 工種                       | 測定項目           | 規格値           | 測 定 基 準  | 測定箇所 | 摘 要                                 |
|--------|---------|-------|---|----|--------------------------|----------------|---------------|--|------|-------------------------------------|
| 11 農業農 | 2 ほ 場 整 | 3 整地工 | 1 |    | 表土扱い                     | 厚 さ (T)        | - 20%         | い 2 単 平<br>10a当たり3点以上。<br>(標高差測定又はつぼ掘りによる)   | 標高剛定 | 379                                 |
| 村整備編   | 備工事     | 3 整地工 | 1 |    | 基盤造成表土整地                 | 基準高 (V) 均平度(◇) | ± 150<br>± 50 | 10a当たり3点以上。<br>(標高測定する)<br>「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき出来形管理を実施する場合は、同愛師に規定する計測特度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。   | 田面   | 1 基盤店高は高のる。<br>2 数土理定する<br>2 数土理定する |
|        |         | 3 整地工 | 1 |    | 基盤造成<br>表土整地<br>(面管理の場合) | 標高格差 (御々の計測値)  | ± 50<br>± 150 | 1. 「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき出来形管理を面管理で実施する場合は、同要領に規定する計測精度として出来形管理を実施することができる。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として生50mmが含まれている。 3. 計測はほ場面の金を当たし、全平の点で設計面が多。計測を当たり、以上とする。計測を14周線から水平方向に生50mm以内に存在する計測点は、標高格差の評価から除く。 5. 「個々の計測値」は、全なの評価から除く。 5. 「個々の計測値」は、全なの評価があら除くのよりに存在する計測点は、標高格差の評価から除く。 5. 「個々の計測値」は、全なの認定値が規格値を満足りなければならない規格値を満足しなければならない規格値を満足しなければならない現格値を満足とは、出来形評価用データの見ち、99,7%が「個米の計測値」の規格値を満たすものをいう。 |      |                                     |

| 編    | 章   | 節    | 条 | 枝番 | 工種                                   |          | 測定項目               | 規      | 格値        | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所   | 摘要                                 |
|------|-----|------|---|----|--------------------------------------|----------|--------------------|--------|-----------|--|---|------------------------------------|
| 11 農 | 8 管 | 5 管  |   |    | 管体基礎工<br>(砂基礎等)                      | ī        | 幅 (B)<br>高 さ (H)   | -<br>± | 100<br>30 | 施工延長おおむね50mにつき1箇所の<br>割合で測定する。<br>上記未満は2箇所測定する。        | H V2  | 基礎材が異なる場合に測定する。                    |
| 業農   | 水路  | 体基礎工 |   |    |                                      |          |                    |        |           |  | $V_1$ $B_2$   | 高さ (H)<br>の管理は、<br>V2V1で算<br>出するもの |
| 村    | I   |      |   |    |                                      |          |                    |        |           |  | $H = V_2 - V_1$                                     | とする。                               |
| 整    | 事   | 6    |   |    | 管水路                                  | 基準       | 被圧地下水<br>のない場合     | ±      | 30        | 基準高、中心線のズレ(直線部)につい                                     | ジョイント間隔   | Vの測定は                              |
| 備    |     | 管    |   |    | (遠心力鉄筋コンクリ<br>ート管)                   | 高<br>(V) | 被圧地下水<br>のある場合     | ±      | 50        | ては施工延長おおむね50mにつき1箇<br>所の割合で測定する。<br>中心線のズレ(曲線部)についてはおお | 測定位置 (z) e  | 管底(V<br>1)を原則                      |
| 編    |     | 体    |   |    | RC管                                  | -        | 中心線のズレ(e)          | ±      | 100       | むね10mに1箇所の割合で測定する。<br>上記未満は2箇所測定する。                    | V <sub>2</sub>                                      | とし、測定<br>時期は埋戻<br>完了とす             |
|      |     | I    |   |    |                                      |          | ジョイント<br>問隔(z)     | 別表     | ア参照       | ジョイント間隔については1本毎に測<br>定する。                              |   | る。<br>ただし、ø                        |
|      |     |      |   |    |                                      | 延長       | 200m未満             | -      | 200       |  | - (   | 1,350mm以<br>下又は管底                  |
|      |     | ļ    |   |    |                                      | L        | 200m以上             | -      | 0.1%      |  | V,  | での測定作業が困難な場合は、管                    |
|      |     |      | 3 |    | 管水路                                  | 基準高      | 被圧地下水のない場合         | ±      | 30        | 基準高、中心線のズレ(直線部)については施工延長おおむね50mにつき1箇                   | G.  | 場合は、官<br>頂まで埋戻<br>後の管頂             |
|      |     |      |   |    | (ダクタイル鋳鉄管)<br>K形、T形、U形               | (V)      | 被圧地下水<br>のある場合     | ±      | 50        | 所の割合で測定する。<br>中心線のズレ(曲線部)についてはおお                       | -<br>基準高 (V) は、V <sub>1</sub> 、V <sub>2</sub> のいずれか | (V2) で<br>もよい。                     |
|      |     |      |   |    | /// //                               | - 1      | 中心線のズレ(e)<br>ジョイント | ±      | 100       | むね10mに1箇所の割合で測定する。<br>上記未満は2箇所測定する。                    | 一方を測定し管理する。   | e の測定は<br>管頂まで埋                    |
|      |     |      | 2 |    | <ul><li>(強化プラスチック<br/>複合管)</li></ul> |          | フョイント<br>間隔(z)     |        | 及びウ<br>誤  | ジョイント間隔については1本毎に測<br>定する。                              |   | 戻時の管頂<br>を原則とす<br>る。               |
|      |     |      |   |    | B形、T形、C形                             | 延長       | 200m未満             | -      | 200       |  |   | なお、「埋<br>戻完了」と                     |
|      |     |      |   |    |                                      | L        | 200m以上             | -      | 0.1%      |  |   | は、特に指<br>示がない場                     |
|      |     |      |   |    |                                      |          |                    |        |           |  |   | 合は舗装(表層、上                          |
|      |     |      |   |    |                                      |          |                    |        |           |  |   | 層路盤、下<br>層路盤)を<br>除いた埋戻            |
|      |     |      |   |    |                                      |          |                    |        |           |  |   | 完了時点と<br>する。                       |
|      |     |      |   |    |                                      |          |                    |        |           |  |   |                                    |
|      |     |      |   |    |                                      |          |                    |        |           |  |   |                                    |
|      |     |      |   |    |                                      |          |                    |        |           |  |   |                                    |
|      |     |      |   |    |                                      |          |                    |        |           |  |   |                                    |

| 編  | 章 | 節   | 条 | 枝番 | 工種                 |            | 測定項目                    | 規 格 値           | 測 定 基 準  | 測 定 箇 所  | 摘要                         |
|----|---|-----|---|----|--------------------|------------|-------------------------|-----------------|--|--|----------------------------|
| 11 | 8 | 5   |   |    | 管体基礎工              |            | 幅 (B)                   | - 100           | 施工延長おおむね50mにつき1箇所の   | V <sub>2</sub>                                 | 基礎材が異                      |
| 農  | 管 | 管   |   |    | (砂基礎等)             | Ā          | 高 さ (H)                 | ± 30            | 制合で測定する。<br>上記未満は2箇所測定する。  | н \  | なる場合は<br>種類毎に測<br>定する。     |
| 業  | 水 | 体基礎 |   |    |                    |            |                         |                 | 「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき出来形管理を実施する場  | $V_1$  | 高さ(H)<br>の管理は、             |
| 農  | 路 | 烻工  |   |    |                    |            |                         |                 | 合は、同要領に規定する計測精度・計<br>測密度を満たす計測方法により出来形   | B <sub>2</sub>                                 | V2V1で算<br>出するもの            |
| 村  | I |     |   |    |                    |            | delicate (16-ye) (      |                 | 管理を実施することができる。   | $H = V_2 - V_1$                                | とする。                       |
| 整  | 事 | 6   |   |    | 管水路                | 基準高        | 被圧地下水のない場合              | ± 30            | 基準高、中心線のズレ(直線部)につい<br>ては施工延長おおむね50mにつき1箇   | ジョイント間隔  | Vの測定は                      |
| 備  |   | 管   |   |    | (遠心力鉄筋コンクリ<br>ート管) | (V)        | 被圧地下水<br>のある場合          | ± 50            | 所の割合で測定する。<br>中心線のズレ(曲線部)についてはおお   | 測定位置(z)<br>e                                   | 管底(V<br>1)を原則<br>とし、測定     |
| 編  |   | 体   |   |    | RC管                |            | 中心線のズレ(e)<br>ジョイント      | ± 100           | むね10mに1箇所の割合で測定する。<br>上記未満は2箇所測定する。  | V <sub>2</sub>                                 | 時期は埋戻完了とす                  |
|    |   | I   |   |    |                    |            | リョイント<br>間隔(z)          | 別表ア参照           | ジョイント間隔については1本毎に測<br>定する。  |  | る。<br>ただし、φ                |
|    |   |     |   |    |                    | 延長         | 200m未満                  | - 200           | =  | - (  | 1,350mm以<br>下又は管底<br>での測定作 |
|    |   |     |   |    |                    | L<br>基     | 200m以上<br>被圧地下水         | - 0.1%          |  | V,   | 業が困難な場合は、管                 |
|    |   |     | 3 |    | 管水路<br>(ダクタイル鋳鉄管)  | <b>基準高</b> | 仮圧地下水<br>のない場合<br>被圧地下水 | ± 30            | 基準高、中心線のズレ(直線部)については施工延長おおむね50mにつき1箇   | G_   | 頂まで埋戻<br>後の管頂              |
|    |   |     |   |    | K形、T形、U形           | (V)        | のある場合                   | ± 50            | 所の割合で測定する。<br>中心線のズレ(曲線部)についてはおお   | 基準高 (V) は、V <sub>1</sub> 、V <sub>2</sub> のいずれか | (V2) で<br>もよい。             |
|    |   |     |   |    | (強化プラスチック          |            | 中心線のズレ(e)<br>ジョイント      | ± 100<br>別表イ及びウ | <ul><li>むね10mに1箇所の割合で測定する。</li><li>上記未満は2箇所測定する。</li><li>ジョイント間隔については1本毎に測</li></ul> | 一方を測定し管理する。                                    | eの測定は<br>管頂まで埋<br>戻時の管頂    |
|    |   |     | 2 |    | 複合管)               |            | 間隔(z)                   | 参照              | 定する。   |  | を原則とする。                    |
|    |   |     |   |    | B形、T形、C形           | 延長         | 200m未満                  | - 200           | -  |  | なお、「埋<br>戻完了」と             |
|    |   |     |   |    |                    | L          | 200m以上                  | - 0.1%          |  |  | は、特に指示がない場                 |
|    |   |     |   |    |                    |            |                         |                 |  |  | 合は舗装<br>(表層、上<br>層路盤、下     |
|    |   |     |   |    |                    |            |                         |                 |  |  | 層路盤)を<br>除いた埋戻             |
|    |   |     |   |    |                    |            |                         |                 |  |  | 完了時点と<br>する。               |
|    |   |     |   |    |                    |            |                         |                 |  |  |                            |
|    |   |     |   |    |                    |            |                         |                 |  |  |                            |
|    |   |     |   |    |                    |            |                         |                 |  |  |                            |
|    |   |     |   |    |                    |            |                         |                 |  |  |                            |

# 3. 写真管理

令和4年10月

| 現行(R3.10)                                   | 改訂(R4.10)  |
|---|--|
| 現行(R3.10) 現有(R3.10) 真 管 理 (12) 写真管理における留意事項 | 改訂(R4.10)  写真管理 (12)写真管理における留意事項 ※本基準に示す品質管理の工種番号は、「土木工事施工管理基準及び規格値」(品質管理基準及び規格値)に示す工種番号と整合を取っている。 また、本基準に示す出来形管理の編章節番号は、「土木工事施工管理基準及び規格値」(出来形管理 準及び規格値)に示す編章節と整合を取っている。 |
|   |  |

【第13編 漁港漁場編】

現行(R3.10)

【第13編 漁港漁場編】

| 13編 | <b>海</b> 港海堤編】 |  |
|-----|----------------|--|

改訂(R4.10)

頁 3-52 3-52 3-52 3-52 3-52 3-52 3-52 3-52 3-52

3-52

3-52 3-52

3-52

3-53 3-53 3-53 3-53 3-53 3-53

3-56 3-52

3-52

3-52

3-52

3-52

3-52 3-52

3-52

3-53 3-54

3-36 3-36

3-54 3-54

3-53 3-55 3-55

3-53

3-53

| 【第13編 馮港馮場編】     | -                   |               | T                       |      | 【第13編 馮港馮場編】   | -                   |             |  |
|------------------|---------------------|---------------|-------------------------|------|----------------|---------------------|-------------|--|
| 章、節              | 条                   | 枝番            | 準用する写真管理基準              | 頁    | 章、節            | 条                   | 枝番          | 準用する写真管理基準                               |
| 第5章 一般施工         |                     |               |                         |      | 第5章 一般施工       |                     |             | 1  |
| 第3節 共通的工種        | 5-3-2共通事項           | ポンプ浚渫         |                         | 3-45 | 第3節 共通的工種      | 5-3-2共通事項           | ポンプ浚渫       |  |
|                  |                     | グラブ浚渫         |                         | 3-45 |                |                     | グラブ浚渫       |  |
|                  |                     | 硬土盤浚渫         |                         | 3-45 |                |                     | 硬土盤浚渫       |  |
|                  |                     | 砕岩浚渫          |                         | 3-45 |                |                     | 砕岩浚渫        |  |
|                  |                     | バックホウ浚渫       |                         | 3-45 |                |                     | バックホウ浚渫     |  |
|                  | 5-3-6 圧密・排水工        | サンドドレーン       |                         | 3-45 |                | 5-3-6圧密・排水工         | サンドドレーン     |  |
|                  |                     | 敷砂            |                         | 3-45 |                |                     | 敷砂          |  |
|                  |                     | 敷砂均し          |                         | 3-45 |                |                     | 敷砂均し        |  |
|                  |                     | 載荷土砂          |                         | 3-45 |                |                     | 載荷土砂        |  |
|                  |                     | ペーパードレン       |                         | 3-45 |                |                     | ペーパードレン     |  |
|                  | 5-3-7締固工            | サンドコンパクションパイル | L                       | 3-45 |                | 5-3-7締固工            | サンドコンパクションパ | <b>イル</b>                                |
|                  |                     | 敷砂            | 第13編5-3-6圧密・排水工         | 3-45 |                |                     | 敷砂          | 第13編5-3-6圧密・排水工                          |
|                  |                     | 敷砂均し          | 第13編5-3-6圧密・排水工         | 3-45 |                |                     | 敷砂均し        | 第13編5-3-6圧密・排水工                          |
|                  | 5-3-8 固化工           | 深層混合処理杭       |                         | 3-45 |                | 5-3-8固化工            | 深層混合処理杭     |  |
|                  |                     | 敷砂            | 第13編5-3-6圧密・排水工         | 3-45 |                |                     | 敷砂          | 第13編 5 - 3 - 6 圧密・排水工                    |
|                  |                     | 敷砂均し          | 第13編3-3-6圧密・排水工         | 3-45 |                |                     | 敷砂均し        | 第13編3-3-6圧密・排水工                          |
|                  | 5-3-9洗掘防止工          |               |                         | 3-46 |                | 5-3-9洗掘防止工          |             |  |
|                  | 5-3-10中詰工           |               |                         | 3-46 |                | 5-3-10中詰工           |             |  |
|                  | 5-3-11蓋コンクリートエ      |               |                         | 3-46 |                | 5-3-11蓋コンクリートエ      |             |  |
|                  | 5-3-13鋼矢板工          |               |                         | 3-46 |                | 5-3-13鋼矢板工          |             |  |
|                  | 5-3-14控工            | 腹起            |                         | 3-46 |                | 5-3-14控工            | 腹起          |  |
|                  |                     | タイ材           |                         | 3-46 |                |                     | タイ材         |  |
|                  | 5-3-15鋼杭工           |               |                         | 3-46 |                | 5-3-15鋼杭工           |             |  |
|                  | 5-3-16コンクリート杭       |               |                         | 3-46 |                | 5-3-16コンクリート杭       |             |  |
|                  | 5-3-17防食工           |               | 第13編5-3-17防食工           | 3-49 |                | 5-3-17防食工           |             | 第13編 5 - 3 - 17防食工                       |
| 第5節 海上地盤改良工      | 5-5-2床堀工            |               |                         | 3-45 | 第5節 海上地盤改良工    | 5-5-2床堀工            |             |  |
|                  |                     | ポンプ浚渫         | 第13編5-3-2共通事項           | 3-45 |                |                     | ポンプ浚渫       | 第13編 5 - 3 - 2 共通事項                      |
|                  |                     | グラブ浚渫         | 第13編5-3-2共通事項           | 3-45 |                |                     | グラブ浚渫       | 第13編 5 - 3 - 2 共通事項                      |
|                  |                     | 硬土盤浚渫         | 第13編5-3-2共通事項           | 3-45 |                |                     | 硬土盤浚渫       | 第13編 5 - 3 - 2 共通事項                      |
|                  |                     | 砕岩浚渫          | 第13編5-3-2共通事項           | 3-45 |                |                     | 砕岩浚渫        | 第13編 5 - 3 - 2 共通事項                      |
|                  |                     | バックホウ浚渫       | 第13編5-3-2共通事項           | 3-45 |                |                     | バックホウ浚渫     | 第13編 5 - 3 - 2 共通事項                      |
|                  | 5-5-6置換工            |               |                         | 3-45 |                | 5-5-6置換工            |             |  |
|                  | 5-5-7圧密・排水工         |               | 第13編5-3-6圧密・排水工         | 3-45 |                | 5-5-7圧密・排水工         |             | 第13編5-3-6圧密・排水工                          |
|                  | 5-5-8締固工            |               | 第13編5-3-7締固工            | 3-45 |                | 5-5-8締固工            |             | 第13編5-3-7締固工                             |
|                  | 5-5-9固化工            |               | 第13編5-3-8固化工            | 3-45 |                | 5-5-9固化工            |             | 第13編5-3-8 固化工                            |
| 第6節 基礎工          | 5-6-3洗掘防止工          |               | 第13編5-3-9洗掘防止工          | 3-46 | 第6節 基礎工        | 5-6-3洗掘防止工          |             | 第13編5-3-9洗掘防止工                           |
| 770 A. E.R.      | 5-6-4基礎捨石工          |               | AVIONIO O O DOMINATE II | 3-47 | 3,04, 4,4      | 5-6-4基礎捨石工          |             | ),110,1111 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 |
|                  | 5-6-6基礎プロックエ        | 基礎プロック製作      | 第13編5-18-3消波ブロックエ       | 3-48 |                | 5-6-6基礎プロックエ        | 基礎プロック製作    | 第7編2-7-3消波ブロックエ                          |
|                  | 5 0 0 金融ノログノエ       | 基礎プロック据付      | 新15mm 5 10 5m級ノログノエ     | 3-48 |                | 5 0 0条腕ノログノエ        | 基礎プロック据付    | 第7編2-7-3消波ブロックエ                          |
| 第7節 本体工(ケーソン式)   | 5-7-2ケーソン製作工        | 生能 ノロ ノノ 加口   |                         | 3-47 | 第7節 本体工(ケーソン式) | 5-7-2ケーソン製作工        | 生能/ ログ/ 地口  | 第1編2 / 5間放えログノエ                          |
| 新/町 本体工() ノン式)   | 5 - 7 - 3 ケーソン進水据付工 |               |                         | 3-47 |                | 5 - 7 - 3 ケーソン進水据付エ |             |  |
|                  | 5-7-4中詰工            | -             | 第13編5-3-10中詰工           | 3-46 |                | 5-7-39 フラ 連水路内工     | •           | 第13編5-3-10中詰工                            |
|                  |                     |               |                         |      |                |                     |             |  |
| 笠の笠 ナルエノゴロ・・・ケー・ | 5-7-5蓋コンクリートエ       |               | 第13編5-3-11蓋コンクリートエ      | 3-46 | 笠の笠 ナルフィブロックナン | 5-7-5蓋コンクリートエ       |             | 第13編5-3-11蓋コンクリートエ                       |
| 第8節 本体工(ブロック式)   | 5-8-2本体ブロック製作工      |               |                         | 3-48 | 第8節 本体工(ブロック式) | 5-8-2本体ブロック製作工      |             |  |
|                  | 5-8-3本体ブロック据付工      | -             | Mr. o let a contact and | 3-48 |                | 5-8-3本体ブロック据付エ      | -           | Mtt 4 0 KH F F D 4 0 H 3 H T             |
|                  | 5-8-4中詰工            |               | 第13編5-3-10中詰工           | 3-46 |                | 5-8-4中詩工            |             | 第13編5-3-10中詰工                            |
|                  | 5-8-5蓋コンクリート工       |               | 第13編 5 - 3 - 11蓋コンクリートエ | 3-11 |                | 5-8-5蓋コンクリート工       |             | 第13編5-3-11蓋コンクリート工                       |

現行(R3.10)

#### 【第13編 漁港漁場編】 章、節 条 枝番 準用する写真管理基準 頁 第10節 本体工(捨石・捨ブロック式) 5-10-2洗掘防止工 第13編5-3-9洗掘防止工 3-46 5-10-3本体捨石工 第13編5-6-4基礎捨石工 3-47 5-10-4捨ブロックエ 第13編5-18-3消波プロックエ 捨ブロック製作 3-48 捨ブロック据付 第13編5-6-6基礎ブロック工 3-48 第11節 本体工(鋼矢板式) 5-11-2鋼矢板工 第13編5-3-13鋼矢板工 3-46 5-11-3控工 第13編5-3-14控工 3-46 第12節 本体エ(コンクリート矢板式) 5-12-2コンクリート矢板工 3-46 5-12-3控工 第13編5-3-14控工 3-46 第13節 本体工(鋼杭式) 5-13-2鋼杭工 第13編5-3-15鋼杭工 3-46 第14節 本体工(コンクリート杭式) 5-14-2コンクリート杭工 第13編5-3-16コンクリート杭工 3-46 第15節 被覆·根固工 5-15-2被覆石工 3-475-15-4被覆ブロックエ 被覆ブロック製作 第13編5-18-3消波ブロックエ 3-48被覆ブロック据付 3-48 5-15-5根固ブロック工 根固ブロック製作 第13編5-18-3消波ブロックエ 3-48 根固ブロック据付 第13編 5 -15- 4 被覆ブロックエ 3-48 第16節 上部工 3-48 5-16-2上部コンクリートコ 5-16-3上部プロックエ 上部プロック製作 第13編5-18-3消波ブロック工 3-48 上部ブロック据付 3-48第17節 付属工 5-17-2係船柱工 3-49 5-17-3防舷材工 3-49 5-17-4車止・縁金物工 3 - 495-17-5防食工 第13編5-3-17防食工 3-50 第18節 消波工 第13編5-3-9洗掘防止工 5-18-2洗掘防止工 3-46 5-18-3消波プロックエ 3-48 消波ブロック製作 消波ブロック据付 3-48 第19節 裏込·裏埋工 5-19-2裏込工 3-49 5-19-4裏埋工 3-49 第20節 維持補修工 5-20-3防食工 第13編5-3-17防食工 3-49 第21節 仮設工 5-21-2仮設鋼矢板工 第13編5-3-13鋼矢板工 5-3-15鋼杭工 3-46 5-21-3仮設鋼管杭・鋼管矢板工 第13編5-3-13鋼矢板工 5-3-15鋼杭工 3-46 第25節 魚礁工 5-25-2単体魚礁製作工 3-50 5-25-4魚礁沈設工 3-50 5-25-3組立魚礁組立工 コンクリート部材組立 3-50 3-50 鋼製部材組立 3-51 科学系 (FRP等) 部材組立 現場鋼材溶接 3-51 披覆溶接(水中)スタッド溶接(水中) 3-51 現場鋼材切断(陸上現場切断) 3-51 現場鋼材切断 3-51 第26節 着定基質工 5-26-2着定基質製作工 3-51 5-26-3着定基質組立工 5-25-3組立魚礁組立工 3-51 5-26-4着定基質設置工 3-51 5-26-5石材投入工 3-51

#### 改訂(R4.10)

#### 【第12矩 洛洪洛坦矩】

|      | 章、節            | 条                 | 枝番                 | 準用する写真管理基準                        | 頁    |
|------|----------------|-------------------|--------------------|-----------------------------------|------|
| 第10節 | 本体工(捨石・捨ブロック式) | 5-10-2洗掘防止工       |                    | 第13編5-3-9洗掘防止工                    | 3-53 |
|      |                | 5-10-3本体捨石工       |                    | 第13編5-6-4基礎捨石工                    | 3-54 |
|      |                | 5-10-4捨ブロックエ      | 捨ブロック製作            | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
|      |                |                   | 捨ブロック据付            | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
| 第11節 | 本体工(鋼矢板式)      | 5-11-2鋼矢板工        |                    | 第13編5-3-13鋼矢板工                    | 3-53 |
|      |                | 5-11-3控工          |                    | 第13編5-3-14控工                      | 3-53 |
| 第12節 | 本体工(コンクリート矢板式) | 5-12-2コンクリート矢板工   |                    |                                   | 3-53 |
|      |                | 5-12-3控工          |                    | 第13編5-3-14控工                      | 3-53 |
| 第13節 | 本体工(鋼杭式)       | 5-13-2鋼杭工         |                    | 第13編5-3-15鋼杭工                     | 3-53 |
| 第14節 | 本体工(コンクリート杭式)  | 5-14-2コンクリート杭工    |                    | 第13編5-3-16コンクリート杭工                | 3-53 |
| 第15節 | 被覆·根固工         | 5-15-2被覆石工        |                    |                                   | 3-54 |
|      |                | 5-15-4被覆ブロックエ     | 被覆ブロック製作           | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
|      |                |                   | 被覆ブロック据付           | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
|      |                | 5-15-5根固プロック工     | 根固ブロック製作           | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
|      |                |                   | 根固ブロック据付           | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
| 第16節 | 上部工            | 5-16-2上部コンクリートエ   |                    |                                   | 3-56 |
|      |                | 5-16-3上部プロックエ     | 上部ブロック製作           | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
|      |                |                   | 上部ブロック据付           | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
| 第17節 | 付属工            | 5-17-2係船柱工        |                    |                                   | 3-56 |
|      |                | 5-17-3防舷材工        |                    |                                   | 3-56 |
|      |                | 5-17-4車止・縁金物工     |                    |                                   | 3-56 |
|      |                | 5-17-5防食工         |                    | 第13編5-3-17防食工                     | 3-56 |
| 第18節 | 消波工            | 5-18-2洗掘防止工       |                    | 第13編 5 - 3 - 9 洗掘防止工              | 3-53 |
|      |                | 5-18-3消波ブロックエ     | 消波ブロック製作           | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
|      |                |                   | 消波ブロック据付           | 第7編2-7-3消波ブロックエ                   | 3-36 |
| 第19節 | 裹込·裏埋工         | 5-19-2裏込工         |                    |                                   | 3-56 |
|      |                | 5-19-4裏埋工         |                    |                                   | 3-56 |
| 第20節 | 維持補修工          | 5-20-3防食工         |                    | 第13編5-3-17防食工                     | 3-56 |
| 第21節 | 仮設工            | 5-21-2仮設鋼矢板工      |                    | 第13編 5 - 3 - 13鋼矢板工 5 - 3 - 15鋼杭工 | 3-53 |
|      |                | 5-21-3仮設鋼管杭・鋼管矢板工 |                    | 第13編5-3-13鋼矢板工 5-3-15鋼杭工          | 3-53 |
| 第25節 | 魚礁工            | 5-25-2単体魚礁製作工     |                    |                                   | 3-57 |
|      |                | 5-25-4魚礁沈設工       |                    |                                   | 3-57 |
|      |                | 5-25-3組立魚礁組立工     | コンクリート部材組立         |                                   | 3-57 |
|      |                |                   | 鋼製部材組立             |                                   | 3-57 |
|      |                |                   | 科学系(FRP等)部材組立      |                                   | 3-58 |
|      |                |                   | 現場鋼材溶接             |                                   | 3-58 |
|      |                |                   | 被覆溶接(水中)スタッド溶接(水中) |                                   | 3-58 |
|      |                |                   | 現場鋼材切断(陸上現場切断)     |                                   | 3-58 |
|      |                |                   | 現場鋼材切断             |                                   | 3-58 |
| 第26節 | 着定基質工          | 5-26-2着定基質製作工     |                    |                                   | 3-58 |
|      |                | 5-26-3着定基質組立工     |                    | 5-25-3組立魚礁組立工                     | 3-58 |
|      |                | 5-26-4着定基質設置工     |                    |                                   | 3-58 |
|      |                | 5-26-5石材投入工       |                    |                                   | 3-58 |

| 3. 写真管理 新旧対照表        |  |              |
|----------------------|--|--------------|
| 現行(R3.10)            | 改訂(R4.10)  |              |
|                      |  |              |
|                      | 【 品質管理 】       工種       準用する写真管理基準                       | 頁            |
|                      |  | T            |
|                      | セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆エコ<br>ンクリート・吹付けコンクリートを除く) | 3-62         |
|                      | (施工)   |              |
|                      | 1 セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆エコ                      |              |
|                      | ンクリート・吹付けコンクリートを除く)                                      | 3-62         |
|                      | (施工後試験)  |              |
|                      | 5 ガス圧接   | 3-62         |
|                      | 7  | 3-62<br>3-62 |
|                      | 11     下層路盤       12     上層路盤                            | 3-62         |
|                      | 13   アスファルト安定処理路盤  | 3-62         |
| <b>1</b> + + − − + 1 | 14     セメント安定処理路盤(施工)                                    | 3-63         |
| 【新設】                 | アフファルト姉往(プランル)   | 3-63         |
|                      | 15 アスファルト舗装(舗設現場)  | 3-63         |
|                      | 16 転圧コンクリート(施工)  | 3-63         |
|                      | グースアスファルト舗装(プラント)  | 3-63         |
|                      | グースアスファルト舗装(舗設現場)  | 3-63         |
|                      | 18 路床安定処理工   | 3-63         |
|                      | 19 表層安定処理工(表層混合処理)                                       | 3-64         |
|                      | 20 固結工   | 3-64         |
|                      | 21 アンカーエ   | 3-64         |
|                      | 22 補強土壁工   | 3-64         |
|                      | 23 吹付工(施工)   | 3-64         |
|                      | 24     現場吹付法枠工       25.26     河川・海岸土工(施工)               | 3-64<br>3-64 |
|                      | 23.20   四川・海岸工工(施工)                                      | 3-64         |
|                      | 28   | 3-65         |
|                      | 29 KAT X   | 3-65         |
|                      | コンクリートダム(材料)   | 3-65         |
|                      | 30   | 3-65         |
|                      | コンクリートダム(施工)   | 3-66         |
|                      | 31 覆エコンクリート(NATM)  | 3-66         |
|                      | 32 吹付けコンクリート(NATM)                                       | 3-66         |
|                      | 33 ロックボルト(NATM)  | 3-66         |
|                      | 34 路上再生路盤工(材料)   | 3-66         |
|                      | 路上再生路盤工(施工)  | 3-66         |
|                      | 35 路上表層再生工(材料)   | 3-67         |
|                      | 路上表層再生工(施工)  | 3-67<br>3-67 |
|                      | 36 排水性舗装エ・透水性舗装エ(ブラント)<br>排水性舗装エ・透水性舗装工(舗設現場)            | 3-67         |
|                      | ノフント再生舗装工(ノフン  | 3-67         |
|                      | N  | 3-67         |
|                      | 38 ガス切断エ   | 3-67         |
|                      | 39 溶接工   | 3-67         |
|                      | 40 工場製作工   | 3-68         |
|                      | 44 中層混合処理  | 3-68         |
|                      |  |              |

#### 3. 写真管理 新旧対照表 改訂(R4.10) 現行(R3.10) 【第1編 共通編】 【第1編 共通編】 写 真 管 理 項 写 真 管 理 項 枝番 枝番 編 章 節 条 工 種 摘 要 章 節 条 工 種 摘 要 撮影項目 撮影項目 撮影•提出頻度[時期] 撮影•提出頻度[時期] 土質等の判別 地質が変わる毎に1回 土質等の判別 2 3 2 掘削工 2 3 掘削工 地質が変わる毎に1回 共通編 河川 [掘削中] 〔掘削中〕 逋 通 編 法長 200m又は1施工箇所に1回 200m又は1施工箇所に1回 法長 [掘削後] ※右のいずれか [掘削後] 岸 で撮影する。 海 3次元計測技術を用いた出 ・出来映えの撮 砂 岸 来形管理要領(案)」による場 防 合は1工事に1回 TS等の設置 土工 状況と出来形計 [掘削後] 砂 測対象点上の 防 プリズムの設置 状況(プリズムか 必要な場合の み)がわかるよう こ撮影 3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案) 多点計 測技術(面管理の場合)にお ける空中写真測量(UAV)お。 び地上写真測量」に基づき写 真測量に用いた画像を納品 する場合には、写真管理に代 えることが出来る。 200mに1回 〔巻出し時〕 3 盛土工 巻出し厚 200mに1回 〔巻出し時〕 盛土工 巻出し厚 TS・GNSSを用いた盛土の締 「TS・GNSSを用いた盛土の締 固め管理要領 における 「締 固め管理要領 における 「締 固め層厚分布図」を提出する 固め層厚分布図」を提出する 場合は写真不要 場合は写真不要 締固め状況 転圧機械又は地質が変わる 締固め状況 転圧機械又は地質が変わる 毎に1回 毎に1回 [締固め時] [締固め時] 200m又は1施工箇所に1回 200m又は1施工箇所に1回 法長 法長 [施工後] [施工後] ※右のいずれか で撮影する。 3次元計測技術を用いた出 出来映えの撮 来形管理要領(案)」による場 合は1工事に1回 ・TS等の設置 状況と出来形計 [施工後] 測対象点上の プリズムの設置 状況 (プリズムか 必要な場合の み)がわかるよう こ撮影 「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案) における 空中写真測量(UAV)および 地上写真測量」に基づき写真 測量に用いた画像を納品する 場合には、写真管理に代える ことが出来る。

現行(R3.10)

改訂(R4.10)

#### 【第1編 共通編】

| , 男   稱 | 1 天       | <b></b> | i. |            |             |                          |      |
|---------|-----------|---------|----|------------|-------------|--------------------------|------|
| 編章      | 節         | 条       | 枝番 | 工種         | 写 真         | 管 理 項 目                  | 摘要   |
| ,       |           |         |    |            | 撮影項目        | 撮影·提出頻度[時期]              | 10 女 |
| 1 2 土工  | 3河川・海岸・砂防 | 5       |    | 法面整形工(盛土部) | 仕上げ状況<br>厚さ | 120m又は1施工箇所に1回<br>(仕上げ時) |      |
|         | 土工        | 6       |    | 堤防天端工      | 厚さ<br>幅     | 200mに1回<br>〔施工後〕         |      |
|         |           |         |    |            |             |                          |      |
|         | 4 道路      | 2       |    | 掘削工        | 土質等の判別      | 地質が変わる毎に1回<br>〔掘削中〕      |      |
|         | 土工        |         |    |            | 法長          | 200m又は1施工箇所に1回<br>〔掘削後〕  |      |
|         |           |         |    |            |             |                          |      |
|         |           |         |    |            |             |                          |      |
|         |           |         |    |            |             |                          |      |
|         |           |         |    |            |             |                          |      |
|         |           |         |    |            |             |                          |      |
|         |           |         |    |            |             |                          |      |

#### 【第1編 共通編】

|       | . 4400      |              |   | _ |            |                            |             |                              |   |              |   |  |
|-------|-------------|--------------|---|---|------------|----------------------------|-------------|------------------------------|---|--------------|---|--|
| 編     | 章           | 節            | 条 | 枝 | 工種         | 写                          | 真           | 管                            | 理   | 項            | 目   | 摘 要  |
|       | , i         |              |   | 番 |            | 撮影項                        |             |                              |   | 出頻度          |   | 阿女   |
| 1 共通編 | 2<br>土<br>工 | 3 河川土工・海岸土工・ | 5 |   | 法面整形工(盛土部) | 仕上げ状況厚さ                    | 兄           | 120m%                        |   | <b>拖工</b> 箇月 | 所に1回  |  |
|       |             | 砂防土工         | 6 |   | 堤防天端工      | 厚さ幅                        |             | 200m                         | 〔施工                                       |              |   |  |
|       |             | 4 道路土工       | 2 |   | 掘削工        | 土質等の判法長 ※ 法長 ※ 大石のいって 撮影する | <b>ド</b> れか | <ul><li>【掘削 ( 3 来合</li></ul> | [ は 1 版 1 版 1 版 1 版 1 版 1 版 1 版 1 版 1 版 1 | 中)           | 回<br>新に1回<br>和いた出場<br>ルによる場<br>ルによる場<br>ルによる場<br>ルによる場<br>ルによる場<br>ルによる場<br>ルによる場<br>ルによる場<br>ルによる場<br>のによる場<br>のによる場<br>のによる場<br>のによる場<br>のによる場<br>のによる場<br>のによる。<br>のによる。<br>のによる。<br>のによる。<br>のによる。<br>のによる。<br>のによる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のにな。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のにな。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のにな。<br>のにな。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のにな。<br>のになる。<br>のになる。<br>のになる。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>のにな。<br>。<br>のにな。<br>のにな。<br>。<br>。<br>のにな。<br>。<br>のに。<br>のにな。<br>。<br>のにな。<br>。<br>。<br>のにな。<br>。<br>のにな。<br>。<br>。<br>。 | ・出来映えの撮影・TS等の設置<br>状況と出来形計測対象点上の<br>プリズムの設置<br>状況(プリズムが必要な場合の<br>み)がわかるよう<br>に撮影 |

|             |        |    |    |       | 現  | 行(R3.10) |   |       |     |       |             |        |     |    |                | 改  | 訂(R4.10)           |  |  |
|-------------|--------|----|----|-------|----|----------|---|-------|-----|-------|-------------|--------|-----|----|----------------|----|--------------------|--|--|
| 第1編         |        | 通網 | ā] |       |    |          |   |       |     | 【第1   | 編           | 共通     | 通編  | ]  |                |    |                    |  |  |
|             | 1      |    | _  |       | 15 | 写 真      | 管 理 項 目   | kr == | пΙг |       |             |        |     |    |                | 45 | 写 真                | 管 理 項 目  | lete and   |
| 章           | 節      | 条  | 枝番 |       | 種  | 撮影項目     | 撮影•提出頻度[時期]   | 摘要    |     |       | 章           |        | 条   | 枝番 | エ              | 種  | 撮影項目               | 撮影·提出頻度[時期]  | 摘 要  |
| 2<br>±<br>I | 4 道路土工 | 4  |    | 路床盛土工 |    | 巻出し厚     | 200mに1回<br>〔巻出し時〕   |       |     | 1 共通編 | 2<br>土<br>工 | 4 道路土工 | 3 4 |    | 路体盛土工<br>路床盛土工 |    | 巻出し厚               | 200mに1回<br>〔巻出し時〕  |  |
|             |        |    |    |       |    |          | 「TS・GNSSを用いた盛土の締<br>固め管理要領」における「締<br>固め層厚分布図」を提出する<br>場合は写真不要 |       |     |       |             |        |     |    |                |    |                    | 「TS・GNSSを用いた盛土の締<br>固め管理要領」における「締<br>固め層厚分布図」を提出する<br>場合は写真不要  |  |
|             |        |    |    |       |    | 締固め状況    | 転圧機械又は地質が変わる<br>毎に1回 〔締固め時〕                                   |       |     |       |             |        |     |    |                |    | 締固め状況              | 転圧機械又は地質が変わる<br>毎に1回 〔締固め時〕  |  |
|             |        |    |    |       |    | 法長幅      | 200m又は1施工箇所に1回<br>〔施工後〕                                       |       | _   |       |             |        |     |    |                |    | 法長<br>幅<br>※右のいずれか | 200m又は1施工箇所に1回<br>〔掘削後〕  |  |
|             |        |    |    |       |    |          |   |       |     |       |             |        |     |    |                |    | で撮影する。             | 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回<br>「施工後」   | ・出来映え<br>・TS等の部<br>状況を出来<br>プリズムの記<br>状況である。<br>状況をはより<br>がいるの記<br>状況である。<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるの記<br>がいるいるの記<br>がいるいるの記<br>がいるいるいるいる。<br>にいるいるいるいるいる。<br>にいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるい。<br>にいるいるいるいるいるいるいるいるい。<br>にいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる |
|             |        |    |    |       |    |          |   |       |     |       |             |        |     |    |                |    |                    | 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)多点計測技術(面管理の場合)における空中写真測量(UAV)および地上写真測量(に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。 |  |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

|  | - 車井涌編 | ٦ |
|--|--------|---|
|  |        |   |
|  |        |   |

| 章 1    | 節    | 条 | 枝番                      | 工  種                 | 写 真  | 管 理 項 目  | 摘要 | 編       | 章      | 節      | 条 | 枝番 | 工  種                 | 写 真                           | 管 理 項 目  | 摘 要  |
|--------|------|---|-------------------------|----------------------|--|--|----|---------|--------|--------|---|----|----------------------|-------------------------------|--|--|
| 一<br>段 | 一般舗装 | 7 |                         | アスファルト舗装工<br>(下層路盤工) | 撮影項目<br>敷均し厚さ<br>転圧状況<br>整正状況<br>厚さ  | 撮影・提出頻度[時期]<br>各層毎400mに1回<br>(施エ中)<br>各層毎400mに1回<br>(整正後)<br>各層毎200mに1回  |    | 3 土木工事共 | 2 一般施工 | 6一般舗装工 | 7 |    | アスファルト舗装工<br>(下層路盤工) | 撮影項目<br>敷均し厚さ<br>転圧状況<br>整正状況 | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕<br>各層毎400mに1回<br>〔整正後〕<br>各層毎200mに1回   |  |
|        |      |   |                         |                      |  | 〔整正後〕  |    | 通編      |        |        |   |    |                      |                               | 【整正後】<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回<br>【整正後】  |  |
|        |      |   |                         |                      | 幅  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕   |    |         |        |        |   |    |                      | 幅                             | 各層毎80mに1回<br>(整正後)<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回<br>(整正後)  |  |
|        |      | - | 2                       |                      | 敷均し厚さ  | 各層毎400mに1回<br>「施工中」  |    |         |        |        | = | 2  |                      | 敷均し厚さ                         | 各層毎400mに1回<br>「施工中〕  |  |
|        |      |   |                         | 粒度調整路盤工              | 整正状況   | 各層毎400mに1回   |    |         |        |        |   |    | 粒度調整路盤工              | 整正状況                          | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕  |  |
|        |      |   |                         |                      | 厚さ   | 各層毎200mに1回<br>(整正後)  |    |         |        |        |   |    |                      | 厚さ                            | 各層毎200mに1回<br>(整正後)<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回<br>「整正後」  |  |
|        |      |   |                         |                      | 幅  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕   |    |         |        |        |   |    |                      | 中届                            | 各層毎80mに1回<br>(整正後)<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回<br>(整正後)  |  |
|        |      | - | 3                       | アスファルト舗装工            | 敷均し厚さ  | 各層毎400mに1回<br>「施工中」  |    |         |        |        | - | 3  |                      | 敷均し厚さ                         | 各層毎400mに1回<br>「施工中〕  |  |
|        |      |   |                         | セメント(石灰)安定処理工        | 整正状況   | 各層毎400mに1回   |    |         |        |        |   |    |                      | 整正状況                          | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕  |  |
|        |      |   |                         |                      | 厚さ   | 1,000㎡に1回<br>〔整正後〕<br>※コアを採取した場合は写真  |    |         |        |        |   |    |                      | 厚さ                            | 1,000㎡に1回<br>〔整正後〕<br>※コアを採取した場合は写真不<br>要  |  |
|        |      |   |                         |                      |  |  |    |         |        |        |   |    |                      |                               | ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕   |  |
|        |      |   |                         |                      | 幅  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕   |    |         |        |        |   |    |                      | 幅                             | 各層毎80mに1回<br>(整正後)<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回<br>(整正後)  |  |
| 2      |      | 6 | 6 7<br>一般<br>i 舗<br>法 装 | 6 7 1                | 6 - 般 編纂 表 工       7 1 アスファルト舗装工 (下層路盤工)         2 アスファルト舗装工 (上層路盤工)       粒度調整路盤工 | アスファルト舗装工   敷均し厚さ   転圧状況   摩さ   でスファルト舗装工   を展出状況   厚さ   でスファルト舗装工   を展出状況   厚さ   で表記   を変形状況   厚さ   で表記   である   である | 1  | 1       | 1      | T      | 1 | 7  | 1                    | 1                             | 「アメファルト需要工   報告に収   報子に収   第二十二   第二十二 | □ 1 アメファル・接換工 (下層発像工) (下層発像工) (下層発像工) (下層発像工) (下層発像工) (下層機工) (下層発像工) (下層光像工) (工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作 |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

| 【第3編 土木工事共通編 | 1 |
|--------------|---|
|--------------|---|

| 【第      | 3編  | 土:     | 木工 | 事力 | <b>長通編</b> 】                 |                   |                     |    | 【第      | 3編  | 土:     | 木工 | 事共 | <b>⊧通編</b> 】                 |                                       |   |    |
|---------|-----|--------|----|----|------------------------------|-------------------|---------------------|----|---------|-----|--------|----|----|------------------------------|---------------------------------------|---|----|
| 編       | 章   | 節      | 条  | 枝  | 工  種                         | 写 真               | 管 理 項 目             | 摘要 | 編       | 章   | 節      | 条  | 枝番 | 工. 種                         | 写 真                                   | 管 理 項 目   | 摘要 |
| ///1111 | 7-  | 비고     | 木  | 番  |                              | 撮影項目              | 撮影・提出頻度[時期]         | 加女 | //21113 | 平   | 네고     | 木  | 番  |                              | 撮影項目                                  | 撮影·提出頻度[時期]   | 加女 |
| 3<br>土  | 2   | 6<br>— | 7  | 4  | アスファルト舗装工<br>(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況     | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕 |    | 3<br>土  | 2   | 6<br>— | 7  | 4  | アスファルト舗装工<br>(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況                         | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕   |    |
| 木工事     | 般施工 | 般舗     |    |    | (加热/ ) () / / / 女是是王/        | 整正状況              | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕 |    | 木工事     | 般施工 | 般舗     |    |    | (加热/ ) ( ) / ( ) 女儿是星上/      | 整正状況                                  | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕   |    |
| 争共通編    |     | 装工     |    |    |                              | 幅                 | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕  |    | 争共 通編   |     | 装工     |    |    |                              | 幅                                     | 各層毎80mに1回<br>(整正後)<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回<br>(整正後)                       |    |
|         |     |        |    | 5  | アスファルト舗装工 (基層工)              | 整正状況              | 400mに1回<br>〔整正後〕    |    |         |     |        | -  | 5  | アスファルト舗装工<br>(基層工)           | 整正状況                                  | 400mに1回<br>〔整正後〕  |    |
|         |     |        |    |    | (本眉工)                        | タックコート<br>プライムコート | 各層毎に1回<br>〔散布時〕     |    |         |     |        |    |    | (本眉工)                        | タックコート<br>プライムコート                     | 各層毎に1回<br>〔散布時〕   |    |
|         |     |        |    |    |                              | 幅                 | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕  |    |         |     |        |    |    |                              | ····································· | 各層毎80mに1回<br>[整正後]<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回                                |    |
|         |     |        |    | 6  | アスファルト舗装工                    | 整正状況              | 400mに1回             |    |         |     |        | -  | 6  | アスファルト舗装工                    | 整正状况                                  | 〔整正後〕<br>400mに1回  |    |
|         |     |        |    |    | (表層工)                        | タックコート            | 「整正後」<br>各層毎に1回     |    |         |     |        |    | -  | (表層工)                        | タックコート                                | 〔整正後〕<br>各層毎に1回   |    |
|         |     |        |    |    |                              | プライムコート<br>平坦性    | 〔散布時〕<br>1工事1回〔実施中〕 |    |         |     |        |    |    |                              | プライムコート<br>平坦性                        | 〔散布時〕<br>1工事1回〔実施中〕   |    |
|         |     |        | 8  | 1  | 半たわみ性舗装工<br>(下層路盤工)          | 敷均し厚さ<br>転圧状況     | 各層毎400mに1回<br>「施工中」 |    |         |     |        | 8  | 1  | 半たわみ性舗装工<br>(下層路盤工)          | 敷均し厚さ<br>転圧状況                         | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕   |    |
|         |     |        |    |    | (1/百四二二/                     | 整正状況              | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕 |    |         |     |        |    |    |                              | 整正状況                                  | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕   |    |
|         |     |        |    |    |                              | 厚さ                | 各層毎200mに1回<br>(整正後) |    |         |     |        |    |    |                              | 厚さ                                    | 各層毎200mに1回<br>(整正後)<br>ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回<br>(整正後)     |    |
|         |     |        |    |    |                              | 幅                 | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕  |    |         |     |        |    |    |                              | 幅                                     | 各層毎80mに1回<br>[整正後]<br>ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回<br>[整正後]                           |    |
|         |     |        | 8  | 2  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)          | 敷均し厚さ<br>転圧状況     | 各層毎400mに1回<br>「施工中〕 |    |         |     |        | 8  | 2  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工)          | 敷均し厚さ<br>転圧状況                         | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕   |    |
|         |     |        |    |    | 粒度調整路盤工                      | 整正状況              | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕 |    |         |     |        |    |    | 粒度調整路盤工                      | 整正状況                                  | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕   |    |
|         |     |        |    |    |                              | 厚さ                | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕 |    |         |     |        |    |    |                              | 厚さ                                    | 各層毎200mに1回<br>(整正後)<br>ただし、73次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回<br>(整正後) |    |
|         |     |        |    |    |                              | 幅                 | 各層毎80mに1回<br>[整正後]  |    |         |     |        |    |    |                              | 幅                                     | 各層毎80mに1回<br>(整正後)<br>ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回<br>(整正後)                           |    |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

| 編      | 章  | 節      | 条 | 枝巫 | 工種                  | 写 真            | 管 理 項 目             | 摘 要    |
|--------|----|--------|---|----|---------------------|----------------|---------------------|--------|
| .,,    | Ĺ  | - "    |   | 番  |                     | 撮影項目           | 撮影·提出頻度[時期]         | 354 25 |
| 3<br>土 | 2  | 6<br>— | 8 | 3  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況  | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕 |        |
| 木<br>工 | 般施 | 般舗     |   |    | セメント(石灰)安定処理工       | 整正状況           | 各層毎400mに1回          |        |
| 事      | 工  | 装      |   |    |                     |                | [整正後]               |        |
| 共通     |    | 工      |   |    |                     | 厚さ             | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕 |        |
| 編      |    |        |   |    |                     |                | ※コアを採取した場合は写真       |        |
|        |    |        |   |    |                     |                | 不要                  |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     | 幅              | 各層毎80mに1回           |        |
|        |    |        |   |    |                     |                | 〔整正後〕               |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   | 4  | 半たわみ性舗装工            | 敷均し厚さ          | 各層毎400mに1回          |        |
|        |    |        |   |    | (加熱アスファルト安定処理工)     | 転圧状況<br>整正状況   | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回 |        |
|        |    |        |   |    |                     | 並止水が           | [整正後]               |        |
|        |    |        |   |    |                     | 幅              | 各層毎80mに1回           |        |
|        |    |        |   |    |                     |                | 〔整正後〕               |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   | 5  | 半たわみ性舗装工            | 整正状況           | 400mに1回             |        |
|        |    |        |   |    | (基層工)               | タックコート、プ       | 〔整正後〕<br>各層毎に1回     |        |
|        |    |        |   |    |                     | ライムコート         | 〔散布時〕               |        |
|        |    |        |   | 6  | 半たわみ性舗装工            | 整正状況           | 400mに1回             |        |
|        |    |        |   |    | (表層工)               | タックコート、プ       | 〔整正後〕<br>各層毎に1回     |        |
|        |    |        |   |    |                     | ライムコート         | 〔散布時〕               |        |
|        |    |        |   |    |                     | 浸透性ミルク注入<br>状況 | 400mに1回<br>〔注入時〕    |        |
|        |    |        |   |    |                     | 平坦性            | 1工事1回               |        |
|        |    |        |   |    |                     | Britis         | 〔実施中〕               |        |
|        |    |        | 9 | 1  | 排水性舗装工<br>(下層路盤工)   | 敷均し厚さ<br>転圧状況  | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕 |        |
|        |    |        |   |    | ( ) /               | 整正状況           | 各層毎400mに1回          |        |
|        |    |        |   |    |                     |                | 〔整正後〕               |        |
|        |    |        |   |    |                     | 厚さ             | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕 |        |
|        |    |        |   |    |                     |                | (正工区)               |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     |                |                     |        |
|        |    |        |   |    |                     | 1              | # E 4               |        |
|        |    |        |   |    |                     | 幅              | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕  |        |
|        | l  | 1      | 1 | l  |                     |                | (電上)及」              |        |

| 【第     | 3編 | <b>±</b> : | 木工 | 事夫 | <b></b>             |                |                                    |     |
|--------|----|------------|----|----|---------------------|----------------|------------------------------------|-----|
| 編      | 章  | 節          | 条  | 枝  | 工種                  | 写 真            | 管 理 項 目                            | 摘 要 |
| ,,,    | Ċ  | - "        |    | 番  |                     | 撮影項目           | 撮影•提出頻度[時期]                        | 加交  |
| 3<br>土 | 2  | 6          | 8  | 3  | 半たわみ性舗装工<br>(上層路盤工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況  | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                |     |
| 木工     | 般施 | 般舗         |    |    | セメント(石灰)安定処理工       | 整正状況           | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕                |     |
| 事共     | 工  | 装工         |    |    |                     | 厚さ             | 各層毎200mに1回                         |     |
| 通編     |    |            |    |    |                     |                | 〔整正後〕<br>※コアを採取した場合は写真不            |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | 要<br>ただし、「3次元計測技術を用い               |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理 |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | する場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕            |     |
|        |    |            |    |    |                     | 幅              | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕                 |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | ただし、「3次元計測技術を用い                    |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回    |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | 〔整正後〕                              |     |
|        |    |            |    | 4  | 半たわみ性舗装工            | 敷均し厚さ          | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                |     |
|        |    |            |    |    | (加熱アスファルト安定処理工)     | 転圧状況<br>整正状況   | 各層毎400mに1回                         |     |
|        |    |            |    |    |                     | 幅              | 〔整正後〕<br>各層毎80mに1回                 |     |
|        |    |            |    |    |                     | ш              | 〔整正後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用い           |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回    |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | (整正後)                              |     |
|        |    |            |    | 5  | 半たわみ性舗装工            | 整正状況           | 400mに1回<br>(敵工化)                   |     |
|        |    |            |    |    | (基層工)               | タックコート、プ       | 〔整正後〕<br>各層毎に1回                    |     |
|        |    |            |    | 6  | 半たわみ性舗装工            | ライムコート<br>整正状況 | 〔散布時〕<br>400mに1回                   |     |
|        |    |            |    |    | (表層工)               | タックコート、プ       | 〔整正後〕<br>各層毎に1回                    |     |
|        |    |            |    |    |                     | ライムコート         | 〔散布時〕                              |     |
|        |    |            |    |    |                     | 浸透性ミルク注入<br>状況 | 400mに1回<br>〔注入時〕                   |     |
|        |    |            |    |    |                     | 平坦性            | 1工事1回<br>〔実施中〕                     |     |
|        |    |            | 9  | 1  | 排水性舗装工              | 敷均し厚さ          | 各層毎400mに1回                         |     |
|        |    |            |    |    | (下層路盤工)             | 転圧状況<br>整正状況   | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回                |     |
|        |    |            |    |    |                     | 厚さ             | 〔整正後〕<br>各層毎200mに1回                |     |
|        |    |            |    |    |                     | 77-0           | 〔整正後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用い           |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | た出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理     |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | する場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕            |     |
|        |    |            |    |    |                     | 幅              | 各層毎80mに1回                          |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | 〔整正後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用い           |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回    |     |
|        |    |            |    |    |                     |                | 〔整正後〕                              |     |
| 1      |    |            |    |    |                     |                |                                    |     |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

| 【第     | 3編 | 土: | 木工 | 事共 | :通編】                                     |                    |                     |     | 【第   | 3編 | 土: | 木工 | 事ま | <b>共通編</b> 】             |                    |                                    |       |
|--------|----|----|----|----|--|--------------------|---------------------|-----|------|----|----|----|----|--------------------------|--------------------|------------------------------------|-------|
| 編      | 章  | 節  | 条  | 枝番 | 工 種                                      | 写 真                | 管 理 項 目             | 摘 要 | 編    | 章  | 節  | 条  | 枝番 | 工種                       | 写 真                | 管 理 項 目                            | 摘要    |
| 沙州     | 平  | 네  | *  | 番  | 上 俚                                      | 撮影項目               | 撮影·提出頻度[時期]         | 1 多 | ///  | 早  | 티  | *  | 番  | 上、生                      | 撮影項目               | 撮影·提出頻度[時期]                        | 10年 安 |
| 3<br>土 | 2  | 6  | 9  | 2  | 排水性舗装工<br>(上層路盤工)                        | 敷均し厚さ<br>転圧状況      | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕 |     | 3 +  | 2  | 6  | 9  | 2  | 排水性舗装工<br>(上層路盤工)        | 敷均し厚さ<br>転圧状況      | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                |       |
| 十      | 铅  | 般舗 |    |    | <ul><li>七月的盛工/</li><li>粒度調整路盤工</li></ul> | 整正状況               | 各層毎400mに1回          |     | 土木工事 | 般施 | 般舗 |    |    | (工層的盤工)<br>粒度調整路盤工       | 整正状況               | 各層毎400mに1回                         |       |
| 工事     | 工  | 装  |    |    |  | 厚さ                 | 〔整正後〕<br>各層毎200mに1回 |     | 事    | 工  | 装  |    |    |                          | 厚さ                 | 〔整正後〕<br>各層毎200mに1回                |       |
| 共通     |    | 工  |    |    |  | 序で                 | 〔整正後〕               |     | 共通編  |    | I  |    |    |                          | 子で                 | [整正後]                              |       |
| 編      |    |    |    |    |  |                    |                     |     | 編    |    |    |    |    |                          |                    | ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | 「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回  |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | [整正後]                              |       |
|        |    |    |    |    |  | 幅                  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕  |     |      |    |    |    |    |                          | 幅                  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕                 |       |
|        |    |    |    |    |  |                    | (正正反)               |     |      |    |    |    |    |                          |                    | ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | 場合は各層毎1工事に1回                       |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | 〔整正後〕                              |       |
|        |    |    |    | 3  | 排水性舗装工                                   | 敷均し厚さ              | 各層毎400mに1回          |     |      |    |    |    | 3  | 排水性舗装工                   | 敷均し厚さ              | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                |       |
|        |    |    |    |    | (上層路盤工)<br>セメント(石灰)安定処理工                 | 転圧状況<br>整正状況       | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回 | 1   |      |    |    |    |    | (上層路盤工)<br>セメント(石灰)安定処理工 | 転圧状況<br>整正状況       | 他工中」<br>各層毎400mに1回                 |       |
|        |    |    |    |    |  | 厚さ                 | 〔整正後〕<br>各層毎200mに1回 |     |      |    |    |    |    |                          | 厚さ                 | 〔整正後〕<br>各層毎200mに1回                |       |
|        |    |    |    |    |  | 序で                 | 〔整正後〕               |     |      |    |    |    |    |                          | 子で                 | 〔整正後〕                              |       |
|        |    |    |    |    |  |                    | ※コアを採取した場合は写真<br>不要 |     |      |    |    |    |    |                          |                    | ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により |       |
|        |    |    |    |    |  |                    | 11.6                |     |      |    |    |    |    |                          |                    | 「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回  |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | 〔整正後〕                              |       |
|        |    |    |    |    |  | 幅                  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕  |     |      |    |    |    |    |                          | 幅                  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕                 |       |
|        |    |    |    |    |  |                    | (ELC)               |     |      |    |    |    |    |                          |                    | ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | 場合は各層毎1工事に1回                       |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | 〔整正後〕                              |       |
|        |    |    |    | 4  | 排水性舗装工                                   | 敷均し厚さ              | 各層毎400mに1回          |     |      |    |    |    | 4  | 排水性舗装工                   | 敷均し厚さ              | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                |       |
|        |    |    |    |    | (加熱アスファルト安定処理工)                          | 転圧状況<br>整正状況       | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回 |     |      |    |    |    |    | (加熱アスファルト安定処理工)          | 転圧状況<br>整正状況       | 各層毎400mに1回                         |       |
|        |    |    |    |    |  | 幅                  | 〔整正後〕<br>各層毎80mに1回  |     |      |    |    |    |    |                          | 屆                  | 〔整正後〕<br>各層毎80mに1回                 |       |
|        |    |    |    |    |  | тш                 | 〔整正後〕               |     |      |    |    |    |    |                          | тш                 | 「整正後」<br>ただし、「3次元計測技術を用い           |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | た出来形管理要領(案)」による                    |       |
|        |    |    |    |    |  |                    |                     |     |      |    |    |    |    |                          |                    | 場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕              |       |
|        |    |    |    |    | 네- J. LU- 소속기는 그                         | ##==:\I\\\\        | 100 2715            |     |      |    |    |    | _  | L-1. L4. 6-2-4           | ## T. 11 \ in      | 400                                |       |
|        |    |    |    | Э  | 排水性舗装工<br>(基層工)                          | 整正状況               | 400mに1回<br>〔整正後〕    |     |      |    |    |    | ъ  | 排水性舗装工<br>(基層工)          | 整正状況               | 400mに1回<br>〔整正後〕                   |       |
|        |    |    |    |    | •  | タックコート、プ<br>ライムコート | 各層毎に1回<br>〔散布時〕     | ]   |      |    |    |    |    |                          | タックコート、プ<br>ライムコート | 各層毎に1回<br>〔散布時〕                    |       |
|        |    |    |    | 6  | 排水性舗装工                                   | 整正状況               | 400mに1回             |     |      |    |    |    | 6  | 排水性舗装工                   | 整正状況               | 400mに1回                            |       |
|        |    |    |    |    | (表層工)                                    | タックコート、プ           | 〔整正後〕<br>各層毎に1回     |     |      |    |    |    |    | (表層工)                    | タックコート、プ           | 〔整正後〕<br>各層毎に1回                    |       |
|        |    |    |    |    |  | ライムコート             | 〔散布時〕               |     |      |    |    |    |    |                          | ライムコート             | 〔散布時〕                              |       |
|        |    |    |    |    |  | 平坦性                | 1工事1回 〔実施中〕         |     |      |    |    |    |    |                          | 平坦性                | 1工事1回<br>〔実施中〕                     |       |
|        | •  |    |    |    |  |                    |                     |     |      | •  |    |    | _  | !                        |                    |                                    |       |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

#### 【第3編 土木工事共通編】

|            |     |       | , | 支   |                              | 写 真              | 管 理            | 項                 | 目   | Lobe | and the |
|------------|-----|-------|---|-----|------------------------------|------------------|----------------|-------------------|-----|------|---------|
| 4 章        | 章 自 | 节   第 |   | 番   | 工  種                         | 撮影項目             | 撮影•提           | 出頻度[時             | :期] | 摘    | 要       |
| 2          | 2 6 | 5 10  | ) |     | 水性舗装工                        | 敷均し厚さ            | 各層毎400m        |                   |     |      |         |
| :   -      |     |       |   | 路   | 各盤工                          | 転圧状況<br>整正状況     | 人施<br>各層毎400m  | <u>[</u> 上中]      |     |      |         |
| . 施<br>: 工 |     |       |   |     |                              |                  | 〔整〕            | E後]               |     |      |         |
| :          |     |       |   |     |                              | 厚さ               | 各層毎200m        | に1回               |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  | 【整」            | E後〕               |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | 幅                | 各層毎80ml        | C1回<br>E後〕        |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  | (釜)            | 上仮」               |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     | 水性舗装工<br>長層工                 | 整正状況             | 400mに1回<br>「整」 | E後〕               |     | -    |         |
|            |     |       |   |     | VI                           | タックコート、プ         | 各層毎に1回         |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | ライムコート<br>平坦性    | 〔散7<br>1工事1回   | 万時」               |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  | 〔実カ            | 包中]               |     |      |         |
|            |     | 1.    |   |     | ースアスファルト舗装工<br>1熱アスファルト安定処理コ | 敷均し厚さ<br>二) 転圧状況 | 各層毎400m        | に1回<br>L中〕        |     |      |         |
|            |     |       |   | ()) | 1然/ ヘノ / ルト女 足処理コ            | 整正状況             | 各層毎400m        | <u>に中」</u><br>に1回 |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | 1                | 〔整〕            |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | 幅                | 各層毎80m/        | C1回<br>E後〕        |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  | (IE-I          | L (X)             |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     | ースアスファルト舗装工                  | 整正状況             | 400mに1回        | F///)             |     |      |         |
|            |     |       |   | (基  | 層工)                          | タックコート           | 各層毎に1回         | E後〕<br>T          |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | プライムコート          | 〔散ィ            | ,<br>行時〕          |     |      |         |
|            |     |       |   |     | ースアスファルト舗装工<br>・層工)          | 整正状況             | 400mに1回<br>〔整〕 | F谷 )              |     |      |         |
|            |     |       |   | (4) | (信工)                         | タックコート           | 各層毎に1回         | 1                 |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | プライムコート          | 〔散才<br>1工事1回   | [時]               |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | 平坦性              |                | 包中]               |     |      |         |
|            |     | 13    | 2 |     | クリート舗装工                      | 敷均し厚さ            | 各層毎400m        | に1回               |     |      |         |
|            |     |       |   | ( ) | 層路盤工)                        | 転圧状況<br>整正状況     | 〔施〕<br>各層毎400m | <u>L円」</u><br>に1回 |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  | 〔整〕            | E後〕               |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | 厚さ               | 各層毎200m        | に1回<br>E後〕        |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  | (IEI           | (-> )             |     |      |         |
|            |     | - 1   |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              |                  |                |                   |     |      |         |
|            |     |       |   |     |                              | 幅                | 各層毎80ml        | C1回<br>E後]        |     |      |         |

| 扁       | 童  | 節  | 条  | 枝 | 工種                              | 写                | 真  | 管 理                | 項           | 目            | 摘要  |
|---------|----|----|----|---|---------------------------------|------------------|----|--------------------|-------------|--------------|-----|
| HI      | 平  | 네  | *  | 番 | 上                               | 撮影項              | 目  | 撮影·提               | 出頻度[        | [時期]         | 1 分 |
|         | 2  | 6  | 10 | 1 | 透水性舗装工 路盤工                      | 敷均し厚さ<br>転圧状況    |    | 各層毎400mに施工         |             |              |     |
| 1 1 1   | 般施 | 般舗 |    |   | 的 <u></u>                       | 整正状況             |    | 各層毎400m            | [1回         |              |     |
| Ç.      | 工  | 装  |    |   |                                 | 厚さ               |    | 〔整正<br>各層毎200m     |             |              |     |
| Ė<br>fi |    | エ  |    |   |                                 | 序さ               |    | 〔整正                | 後]          |              |     |
| Ħ       |    |    |    |   |                                 |                  |    | ただし、「3次テ<br>た出来形管理 | 記計測技        | 術を用い         |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | 「厚さあるいは            | 標高較差        | 差」を管理        |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | する場合は各,<br>〔整正     |             | 事に1回         |     |
|         |    |    |    |   |                                 | 幅                |    | 各層毎80mに            |             |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | 〔整正<br>ただし、「3次テ    |             | (紙を用い        |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | た出来形管理             | 要領(案        | ()」による       |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | 場合は各層毎<br>〔整正      |             | 1回           |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | (IEIL              | EX.J        |              |     |
|         |    |    |    | 2 | 透水性舗装工表層工                       | 整正状況             |    | 400mに1回<br>〔整正     | 後〕          |              |     |
|         |    |    |    |   | <b>双眉工</b>                      | タックコート           | 、プ | 各層毎に1回             |             |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | ライムコート           |    | 〔散布<br>1工事1回       | 時]          |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | 平坦性              |    | 1上争1回<br>〔実施       | 中)          |              |     |
|         |    |    | 11 | 1 | グースアスファルト舗装工<br>(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況    |    | 各層毎400mに施工         |             |              |     |
|         |    |    |    |   | (Maximus ) / / I X / C/C/LL)    | 整正状況             |    | 各層毎400m/           | 二1回         |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | 幅                |    | 各層毎80mに            | 1回          |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | 〔整正<br>ただし、「3次テ    |             | 術を用い         |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | た出来形管理             | 要領(案        | ま)」による       |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | 場合は各層毎<br>〔整正      |             | -10          |     |
|         |    |    |    | 2 | グースアスファルト舗装工                    | 整正状況             |    | 400mに1回            |             |              |     |
|         |    |    |    |   | (基層工)                           |                  |    | (整正                | 後]          |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | タックコート<br>プライムコー |    | 各層毎に1回<br>〔散布      | 時]          |              |     |
|         |    |    |    | 3 | グースアスファルト舗装工                    | 整正状況             |    | 400mに1回            | 60 T        |              |     |
|         |    |    |    |   | (表層工)                           | タックコート           |    | 〔整正<br>各層毎に1回      | [夜]         |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | プライムコー           | ート | 〔散布                | 時]          |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | 平坦性              |    | 1工事1回<br>〔実施       | 中)          |              |     |
|         |    |    | 12 | 1 | コンクリート舗装工                       | 敷均し厚さ            |    | 各層毎400ml           | -1回         |              |     |
|         |    |    |    |   | (下層路盤工)                         | 転圧状況<br>整正状況     |    | 〔施工<br>各層毎400m     |             |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | 〔整正                | 後]          |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | 厚さ               |    | 各層毎200mに<br>〔整正    |             |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | ただし、「3次テ           | <b>元計測技</b> |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | た出来形管理「厚さあるいは      |             |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | する場合は各<br>〔整正      | 層毎1工        |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | 幅                |    | 各層毎80mに            |             |              |     |
|         |    |    |    |   |                                 | ,,               |    | 〔整正                | 後]          | : (44.4 円) 、 |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | ただし、「3次テ<br>た出来形管理 | 要領(案        | ま)」による       |     |
|         |    |    |    |   |                                 |                  |    | 場合は各層毎             |             |              |     |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

| 【第3編 | 土木工事共涌編 | • |
|------|---------|---|
|      |         |   |

| 【弗     | 3編  | Ι.  | 小工 | .争ナ | <b>地編</b> 】                         |  |   |     | 【男3                                     |
|--------|-----|-----|----|-----|-------------------------------------|--|---|-----|---|
| 編      | 章   | 節   | 条  | 枝巫  | 工                                   | 写 真                                      | 管 理 項 目   | 摘 要 | 編章                                      |
| -      |     |     | 10 | 番   |                                     | 撮影項目                                     | 撮影・提出頻度[時期]   |     |   |
| 3<br>± | 2   | 6   | 12 | 2   | コンクリート舗装工<br>(粒度調整路盤工)              | 敷均し厚さ<br>転圧状況                            | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                                       |     | 3 2<br>± -                              |
| 木工事    | 般施工 | 般舗装 |    |     | ,                                   | 整正状況                                     | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕                                       |     | 木 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 |
| 共通編    |     | Ī   |    |     |                                     | 厚さ                                       | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕                                       |     | 共通編                                     |
|        |     |     |    |     |                                     | 幅  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕  |     |   |
|        |     |     |    | 3   | コンクリート舗装工<br>(セメント(石灰・瀝青)安定処<br>理工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況<br>整正状況                    | 各層毎400mに1回<br>(施工中)<br>各層毎400mに1回                         |     |   |
|        |     |     |    |     |                                     | 厚さ                                       | [整正後]<br>1,000㎡に1回 (整正後)<br>※コアを採取した場合は写真<br>不要           |     |   |
|        |     |     |    |     |                                     | 幅  | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕  | _   |   |
|        |     |     |    | 4   | コンクリート舗装工<br>(アスファルト中間層)            | 整正状況 タックコート プライムコート 幅                    | 400mに1回<br>[整正後]<br>各層毎に1回<br>(散布時)<br>各層毎80mに1回<br>[整正後] |     |   |
|        |     |     |    | 5   | コンクリート舗装工<br>(コンクリート舗装版工)           | 石粉<br>プライムコート<br>スリップバー<br>タイバー 寸法<br>位置 | 各層毎に1回<br>〔散布時〕<br>80mに1回<br>〔据付後〕                        |     |   |
|        |     |     |    |     |                                     | 鉄網寸法<br>位置<br>平坦性<br>厚さ                  | 80mに1回<br>[据付後]<br>1工事1回[実施中]<br>各層毎200mに1回<br>「別枠据付後]    |     |   |

目地段差

80mに1回 〔据付後〕 1工事1回〔実施中〕 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕

1工事に1回

#### 【第2編 +★丁重#涌編】

| 【第     | 3編  | ±:  | 木工 | 事夫 | <b>共通編</b> 】                        |   |   |       |
|--------|-----|-----|----|----|-------------------------------------|---|---|-------|
| 編      | 章   | 節   | 条  | 枝  | 工種                                  | 写 真   | 管 理 項 目   | 摘要    |
|        | Ĺ   | - " |    | 番  | ,_                                  | 撮影項目  | 撮影・提出頻度[時期]   | 3.7 _ |
| 3<br>± | 2   | 6   | 12 | 2  | コンクリート舗装工<br>(粒度調整路盤工)              | 敷均し厚さ<br>転圧状況                               | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕   |       |
| 木工事    | 般施工 | 般舗装 |    |    |                                     | 整正状況  | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕   |       |
| 共通編    |     | I   |    |    |                                     | 厚さ  | 各層毎200mに1回<br>[整正後]<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標筒較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回            |       |
|        |     |     |    |    |                                     | 幅   | (整正後) 各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 (整正後)                                    |       |
|        |     |     |    | 3  | コンクリート舗装工<br>(セメント(石灰・瀝青)安定処<br>理工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況<br>整正状況                       | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕<br>各層毎400mに1回   |       |
|        |     |     |    |    | 性上/                                 | 厚さ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア | [整正後]<br>1,000㎡に1回 [整正後]<br>※コアを採取した場合は写真不  |       |
|        |     |     |    |    |                                     |   | 要<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕                     |       |
|        |     |     |    |    |                                     | 幅   | 各層毎80mに1回<br>「整正後」<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回<br>「整正後」                         |       |
|        |     |     |    | 4  | コンクリート舗装工<br>(アスファルト中間層)            | 整正状況  | 400mに1回<br>[整正後]  |       |
|        |     |     |    |    |                                     | タックコート<br>プライムコート                           | 各層毎に1回<br>〔散布時〕   |       |
|        |     |     |    |    |                                     | 幅   | 各層毎80mに1回<br>「整正後」<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕                         |       |
|        |     |     |    | 5  | コンクリート舗装工<br>(コンクリート舗装版工)           | 石粉<br>プライムコート<br>スリップバー<br>タイバー寸法           | 各層毎に1回<br>〔散布時〕<br>80mに1回<br>〔据付後〕  |       |
|        |     |     |    | 5  | コンクリート舗装工<br>(コンクリート舗装版工)           | 位置<br>鉄網寸法<br>位置<br>平坦性                     | 80mに1回<br>〔据付後〕<br>1工事1回〔実施中〕   |       |
|        |     |     |    |    |                                     | 厚さ  | 各層毎200mに1回<br>「型枠据付後)<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理<br>する場合は各層毎1工事に1回<br>「整正後」 |       |
|        |     |     |    |    |                                     | 目地段差  | 1工事に1回  | 1     |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

| 【第3編 | 土木工事共诵編】 |
|------|----------|
|      |          |

| Н | 童  | 飾  | 条  | 枝 | 工種                        | 写 真           | 管 理 項 目                          | 摘 要  |
|---|----|----|----|---|---------------------------|---------------|----------------------------------|------|
|   |    |    |    | 番 |                           | 撮影項目          | 撮影·提出頻度[時期]                      | 1向 安 |
|   | 2  | 6  | 12 | 6 | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート版工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況 | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕              |      |
|   | 般施 | 般舗 |    |   | 下層路盤工                     | 整正状況          | 各層毎400mに1回                       |      |
|   | 工  | 装  |    |   |                           | 厚さ            | 〔整正後〕<br>各層毎200mに1回              |      |
|   |    | I  |    |   |                           | <b>序</b> C    | 〔整正後〕                            |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           | 幅             | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕               |      |
|   |    |    |    |   |                           |               | (登正後)                            |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    | 7 | コンクリート舗装工                 | 敷均し厚さ         | 各層毎400mに1回                       |      |
|   |    |    |    |   | (転圧コンクリート版工)<br>粒度調整路盤工   | 転圧状況<br>整正状況  | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回              |      |
|   |    |    |    |   | <b>  位及调登增益上</b>          |               | 「整正後〕                            |      |
|   |    |    |    |   |                           | 厚さ            | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕              |      |
|   |    |    |    |   |                           |               | (登上仮)                            |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           | 幅             | 各層毎80mに1回                        |      |
|   |    |    |    |   |                           |               | 〔整正後〕                            |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    | 8 | コンクリート舗装工                 | 敷均し厚さ         | 各層毎400mに1回                       |      |
|   |    |    |    |   | (転圧コンクリート版工)              | 転圧状況<br>整正状況  | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回              |      |
|   |    |    |    |   | セメント(石灰・瀝青)安定処理工          |               | 〔整正後〕                            |      |
|   |    |    |    |   |                           | 厚さ            | 1,000㎡に1回 〔整正後〕<br>※コアを採取した場合は写真 |      |
|   |    |    |    |   |                           |               | 不要                               |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           | 幅             | 各層毎80mに1回                        |      |
|   |    |    |    |   |                           |               | 〔整正後〕                            |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
|   |    |    |    |   |                           |               |                                  |      |
| ١ |    |    |    | 9 | コンクリート舗装工                 | 整正状況          | 400mに1回                          |      |
|   |    |    |    |   | (転圧コンクリート版工)<br>アスファルト中間層 | タックコート        | 〔整正後〕<br>各層毎に1回                  |      |
|   |    |    |    |   | ノヘノブルドザ川眉                 | プライムコート       | 〔散布時〕                            |      |
| l |    |    |    |   |                           | 幅             | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕               |      |
|   |    |    |    |   |                           |               | 〔笹止夜〕                            |      |

#### 【第2紀 十大工車井涌紀】

| 【第     | 3編  | 土  | 木工 | 事ま | <b>ķ通編</b> 】                            |                   |                                    |       |
|--------|-----|----|----|----|---|-------------------|------------------------------------|-------|
| 編      | 章   | 節  | 条  | 枝  | 工工種                                     | 写 真               | 草 理 項 目                            | 摘 要   |
| .,,,   |     |    |    | 番  |   | 撮影項目              | 撮影•提出頻度[時期]                        | 1FI 🗴 |
| 3<br>土 | 2   | 6  | 12 | 6  | コンクリート舗装工                               | 敷均し厚さ             | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                |       |
| 木      | 般   | 般  |    |    | (転圧コンクリート版工)<br>下層路盤工                   | 転圧状況<br>整正状況      | 各層毎400mに1回                         |       |
| 工事     | 施工  | 舗装 |    |    | , |                   | 〔整正後〕                              |       |
| 共通     |     | 工  |    |    |   | 厚さ                | 各層毎200mに1回<br>〔型枠据付後〕              |       |
| 編      | i l |    |    |    |   |                   | ただし、「3次元計測技術を用い                    |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理 |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | する場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕            |       |
|        | i l |    |    |    |   | 幅                 | 各層毎80mに1回                          |       |
|        | i l |    |    |    |   | 122               | 〔整正後〕                              |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | 場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕              |       |
|        |     |    |    |    |   |                   |                                    |       |
|        |     |    |    | 7  | コンクリート舗装工                               | 敷均し厚さ             | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                |       |
|        |     |    |    |    | (転圧コンクリート版工)<br>粒度調整路盤工                 | 転圧状況<br>整正状況      | 各層毎400mに1回                         |       |
|        |     |    |    |    |   | 1m, 7             | 〔整正後〕                              |       |
|        | i l |    |    |    |   | 厚さ                | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕                |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | 「厚さあるいは標高較差」を管理                    |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | する場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕            |       |
|        |     |    |    |    |   | 幅                 | 各層毎80mに1回                          |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | 〔整正後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用い           |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | た出来形管理要領(案)」による                    |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | 場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕              |       |
|        |     |    |    |    |   |                   |                                    |       |
|        |     |    |    | 8  | コンクリート舗装工<br>(転圧コンクリート版工)               | 敷均し厚さ<br>転圧状況     | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕                |       |
|        |     |    |    |    | セメント(石灰・瀝青)安定処理                         | 整正状況              | 各層毎400mに1回                         |       |
|        |     |    |    |    | 工                                       | 厚さ                | 〔整正後〕<br>1,000㎡に1回 〔整正後〕           |       |
|        | i l |    |    |    |   | ,, ,              | ※コアを採取した場合は写真不<br>要                |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | へ<br>ただし、「3次元計測技術を用い               |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | た出来形管理要領(案)」により<br>「厚さあるいは標高較差」を管理 |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | する場合は各層毎1工事に1回                     |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | 〔整正後〕                              |       |
|        | i l |    |    |    |   | 幅                 | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕                 |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | ただし、「3次元計測技術を用い                    |       |
|        | i l |    |    |    |   |                   | た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回    |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | 〔整正後〕                              |       |
|        |     |    |    | 9  | コンクリート舗装工                               | 整正状況              | 400mに1回                            |       |
|        |     |    |    |    | (転圧コンクリート版工)                            |                   | 〔整正後〕                              |       |
|        |     |    |    |    | アスファルト中間層                               | タックコート<br>プライムコート | 各層毎に1回<br>〔散布時〕                    |       |
|        |     |    |    |    |   | 幅                 | 各層毎80mに1回                          |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | 〔整正後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用い           |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | た出来形管理要領(案)」による                    |       |
|        |     |    |    |    |   |                   | 場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕              |       |
|        |     |    |    |    |   |                   |                                    |       |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

## 【第3編 土木工事共通編】

| ## 章 ** * * * * * * * * * * * * * * * *  | E >10 - 1 |      |    |    | TAC -1-110 2 |  |  |    |
|--|-----------|------|----|----|--------------|--|--|----|
| 3 2 1  | 編章        | 節    | 条  |    | 工種           |  | 1  | 摘要 |
| 1 コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)  | 土木工事共通    | 一般舗装 | 12 | 10 |              | 敷均し厚さ<br>転圧状況                                  | 400mに1回<br>〔施工中〕<br>各層毎200mに1回                                   |    |
| 横形張目地部   7ウェルバー   7寸法、位置   縦そり突合せ   目地部、総そり 突っせ   日地部、総そり ダミー目地部 タイパー寸法、位置   1工事に1回(実施中)   存層 在200mに1回   (型枠据付後)   (スリップフォーム工法の場合は打設前後)   日地段差   1工事に1回   (型枠据付後)   (スリップフォーム工法の場合は打設前後)   13 1   薄層カラー舗装工 (下層路盤工)   板正状況   佐正状況   佐正状況   佐正状況   「施工中」   を原正後)   「藤正後」   日本日本   日本   日本日本   日本   日本日本   日本   日 |           |      |    | 11 |              | 石粉、<br>プライムコート                                 | 〔実施中〕<br>各層毎に1回<br>〔散布時〕<br>80mに1回                               |    |
| 位置   1工事に1回(実施中)   |           |      |    |    |              | ダウエルバー<br>寸法、位置<br>縦そり突合せ<br>目地部、縦そり<br>ダミー目地部 | 1施工箇所に1回<br>〔据付後〕<br>80mに1回                                      |    |
| 13   1   薄層カラー舗装工   敷均し厚さ   各層毎400mに1回   極圧状況   各層毎400mに1回   整正状況   各層毎200mに1回   整正後   厚さ   各層毎200mに1回   整正後   幅   各層毎80mに1回   後軽正後   幅   各層毎80mに1回   後軽正後   を層毎80mに1回   後軽正後   を層毎80mに1回   後軽正後   を層極を表しませた。   を表しまれる   を表しまなる              |      |    |    |              | 位置<br>平坦性                                      | 各層毎200mに1回<br>〔型枠据付後〕<br>〔スリップフォーム工法の場合                          |    |
| (下層路盤工)   転圧状況   (施工中)   整正状況   各層毎400mに1回   整正状況   各層毎200mに1回   整正後]   「軽工後」   「軽工後」   「軽工後」   「軽工後」   「軽工後」   「軽工後」   「軽工後」   「極工を   「地工中」   大 般 般 般   数 を   |           |      | 13 | 1  | 蓮屋カラー舗装丁     |  |  |    |
| 土   一   (上層路盤工)   転圧状況   (施工中)   対策理報収能工   軟正半辺   久屋気(00つ)[21回]  |           |      |    |    |              | 転圧状況<br>整正状況<br>厚さ                             | [施工中]<br>各層毎400mに1回<br>(整正後)<br>各層毎200mに1回<br>(整正後)<br>各層毎80mに1回 |    |
|  | 土 一 般     | - 一般 | 13 | 2  | (上層路盤工)      | 転圧状況   | 〔施工中〕  |    |

| 編  | 童 | 節 | A  | 枝  | T 15                | 写 真           | 管 理 項 目                         | Jede and |
|----|---|---|----|----|---------------------|---------------|---------------------------------|----------|
| 闸  | 早 | 即 | 条  | 番  | 工  種                | 撮影項目          | 撮影・提出頻度[時期]                     | 摘 要      |
| 3  | 2 | 6 | 12 | 10 | コンクリート舗装工           | 敷均し厚さ         | 400mに1回                         |          |
| 土木 | 般 | 般 |    |    | (転圧コンクリート版工)        | 転圧状況          | 〔施工中〕                           |          |
| T. | 施 | 舗 |    |    |                     | 厚さ            | 各層毎200mに1回<br>「型枠据付後〕           |          |
| 事  | 工 | 装 |    |    |                     |               | ただし、「3次元計測技術を用い                 |          |
| 共通 |   | エ |    |    |                     |               | た出来形管理要領(案)」により                 |          |
| 編  |   |   |    |    |                     |               | 「厚さあるいは標高較差」を管理                 |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | する場合は各層毎1工事に1回<br>「整正後〕         |          |
|    |   |   |    |    |                     | 平坦性           | 1工事1回                           |          |
|    |   |   |    |    |                     | 十四正           | 〔実施中〕                           |          |
|    |   |   |    | 11 | コンクリート舗装工           | 石粉、           | 各層毎に1回                          |          |
|    |   |   |    |    | (連続鉄筋コンクリート舗装工)     | プライムコート       | 〔散布時〕                           |          |
|    |   |   |    |    |                     | 鉄筋寸法、位置       | 80mに1回<br>〔据付後〕                 |          |
|    |   |   |    |    |                     | 横膨張目地部        | 1施工箇所に1回                        |          |
|    |   |   |    |    |                     | ダウエルバー        | 〔据付後〕                           |          |
|    |   |   |    |    |                     | 寸法、位置         | Garries                         |          |
|    |   |   |    | 11 |                     | 縦そり突合せ        | 80mに1回                          |          |
|    |   |   |    |    |                     | 目地部、縦そり       | 〔据付後〕                           |          |
|    |   |   |    |    |                     | ダミー目地部        |                                 |          |
|    |   |   |    |    |                     | タイバー寸法、<br>位置 |                                 |          |
|    |   |   |    |    |                     | 平坦性           | 1工事に1回(実施中)                     |          |
|    |   |   |    |    |                     | 厚さ            | 各層毎200mに1回                      |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | [型枠据付後]                         |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | 〔スリップフォーム工法の場合は<br>打設前後〕        |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | ただし、「3次元計測技術を用い                 |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | た出来形管理要領(案)」により                 |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | 「厚さあるいは標高較差」を管理                 |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | する場合は各層毎1工事に1回<br>〔整正後〕         |          |
|    |   |   |    |    |                     | 目地段差          | 1工事に1回                          |          |
|    |   |   | 13 | 1  | 薄層カラー舗装工            | 敷均し厚さ         | 各層毎400mに1回                      |          |
|    |   |   |    |    | (下層路盤工)             | 転圧状況          | 〔施工中〕                           |          |
|    |   |   |    |    |                     | 整正状況          | 各層毎400mに1回<br>〔整正後〕             |          |
|    |   |   |    |    |                     | 厚さ            | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕             |          |
|    |   |   |    |    |                     | 幅             | 各層毎80mに1回                       |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | 〔整正後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用い        |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | た出来形管理要領(案)」による                 |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | 場合は各層毎1工事に1回                    |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | 〔整正後〕                           |          |
|    |   |   | 13 | 2  | 薄層カラー舗装工            | 敷均し厚さ         | 各層毎400mに1回                      |          |
|    |   |   | 10 | 4  | 海層カラー舗装工<br>(上層路盤工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況 | 合層毋400mに1回<br>〔施工中〕             |          |
|    |   |   |    |    | 粒度調整路盤工             | 整正状況          | 各層毎400mに1回                      |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | 〔整正後〕                           |          |
|    |   |   |    |    |                     | 厚さ            | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕             |          |
|    |   |   |    |    |                     | 幅             | 各層毎80mに1回                       |          |
|    |   |   |    |    |                     | [             | 〔整正後〕                           |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | ただし、「3次元計測技術を用いた出本形管理要領(安)」による  |          |
|    |   |   |    |    |                     |               | た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回 |          |
|    |   |   |    |    |                     |               |                                 |          |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

| 【笛っ炉 | 十大丁事共通編 |
|------|---------|
|      |         |

| 幕 章   | 節  | 条  | 枝番 | 工  種               | 写 真           | 管理項目                      | 摘 要 |
|-------|----|----|----|--------------------|---------------|---------------------------|-----|
| 3 2   | 6  | 13 | 3  | 薄層カラー舗装工           | 撮影項目<br>敷均し厚さ | 撮影・提出頻度[時期]<br>各層毎400mに1回 |     |
| :   - | _  | 13 | ٥  | (上層路盤工)            | 転圧状況          | 位置毋400m(C1回<br>〔施工中〕      |     |
| 般血    | 般舗 |    |    | セメント(石灰)安定処理工      | 整正状況          | 各層毎400mに1回                |     |
| I I   | 装工 |    |    |                    | 厚さ            | 〔整正後〕<br>1,000㎡に1回        |     |
|       |    |    |    |                    |               | [整正後]                     |     |
| 3     |    |    |    |                    |               | ※コアを採取した場合は写真<br>不要       |     |
|       |    |    |    |                    | 幅             | 各層毎80mに1回                 |     |
|       |    |    |    |                    |               | 〔整正後〕                     |     |
|       |    |    |    |                    |               |                           |     |
|       |    |    |    |                    |               |                           |     |
|       |    |    | 4  | 薄層カラー舗装工           | 敷均し厚さ         | 各層毎400mに1回                |     |
|       |    |    |    | (加熱アスファルト安定処理工)    | 転圧状況<br>整正状況  | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回       |     |
|       |    |    |    |                    |               | [整正後]                     |     |
|       |    |    |    |                    | 幅             | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕        |     |
|       |    |    |    |                    |               | (登正仮)                     |     |
|       |    |    |    |                    |               |                           |     |
|       |    |    |    |                    |               |                           |     |
|       |    |    | 5  | 薄層カラー舗装工           | 整正状況          | 400mに1回                   |     |
|       |    |    |    | (基層工)              | タックコート、       | 〔整正後〕<br>各層毎に1回           |     |
|       |    |    |    |                    | プライムコート       | 〔散布時〕                     |     |
|       |    |    |    |                    | 厚さ            | 1,000㎡に1回<br>〔整正後〕        |     |
|       |    |    |    |                    | 幅             | 各層毎80mに1回                 |     |
|       |    |    |    |                    |               | [整正後]                     |     |
|       |    |    |    |                    |               |                           |     |
|       |    |    |    |                    |               |                           |     |
|       |    | 14 | 1  | ブロック舗装工            | 敷均し厚さ         | 各層毎400mに1回                |     |
|       |    |    |    | (下層路盤工)            | 転圧状況<br>整正状況  | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回       |     |
|       |    |    |    |                    | lm, ケ         | 〔整正後〕<br>各層毎200mに1回       |     |
|       |    |    |    |                    | 厚さ            | 合層毋200mに1回<br>〔整正後〕       |     |
|       |    |    |    |                    | 幅             | 各層毎80mに1回                 |     |
|       |    |    |    |                    |               | [整正後]                     |     |
|       |    |    |    |                    |               |                           |     |
|       |    |    |    |                    |               |                           |     |
|       |    |    | 2  | ブロック舗装工            | 敷均し厚さ         | 各層毎400mに1回                |     |
|       |    |    |    | (上層路盤工)<br>粒度調整路盤工 | 転圧状況<br>整正状況  | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回       |     |
|       |    |    |    |                    |               | [整正後]                     |     |
|       |    |    |    |                    | 厚さ            | 各層毎200mに1回<br>〔整正後〕       |     |
|       | 1  | 1  | l  |                    | 幅             | 各層毎80mに1回                 |     |

| 【弗  | 3編 | Ι. | <b>水</b> 工 | 争チ | <b>長通編</b> 】                |                  |   |   |                                 |          |   |   |
|-----|----|----|------------|----|-----------------------------|------------------|---|---|---------------------------------|----------|---|---|
| 編   | 章  | 節  | 条          | 枝番 | 工  種                        | 写                | 真 | 管理  | 項                               | Ent. ##1 | 摘 | 要 |
| 3   | 2  | 6  | 13         | 3  | 薄層カラー舗装工                    | 撮影項<br>敷均し厚さ     | Ħ | 撮影・提品<br>各層毎400mに                                       |                                 | [時期]     |   |   |
| 土木工 | 般施 | 般舗 |            |    | (上層路盤工)<br>セメント(石灰)安定処理工    | 転圧状況<br>整正状況     |   | 〔施工・<br>各層毎400mに  | 1回                              |          |   |   |
| 事   | 工. | 装  |            | 3  |                             | 厚さ               |   | 〔整正行<br>1,000㎡に1回                                       | 後]                              |          |   |   |
| 共通編 |    | I  |            | 0  |                             | 序·C              |   | 「整正行<br>※コアを採取し<br>要                                    |                                 | は写真不     |   |   |
|     |    |    |            |    |                             | 幅                |   | 各層毎80mに<br>〔整正行<br>ただし、「3次元<br>た出来形管理<br>場合は各層毎<br>〔整正行 | 後〕<br>記計測技<br>要領(案<br>1工事に      | ま)」による   |   |   |
|     |    |    |            | 4  | 薄層カラー舗装工<br>(加熱アスファルト安定処理工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況    |   | 各層毎400mに<br>〔施工・  | 中]                              |          |   |   |
|     |    |    |            |    |                             | 整正状況             |   | 各層毎400mに<br>〔整正征  |                                 |          |   |   |
|     |    |    |            |    |                             | 幅                |   | 各層毎80mに<br>[整正を<br>ただし、「3次元<br>た出来形管理<br>場合は各層毎<br>「整正を | 後〕<br>記計測技<br>要領(案<br>1工事に      | €)」による   |   |   |
|     |    |    |            | 5  | 薄層カラー舗装工<br>(基層工)           | 整正状況             |   | 400mに1回<br>〔整正征   | 後]                              |          |   |   |
|     |    |    |            |    | (4.6.4.)                    | タックコート<br>プライムコー |   | 各層毎に1回<br>〔散布[  |                                 |          |   |   |
|     |    |    |            |    |                             | 厚さ               |   | 1,000㎡に1回<br>〔整正征                                       | 後]                              |          |   |   |
|     |    |    |            | 5  | 薄層カラー舗装工<br>(基層工)           | 幅                |   | 各層毎80mに<br>〔整正行<br>ただし、「3次元<br>た出来形管理<br>場合は各層毎<br>〔整正行 | 後〕<br>計測技<br>要領(案<br>1工事に<br>後〕 | ミ)」による   |   |   |
|     |    |    | 14         | 1  | ブロック舗装工<br>(下層路盤工)          | 敷均し厚さ<br>転圧状況    |   | 各層毎400mに<br>〔施工・  |                                 |          |   |   |
|     |    |    |            |    | ,                           | 整正状況             |   | 各層毎400mに<br>〔整正征  |                                 |          |   |   |
|     |    |    |            |    |                             | 厚さ               |   | 各層毎200mに<br>〔整正征  | 後]                              |          |   |   |
|     |    |    |            |    |                             | 幅                |   | 各層毎80mに<br>〔整正行<br>ただし、「3次元<br>た出来形管理<br>場合は各層毎<br>〔整正行 | 後〕<br>計測技<br>要領(案<br>1工事に<br>後〕 | ま)」による   |   |   |
|     |    |    |            | 2  | ブロック舗装工<br>(上層路盤工)          | 敷均し厚さ<br>転圧状況    |   | 各層毎400mに<br>〔施工・  |                                 |          |   |   |
|     |    |    |            |    | 粒度調整路盤工                     | 整正状況             |   | 各層毎400mに<br>〔整正征  | 後]                              |          |   |   |
|     |    |    |            |    |                             | 厚さ               |   | 各層毎200mに<br>〔整正征  | 後]                              |          |   |   |
|     |    |    |            |    |                             | 幅                |   | 各層毎80mに<br>〔整正行<br>ただし、「3次元<br>た出来形管理<br>場合は各層毎<br>〔整正行 | 後〕<br>記計測技<br>要領(案<br>1工事に      | き)」による   |   |   |
|     |    |    |            |    |                             |                  |   |   |                                 |          |   |   |

現行(R3.10) 改訂(R4.10)

## 【第3編 土木工事共通編】

| 編      | 章  | 節   | 条   | 枝亚 | 工種                 | 写 真            | 管 理 項 目                | 摘要  |
|--------|----|-----|-----|----|--------------------|----------------|------------------------|-----|
| , ,    | ·  | - " | 214 | 番  |                    | 撮影項目           | 撮影•提出頻度[時期]            | 477 |
| 3<br>土 | 2  | 6   | 14  | 3  | ブロック舗装工<br>(上層路盤工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況  | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕    |     |
| 木      | 般  | 般   |     |    | セメント(石灰)安定処理工      | 整正状況           | 他工中」<br>各層毎400mに1回     |     |
| 工事     | 施工 | 舗装  |     |    | 2701(日次)女足是建工      | 正工伙儿           | 〔整正後〕                  |     |
| 尹<br>共 |    | 五   |     |    |                    | 厚さ             | 各層毎200mに1回             |     |
| 通      |    |     |     |    |                    |                | 〔整正後〕                  |     |
| 編      |    |     |     |    |                    |                | ※コアを採取した場合は写真<br>不要    |     |
|        |    |     |     |    |                    | 幅              | 小安<br>各層毎80mに1回        |     |
|        |    |     |     |    |                    | тш             | [整正後]                  |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     | 4  | ブロック舗装工            | 敷均し厚さ          | 各層毎400mに1回             |     |
|        |    |     |     |    | (加熱アスファルト安定処理工)    | 転圧状況<br>整正状況   | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回    |     |
|        |    |     |     |    |                    | 登上认优           | 合唐毋400mに1回<br>〔整正後〕    |     |
|        |    |     |     |    |                    | 幅              | 各層毎80mに1回              |     |
|        |    |     |     |    |                    |                | 〔整正後〕                  |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    | à LABALL -         | defend the No. |                        |     |
|        |    |     |     | 5  | ブロック舗装工 (基層工)      | 整正状況           | 400mに1回<br>〔整正後〕       |     |
|        |    |     |     |    | (本省工)              | タックコート         | 各層毎に1回                 |     |
|        |    |     |     |    |                    | プライムコート        | 〔散布時〕                  |     |
|        |    |     | 15  |    | 路面切削工              | 幅              | 1施工箇所に1回               |     |
|        |    |     |     |    |                    | 厚さ(基準高)        | 〔施工後〕                  |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     | 16  |    | 舗装打換え工             | 幅              | 1施工箇所に1回               |     |
|        |    |     | 10  |    |                    | 延長             | 1.施工固所(C1回<br>〔施工後〕    |     |
|        |    |     |     |    |                    | 厚さ             | (AE (X)                |     |
|        |    |     | 17  |    |                    |                | A Horac Marit ) and Ed |     |
|        |    |     | 17  |    | オーバーレイエ            | 平坦性            | 1施工箇所に1回<br>「施工後」      |     |
|        |    |     |     |    |                    |                |                        |     |
|        |    |     |     |    |                    | タックコート         | 各層毎に1回                 |     |
|        |    |     |     |    |                    |                | 〔散布時〕                  |     |
|        |    |     |     |    |                    | 整正状況           | 400mに1回                | 1   |
|        |    |     |     |    |                    |                | [施工後]                  |     |

| 第3約        | 扁 土 | 木工 | .事; | も通編】               |               |                                 |     |
|------------|-----|----|-----|--------------------|---------------|---------------------------------|-----|
| 編章         | 節   | 条  | 枝   | 工種                 | 写 真           | 管 理 項 目                         | 摘 要 |
| /lylin     | 131 | *  | 番   | 工 1里               | 撮影項目          | 撮影•提出頻度[時期]                     | 加女  |
| 3 2<br>± - | 6   | 14 | 3   | ブロック舗装工<br>(上層路盤工) | 敷均し厚さ<br>転圧状況 | 各層毎400mに1回<br>〔施工中〕             |     |
| 木 般工 施     |     |    |     | セメント(石灰)安定処理工      | 整正状況          | 各層毎400mに1回                      |     |
| 事工         |     |    |     |                    | 厚さ            | 〔整正後〕<br>各層毎200mに1回             |     |
| 通          | 1   |    |     |                    | 7-0           | [整正後]                           |     |
| 編          |     |    |     |                    |               | ※コアを採取した場合は写真不<br>要             |     |
|            |     |    |     |                    | 幅             | 各層毎80mに1回                       |     |
|            |     |    |     |                    |               | 〔整正後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用い        |     |
|            |     |    |     |                    |               | た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回 |     |
|            |     |    |     |                    |               | 〔整正後〕                           |     |
|            |     |    | 4   | ブロック舗装工            | 敷均し厚さ         | 各層毎400mに1回                      |     |
|            |     |    |     | (加熱アスファルト安定処理工)    | 転圧状況          | 〔施工中〕<br>各層毎400mに1回             |     |
|            |     |    |     |                    | 整正状況          | [整正後]                           |     |
|            |     |    |     |                    | 幅             | 各層毎80mに1回<br>〔整正後〕              |     |
|            |     |    |     |                    |               | ただし、「3次元計測技術を用い                 |     |
|            |     |    |     |                    |               | た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回 |     |
|            |     |    |     |                    |               | 〔整正後〕                           |     |
|            |     |    | 5   | ブロック舗装工            | 整正状況          | 400mに1回                         |     |
|            |     |    |     | (基層工)              | タックコート        | 〔整正後〕<br>各層毎に1回                 |     |
|            |     |    |     |                    | プライムコート       | 〔散布時〕                           |     |
| 3 2<br>± - | 6   | 15 |     | 路面切削工              | 幅<br>厚さ(基準高)  | 1施工箇所に1回<br>〔施工後〕               |     |
| 木 般工 施     |     |    |     |                    | 序で(巫华同)       | ただし、「3次元計測技術を用い                 |     |
| 事エ         | 装   |    |     |                    |               | た出来形管理要領(案)」による<br>場合は各層毎1工事に1回 |     |
| 共通         | 工   |    |     |                    |               | 〔整正後〕                           |     |
| 編          |     | 16 |     | 舗装打換え工             | 幅             | 1施工箇所に1回                        |     |
|            |     |    |     |                    | 延長厚さ          | 〔施工後〕                           |     |
|            |     | 17 |     | L                  | , -           | 1 按了签記21 同                      |     |
|            |     | 17 |     | オーバーレイエ            | 平坦性           | 1施工箇所に1回<br>〔施工後〕               |     |
|            |     |    |     |                    | タックコート        | 各層毎に1回                          |     |
|            |     |    |     |                    |               | 〔散布時〕                           |     |
|            |     |    |     |                    | 整正状況          | 400mに1回<br>〔施工後〕                |     |
|            |     |    |     |                    |               | (//5 (%)                        |     |

現行(R3.10)

## 改訂(R4.10)

#### 【第3編 土木工事共通編】

|           | C (mpp) |         |   |    |   | 写 真                    | 管 理 項 目   |     |
|-----------|---------|---------|---|----|---|------------------------|---|-----|
| 編         | 章       | 節       | 条 | 枝番 | 工  種  | 撮影項目                   | 撮影・提出頻度[時期]   | 摘 要 |
| 3 土木工事共通編 | 2 一般施工  | 7 地盤改良工 | 9 | 1  | 固結工<br>(粉末噴射攪拌工)<br>(高圧噴射攪拌工)<br>(スラリー攪拌工)<br>(生石灰パイル工) | 位置·間隔<br>杭径<br>深度      | 1施工箇所に1回<br>〔打込後〕<br>1施工箇所に1回<br>〔打込前後〕   |     |
|           |         |         |   | 2  | 固結工<br>(中層混合処理)   | 施工厚さ幅                  | 1,000m3~4,000m3につき<br>1回、又は施工延長40m(測点<br>間隔25mの場合は50m)につき<br>1回。<br>〔施工厚さ 施工中〕<br>〔幅 施工後〕 |     |
| 3 土木工事共通  | 2 一般施工  | 14 法面工  | 4 | 1  | 法枠工<br>(現場打法枠工)<br>(現場吹付法枠工)                            | 法長<br>幅<br>高さ<br>枠中心間隔 | 200m又は1施工箇所に1回<br>〔施工後〕   |     |
| 編         |         |         | 4 | 2  | 法枠工(プレキャスト法枠工)  | 法長                     | 200m又は1施工箇所に1回<br>〔施工後〕   |     |
|           |         |         | 6 |    | アンカーエ   | 削孔深さ配置誤差               | 1施工箇所に1回<br>(削孔後)<br>1施工箇所に1回<br>(施工後)  |     |
|           |         | 15 擁壁工  | 1 |    | 場所打擁壁工  | 裏込厚さ                   | 120m又は1施工箇所に1回<br>[施工中]   |     |
|           |         |         |   |    |   | 厚さ幅高さ                  | 200m又は1施工箇所に1回<br>〔型枠取外し後〕  |     |
|           |         |         | 2 |    | プレキャスト擁壁工   | 据付状況                   | 200m又は1施工箇所に1回<br>〔埋戻し前〕  |     |

| 編         | 章     | 節      | 条 | 枝 | 工種                            | 写 真                    | 管 理 項 目   | 摘要 |
|-----------|-------|--------|---|---|-------------------------------|------------------------|---|----|
| .,,,      | Ċ     | - "    |   | 番 |                               | 撮影項目                   | 撮影•提出頻度[時期]   | 加女 |
| 3 土木工     | 2 一般施 | 7 地盤改  | 9 | 1 | 固結工<br>(粉末噴射攪拌工)<br>(高圧噴射攪拌工) | 位置·間隔<br>杭径            | 1施工箇所に1回<br>〔打込後〕   |    |
| 事共        | 工     | 良工     |   |   | (スラリー攪拌工)<br>(生石灰パイル工)        | 深度                     | 1施工箇所に1回<br>〔打込前後〕  |    |
| 通編        |       |        |   |   |                               |                        | ただし、(スラリー攪拌工)において「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)」により出来形<br>管理資料を提出する場合は、出<br>来形管理に関わる写真管理項目<br>を省略できる。                               |    |
|           |       |        |   | 2 | 固結工<br>(中層混合処理)               | 幅                      | 1,000m3~4,000m3につき<br>1回、又は施工延長40m(測点<br>間隔25mの場合は50m)につき<br>1回、<br>[施工厚さ 施工中]<br>[幅 施工後]<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」により |    |
|           |       | 14     |   |   | N. la                         | VL 6                   | 出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。  |    |
| 3 土木工事共通編 | 2一般施工 | 14 法面工 | 4 | 1 | 法枠工<br>(現場打法枠工)<br>(現場吹付法枠工)  | 法長<br>幅<br>高さ<br>枠中心間隔 | 200m又は1施工箇所に1回<br>[施工後]<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」に基づ<br>き写真測量に用いた画像を納品<br>する場合には、写真管理に代え<br>ることが出来る。                   |    |
|           |       |        | 4 | 2 | 法枠工(プレキャスト法枠工)                | 法長                     | 200m又は1施工箇所に1回<br>[施工後]   |    |
|           |       |        | 6 |   | アンカーエ                         | 削孔深さ                   | 1施工箇所に1回<br>〔削孔後〕   |    |
|           |       |        |   |   |                               | 配置誤差                   | 1施工箇所に1回<br>〔施工後〕   |    |
|           |       | 15 擁壁工 | 1 |   | 場所打擁壁工                        | 裏込厚さ                   | 120m又は1施工箇所に1回<br>(施工中)<br>ただし、「3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は1工事に1回<br>(施工中)   |    |
|           |       |        |   |   |                               | 厚さ<br>幅<br>高さ          | 200m又は1施工箇所に1回<br>(型枠取外し後)<br>ただし、3次元計測技術を用い<br>た出来形管理要領(案)」による<br>場合は1工事に1回<br>(型枠取外し後)  |    |
|           |       |        | 2 |   | プレキャスト擁壁工                     | 据付状況                   | 200m又は1施工箇所に1回〔埋<br>戻し前〕  |    |
|           |       |        |   |   | 1                             | 1                      | 1   |    |

|      |         |         |    |        |                | - 現 | 見行(R3.10)   |                                   |     |        |         |         |    |        |                  | 改 | (訂(R4.10)   |  |   |
|------|---------|---------|----|--------|----------------|-----|---|-----------------------------------|-----|--------|---------|---------|----|--------|------------------|---|---|--|---|
| 第7   | 編       | 河川      | 海  | 阜編     | ]              |     |   |                                   |     | 【第     | 7編      | 河丿      | 川海 | 岸編     | ā]               |   |   |  |   |
| 編    | 章       | 節       | 条  | 枝番     | 工              | 種   | 写 真<br>撮影項目   | 管 理 項 目<br>撮影·提出頻度[時期]            | 摘要  | 編      | 章       | 節       | 条  | 枝番     | エ                | 種 | 写 真<br>撮影項目   | 管 理 項 目<br>撮影·提出頻度[時期]   | 摘 |
| 川海岸編 | 2突堤・人工岬 | 7消波工    | 3  |        | 消波ブロックエ        |     | 数量ブロックの形状寸法   | 全数量 〔製作後〕<br>形状寸法変わる毎に1回<br>〔製作後〕 |     | 7河川海岸編 | 2突堤・人工岬 | 7 消波工   | 3  |        | 消波ブロックエ          |   | 数量ブロックの形状寸法   | 全数量 [製作後] 形状寸法変わる毎に1回 [製作後] 200m又は1施工箇所に1回 [施工後]   |   |
| 第1   | 0編      | 道       | 路編 |        |                |     |   |                                   |     | 【第     | 10編     | 道       | 路編 | ā)     |                  |   |   |  |   |
|      | 章       | 節       | 条  | 枝<br>番 | 工              | 種   | 事 真<br>撮影項目   | 管 理 項 目<br>撮影·提出頻度[時期]            | 摘 要 | 編      | 章       | 節       | 条  | 枝<br>番 | I                | 種 | 写 真<br>撮影項目   | 管 理 項 目<br>撮影·提出頻度[時期]   | 摘 |
| 路編   | 3橋梁下部   | 6橋台工    | 8  |        | 橋台躯体工          |     | 厚さ<br>天端幅(橋軸方向)<br>敷幅(橋軸方向)<br>高さ<br>胸壁の高さ<br>天端長<br>敷長 | 全数量 (型枠取外し後)                      |     | 10 道路編 | 3橋梁下部   | 6橋台工    | 8  |        | 橋台躯体工            |   | 厚さ<br>天端幅(橋軸方向)<br>敷幅(橋軸方向)<br>高さ<br>胸壁の高さ<br>天端長<br>敷長 | 全数量<br>〔型枠取外し後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用<br>いた出来形管理要領(案)」に<br>より出来形管理資料を提出す<br>る場合は、出来形計測状況を<br>1工事1回 |   |
|      |         | 7 RC橋脚工 | 9  | 1      | 橋脚躯体工<br>(張出式) |     | 厚さ<br>帰<br>東端幅<br>高<br>高<br>ま<br>表<br>表<br>表            | 全数量<br>〔型枠取外し後〕                   |     |        |         | 7 RC橋脚工 | 9  | 1      | 橋脚躯体工<br>(張出式)   |   | 厚 天   | 全数量<br>〔型枠取外し後〕<br>たし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に<br>より出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を<br>1工事1回          |   |
|      |         |         |    | 2      | 橋脚躯体工 (ラーメン式)  |     | 厚さ幅敷高長さ   | 全数量<br>(型枠取外し後]                   |     |        |         |         | -  | 2      | 橋脚躯体工<br>(ラーメン式) |   | 厚さ<br>医端幅<br>敷高さ<br>長さ                                  | 全数量<br>〔型枠取外し後〕<br>ただし、「3次元計測技術を用<br>いた出来形管理要領(案)」に<br>より出来形管理資料を提出す<br>る場合は、出来形計測状況を<br>1工事1回 |   |

現行(R3.10)

改訂(R4.10)

#### 【第11編 農業農村整備編】

| 編         | 章       | 節       | 条 | 枝番 | 工種                  | 写 真<br>撮影項目                         | 管 理 項 目 摘 要 摘 要                           |
|-----------|---------|---------|---|----|---------------------|-------------------------------------|---|
| 11農業農村整備編 | 2ほ場整備工事 | 3整地工    |   |    | 基盤造成表土整地            | 基盤面<br>表土埋戻後                        | おおむね10a当たり 1 箇所                           |
|           | 8 管水路工事 | 5 管体基礎工 |   |    | 管体基礎工<br>(砂基礎及び埋戻等) | 基礎<br>埋戻等の厚さ<br>幅<br>まき出し<br>締固め状況等 | 施工延長おおむね50~100m<br>につき 1 箇所、上記未満は<br>2 箇所 |

#### 【第11編 農業農村整備編】

| 編         | 章       | 節       | 条 | 枝番 | 工  種         | 写 真                  | 管理項目 摘要   |  |
|-----------|---------|---------|---|----|--------------|----------------------|---|--|
| 11農業農村整備編 | 2ほ場整備工事 | 3整地工    |   | H  | 基盤造成<br>表土整地 | 撮影項目<br>基盤面<br>表土埋戻後 | 撮影・提出頻度[時期]<br>おおむね10a当たり1箇所<br>ただし、「情報化施工技術<br>の活用ガイドライン」によ<br>る断面管理の場合は、1工<br>事につき1回、面管理の場<br>合は計測ごとに1回とす<br>る。 |  |
|           | 8 管水路工事 | 5 管体基礎工 |   |    |              | 埋戻等の厚さ<br>幅<br>まき出し  | 施工延長おおむね50~100m<br>につき1箇所、上記未満は<br>2箇所<br>ただし、「情報化施工技術<br>の活用ガイドライン」によ<br>る断面管理の場合は、1工<br>事につき1回とする。              |  |

#### 【第12編 森林土木編】

#### 【第12編 森林土木編】

| 編       | 啩      | 節  | 条 | 枝 | T.                     | 種  | 写                             | 真   | 管            | 理    | 項     | 目   | 摘要 |
|---------|--------|----|---|---|------------------------|----|-------------------------------|-----|--------------|------|-------|-----|----|
| ЛУНН    | 平      | 내고 | * | 番 |                        | 1里 | 撮影項                           | 目   | 撮            | 影•提出 | 出頻度[  | 時期] | 加女 |
| 12森林土木編 | 3 渓間工事 |    |   |   | コンクリートダム:<br>コンクリート副ダ: |    | 打継目処<br>打込・養生                 | 理   | リフト伝<br>[施工・ |      |       |     |    |
| 補       |        |    |   |   |                        |    | 出来形<br>(幅·延長·<br>本数)          |     |              |      |       |     |    |
|         |        |    |   |   |                        |    | 止 水<br>(止水板の<br>型枠・目り<br>置状況) | 位置・ | 設置筐          |      | □     |     |    |
|         |        |    |   |   |                        |    | 水 抜<br>(寸法·取(<br>置)           | 寸位  | 設置營<br>[取付   | 後]   |       |     |    |
|         |        |    |   |   |                        |    | 天端幅・場<br>水通し幅・                |     | 測定管[施工行      | 後]   |       |     |    |
|         |        |    |   |   |                        |    | 法 長                           |     | 上下流[ダム完      |      | 斤毎に1[ |     |    |

| 現行(R3.10)   |                      |  | 改訂(R4.  | 10)  |    |
|---|----------------------|--|---|--|----|
| 質管理写真撮影箇所一覧表  | 品質管理                 | 里写真撮影箇所  | T一覧表  |  |    |
| 等号         工         類形項目         理項目         担比・提出頻度[時期]           1         セメント・コンクリートを配圧<br>コンクリート・シクリート・吹付けコンクリート・吹付けコンクリートを除く)<br>(施工後試験)         ひび割れ調査<br>「デストハンマーによる強度推定調査」         対象構造物毎に1回<br>「試験実施中]           ラストハンマーによる強度推定調査<br>コアによる強度試験         デストハンマー試験により必要が認めらま時に試験実施中] | <br>番 号 1 セメコンム・1 けコ | 工 種  ント・コンクリート(転圧 クリート・コンクリート・ 愛エコンクリート・吹付 ングリートを除く) 工後試験) | 写 真 管       撮影 項目       ひび割れ調査       テストハンマーによる強度推定調査       コアによる強度試験 | 理項目<br>撮影・提出頻度[時期]<br>対象構造物毎に1回<br>試験実施中]<br>ただし、「3次元計測技術を用いた出来<br>形管理要領(案)構造物工編(試行)」により施工完丁時の状況(全間)の提出によりひび割れ調査写真を代替することができる。<br>対象構造物毎に1回<br>[試験実施中]<br>テストハンマー試験により必要が認められた時<br>[試験実施中] | 摘要 |

# 4. 品質管理

令和4年10月

現行(R3.10) |

#### (5) 公的試験機関

公的試験機関とは、原則として(公財)大分県建設技術センターとする。

ただし、(公財)大分県建設技術センター以外の試験機関((公財)大分県建設技術センターを補完する試験機関)での試験実施が適当であると監督員が判断した場合はこの限りではない。

\*「公的試験機関での品質管理試験を義務付ける項目」はP4-6~7を参照

公的試験機関及び試験機関は下記のとおりとする。

#### 1)コンクリート試験(圧縮・曲げ強度)

(公財)大分県建設技術センター TEL 097-556-2982

ただし、監督員が補完する試験機関での試験実施が適当であると判断した場合は「(9)コンクリート試験(圧縮・曲げ強度)の流れ」による。

「大分県土木建築部及び農林水産部が発注する工事の品質管理試験を行う試験場の指定基準」により(公財)大分県建設技術センターを補完する試験場として指定された機関

#### (平成29年度指定機関)

大分県生コンクリート工業組合 国東技術センター TEL 0978-68-1315

大分県生コンクリート工業組合 豊肥技術センター TEL 0974-22-3311

大分県生コンクリート工業組合 日田技術センター TEL 0973-27-7226

大分工業高等専門学校 地域共創テクノセンター TEL 097-552-6450

#### (5) 公的試験機関

公的試験機関とは、原則として(公財)大分県建設技術センターとする。

ただし、(公財)大分県建設技術センター以外の試験機関((公財)大分県建設技術センターを補完する試験機関)での試験実施が適当であると監督員が判断した場合はこの限りではない。

改訂(R4.10)

\*「公的試験機関での品質管理試験を義務付ける項目」はP4-6~7を参照

公的試験機関及び試験機関は下記のとおりとする。

#### 1)コンクリート試験(圧縮・曲げ強度)

(公財)大分県建設技術センター TEL 097-556-2982

ただし、監督員が補完する試験機関での試験実施が適当であると判断した場合は「(9)コンクリート試験(圧縮・曲げ強度)の流れによる。

「大分県土木建築部及び農林水産部が発注する工事の品質管理試験を行う試験場の指定基準」により(公財)大分県建設技術センターを補完する試験場として指定された機関

#### (令和3年度指定機関)

大分県生コンクリート工業組合 国東技術センター TEL 0978-68-1315

大分県生コンクリート工業組合 豊肥技術センター TEL 0974-22-3311

大分県生コンクリート工業組合 日田技術センター TEL 0973-27-7226

目次

7 既製杭工 ------ 4-10 8 下層路盤 ------ 4-11

33 排水性舗装工·透水性舗装工······ 4-27

目次

7 既製杭工 4-11 8 基礎工 4-12 9 現場杭工 4-12 10 既製杭工(中堀杭エコンクリート打設方式)・・ 4-12 11 下層路盤 4-12

36 排水性舗装工・透水性舗装工・・・・・・ 4-28 37 プラント再生舗装工・・・・・・ 4-28

#### 公的試験機関及び補完する試験機関の試験項目

|                            | コンクリート試験  | 骨材試験           | 土質試験         | アスファルト試験                           | 倒材試験                       |     |
|----------------------------|-----------|----------------|--------------|------------------------------------|----------------------------|-----|
|                            | (圧縮・曲げ強度) | (ふるい分け・修正OBR等) | (土の韓国め・CBR等) | (密度・7スファル量抽出・敏度<br>分析・ポイールトラッキング*) | (鉄筋溶接引張・鉄筋母材引<br>張・鉄筋母材曲げ) | # * |
| (公財)大分県建設技術センター            | 0         | 0              | 0            | 0                                  | 0                          |     |
| 大分県生コンクリート工業組合<br>国京技術センター | 0         | 0              |              |                                    |                            |     |
| 大分県生コンクリート工業組合<br>豊肥技術センター | 0         | 0              |              |                                    |                            |     |
| 大分県生コンクリート工業組合<br>日田技術センター | 0         | 0              |              |                                    |                            |     |
| 大分工業高等専門学校<br>地域共創テクノセンター  | 0         |                |              |                                    |                            |     |
| 大分果砕石協同組合<br>共同試験所         |           | 0              |              |                                    |                            |     |
| タナベ環境工学株式会社<br>土質試験室       |           | 0              |              |                                    |                            |     |
| 株式会社ソイルテック<br>土質試験室        |           | 0              |              |                                    |                            |     |

#### 公的試験機関及び補完する試験機関の試験項目

|                            | コンクリート試験  | 骨材配数           | 土質試験         | アスファルト試験                          | <b>銀料製</b> 物               |   |   |
|----------------------------|-----------|----------------|--------------|-----------------------------------|----------------------------|---|---|
|                            | (圧縮・曲げ強度) | (ふるい分け・修正CBR等) | (土の韓国め・CBR等) | (密度・アスファル量輸出・敏度<br>分析・キイールトラッキング) | (鉄筋溶接引張・鉄筋母対引<br>張・鉄筋母村曲げ) | # | * |
| (公財)大分県建設技術センター            | 0         | 0              | 0            | 0                                 | 0                          |   |   |
| 大分県生コンクリート工業組合<br>国京技術センター | 0         | 0              |              |                                   |                            |   |   |
| 大分県生コンクリート工業組合<br>豊肥技術センター | 0         | 0              |              |                                   |                            |   |   |
| 大分県生コンクリート工業組合<br>日田技術センター | 0         | 0              |              |                                   |                            |   |   |
| 大分県砕石協同組合<br>共同試験所         |           | 0              |              |                                   |                            |   |   |
| タナベ環境工学株式会社<br>土質試験室       |           | 0              |              |                                   |                            |   |   |
| 株式会社ソイルテック<br>土質試験室        |           | 0              |              |                                   |                            |   |   |

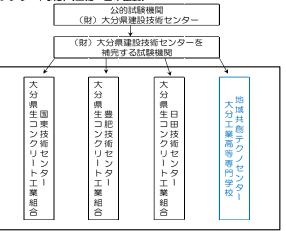
現行(R3.10) 改訂(R4.10)

#### (9) コンクリート試験(圧縮・曲げ強度)の流れ

#### (5) 公的試験機関

公的試験機関とは、原則として(財)大分県建設技術センターとする。 ただし、(財)大分県建設技術センター以外の試験機関((財)大分県建設技術センターを補完する試験機関) での試験実施が適当であると監<u>督員が判断した場合</u>はこの限りではない。

#### 1) コンクリート試験(圧縮・曲げ強度)



#### (9) コンクリート試験(圧縮・曲げ強度)の流れ

#### (5) 公的試験機関

公的試験機関とは、原則として(財)大分県建設技術センターとする。 ただし、(財)大分県建設技術センター以外の試験機関((財)大分県建設技術センターを補完する試験機関) での試験実施が適当であると<u>監督員が判断した場合</u>はこの限りではない。

#### 1) コンクリート試験(圧縮・曲げ強度)



現行(R3.10)

改訂(R4.10)

## 2 公的試験機関での品質管理試験を義務付ける試験項目

公的試験機関での品質管理試験の実施を義務付ける試験項目一覧

|              | 工種   | 種別    | 試験区分 | 試 験 項 目   | 試 験 基 準  | 適 用<br>ペー<br>ジ               |
|--------------|--|-------|------|---|--|------------------------------|
| п            | セメント<br>コンクリート   | 施工    | 必須   | コンクリートの圧縮強度試験   | の28の強度試験<br>鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前・午後)<br>無筋コンクリートは打設日1日につき1回<br>ただし、基礎コンクリート、練石積(張)の胴込コンクリート等は、1工事当たり工事規模に応じ1~3<br>回程度  | 4-9                          |
|              |  |       | 必須   | コンクリートの曲げ強度試験   | σ 28の強度試験<br>コンクリート舗装(転圧コンクリート)の場合に適用し、打設日1日につき2回(午前・午後)   | 4-9                          |
| ク            |  | 施工後試験 | その他  | コアによる強度試験   | 2回/日(午前・午後)で、3本1組/回(材令28日)   | 4-9                          |
|              | 転圧コンクリート   | 材料    | 必須   | コンクリートの曲げ強度試験   | 2回/日(午前・午後)で、3本1組/回(材令28日)   | 4-14                         |
| IJ<br>l<br>ŀ | コンクリートダム   | 施工    | 必須   | コンクリートの圧縮強度試験   | σ28の強度試験 1回3ケ 1. Iブロックリフトート量500m3未満の場合1ブロックリフト当り1回行う。 なお、Iブロックリフトのコンクリート量が150m3以下の場合及び数種のコンクリート配合から構成される 場合は監督員と協議するものとする。 2. Iブロックリフトのコンクリート量500m3以上の場合1ブロックリフト当り2回行う。なお、数種のコンクリート 配合から構成される場合は監督員と協議するものとする。 3. ビア、埋設物間以及び減勢工などのコンクリートは、打設日1日につき2回行う。 4. 上記に示す基準は、コンリートの品質が安定した場合の標準を示すものであり、打ち込み初期段階においては、2~3時間に1回行う。 | 4-23                         |
|              | ガス圧接   | 施工前試験 | 必須   | 鉄筋溶接引張試験  | 鉄筋メーカー、圧接作業班、鉄筋径毎に<br>自動ガス圧接の場合は各2本、手動ガス圧接の場合は各5本のモデル供試体を作成し実施   |                              |
| 網材           | 鉄筋工  | 材料    | 必須   | 鉄筋コンクリート用棒鋼<br>抜き取り試験   | 世材引張試験、母材曲げ試験<br>監督員は、重要構造物に使用される材料の主要な部分について抜き取りを行い、<br>引張試験、曲げ試験を実施<br>(注2)  | 4-10                         |
| 舗            | アスファルト舗装工<br>グースアスファルト舗<br>装工<br>排水性・透水性舗装<br>エ              | 材料    |      | 骨材のふるい分け試験<br>骨材の密度及び吸水率試験<br>骨材中の粘土塊量の試験(注5)<br>粗骨材の形状試験(注5) | 各配合毎工事開始前1回、施工中材料及び配合に変動が生じた場合はその都度1回。<br>(注3、4)   | 4-12<br>4-14<br>4-27         |
| 装            | アスファルト舗装工<br>グースアスファルト舗<br>装工<br>排水性・透水性舗装<br>エ<br>プラント再生舗装工 | 施工前試験 | 必須   | ホイールトラッキング試験<br>(注6.7)  | 耐流動性アスファルト混合物、ボーラスアスファルト混合物、グースアスファルト混合物を使用する場合に適用<br>1工事につき1回(複数層に上記混合物を使用する場合は各層毎)<br>施工前に作成した3個のホイールトラッキング試験用供試体により試験を実施する。   | 4-12<br>4-15<br>4-27<br>4-28 |
|              | アスファルト舗装<br>エ<br>グースアスファルト<br>舗装工<br>影上表層再生工<br>排水性・透水性舗     | 舗装現場  |      | 現場密度の測定<br>(注8)   | ・舗装面積400m2未満<br>活験伸3体値数は、表層・中間層・基層の各層ごとに1個とし、公的試験機関での試験を省略で<br>さる。<br>・舗装面積400m2以上6,000m2未満<br>対象性技体値数は、表層・中間層・基層の各層ごとに3個とし、原則公的試験機関で試験を実施<br>する。<br>・舗装面積6,000m2以上10,000m2未満  | 4-13<br>4-15<br>4-27         |
| I            | 装工<br>プラント再生舗装<br>工<br>簡易舗装工                                 |       |      | アスファルト量抽出<br>粒度分析試験<br>(注8)                                   | 高級体験が体値数は、表層・中間層・基層の各層ごとに6個とし、原則公的試験機関で試験を実施する。<br>・舗装面積10,000m2以上<br>試験供款体例数は、表層・中間層・基層の各層ごとに10個とし、原則公的試験機関で試験を実施する。  | 4-28                         |

## 2 公的試験機関での品質管理試験を義務付ける試験項目

公的試験機関での品質管理試験の実施を義務付ける試験項目一覧

| _   |  |       |      | 1   |   | C× H                         |
|-----|--|-------|------|---|---|------------------------------|
|     | 工種   | 種 別   | 試験区分 | 試 験 項 目   | 試 験 基 準   | 適 用<br>ペー<br>ジ               |
| п   | セメント<br>コンクリート   | 施工    | 必須   | コンクリートの圧縮強度試験   | の28の強度試験<br>鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前・午後)<br>無筋コンクリートは打設日1日につき1回<br>ただし、基礎コンクリート、練石積(張)の胴込コンクリート等は、1工事当たり工事規模に応じ1~3<br>回程度   | 4-10                         |
|     |  |       | 必須   | コンクリートの曲げ強度試験   | σ 28の強度試験<br>コンクリート舗装 (転圧コンクリート)の場合に適用し、打設日1日につき2回(午前・午後)   | 4-10                         |
| ク   |  | 施工後試験 | その他  | コアによる強度試験   | 2回/日(午前・午後)で、3本1組/回(材令28日)  | 4-10                         |
|     | 転圧コンクリート   | 施工    | 必須   | コンクリートの曲げ強度試験   | 2回/日(午前・午後)で、3本1組/回(材令28日)  | 4-15                         |
| リート | コンクリートダム   | 施工    | 必須   | コンクリートの圧縮強度試験   | σ28の強度試験 1回3ケ 1. Iブロック1リフトのコンクリート量500m3未満の場合1ブロック1リフト当り1回行う。 なお、1ブロック1リフトのコンクリート量が150m3以下の場合及び数種のコンクリート配合から構成される 場合は監督員と協議するものとする。 2. Iブロック1リフトのコンクリート量500m3以上の場合1ブロック1リフト当り2回行う。なお、数種のコンクリート 配合から構成される場合は監督員と協議するものとする。 3. ビア、埋設物間辺及び減勢工などのコンクリートは、打設日1日につき2回行う。 4. 上記に示す。基準は、コンリートの品質が安定した場合の標準を示すものであり、打ち込み初期段階においては、2~3時間に1回行う。 | 4-24                         |
|     | ガス圧接   | 施工前試験 | 必須   | 鉄筋溶接引張試験  | 鉄筋メーカー、圧接作業班、鉄筋径毎に<br>自動ガス圧接の場合は各2本、手動ガス圧接の場合は各5本のモデル供試体を作成し実施  | 4-11                         |
| 鋼材  | 鉄筋工  | 材料    | 必須   | 鉄筋コンクリート用棒鋼<br>抜き取り試験   | 母材引張試験、母材曲げ試験<br>監管員は、重要構造物に使用される材料の主要な部分について、鉄筋コンクリート用棒鋼に脈付された製造番号等と品質証明書の照合及びその写真管理がなされていない場合に限り、抜取りを行い、引張試験、曲げ試験を行わせる。<br>(注:2)  | 4-11                         |
| 舗   | アスファルト舗装工<br>グースアスファルト舗<br>装工<br>排水性・透水性舗装<br>工              | 材料    |      | 骨材のふるい分け試験<br>骨材の密度及び吸水率試験<br>骨材中の粘土塊量の試験(注5)<br>租骨材の形状試験(注5) | 各配合毎工事開始前1回、施工中材料及び配合に変動が生じた場合はその都度1回。<br>(注3、4)  | 4-13<br>4-15<br>4-28         |
| 装   | アスファルト舗装工<br>グースアスファルト舗<br>装工<br>排水性・透水性舗装<br>エ<br>プラント再生舗装工 | 施工前試験 | 必須   | ホイールトラッキング試験<br>(注6.7)  | 耐流動性アスファルト混合物、ボーラスアスファルト混合物、グースアスファルト混合物を使用する場合に適用<br>1.1事につき1回(複数層に上記混合物を使用する場合は各層毎)<br>施工前に作成した3個のホイールトラッキング試験用供試体により試験を実施する。   | 4-14<br>4-16<br>4-28<br>4-29 |
|     | アスファルト舗装工<br>グースアスファルト舗<br>装工<br>路上表層再生工                     | 舗装現場  |      | 現場密度の測定<br>(注8)   | ・舗装面積400m2来流<br>消験使款体倒数は、表層・中間層・基層の各層ごとに1個とし、公的試験機関での試験を省略で<br>きる。<br>・舗装面積400m2以上6,000m2未満<br>試験供試体側数は、表層・中間層・基層の各層ごとに3個とし、原則公的試験機関で試験を実施<br>する。   | 4-14<br>4-16                 |
| I   | 排水性・透水性舗装<br>エ<br>プラント再生舗装エ                                  |       |      | アスファルト量抽出<br>粒度分析試験<br>(注8)                                   | ・舗装面積6,000m2以上10,000m2未満<br>試験供試体個数は、表層・中間層・基層の各層ごとに6個とし、原則公的試験機関で試験を実施<br>する。<br>・舗装面積10,000m2以上<br>試験供試体個数は、表層・中間層・基層の各層ごとに10個とし、原則公的試験機関で試験を実<br>施する。  | 4-28<br>4-29                 |

| 4. 品                                   | 質智    | 管理    | 新旧  | 対照表   |                   |     |               |   |   |   |   |                         |               |  |         |                           |   |                     |      |                |  |  |                          |
|--|-------|-------|-----|---|-------------------|-----|---------------|---|---|---|---|-------------------------|---------------|--|---------|---------------------------|---|---------------------|------|----------------|--|--|--------------------------|
|  |       |       |     |   |                   | 玗   | 見行(R3         | 3.10)   |   |   |   |                         |               |  |         |                           |   |                     |      | 訂(R4.          |  |  |                          |
|  | 1 155 | 試     |     |   | 1                 | 品質管 | 理基準及          | び規格値  |   |   |   | 1                       | .   _         |  | 瓦       |                           | 1   | Ė                   | 品質管理 | 里基準及び          | ド規格値<br>   | T  |                          |
| 工種                                     | 種別区   | 分     | 験項目 | 試験方法  |                   | 規格  | 値             | 試験時期·頻度   |   | 摘要  |   | 試験成<br>積表等<br>による<br>確認 | I             | ,  | 種以及分    | 試験項目                      |   |                     | 見格   | 値              | 試験時期・頻度  | 摘要   | 試験成<br>績表等<br>による<br>確認  |
| ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 工後試験  | 頁     |     | スケールによ<br>る測定   |                   |     |               | 本数<br>総延長<br>最大ひび割れ幅等   | クキ断コ梁のく堰造造面等あにひ場況リャ面ン上エ)水物とでる調び合のドト積ので、堰造造面等あにひ場況 | が25所2以ルがたかいかいから、アンスのでは、アンないのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンないのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは、アンスのでは | に、シートリーのでは、アートリーのでは、アートリーのでは、アートリーのでは、アートリーのでは、アートリーのでは、アートは、アートリーのでは、アートリーのでは、アートリーのでは、アートリーのでは、アート 内外 本人 アート できる アート 内外 本人 アート アート アート アート アート・アート アート アート・アート アート・アート アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・アート・ | F4.                     | ンク(シトリムコリ吹コリ除 | リートコート・ンー・インー・インー・インー・インー・インー・インー・インー・インー・インー・     | 工 後 試 餘 |                           | スケールによる測定   |                     |      |                | 本数<br>総延長<br>最大ひび割れ幅等  | 高さが、5m以上の鉄筋プレートの鉄筋プレート・   カリート・   東壁(ただし、プ、クリー   カリート・   東型を   はない。   カリー・   大きない。   カリー・   大きない。   カリー・   大きない。   カリー・   カリー・ | 空労橋れより 溝手長坂に前 つさいと の場録 替 |
| 6 鉄筋工                                  |       | 須 ト用格 |     | 工事に使用<br>する材料及<br>び製品の検<br>収について<br>(平成13年1<br>1月30日付<br>け企検第18<br>82号) JIS Z<br>2241<br>JIS Z 2248 | JIS G 311<br>的性質を |     | 定される機<br>ること。 | 域 監督員は、重要構造物に使用される材料の主要な部分ついて技を取りを行い、公的試験機関において引張試験曲げ試験を行わせるものとる。<br>原則として公的試験機関で | に (径、規<br>り とする。<br>検、公的試験<br>す 表提出。              | 本数は鉄格)ごとに3<br>験機関の計   | 3本を標準   | 公                       | 6<br>工        | 鉄筋   | 料 須     | 鉄筋コンクリー<br>ト用棒鋼<br>抜き取り試験 | 工事に使用<br>する材料及<br>び製品の検<br>収について<br>(平成18年3<br>月31日付け<br>工検第441<br>号) JIS Z<br>2241<br>JIS Z 2248 | JIS G 311:<br>的性質を注 |      | きされる機械<br>うこと。 | 監督員は、重要構造物に使用される材料の主要な部分に<br>ついて、鉄筋コングリート用棒<br>鋼に添付された製造番号等と<br>品質証明書の照合及びその<br>写真管理がなされていない場合に限り、抜取りを行い、公的<br>試験機関で引張試験、曲げ<br>試験を行わせ<br>るものとする。 | 抜き取り本数は鉄筋の種類<br>(径、規格)ごとに3本を標<br>とする。<br>公的試験機関の試験成績   | 準                        |
|  |       |       |     |   | [                 | 新:  | 規】            |   |   |   |   |                         | 8 T           | 基礎:  | 必須      | 支持層の確認                    | 試験杭   | 法を満足し               | している | い定めた方<br>こと    | 7  | 中掘り杭工法(セメントミル<br>噴出模拌方式)、ブレボー<br>ン杭工法及び回転配式<br>たおける支持層付近で掘削速度を<br>カー定に保ち、掘削抵抗<br>(オーガ駆動電流値、積分<br>変化をあらかじめ調査して<br>いる土質は状図と対比して<br>、1000<br>をであらかじめ調査して<br>いる土質は状図と対比して<br>におけるする<br>はであらかじめ調査して<br>いる土質は状図と対比して<br>におけるす<br>は<br>を<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が   | リメ去,極値とのことにを             |
|  |       |       |     |   | [                 | 新:  | 規】            |   |   |   |   |                         |               | 場所 :<br>工 :  |         | 孔底沈殿物の<br>管理              | り検測テープ  | 設計図書                | による  |                |  | 孔底に沈積するスライムの<br>量は、掘削完了直後とコン<br>リート打込み所に入<br>プにより測定した孔底の浮<br>度を比較して把握する  | /ク                       |
|  |       |       |     |   |                   | 新力  | 規】            |   |   |   |   |                         | 杭(杭・大村        | 既製 :<br>工 :<br>中堀り :<br>ナコー<br>打設 :<br>打設 :<br>式 : | 施 須     | 孔底処理                      | 検測テープ   | 設計図書                | による  |                |  | 泥分の沈降や杭先端から<br>土砂の流入等によってス。<br>イムが溜ることがあるので<br>孔底処理からコンクリート<br>打設までに時間が空く場<br>は、打設直前に孔底スラ<br>ムの状態を再確認し、必引<br>において再処理する   | ラ<br>の<br>合<br>イ         |

|                 | 没 須              | 試験項目<br>現場密度の測<br>定      | =+ =^ + >+                       |  |  |  |   |  |  |                         |   |      |      |      |  |  |  |  |   |  |  |  |
|-----------------|------------------|--------------------------|----------------------------------|--|--|--|---|--|--|-------------------------|---|------|------|------|--|--|--|--|---|--|--|--|
| 2 ア 部<br>スファル 記 | 分<br>補<br>没<br>須 | 現場密度の測                   | =+ =A - 1                        |  | 品質管:   | 理基準及び  | 規格値   |  |  |                         |   |      |      |      |  |  | 品質管  | 理基準  | 準及び   | 規格値  |  |  |
| スファル 討          | 没 須              |                          | 試験方法                             | j  | 見 格  | 値  | 試験時期・頻度   | 摘  | 要  | 試験成<br>積表等<br>による<br>確認 | I | 種別   | 試験区分 | 試験項目 | 試験方法                                     | :                                      | 規格   | 値  |   | 試験時期・頻度  | 摘要   |  |
|                 |                  | アスファルト量抽出数度分析試験          | 験法便覧<br>B008<br><b>舗装装調査・試験法</b> | X1,2:基:<br>×3:<br>×6:<br>×10:<br>※1:<br>×10:<br>※2:<br>×10:<br>※3:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10:<br>×10: | " … 設計 図 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・       | 94%以上<br>96.5%以以上<br>96.8%以以上<br>96.8%以以内<br>7.0%以内内<br>7.5%以以内内<br>3.5%以以内<br>0.5%以以内<br>0.5%以以内内<br>0.55%以以内 | ・舗装面積400m2未満層・中孔とし、公的は影像供試体優数は、表層・中孔とし、公的試験機関での配2以上 6,000m2以上 6,000m2以上 6,000m2以上 6,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2未満個数は、表層・円孔とし、原則公的試験機関を実施する。 ・舗装面積10,000m2以上 10,000m2以上 10,000m2未満個数は、表層・円孔とし、原則公的試験機関で試験を実施する。 | 満値ものという。<br>はにとするいる。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | の94%以上で<br>の94%以上で<br>の94%以上で<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の10が3年の<br>の | 公                       |   | ルト 設 | 須    | 定    | 舗装調査・試<br>B008<br>機装調査・試<br>機装運賃<br>G028 | X1,2:基<br>  X6   X10   X1,2:基<br>  下 ス | 『『記録の場合の「『『『神事』、『『神』、『『神 | 99<br>99<br>93<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95<br>95 | 96.5%以上以以以。 上以以以以以,以以以,以以以,以,以以以,以,以,以,以,以,以,以,以,以, | ・舗装面積400m2以上<br>6,000m2未満<br>試験供試体個数は、表層・中<br>間層・基層の各層ごとに3孔<br>とし、原則公的試験機関で試<br>験を実施する。<br>・舗装面積6,000m2以上<br>10,000m2未満<br>試験供試体個数は、表層・中<br>間層・基層の各層ごとに6孔<br>とし、原則公的試験機関で試<br>該等、表質・中<br>間間層・基層の各層ごとに10孔<br>とし、原則公的試験機関で試<br>談談供試体個数は、表層・中<br>・舗装面積10,000m2以上<br>試験供は体個数は、表層・中<br>しし、原則公的試験機関で試<br>験を実施する。 | 10孔の測定値が得合は3孔の測定値が得合は3孔の測定値を満足とするが、X3が規格値を満足とするが、X3が規格がずれた場合は、ご平均規格値を満足してい。・ 公的試験機関の記表提出、橋面舗装は取しないでAS合材をしていてAS合材を対しては、でAS合材をは、でAS合材をは、でAS合材をは、でAS合材をは、でAS合材をは、ATMの測定性は、ATMの測定性はATMの測定性はATMの可能性はATMの可能性はATMの可能はATMの可能性はATMの可能性はATMの可能性はATMの可能はATMの可能性はATMの可能はATMの可能はATMの可能はATMの可能はATMの可能はATMの可能はATMの可 |  |
| 34 簡 木<br>易舗装 米 | 材 必 科 須          | 修正CBR試験                  | 舗装調査・試<br>験法便覧<br>E001           | 下層路盤上層路盤   |  |  | 施工前、材料変更時   |  |  | 0                       |   |      |      |      |  | [                                      | 廃  | 止  | ]   |  |  |  |
|                 |                  | 骨材のふるい<br>分け試験           | JIS A 1102                       | 「簡易舗<br>る。   | <b>支要綱」</b>  | 3-3によ  | 施工前、材料変更時   |  |  | 0                       |   |      |      |      |  |  |  |  |   |  |  |  |
|                 |                  | 土の液性限<br>界・塑性限界<br>試験    | JIS A 1205                       | 下層路盤上層路盤   |  |  | 施工前、材料変更時   |  |  | 0                       |   |      |      |      |  |  |  |  |   |  |  |  |
|                 |                  | —軸圧縮試験                   | 験法便覧<br>E013                     | 上。<br>石灰安定<br>一軸圧<br>0.69N/mr  | 定処理<br>縮強さ[7<br>2(25kgf<br>処理:<br>縮強さ[1<br>n2(7kgf | 7日間]<br>:/cm2)以<br>10日間]<br>/cm2)以   | 施工前、材料変更時   | セメント、石灰3<br>用する。   |  | 0                       |   |      |      |      |  |  |  |  |   |  |  |  |
|                 |                  | アスファルト混<br>合物<br>カットバックア | 「アスファル<br>ト舗<br>装」に準じる<br>ASTM D |  |  | を」に準じる   | 当初及び材料の変化時当初及び材料の変化時  | 加熱アスファル<br>用する場合<br>カットバックアス                               |  | 0*                      |   |      |      |      |  |  |  |  |   |  |  |  |

現行(R3.10) 品質管理基準及び規格値 改訂(R4.10)

品質管理基準及び規格値

| 工種    | 種別     | <b>剣</b> | 試験項目                    | 試験方法   | 規格値  | 試験時期·頻度   | 摘要  | 試験 |
|-------|--------|----------|-------------------------|--|--|---|---|----|
| 34 簡裝 | 施业     | ろ頁       | 現場密度の測<br>定<br>路盤エ      | 舗装調査・試<br>験法便覧<br>GO21                         | 最大乾簾密度の93%以上<br>X10 955%以上<br>X3 96.0%以上               | 1,000m2につき1孔、ただし1<br>工事につき最低3孔                    | ・締固め度は、個々の測定を値が基準密度の94%以上を<br>通にするものとし、かつ平均<br>値については、一部では、10孔の視値である。<br>が表していては、10孔の測定値の平均値を10とする。<br>が表していては、10孔の測定値が得るがたい場合は、3孔の測定値が得がたい場合は、10孔の測定を1分のである。また、10孔の測定値の平均値のでは、3式が規格値を満足していればよい。<br>で一夕を加えた平均には、10元のでは、10元の単位は、10元のでは、10 |    |
|       |        |          | 現場密度の測<br>定<br>表層エ      | 舗装調査・試験法便覧<br>B008                             | 基準密度の94%以上。<br>X10 96.0%以上<br>X6 96.0%以上<br>X3 96.5%以上 | アスファルト舗装 (P4-12) による原則として公的試験機関で実施                | ( /EI)  | 3  |
|       |        |          | 粒度(2.36mm<br>フルイ)       | 路盤:JIS A<br>1102<br>表層:舗装調査・試験法便<br>覧 A003     | 路盤:2.36mmふるい:±15%J<br>内<br>表層:2.36mmふるい:±12%J<br>内     | よる  |   |    |
|       |        |          | 粒度(75μmフ<br>ルイ)         | 路盤:JIS A<br>1102<br>表層:舗装調<br>査·試験法便<br>覧 A003 | 路盤:75 μ m ふるい:±6%以<br>表層:75 μ m ふるい:±4.5%<br>内         |   |   |    |
|       |        |          | アスファルト量<br>抽出粒度分析<br>試験 | 舗装調査·試   | アスファルト量(表層):±1.  | 5% アスファルト舗装 (P4-12) に<br>よる<br>原則として公的試験機関で実<br>施 | 瀝青安定処理,表層に適用<br>する。   |    |
|       |        |          | プルーフロー<br>リング           | 舗装調査・試験法便覧<br>G023                             |  | 全面  | ・下層路盤、マカダムおよび<br>浸透式マカダム路盤に適用<br>する。<br>・荷重車については、施工時<br>に用いた転圧機械と同等以<br>上の締固効果を持つローラ<br>やトラック等を用いるものと  |    |
|       |        |          | 温度測定(敷<br>きならし)         | 温度計による。  | 120℃以上   | 随時  | ・瀝青安定処理,表層に適用<br>する。<br>・測定値の記録は、1日4回<br>(午前・午後各2回)   |    |
|       | 7<br>0 | Ď        | 含水比試験                   | JIS A 1203                                     | 設計図書による。   | 随時  | 下層路盤、粒度調整路盤に適用する。   |    |

| I | 種 | 種別 | 試験区分 | 試験項目 | 試験方法 | 規格値  | 試験時期·頻度 | 摘 | 要 | 試験成<br>績表る<br>確認 |
|---|---|----|------|------|------|------|---------|---|---|------------------|
|   |   |    |      |      |      | 【廃止】 |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |
|   |   |    |      |      |      |      |         |   |   |                  |

|   |    |              |  |              |                    |     |     | 玗    | 衍  | (R3. | .10)  |   |                  |       |     |                         |  |     |  |                    |                | 乜   | ₹訂(R4 | l.10)   |              |                 |                       |
|---|----|--------------|--|--------------|--------------------|-----|-----|------|----|------|---|---|------------------|-------|-----|-------------------------|--|-----|--|--------------------|----------------|-----|-------|---|--------------|-----------------|-----------------------|
|   |    |              |  |              |                    |     | H   | 上質管  | 理基 | 準及ひ  | が規格値  |   |                  |       |     |                         |  |     |  |                    | 品生             | 質管: | 理基準及で | び規格値  |              |                 |                       |
| エ 種   | 別日 | 試験 N         | 試験項目                                   | 試            | ) 方 法              |     | 規   | . 格  | 値  |      | 試験時期・頻度   |   | 摘                | 要     |     | 試験成<br>績表等<br>による<br>確認 | 工種   | 種別公 | 試験項目                                   | 試験方法               | 規              | 格   | 値     | 試験時期・頻度   | 摘            | 要               | 試験が<br>績表等<br>に<br>確認 |
| 混母<br>理全良<br>を<br>し<br>な<br>し<br>の<br>に<br>記<br>の<br>に<br>混<br>え<br>に<br>え<br>に<br>え<br>に<br>え<br>に<br>え<br>に<br>え<br>に<br>え<br>に<br>え<br>に<br>え<br>に | 料彡 | 須 験 土        | の含水比試<br>注<br>の湿潤密度<br>験               |              |                    | 設計  | 図書  | こよる。 | •  |      | 当初及び土質の変化したき。                                       |   | 配合を定める<br>ある。    | 6t=めの | 試験で |                         | 層混理全<br>の<br>場合<br>の<br>場所。混   | 材必料 | 土の含水比試<br>i<br>験<br>土の湿潤密度<br>試験       |                    | 設計図書に          | よる。 | ,     | 当初及び土質の変化した時。   | 配合を定めるある。    | らための試験で         |                       |
| 合改(コをす工はし<br>処良ラ造る法適な<br>理体ム成 に用い   |    | 口<br>験<br>土試 | ーブルフ<br>一試<br>…<br>の一軸圧縮<br>験<br>改良体の強 | JIS          | R 5201             |     |     |      |    |      |   | = |                  |       |     |                         | 合改にます。 合改にはないでするは、 のはないでするは、 のはないでする。 のはないできる。 のはないできる。 のはないできる。 のはないできる。 のはないできる。 のは、これできる。 のはできる。 の |     | テーブルフロー試験<br>土の一軸圧縮試験(改良体の強度)          |                    | _              |     |       |   |              |                 |                       |
| 43 鉄<br>筋挿入<br>エ  | 材料 | 定立           | 着材のフ<br>一値試験                           | JSCI<br>2018 | F521-              | 9~1 | 2秒  |      |    |      | 施工開始前1回および定の材料や配合変更時に実施。1回の試験は測定を2行い、測定値の平均をフェ値とする。 | □ | 定着材をセメ<br>はモルタルと |       |     |                         |  |     |  | JSCE-F521-<br>2018 | 9~ <b>22</b> 秒 |     |       | 施工開始前1回および定着材<br>の材料や配合変更時に実<br>施。1回の試験は測定を2回<br>行い、測定値の平均をフロー<br>値とする。 | 定着材をセンはモルタルと | ントミルクまた<br>する場合 |                       |
|   | 施工 |              | き抜き試験                                  | 法設           | 補強土<br>計・施工<br>ュアル | 設計  | 図書に | こよる。 | •  |      | ・施工全数量の3%かつ3以上を標準とする。<br>・載荷サイクルは1サイクする。            |   |                  |       |     |                         |  | 施工多 | 引き抜き試験<br>(受入れ試験)<br>引き抜き試験<br>(適合性試験) | 工法設計・施             | 設計図書に          | よる。 | ,     | ・施工全数量の3%かつ3本以上を標準とする。<br>・載荷サイクルは1サイクルと<br>する。                         |              |                 |                       |